

市川市公共施設白書

平成27年3月

第1章 市川市の概況の把握

1. 市の概況

(1) 概要	1
(2) 沿革	2
(3) 交通状況	2

2. 市の人口特性

(1) 市全体の人口推移	3
(2) 世帯構成の推移	4
(3) 市民の流出・流入状況	5
(4) 年齢階層別の将来人口推計	6
(5) 4地域別の人口（平成22年～平成42年）	8
(6) 12地区ごとの将来人口推計（平成22年～平成42年）	10

3. 市のまちづくり

(1) これまでの開発動向	12
(2) 地域特性	13

第2章 市が保有する財産の状況及び資産の有効活用の必要性

1. 財政の状況

(1) 歳入	14
(2) 歳出	15
(3) 今後の見通し	16

2. 保有する資産の状況

(1) 保有する建物の内訳	17
(2) 公共施設の築年別整備状況	18
(3) 4地域別の公共施設整備状況	20

3. 今後の施設の建替え・改修にかかるコスト試算	23
--------------------------	----

第3章 用途別実態把握

1. コスト情報とストック情報の的確な把握	25
2. 主な施設の実態把握方法	25
◆ 市民文化系施設	
(1) 公民館	26
(2) 地域ふれあい館	36
(3) 男女共同参画センター	43
(4) 市民談話室	47
(5) 文化会館等	51
(6) その他文化施設	58
◆ 社会教育系施設	
(7) 図書館及び関連施設	63
(8) 博物館	70
◆ スポーツ・レクリエーション系施設	
(9) スポーツ施設	77
(10) 観光施設等	84
◆ 産業系施設	
(11) 産業系施設	90
◆ 学校教育系施設	
(12) 小・中学校	96
(13) その他教育施設	105
◆ 子育て支援施設	
(14) 幼稚園	107
(15) 保育園	111
(16) 放課後保育クラブ	116
(17) その他子育て支援施設	123
◆ 保健・福祉施設	
(18) いきいきセンター	130
(19) デイサービスセンター	134
(20) その他高齢者福祉施設	138
(21) 障害者福祉施設	141
(22) こども発達センター	145
(23) 保健施設	148
◆ 医療施設	
(24) 医療施設	151

◆ 行政系施設	
(25) 庁舎等	155
(26) 消防庁舎	161
(27) 消防団車庫兼詰所	164
◆ 市営住宅	
(28) 市営住宅	166
◆ その他	
(29) 公園	172
(30) 処理施設	173
(31) 霊園・斎場	174
(32) 主な公共施設の配置状況（地域実態マップ）	177

第4章 公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な考え方

1. 計画策定の必要性	181
2. 全庁的な取り組み体制の構築及び情報管理・共有方策	182
3. 現状や課題に関する基本認識	182
4. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方	
(1) 点検・診断等の実施方針	183
(2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針	183
(3) 安全確保の実施方針	184
(4) 耐震化の実施方針	184
(5) 長寿命化の実施方針	184
(6) 統合や廃止の実施方針	185
(7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針	186
5. フォローアップの実施方針	186

用語集

第 1 章 市川市の概況の把握

第1章 市川市の概況の把握

1. 市の概況

(1) 概要

本市は、都心から 20km 圏内の千葉県北西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市と鎌ヶ谷市、南は浦安市と東京湾に面し、また江戸川を隔てて東京都江戸川区と相對しています。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、東西方向は JR 総武本線、京葉線などの鉄道や京葉道路、国道 14 号などの道路があります。

地形は、北から南に向かってやや傾斜しています。北部の台地はおおむね標高約 20m で、それ以外は 2m 程度の平坦地となっています。

市の北部は、梨栽培などの農業が盛んで、屋敷林なども多く緑豊かな地域です。また、市の中央部は、古くからの住宅地が多く、京成線に沿った菅野、八幡の一角には市の木であるクロマツが点在し、市の代表的な景観を形成しています。

市の南部は、高度経済成長期に、営団地下鉄東西線の開業に合わせた区画整理事業によりマンションなどの高層住宅が建ち並び、新しい都会的な住宅都市が形成されています。また、東京湾に臨む埋立地には、京葉工業地帯の一翼を担う工場や物流倉庫などが広がっています。

面積	56.39 km ² 東西延長 8.2 km 南北延長 13.4 km	
人口	総人口：46万9,523人（平成25年10月1日現在） 世帯数：22万993世帯（ ” ” ）	
	昼間人口	38万7,101人（平成22年国勢調査データ）
	流入人口	6万7,685人（ ” ” ）
	流出人口	16万6,367人（ ” ” ）
	昼夜間人口比率	81.7%（ ” ” ）
鉄道	【鉄道路線および駅数】 JR総武本線 2駅（市川駅、本八幡駅） JR武蔵野線 1駅（市川大野駅） JR京葉線 2駅（市川塩浜駅、二俣新町駅） 東京メトロ東西線 3駅（南行徳駅、行徳駅、妙典駅） 都営地下鉄新宿線 1駅（本八幡駅） 京成本線 5駅（国府台駅、市川真間駅、菅野駅、京成八幡駅、鬼越駅） 北総鉄道 2駅（北国分駅、大町駅）	
道路	【高速道路等】 首都高速湾岸線（千鳥町出入口） 東関東自動車道（湾岸市川IC） ※東京外かく環状道路を整備中	【一般国道】 国道14号 国道298号 国道357号 国道464号
	【その他有料道路等】 京葉道路（市川IC、原木IC）	

(2) 沿革

市の北部に広がる台地には、堀之内、曾谷及び姥山貝塚をはじめとする数多くの遺跡があり、古代より人が住みつき生活の場として栄えてきたことを物語っています。

7世紀には現在の国府台周辺に下総の国府が置かれ、8世紀には現在の国分に国分寺が建立されるなど、本市は常に地方行政や文化の中心として発展してきました。

江戸時代には、行徳地区が幕府直轄の天領となり、製塩や水運で発展しました。明治6年に千葉県在所管となり、明治22年の町村制実施を経て、昭和9年11月3日に市川町、八幡町、中山町及び国分村が合併し、千葉県では、千葉市、銚子市について3番目に市制を(約2,295ヘクタール)施行しました。

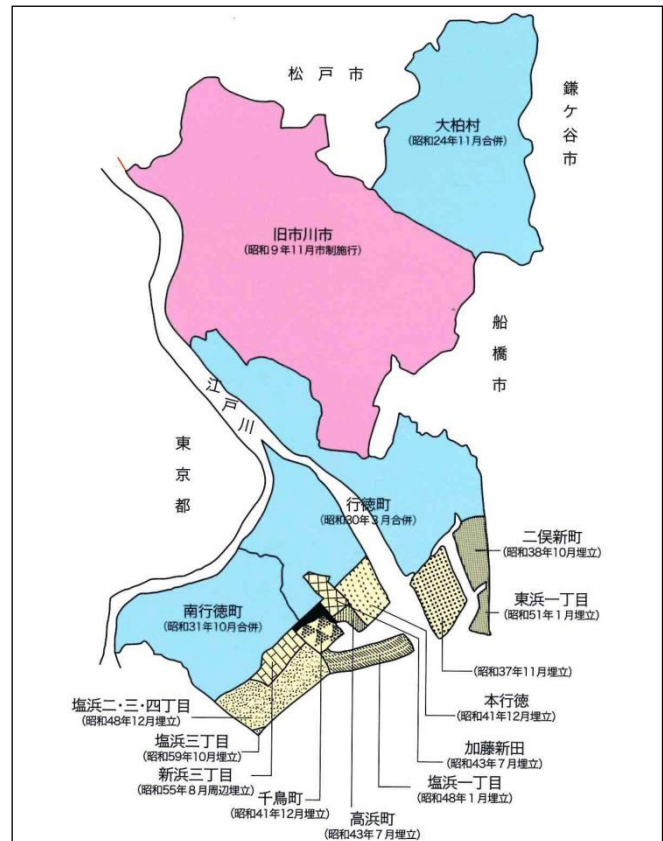
その後、昭和24年11月3日に大柏村、30年3月31日に行徳町、31年10月1日には南行徳町と合併し、さらに、昭和30年代より、京葉工業地帯の開発計画の一環として、公有水面埋立事業を実施し、高谷新町、二俣新町をはじめとする約500ヘクタールに及び土地が造成され、市域が拡大してきました。

昭和59年には、市制施行当初の約2.5倍となる市域面積(約5,639ヘクタール)となり、現在に至っています。

(3) 交通状況

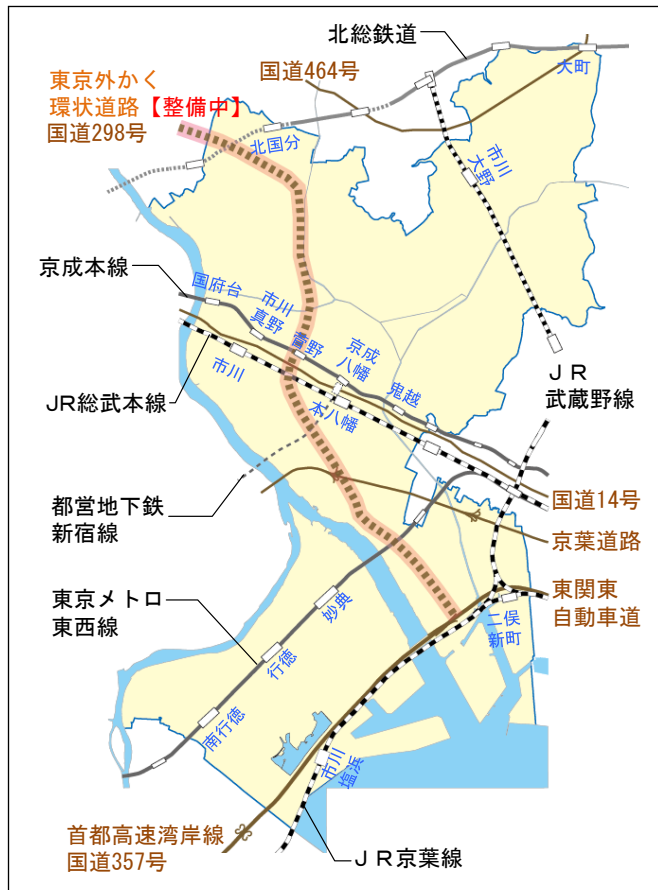
本市には、都心部と県内各地域を結ぶ広域交通が集中しており、JR総武本線・京葉線・武蔵野線、京成本線、東京メトロ東西線、都営新宿線、北総鉄道といった鉄道や、京葉道路・湾岸道路などの幹線道路が東西方向に通っています。さらに、広域交通網として市域を南北につなぐ東京外かく環状道路の整備に合わせた都市計画道路や下水道整備が予定されています。

図表 市域の変遷



出典：市政ガイドブック

図表 市内の鉄道及び主要道路



2. 市の人口特性

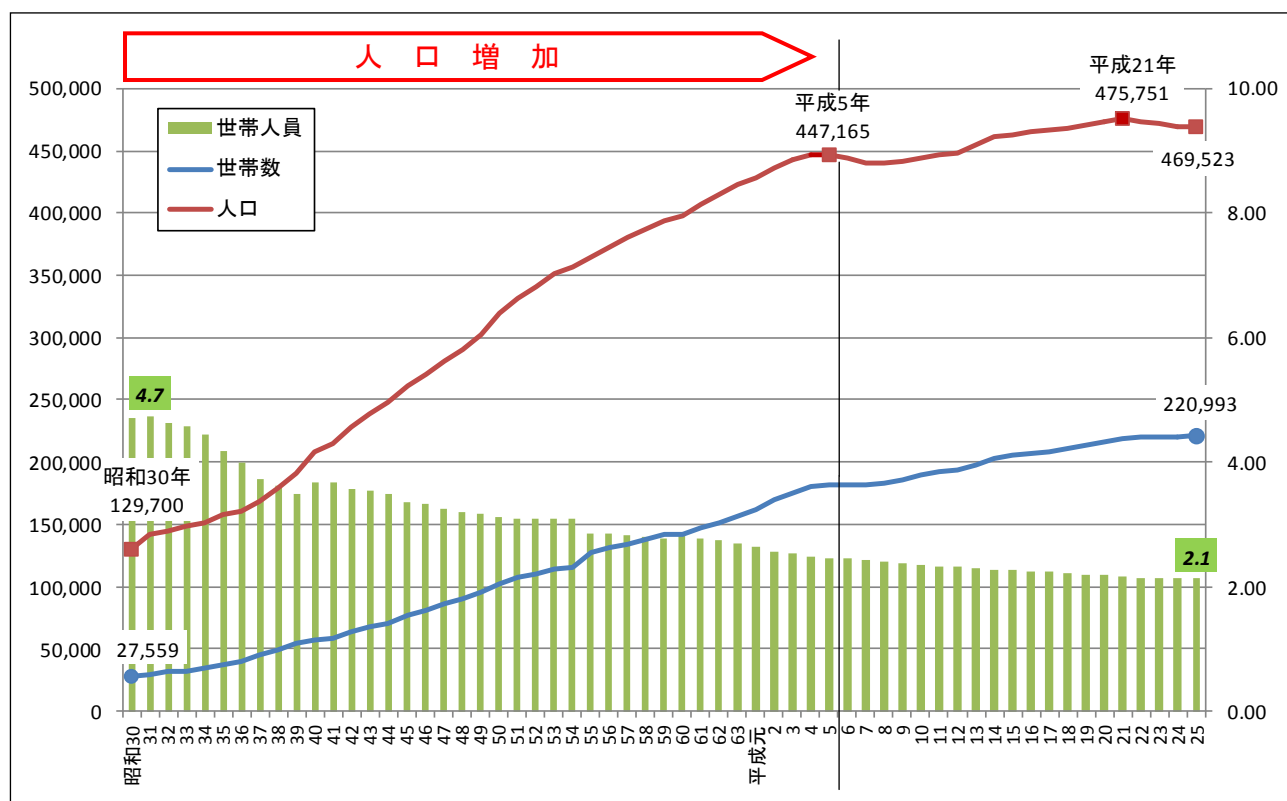
(1) 市全体の人口推移

本市は、首都圏の良好な住宅都市として発展してきたことから、その人口は、わが国の高度経済成長に合わせて、昭和30年代から急激に増加し、平成5年には約44.7万人まで増加しました。その後は、ほぼ横ばいか微増傾向となり、平成21年の約47.6万人をピーク（実際のピークは平成22年7月の476,069人）に微減傾向に転じ、平成25年時点では約47.0万人となっています。

世帯数の推移をみると、昭和30年の約2.8万世帯が平成25年には約22.1万世帯となっており、最近ではほぼ横ばいとなっています。

また、1世帯当たりの人員をみると、昭和31年の4.7人/世帯から減少し、平成25年には2.1人/世帯となっています。

図表 人口及び世帯数の推移（各年10月1日）



出典：市川市統計年鑑

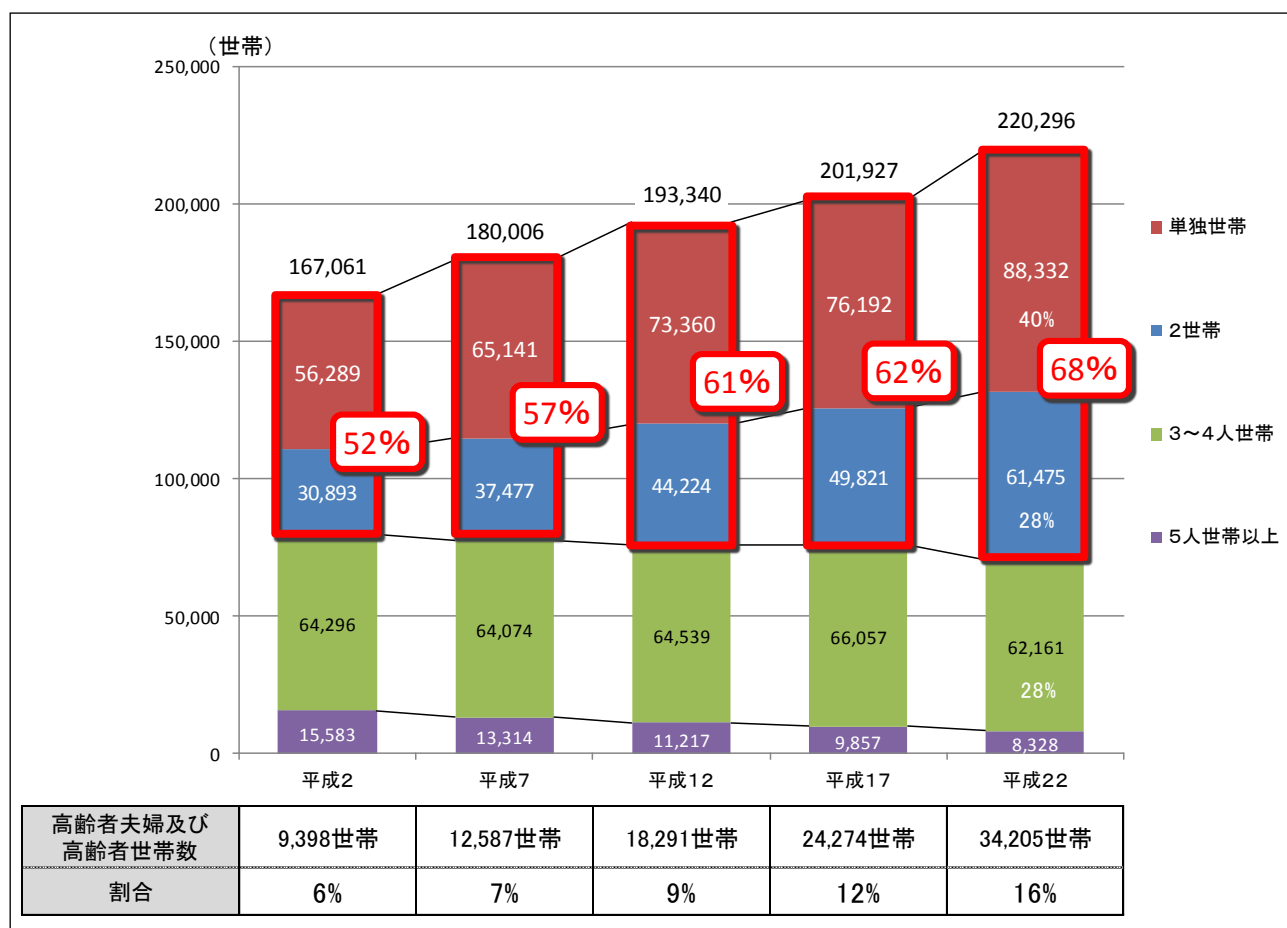
(2) 世帯構成の推移

平成22年度の本市の世帯構成は、単独世帯（1人世帯）が約8.8万世帯と全体の40%を占めています。2人世帯は約6.1万世帯と全体の28%となっており、2人世帯以下で全体の約7割を占めています。

平成2年からの推移をみると、1世帯当たり3～4人、5人以上世帯が減少傾向となっている一方、単独世帯及び2人世帯が増加しています。

特に高齢者夫婦のみの世帯及び高齢者単身世帯の割合は平成2年の6%から20年間で16%まで増加しています。

図表 世帯数の推移（各年10月1日）



出典：国勢調査

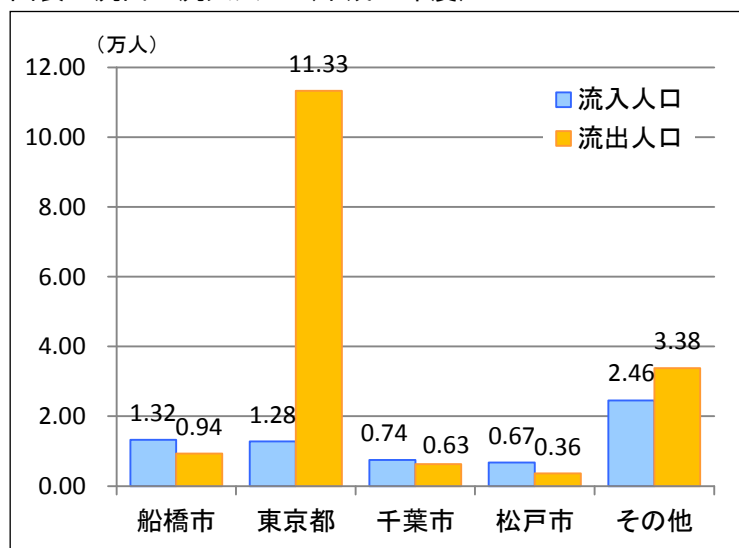
(3) 市民の流出・流入状況

本市では、昼間、市民の約35%（約16.6万人）が通勤・通学等で市外に流出しています。流出先は、東京都が約11.3万人と68%を占めており、本市が東京のベッドタウンとなっていることが分かります。その他の流出先は、船橋市が約0.9万人、浦安市が約0.8万人、千葉市が約0.6万人となっています。

一方、昼間人口の約17%（約6.5万人）は市外からの通勤・通学者で、流入元は、船橋市及び東京都が約1.3万人、千葉市が約0.7万人、松戸市が約0.7万人となっており、近隣市からの流入が多くなっていることが分かります。

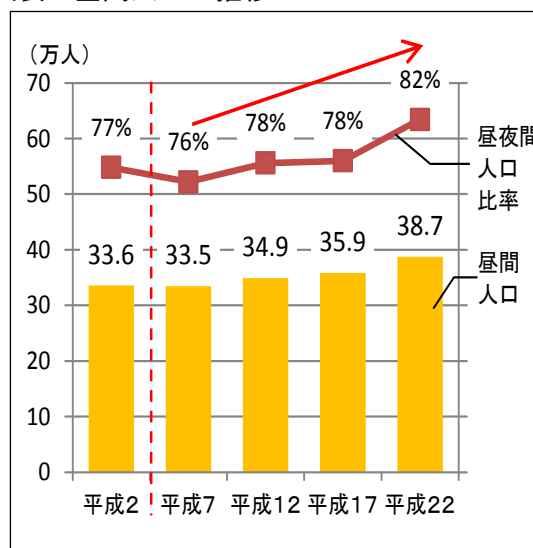
流出・流入人口の推移をみると、流出人口・流入人口共に平成7年をピークに減少傾向となっており、昼夜間人口比率は年々増加傾向となっています。また、人口は平成7年以降、微増または横ばい傾向となっていることから、増加したリタイア世代が、昼間市内に留まっている傾向にあることが分かります。

図表 流出・流入人口（平成2年度）



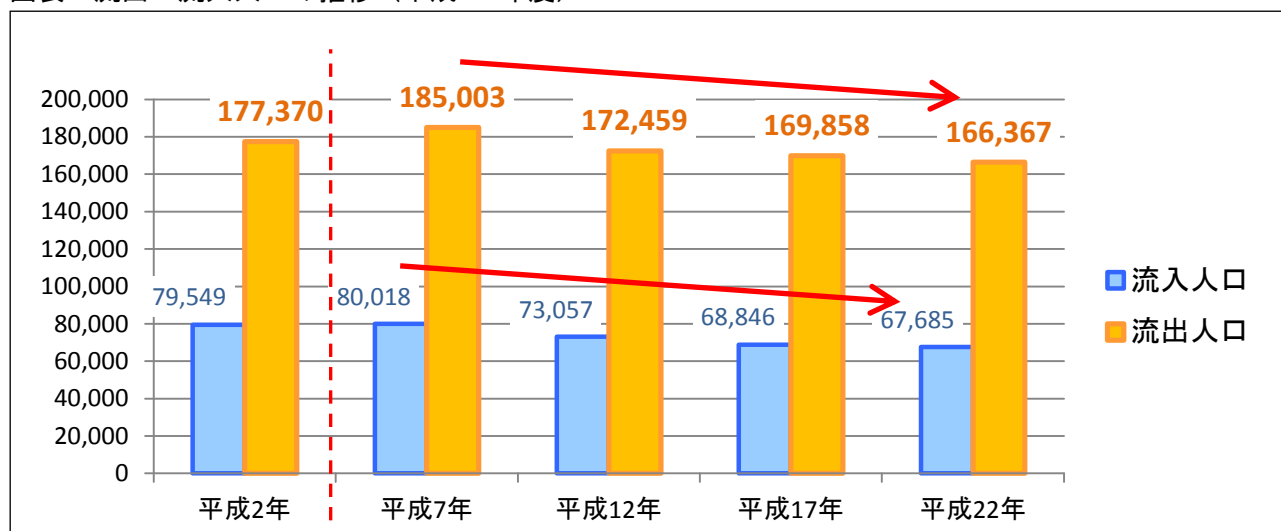
出典：国勢調査

図表 昼間人口の推移



出典：国勢調査

図表 流出・流入人口の推移（平成22年度）



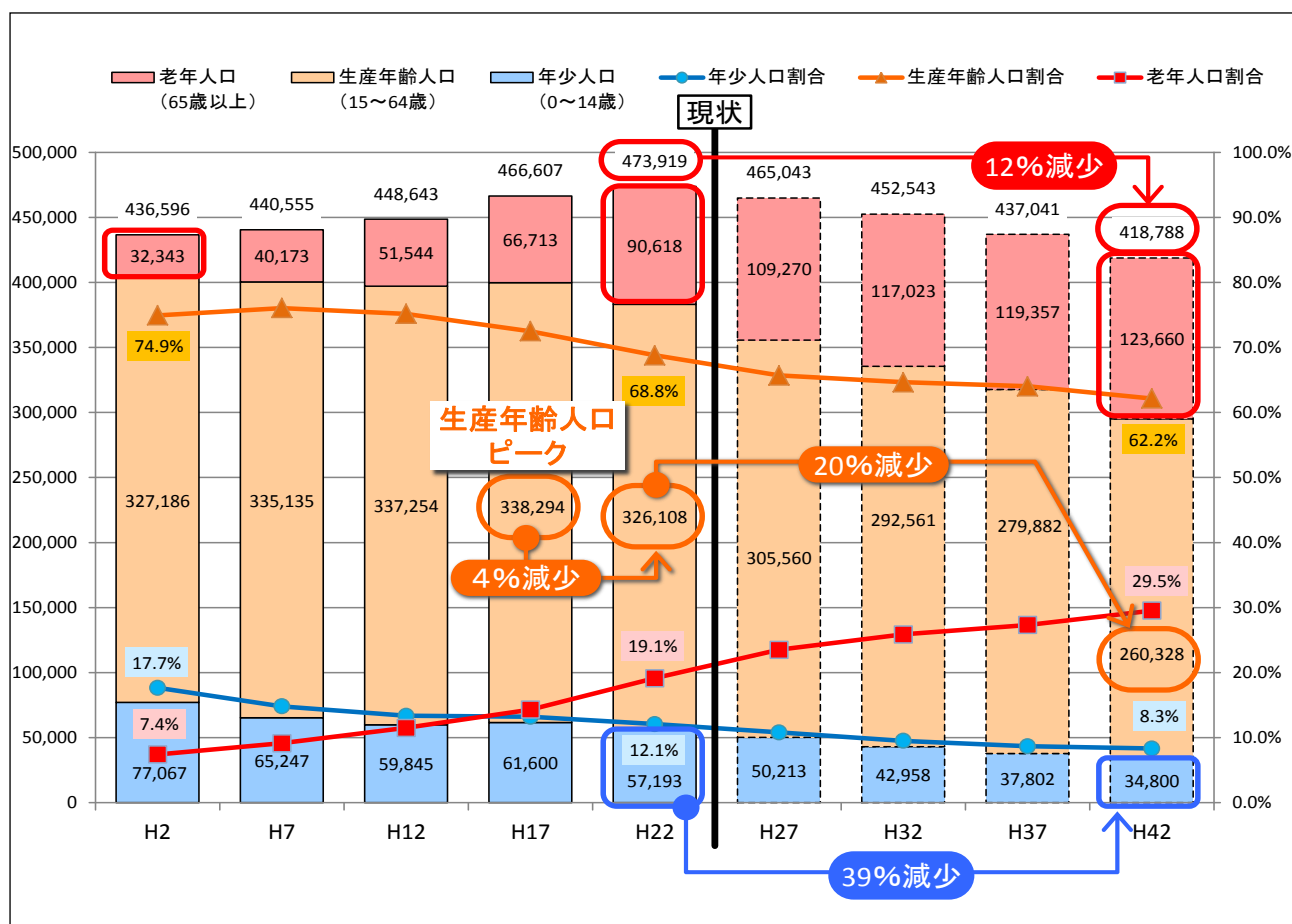
出典：国勢調査

(4) 年齢階層別の将来人口推計

年齢3区分（老年人口、生産年齢人口、年少人口）別の人口変化をみると、平成2年から平成22年までの20年間では、人口が約9%増加する中で、65歳以上の老年人口は約3.2万人から約9.1万人と約3倍に増加しています。年少人口は約7.7万人から約5.7万人まで約2万人減少しています。また、生産年齢人口は、平成17年をピークに減少傾向となっており、将来的な経済規模の縮小や後継者不足が懸念されます。

将来人口推計をみると、平成42年までに人口が約12%減少すると予測されています。その内訳をみると、高齢者人口が平成42年で約12.4万人と、約1.4倍に増加すると予測されている一方で、年少人口は平成42年で約3.5万人と、約2.2万人減少すると予測されており、年齢構成が大きく変化することにより、公共施設に求められるサービスのニーズも大きく変化していくものと考えられます。

図表 将来人口推計



※平成22年までは国勢調査による実数値であり、総人口には年齢不詳も含まれます。

出典：市川市将来人口推計（平成24年度）

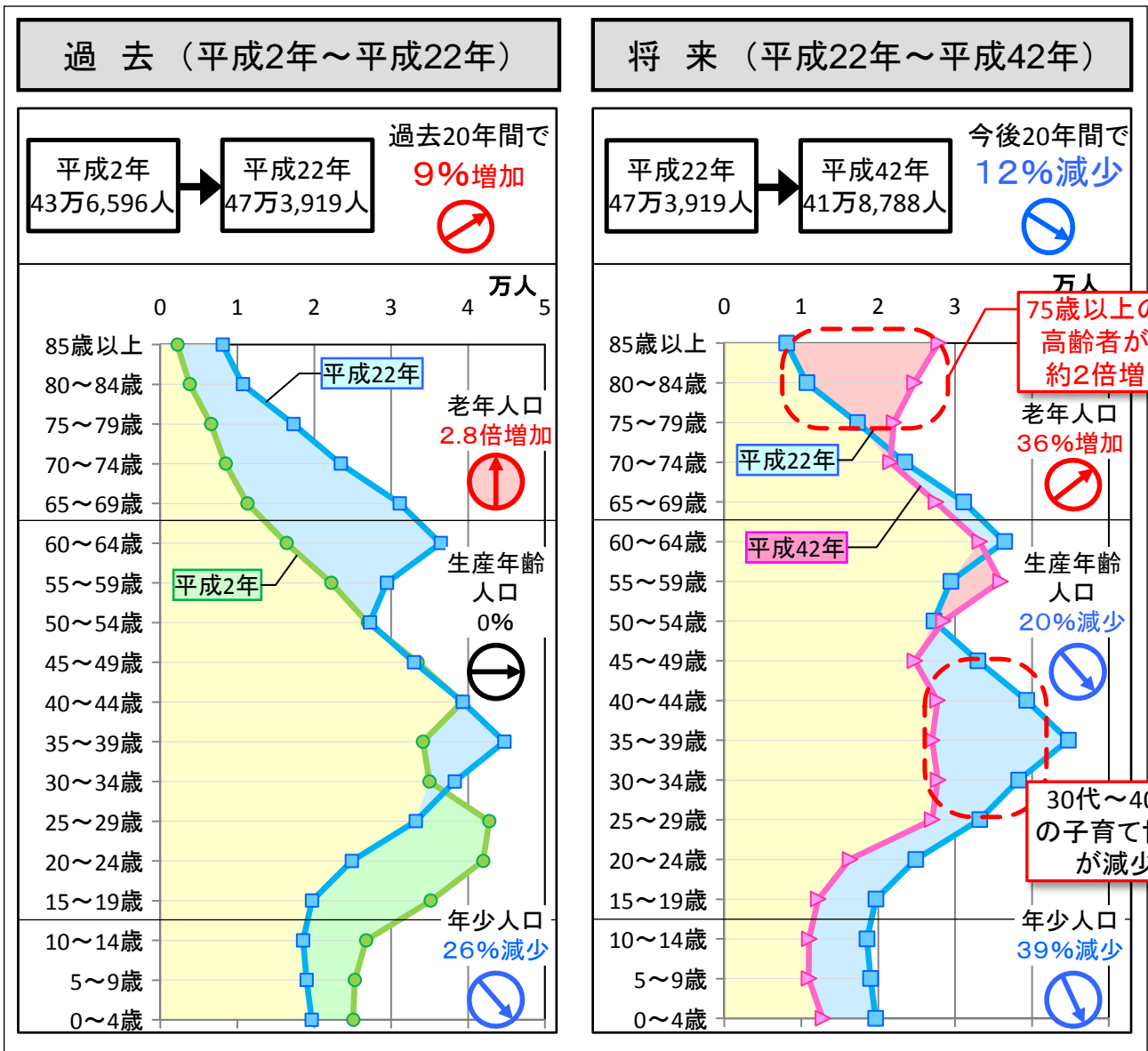
■ 5歳階級別の人口変化

平成2年からの20年間をみると、生産年齢人口はほぼ横ばいとなっていますが、その内訳は、15歳から29歳までの若年層が減少しており、その分50歳以上が増加していることがわかります。

今後の20年間では、生産年齢人口自体が20%減少するだけでなく、特に30代から40代の子育て世代が大きく減少することが予測されているため、年少人口が今後20年間で約40%減少する、さらなる少子化が予測されています。

老年人口をみると、今後20年間では、特に75歳以上の高齢者が、急速に増加すると予測されています。

図表 5歳階級別人口変化

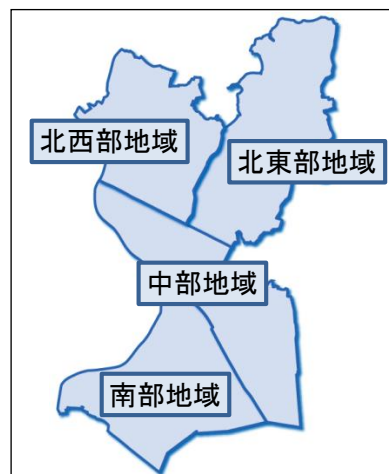


出典：市川市将来人口推計（平成24年度）

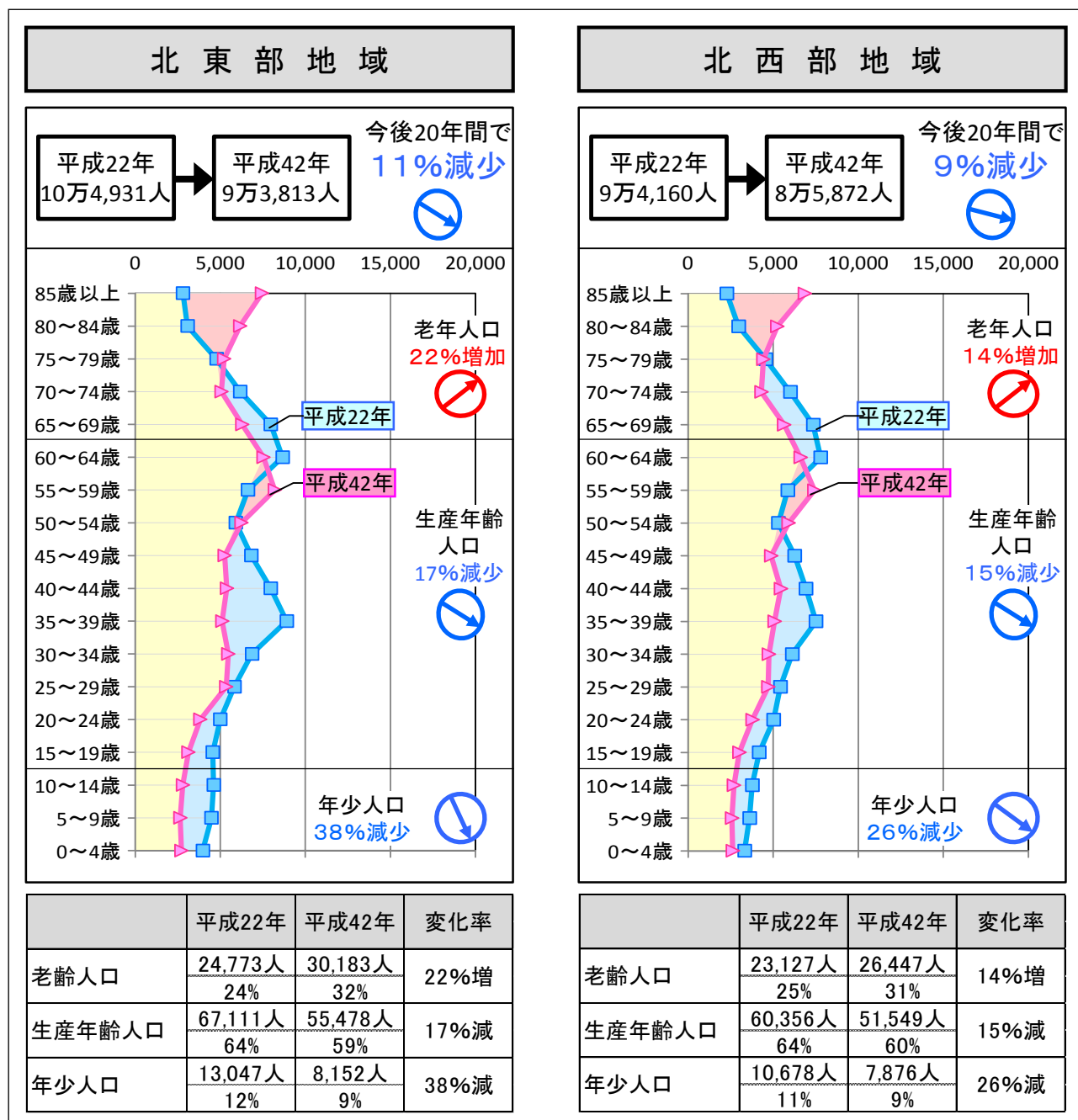
(5) 4地域別の人口（平成22年～平成42年）

本市では、市の中央部を東西に横断する鉄道や市の南部を流れる江戸川放水路などの地形地物により、市域を4つの地域に分けてまちづくりを検討しています。

平成42年までの将来人口の変化をみると、市全体では約12%減少すると予測されている中、地域ごとの人口変化をみると、地域全体では、一律減少傾向となっていますが、減少割合は北西部地域の9%から南部地域の14%減少と差があります。



図表 4地域別の5歳階級別人口変化（平成22年～平成42年）

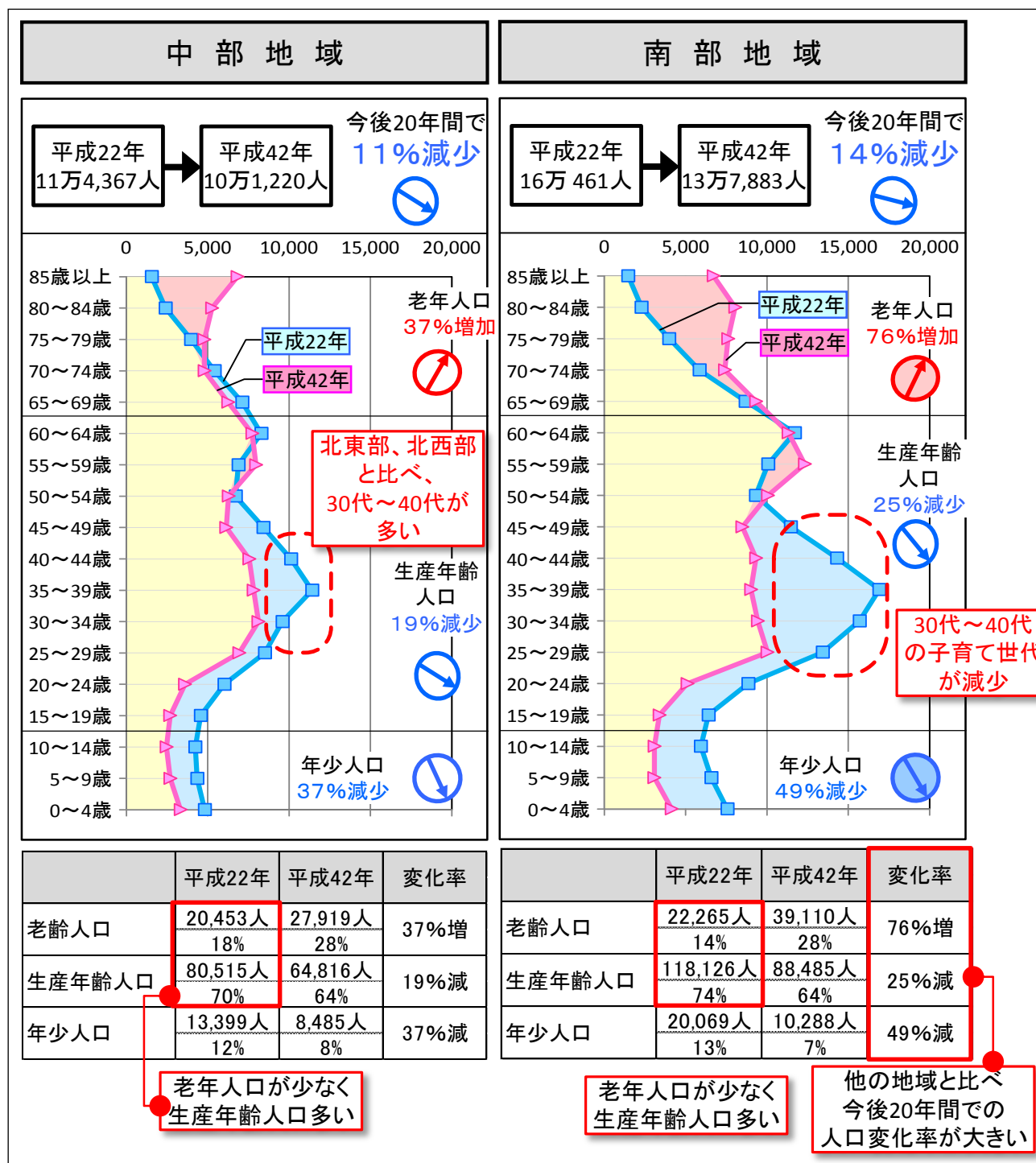


出典：市川市将来人口推計（平成24年度）

平成22年度時点の中部地域及び南部地域においては、北東部地域、北西部地域と比べ生産年齢人口割合が70%から74%と高く、特に30代から40代までの子育て世代が多くなっていましたが、平成42年までに大きく減少することが予測されています。

南部地域では、30代から40代までの子育て世代が約4割減少すると予測され、年少人口も5割近く減少すると予測される一方、65歳以上の老年人口は8割近く増加すると予測されており、他の地域と比べ、人口構成が大きく変化することが予測されています。

図表 4 地域別の5歳階級別人口変化（平成22年～平成42年）



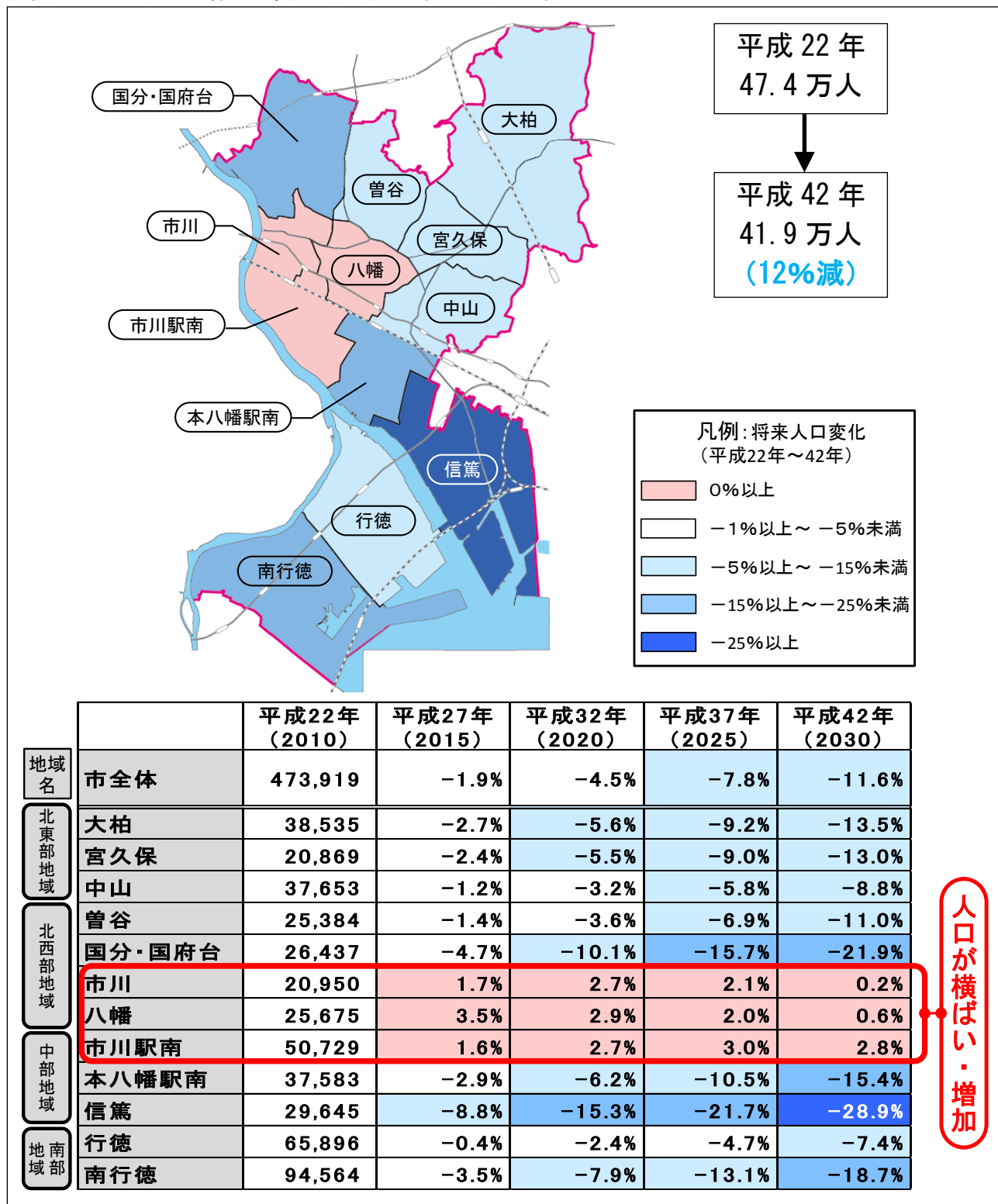
出典：市川市将来人口推計（平成24年度）

(6) 12地区ごとの将来人口推計（平成22年～平成42年）

より詳細な12地区ごとの将来人口推計をみると、市川地区や八幡地区、市川駅南地区といった再開発が行われた駅周辺では、横ばい又は増加すると予測されています。

また、同じ中部地域でも、信篤地区では、平成42年までに3割近く減少すると予測されており、同一地域内でも人口変化が異なることが分かります。

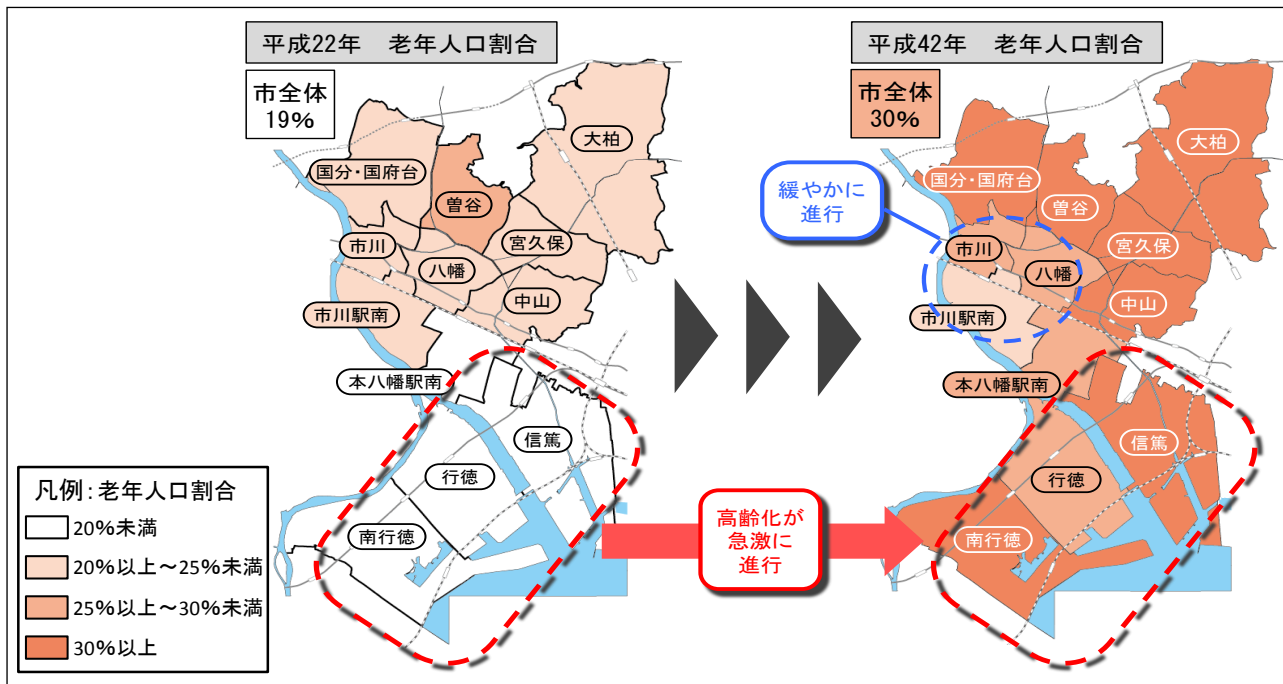
図表 12地区別の全体人口変化（平成22年～平成42年）



■ 老年人口（65歳以上）の変化（平成22年～平成42年）

老年人口割合の変化を12地区ごとに詳細に見ていくと、市川駅の周辺では高齢化が緩やかに進むと予測されています。また、市の北部や南部では、平成42年には老年人口割合が30%以上と高くなると予測され、特に市の南部において急激な高齢化の進行が予測されています。

図表 12地区別の老年人口割合の変化（平成22年～平成42年）

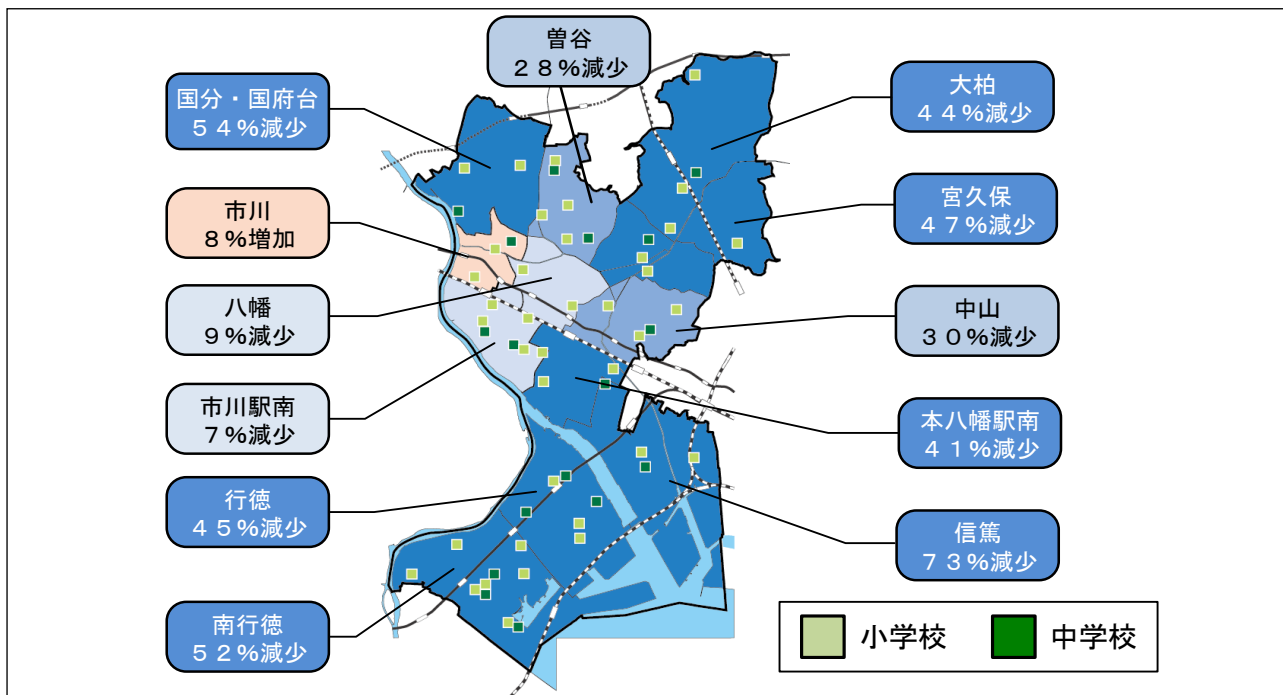


出典：将来人口推計（平成24年度）

■ 年少人口（14歳以下）の変化（平成22年～平成42年）

年少人口の変化を12地区ごとに詳細に見ていくと、市川地区は約8%増加すると予測されている一方、市北部の大柏地区や南部の行徳地区等市域の多くでは5割近く減少すると予測されています。

図表 12地区別の年少人口の変化（平成22年～平成42年）



3. 市のまちづくり

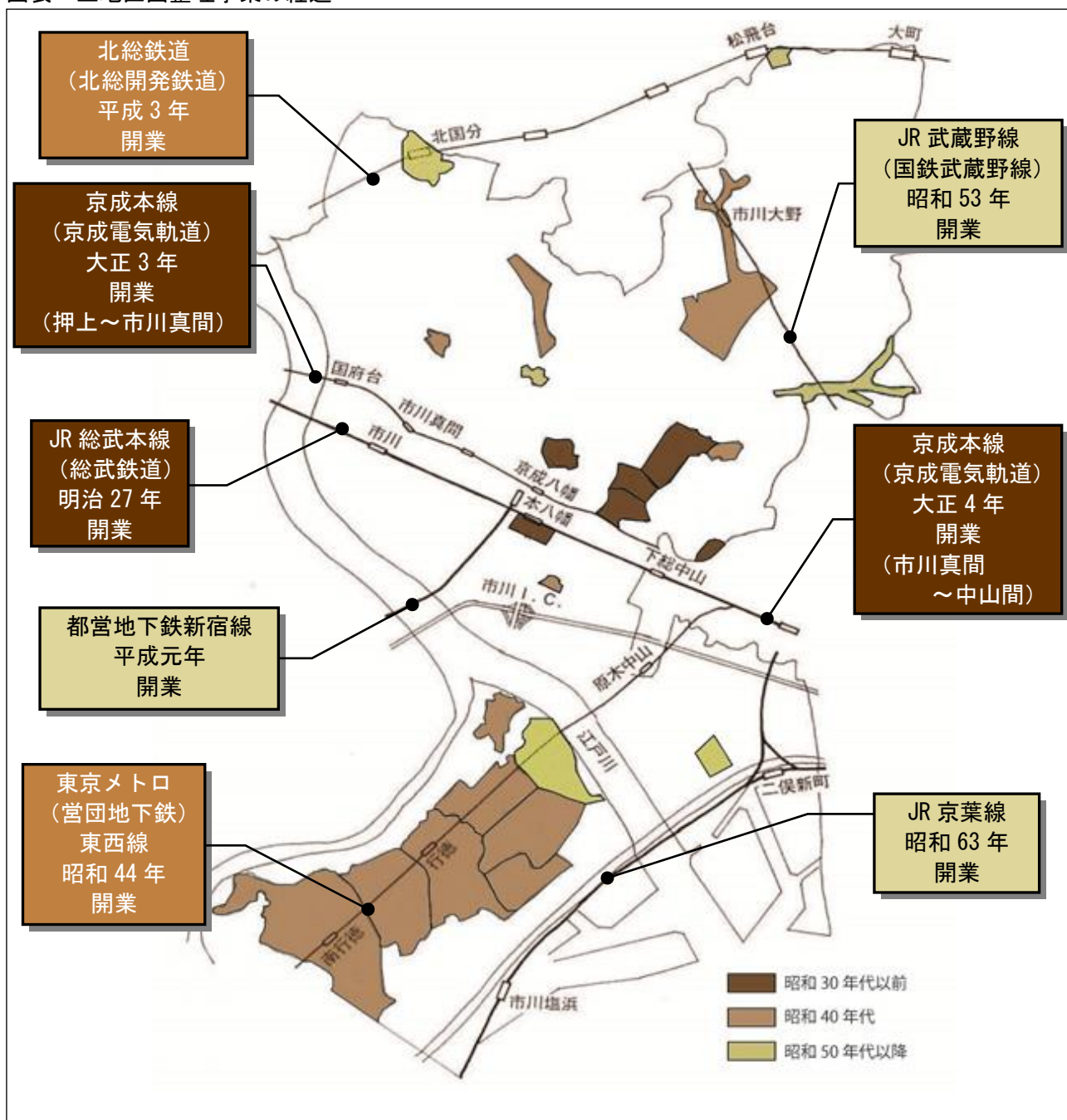
(1) これまでの開発動向

昭和30年代までは、JR総武本線沿線、京成本線沿線を中心に土地区画整理事業等が行われていました。

その後、昭和40年代に入り、行徳地区で東京メトロ東西線の開業（昭和44年）と共に沿線の土地区画整理事業が一斉に行われました。また、昭和48年より大野周辺でも比較的広範囲な土地区画整理事業が行われ、JR武蔵野線が延伸開業（昭和53年）しています。

このように、本市では、鉄道の開業等に合わせ土地区画整理事業等によって開発が進められてきました。

図表 土地区画整理事業の経過



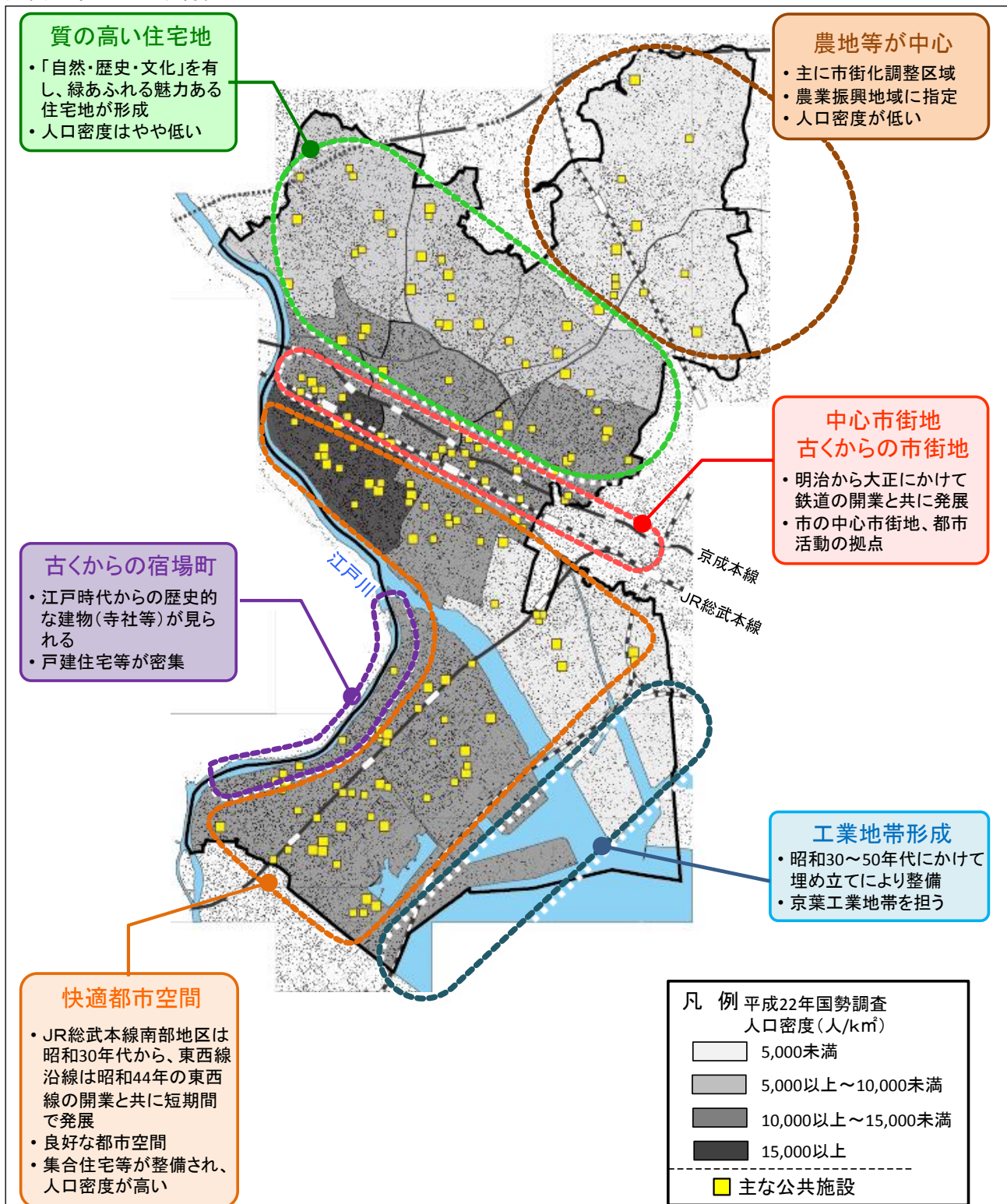
出典：市川市の都市基盤（概要）

(2) 地域特性

市内の特性をみると、京成本線とJR総武本線周辺に都市機能が集積した中心市街地が形成されており、JR総武本線より南部には良好な都市空間が形成されています。

一方、北部には農地等が広がり、臨海部の埋め立て地域には、工場が集積している等、市内において、まちの成り立ちなどにより、人口分布や土地利用等の特性が大きく異なっていることがわかります。

図表 市内の地域特性



第2章 市が保有する財産の状況及び 資産の有効活用の必要性

第2章 市が保有する財産の状況及び資産の有効活用の必要性

1. 財政の状況

(1) 歳入

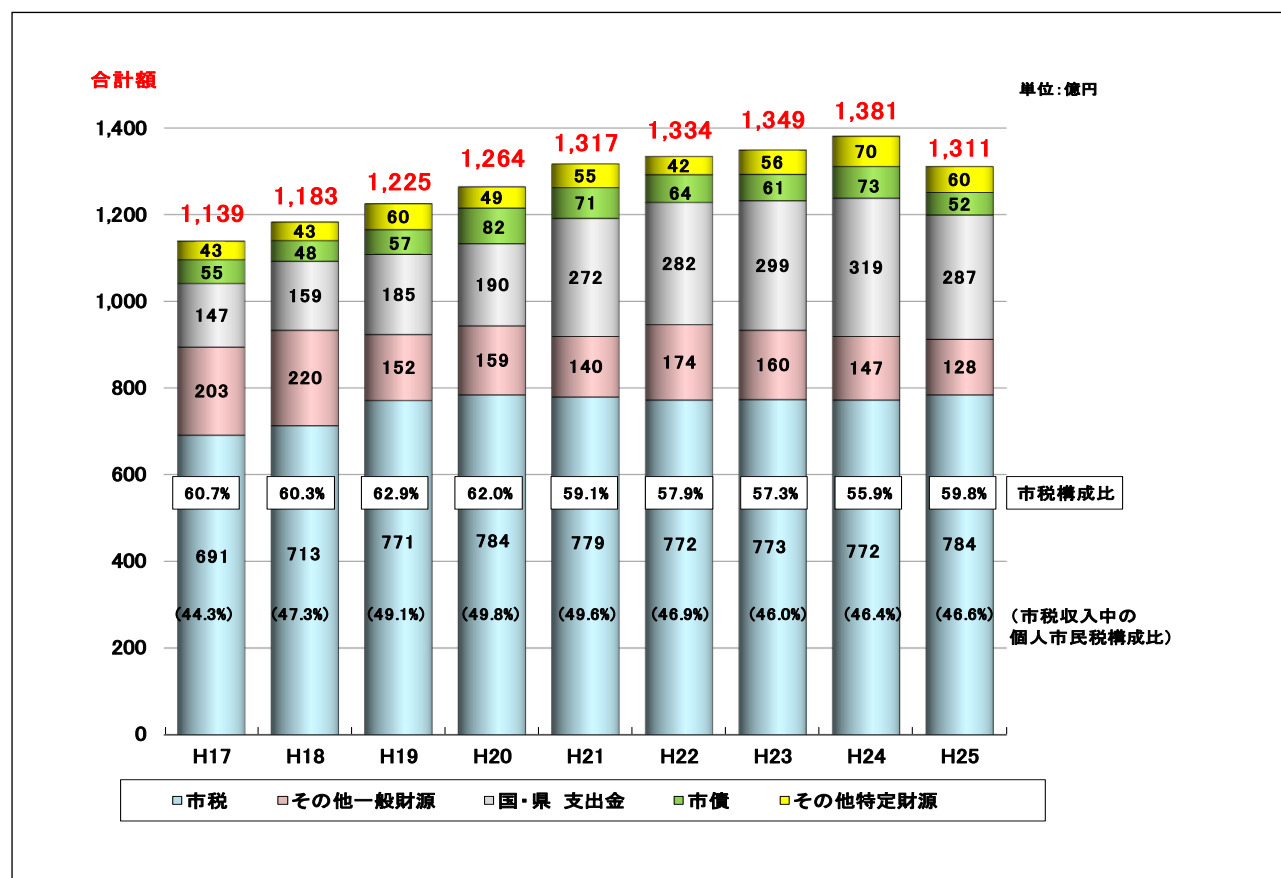
本市の歳入は市税収入が59.8%を占めており、総務省発表による平成25年度決算全国市町村の平均32.6%を大きく超え、自主財源の比率が高く、自主的な財政運営ができる自治体であると捉えることもできる反面、景気変動などの外的要因による変化を受け易い個人市民税が市税収入全体の46.6%を占めています。

そのため、平成20年度のリーマンショック後においては、景気低迷の影響を受けて個人市民税が大きく減額となり、市税収入に占める割合も徐々に減少してきています。平成24年度以降の国による経済対策の結果、市税収入にも改善の兆しが見えてきたとも言えますが、基幹税である個人市民税は未だリーマンショック前の状況まで回復に至っていません。

また、将来的にも生産年齢人口の減少などのマイナス要因を考慮すると、税源移譲等の抜本的な税制改正などが無い限り、市税収入の大幅な増額を期待することはできない状況です。

しかしながら、将来的に大幅な歳入増が見込めない中においても、都市部としての課題である道路や下水道等のインフラ整備、老朽化した公共施設への対応など、今後は建設事業への資本投資が相当量見込まれるため、安定した財源のさらなる確保に努める必要があると言えます。

図表 歳入の推移



(2) 歳出

本市の歳出規模は増加傾向にあり、これは主に義務的経費のうち扶助費に起因しているもので、人件費と借金の返済である公債費は減少傾向にあります。扶助費については増加傾向となっており、平成17年度と比較すると平成25年度では約2倍強もの伸びとなっています。

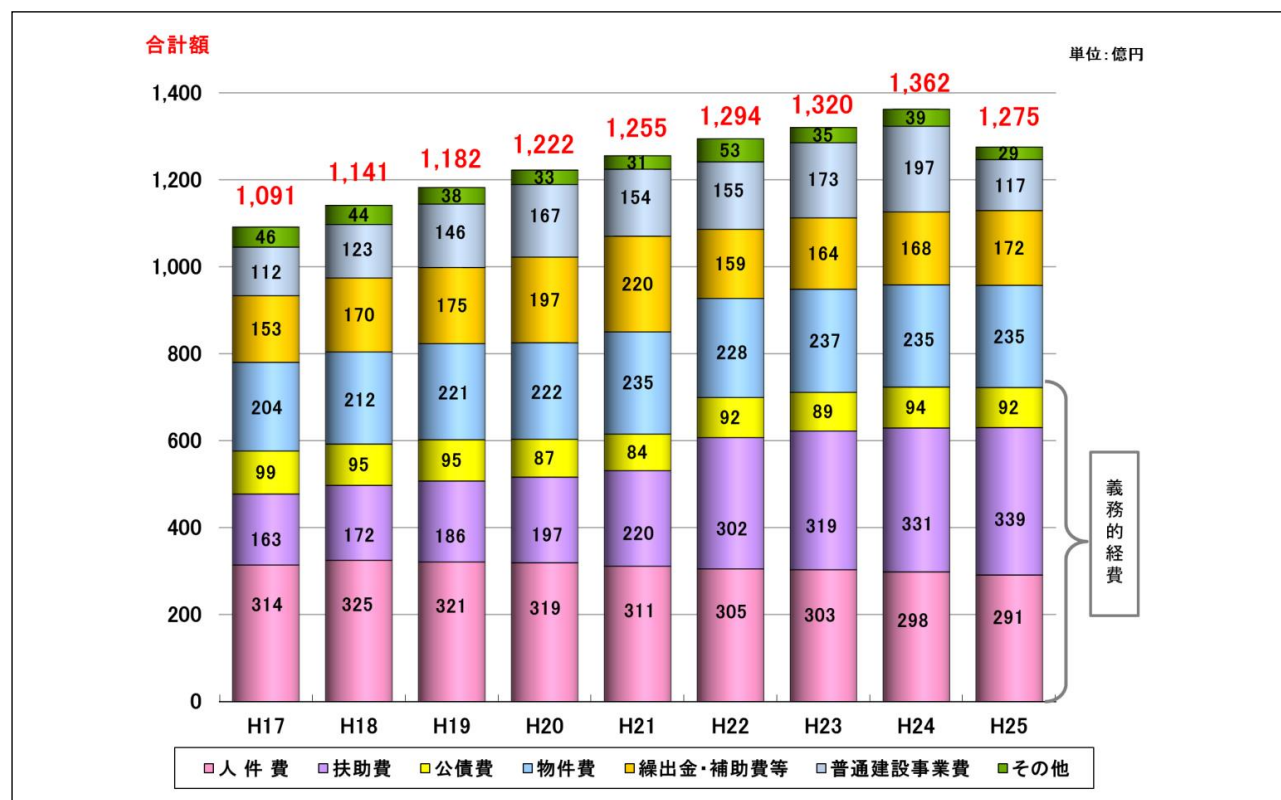
この扶助費の増加の要因は、介護、自立支援、生活保護などの社会保障関係経費が伸びてきたことと、景気悪化の影響により増加してきたものであり、今後も更なる高齢化と経済情勢次第で増加する可能性は十分にあります。

一方、投資的経費である道路や公共施設の建設・整備などに係る普通建設事業については、義務的経費の増加に対応するために、ある程度の抑制をしなければならない状況にあります。国や県からの補助金や市債などの特定財源を活用しながら、一定の事業量を確保し適切な行政サービス維持に努めています。

しかしながら、現在、本市が保有するインフラ施設や公共施設などの老朽化が進み、今後、数年のうちに多くの施設が更新時期に入ってきます。

特に、市単独で行う建設事業が増加していくものと見込まれるため、単独事業についてもできる限り市債などの活用を図りながら、併せて施設の効率的な維持管理・保全を行い、サービスを低下させることなくコストの削減を図っていく必要があります。

図表 歳出の推移



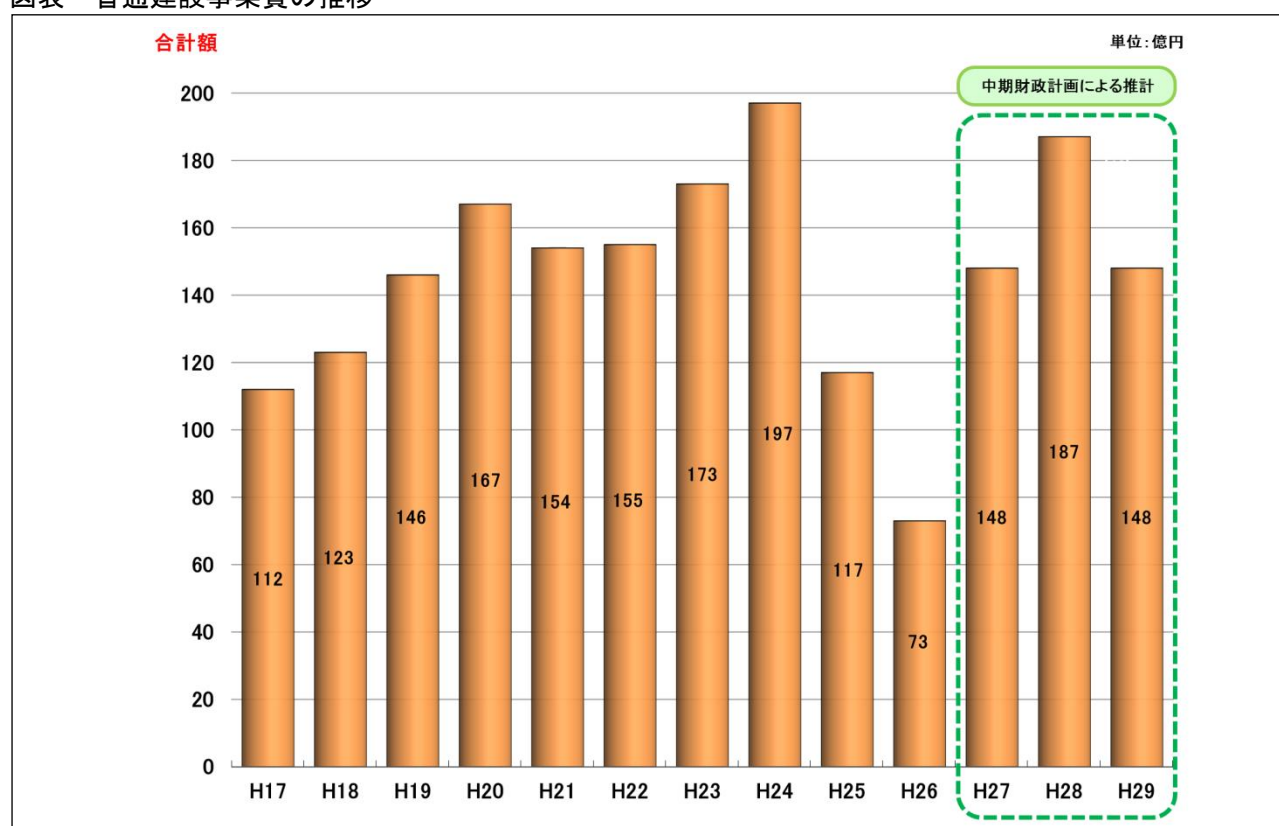
(3) 今後の見通し

歳入と歳出の両面で本市の特徴を述べてきましたが、今後の見通しとして、歳入は根幹を成す市税収入の大幅な伸びを期待できず、歳出においては社会保障関係経費や老朽化した公共施設への対応などがあり、厳しい財政運営を強いられると言えます。歳入歳出の収支バランスは結果として、今後数年は既存の歳入で歳出総額を賄いきれない、いわゆる歳出超過の状況が続くものと見込まれます。

また、本市では道路をはじめとするインフラ施設、小中学校や公民館などの公共施設等は行政サービスを提供していく上で基盤とも言えるものであると捉え、これまで一定量の資本投資を行うよう努めてきました。普通建設事業費については、これまで進めてきた大規模建設事業の完遂により一時的に事業費全体が減少しますが、今後、庁舎整備事業などの大規模建設事業の進捗により、再び事業費が増加するものと見込まれ、更に更新時期を迎える公共施設などへの対応もあるため、相当量の投資が見込まれます。

このような見通しの中、今後はこの「公共施設白書」をふまえ、如何にして効率的かつ効果的にこれらの施設へ対応をしていくかが、重要な検討事項であると言えます。

図表 普通建設事業費の推移



※平成 25 年度までは決算額、平成 26 年度は当初予算額、平成 27～29 年度は中期財政計画による推計です。

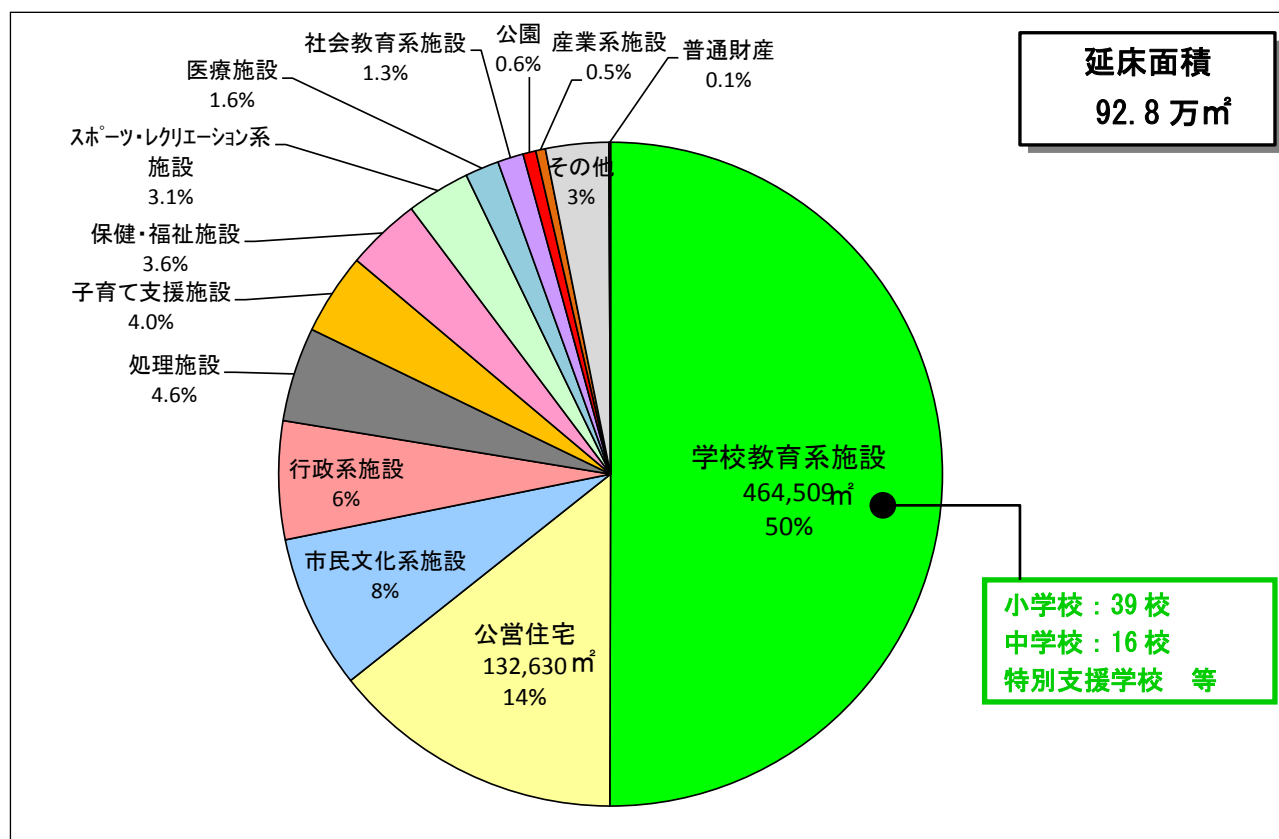
2. 保有する資産の状況

(1) 保有する建物の内訳

本市が保有する建物の延床面積は、約 92.8 万㎡となっています。

その内訳をみると、学校教育系施設（小学校 39 校、中学校 16 校、特別支援学校等）が約 46.5 万㎡と全体の約 50%を占めています。次いで、公営住宅が約 13.3 万㎡（14%）、集会施設等の市民文化系施設が約 7.0 万㎡（8%）、庁舎や支所等の行政系施設が約 5.3 万㎡（6%）の割合となっています。

図表 公共施設の建物面積の内訳



用途名	延床面積	面積比	用途名	延床面積	面積比
学校教育施設 (小学校・中学校・特別支援学校等)	464,509㎡	50.0%	スポーツ・レクリエーション系施設	28,691㎡	3.1%
公営住宅	132,630㎡	14.3%	医療施設 (リハビリテーション病院等)	15,312㎡	1.6%
市民文化系施設 (公民館等)	69,692㎡	7.5%	社会教育系施設 (図書館、博物館等)	11,703㎡	1.3%
行政系施設 (市役所等)	53,438㎡	5.8%	公園	5,849㎡	0.6%
処理施設	42,650㎡	4.6%	産業系施設	4,361㎡	0.5%
子育て支援施設 (保育園、こども館、放課後保育クラブ等)	36,779㎡	4.0%	その他 (駐車場等)	29,236㎡	3.1%
保健・福祉施設 (保健センター、老人ホーム等)	33,518㎡	3.6%	合計	928,368㎡	

(2) 公共施設の築年別整備状況

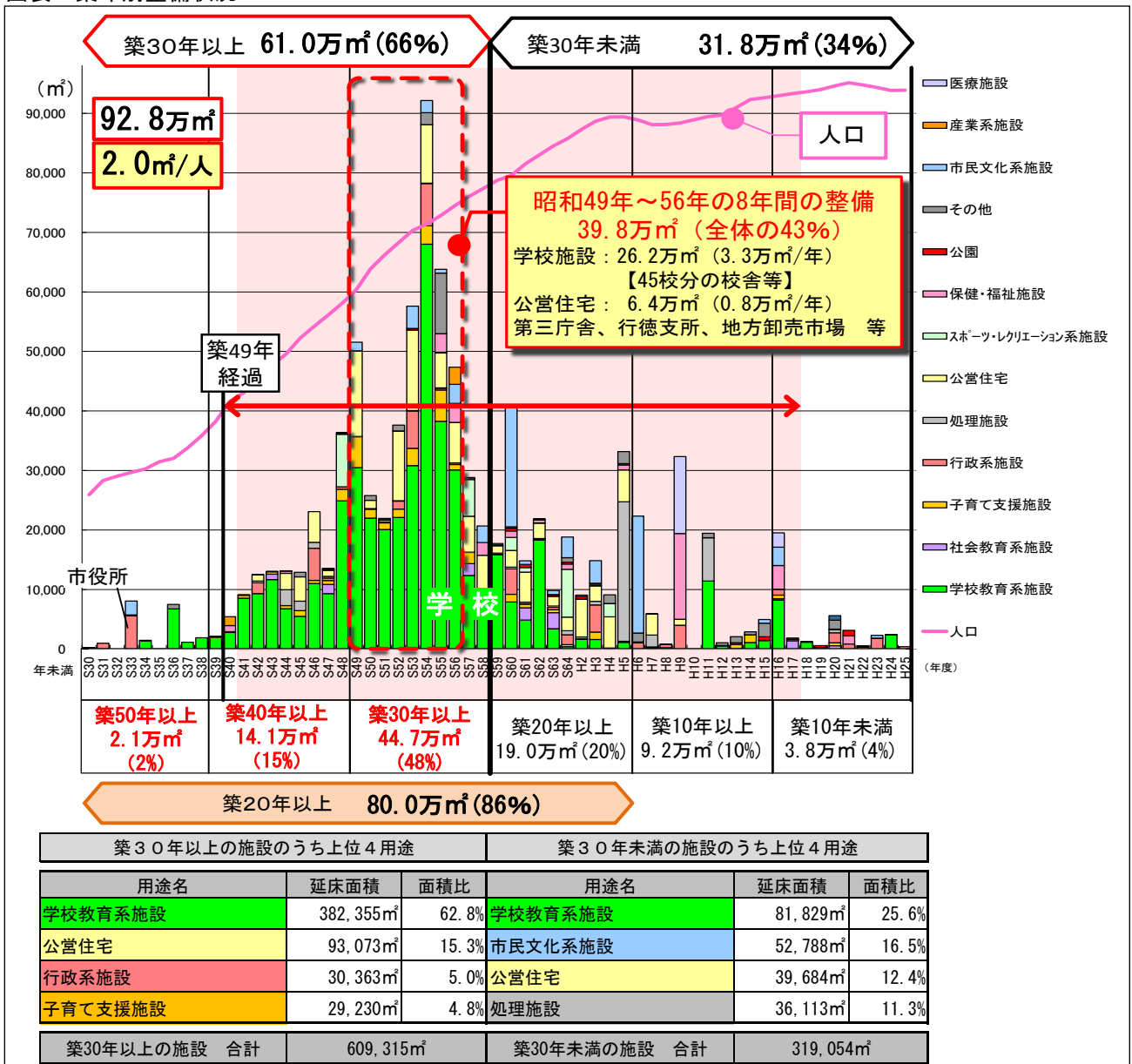
本市が保有する公共施設（約92.8万㎡）は、市民1人あたりでは約2.0㎡となっています。

築年別の整備状況をみると、築30年以上が約61万㎡と66%を占めており、全体的に老朽化が進行しています。

整備状況をみると、昭和40年代から主な整備が始まっており、平成11年まで継続的に整備が続いていました。特に昭和50年代には、年間4万㎡以上を集中的に整備しており、これらの施設が築30年以上を経過した現在、老朽化対策が重要な課題となっています。また、平成5年から平成11年にかけては、バブル経済の崩壊に伴う景気回復策の一貫としての公共施設整備が行われましたが、これらの施設も今後10年間で老朽化対策が必要な施設となってきます。築20年以上の施設は市全体の約8割を占めていますので、今後ほとんどの公共施設に対し、何らかの老朽化対策等が必要となります。

築30年以上の施設の内訳をみると、学校施設が約63%を占めており、次いで公営住宅が約15%となっています。

図表 築年別整備状況

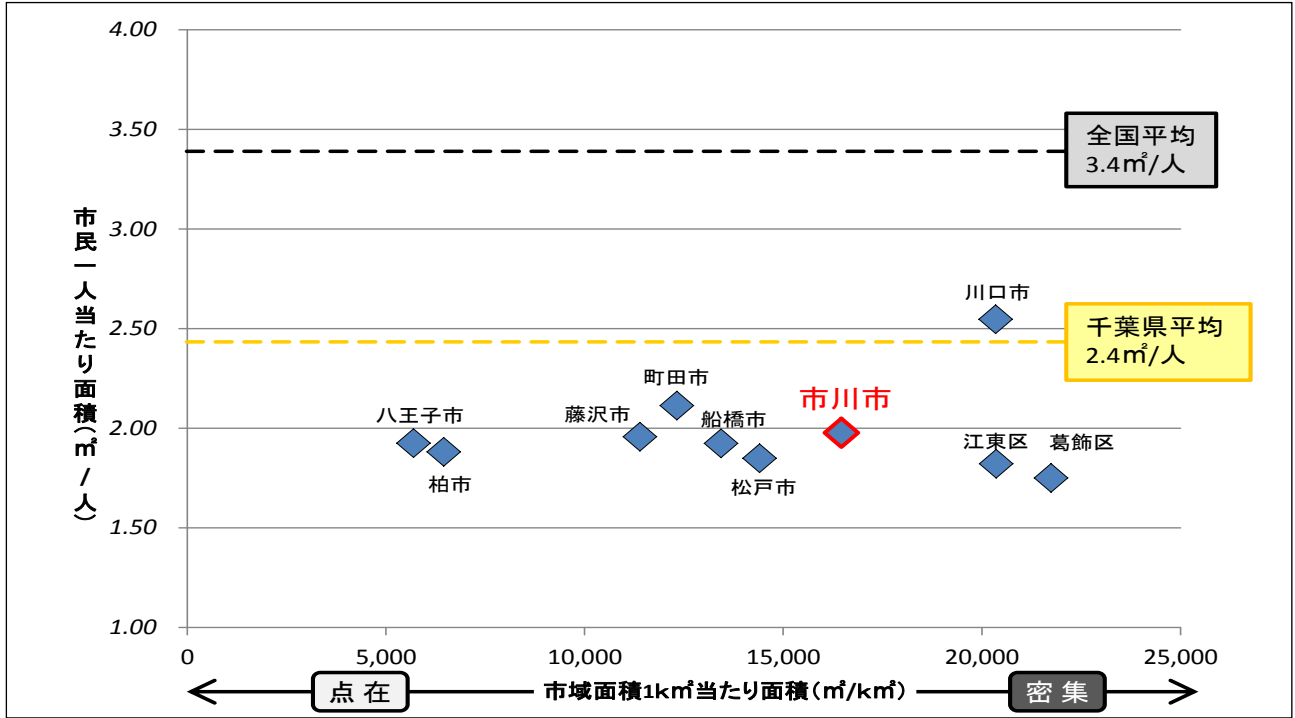


(参考) 近隣自治体との比較

本市が保有する公共施設(約92.8万㎡)は、市民1人当たり約2.0㎡、1km²当たり約1.6万㎡となっています。人口がほぼ同規模の近隣自治体と比べると、概ね同程度の整備状況となっていますが、千葉県平均(2.4㎡/人)と比べると、若干少ない状況です。また、東京都の特別区を除けば、比較的密集して公共施設が整備されています。

また、公共施設の保有割合をみると、他の自治体と比べ、公営住宅の割合が14%と若干高くなっています。

図表 人口1人当たり保有面積と人口との関係



出典：東洋大学

図表 近隣自治体の公共施設保有割合(平成23年度)

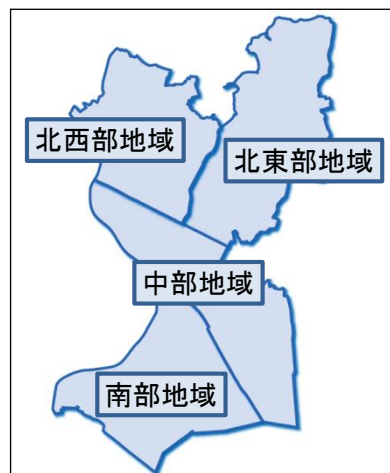
自治体	学校 (%)	公営住宅 (%)	その他 (%)	人口 (万人)	延床面積 (万㎡)
市川市	51%	14%	35%	47	93
船橋市	56%	4%	40%	60	115
松戸市	56%	10%	34%	48	88
柏市	50%	7%	43%	39	74
川口市	49%	13%	38%	50	126
八王子市	61%	6%	33%	55	106
町田市	55%	4%	41%	42	88
藤沢市	50%	11%	39%	40	79
葛飾区	55%	3%	42%	43	76
江東区	50%	4%	46%	45	81

出典：総務省「公共施設状況調年比較表市町村H18-23」

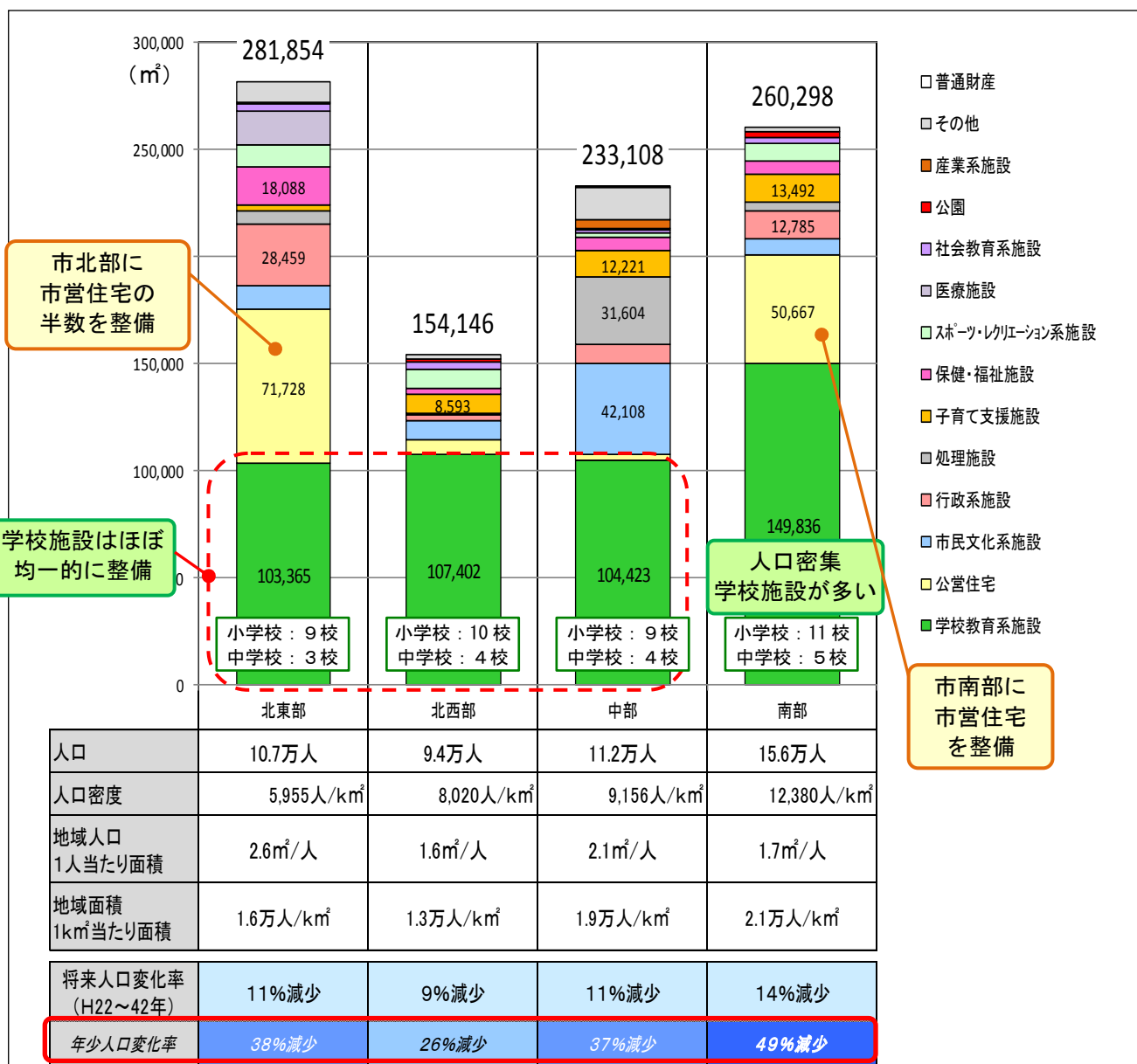
(3) 4地域別の公共施設整備状況

4地域ごとの公共施設の整備状況をみると、北東部地域が 28.2 万㎡ (全体の約3割)、地域人口1人当たり約 2.6 ㎡と最も多くなっています。次いで南部地域が 26.0 万㎡となっていますが、市全体の3割の人口が集中しているため、地域人口1人当たりでは 1.7 ㎡/人と市全体の平均値より低くなっています。北西部地域が 15.4 万㎡と最も少なく、地域によって整備状況に差があります。

内訳をみると、人口の3割が集中している南部地域では学校施設が多くなっていますが、他の3地域では 10 万㎡前後と一定となっています。保有施設が多い北東部地域や南部地域では、市営住宅が多く整備されています。



図表 4 地域別の公共施設保有状況

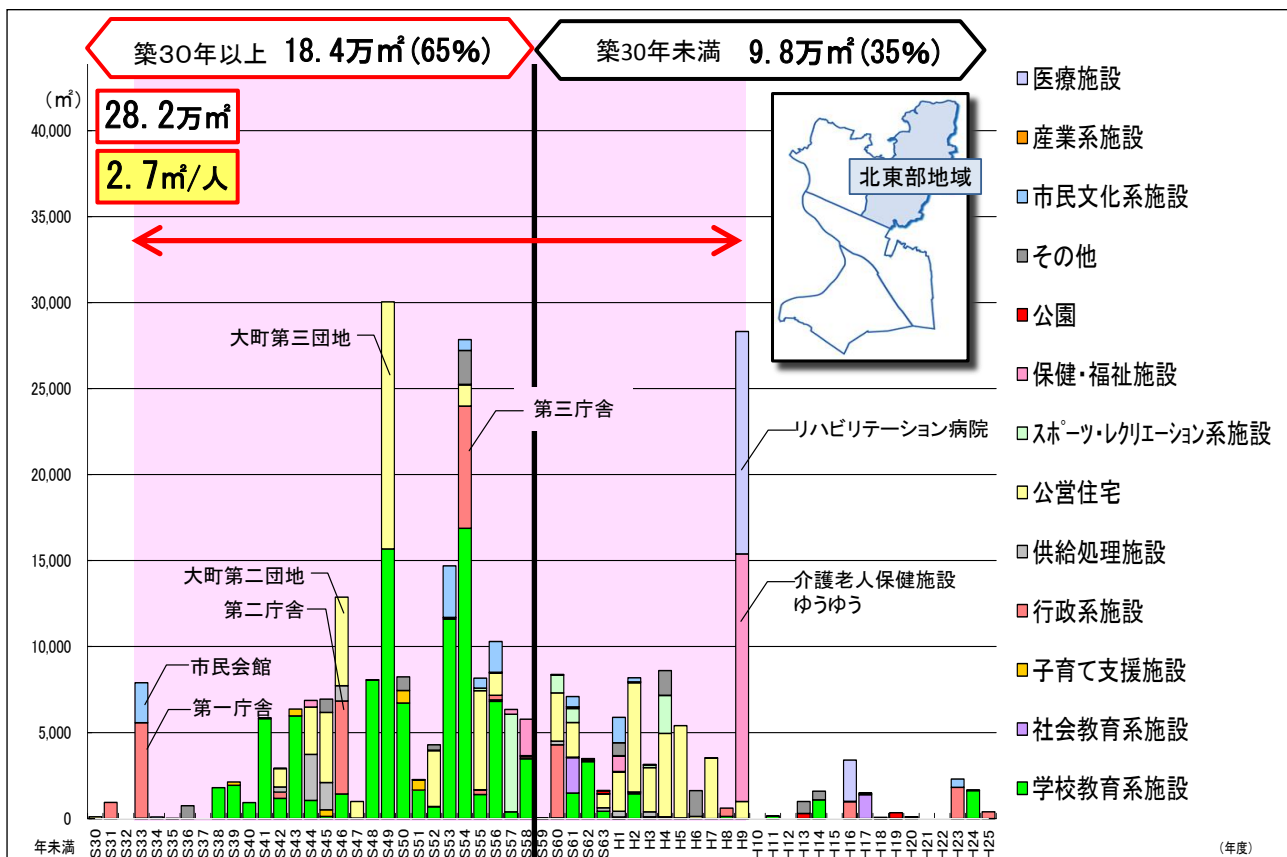


出典：人口及び地域面積は「市川市統計年鑑（平成 26 年度版）を参照
住民基本台帳（平成 25 年 9 月 30 日現在）

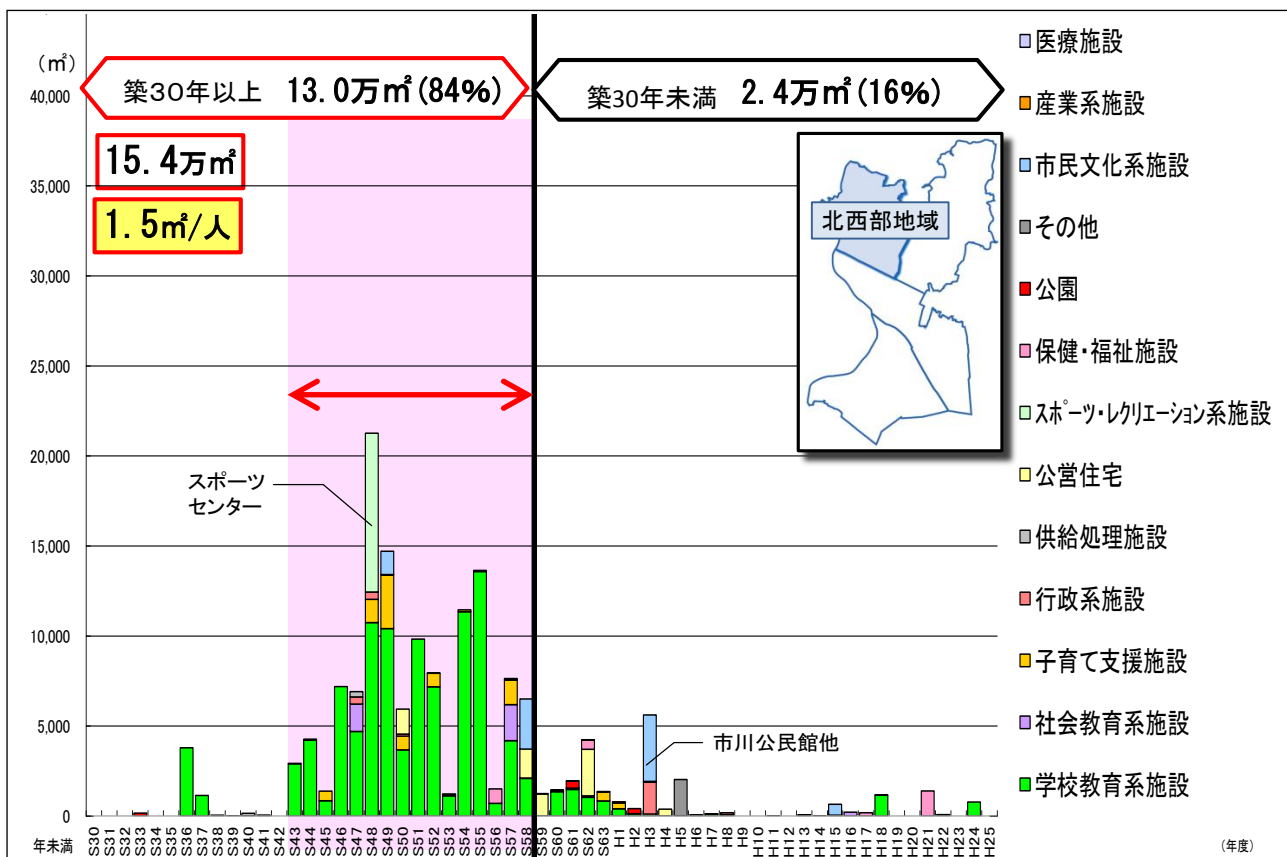
■ 4 地域別の築年別整備状況

4地域ごとの公共施設の築年別整備状況をみると、以下の通り特徴が異なります。

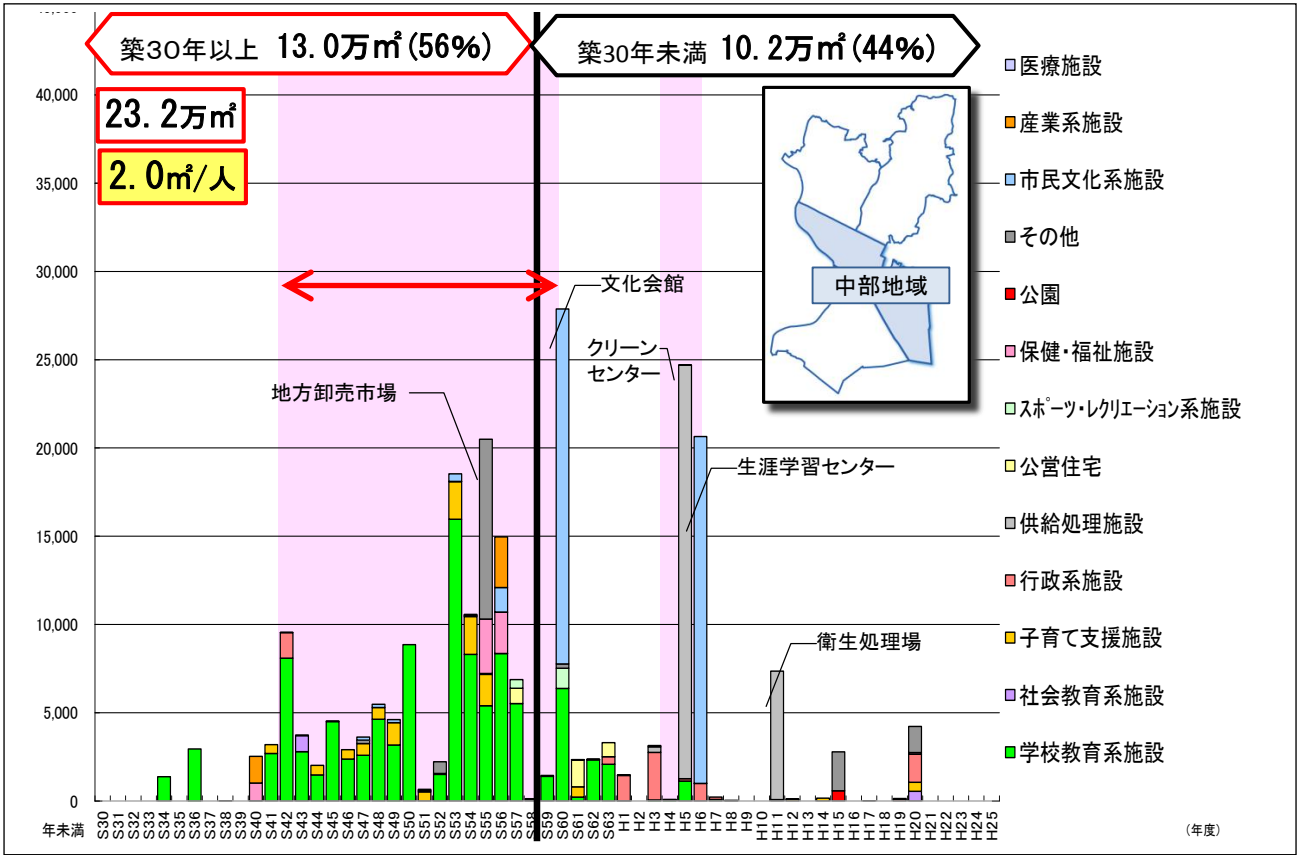
図表 北東部



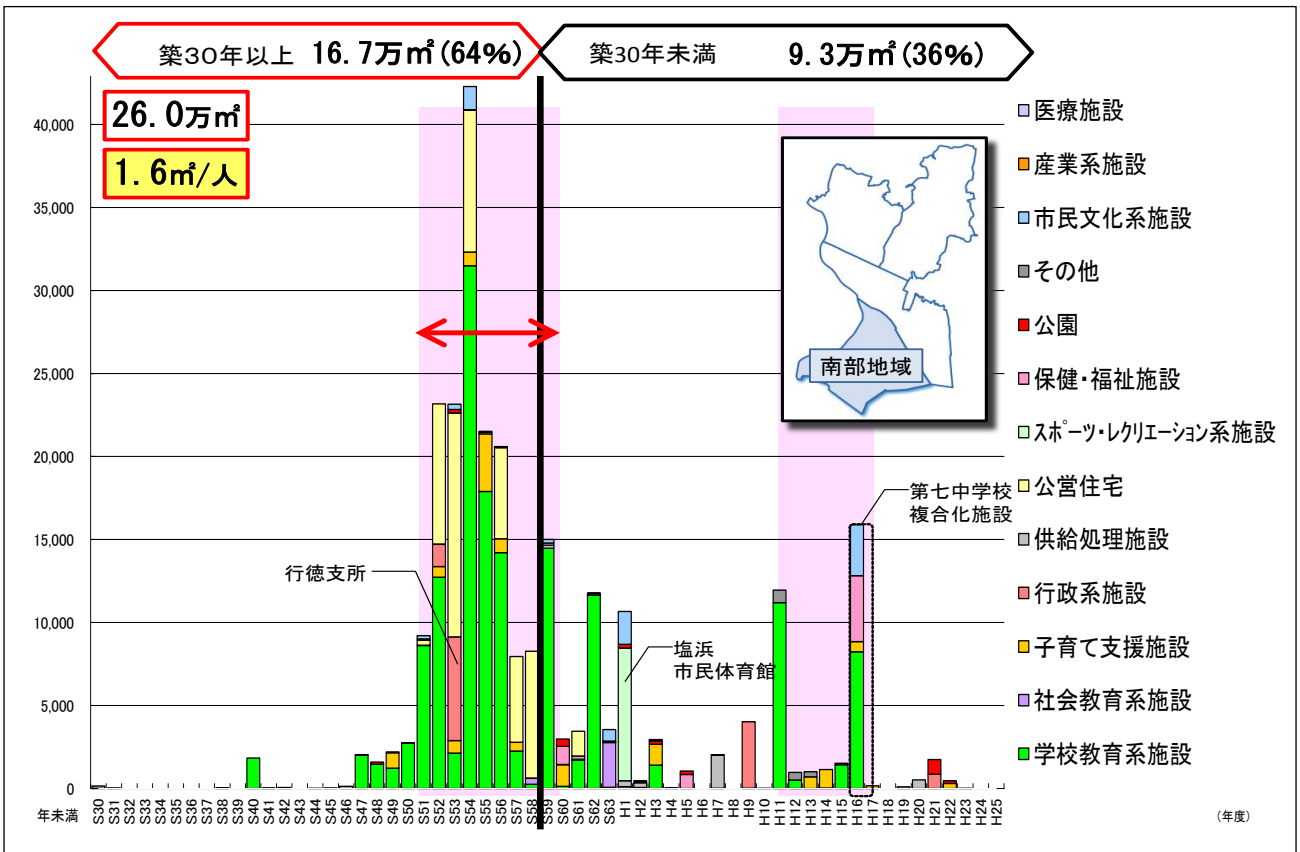
図表 北西部



図表 中部



図表 南部

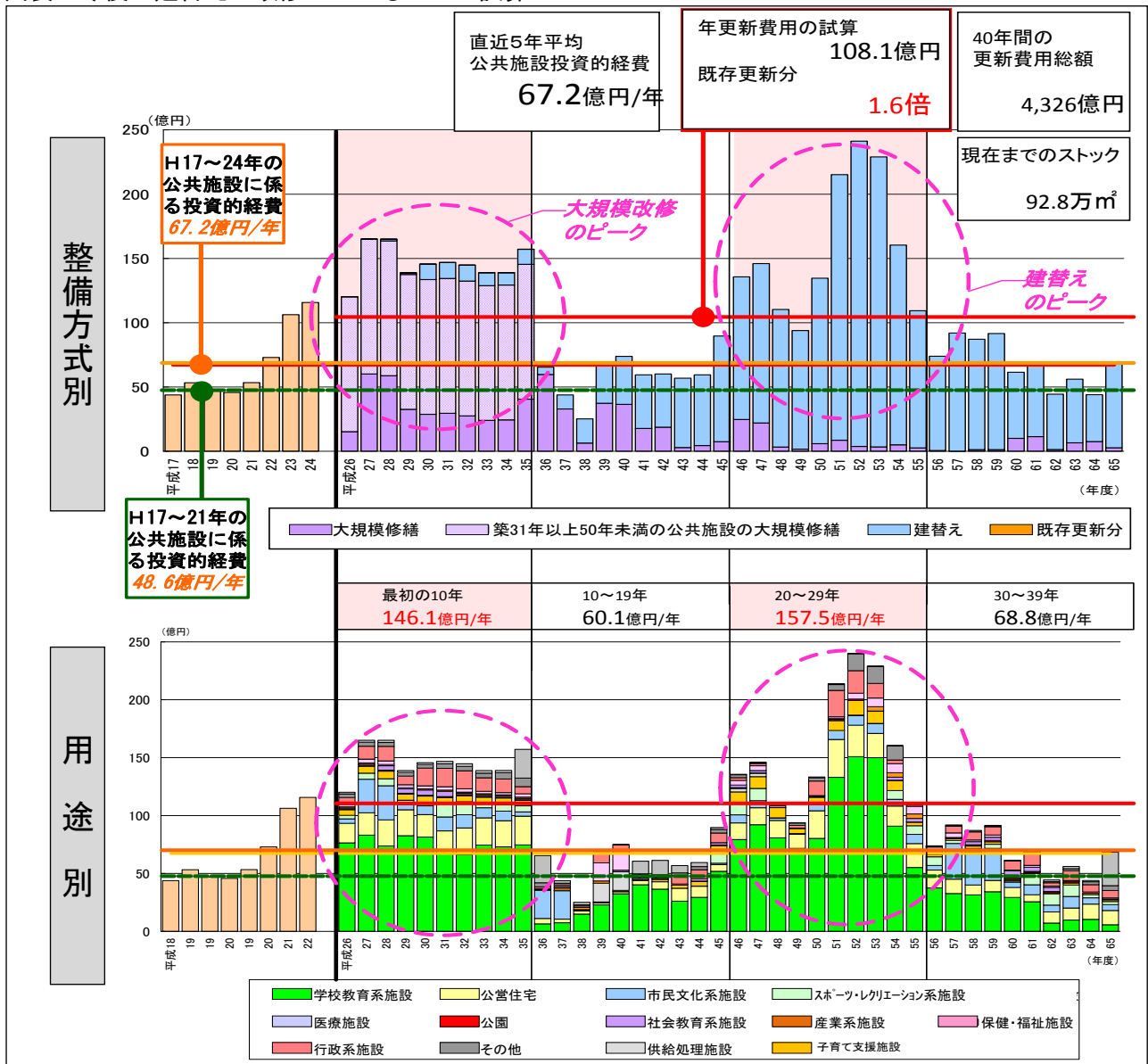


3. 今後の施設の建替え・改修にかかるコスト試算

本市が保有する公共施設 92.8 万㎡を、今後建替えや大規模改修する場合にかかるコストは、平成 26 年度から平成 65 年度までの 40 年間で、積み上げ方式で試算すると年平均約 108 億円かかる見込みであり、これは直近 5 年間の公共施設にかかる投資的経費の平均 67.2 億円の約 1.6 倍となります。

また、現時点で既に築 31 年以上経過している施設や、近々築 30 年を経過する施設が多くあり、これらを今後 10 年間で一斉に大規模修繕する場合の費用は、年間 150 億円近くと試算されています。さらに、20 年後から 30 年後には、これらの施設についても建替えのピークが訪れ、年間の更新費用が 200 億円を超える年も出てくることから、他の行政サービスに与える影響が懸念されるだけでなく、本コスト試算の前提である、建築後 30 年で大規模改修を行い、耐用年数である 60 年経過後にそのままの規模で建替えるということ自体が、現実的に難しいことが分かります。従って、今後、様々な手法により建替えや改修にかかる財政負担の平準化及び軽減を図っていく必要があります。

図表 今後の建替え・改修にかかるコスト試算



<地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件>

- 建築物の耐用年数 : 60年と仮定
- 建物附属設備及び配管の耐用年数が概ね15年であることから、2回目の改修時期である建設後30年で建築物の大規模改修を行い、さらにその後30年で建替えると仮定する。
- 試算時点で、建設時からの経過年数が31年以上50年までの施設については、直近の10年間で均等に大規模改修を行うと仮定し、建設時より51年以上経過している施設については、建替えの時期が近いことから、大規模改修は行わずに60年を経過した年度に建替えることとする。
- 更新単価

建替え	
市民文化系、社会教育系、行政系施設等	40 万円/m ²
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉施設等	36 万円/m ²
学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/m ²
市営住宅	28 万円/m ²
大規模改修	
市民文化系、社会教育系、行政系施設等	25 万円/m ²
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉施設等	20 万円/m ²
学校教育系、子育て支援施設等	17 万円/m ²
市営住宅	17 万円/m ²

第 3 章 用途別実態

第3章 用途別実態把握

1. コスト情報とストック情報の把握

公共施設の実態を把握するためには、老朽化や耐震化の状況だけでなく、利用状況や運営実態、さらには施設にかかる費用など複眼的な視点で分析することが重要です。具体的には、コスト情報として行政コスト計算書等を活用し、建物全体及びそこで行われている行政サービスの人件費や事業費も含め、全体でいくらかかっているか、また、ストック情報として、土地・建物の老朽化状況などの物理的な状況に加え、利用状況、運営状況等を整理する必要があります。

本市では、既に施設別行政コスト計算書をホームページで公開しておりますので、第3章では、市民利用の多い公共施設を中心に、ストック情報を整理し実態把握しました。

2. 主な施設の実態把握方法

■ 施設一覧

・ 建築年度

小・中学校のようにひとつの施設に建築年度の異なる建物が複数存在する場合は、その施設の用途を代表する建物のうち建築年度の古いもので表記しています。また、施設の開設年度ではなく、竣工年度を基本として表記しています。

■ 建物状況

・ 老朽化状況

各施設の築年数を平成 26 年度末で把握しています。築 20 年以上の施設は黄色、築 30 年以上の施設は赤色で着色してあります。

・ 環境対応

建物では、電気や都市ガス、灯油などのエネルギーがそれぞれ異なる計量単位（kWh、 m^3 、 l など）で使用されています。

建物全体で一年間に使用される様々なエネルギーの消費量を、熱量換算して一つの単位で示したものを「年間一次エネルギー消費量（GJ/年）」といい、その建築物の省エネルギー性能の把握に利用することができます。

また、この値をその建築物の総床面積で除して「一次エネルギー消費原単位（GJ/ m^2 ・年）」を求めて、建物用途ごとの全国平均値※と比較し、平均値を上回る場合はピンク色で着色してあります。

（※一般財団法人日本サステナブル建築協会の非住宅建築物の環境関連公開データベースを参考としています。）

■ 利用状況

各サービスの内容により、利用件数、人数などを、施設ごと、部屋ごとなどに集計し把握しています。（基本的に平成 25 年度の状況）

■ 運営状況 （基本的に平成 25 年度の状況）

各サービスの内容について、運営日、運営時間、予約方法などを把握しています。

＜用途別実態把握＞

◆ 市民文化系施設

(1) 公民館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、社会教育法に基づく教育施設である公民館を 16 施設保有しています。市民の生涯学習の拠点として、教育・学術・文化に関する活動の場を提供し、その支援をしています。

また、多くの公民館は図書館や支所、子育て支援施設等を複合化したり、併設することで地域の実情に応じた使われ方をしています。

設置目的：住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設						備考	
					●図書館 ○図書室	庁舎等	スポーツ 施設	子育て支援 施設	いきいきセン ター	その他高齢 者福祉施設		その他
1 中央公民館	八幡4-2-1	602.21	平成元	木造							ケアシステム	
2 鬼高公民館	鬼高2-12-23	424.27	昭和53	鉄筋コンクリート造								
3 信篤公民館	高谷1-8-1	1,392.91	昭和56	鉄筋コンクリート造	●		●	●			地域ケア 集会室	
4 東部公民館	本北方3-19-16	2,633.23	昭和53	鉄筋コンクリート造	○			●			ケアシステム 集会室	
5 柏井公民館	柏井町2-844	630.00	昭和54	鉄筋コンクリート造				●			集会室	
6 大野公民館	南大野2-3-19	1,073.03	昭和56	鉄筋コンクリート造	○	●				●	ケアシステム	大柏出張所内
7 若宮公民館	若宮2-15-8	600.00	昭和61	鉄筋コンクリート造							集会室	
8 市川公民館	市川2-33-2	1,944.41	平成2	鉄筋コンクリート造	○							
9 西部公民館	中国分2-13-8	2,386.47	昭和49	鉄筋コンクリート造	○			●			ケアシステム 集会室	
10 市川駅南公民館	大洲4-18-3	1,689.96	昭和56	鉄筋コンクリート造	○			●	●		相談室等	こども発達センター内
11 曾谷公民館	曾谷6-25-5	2,783.82	昭和57	鉄筋コンクリート造	○			●			ケアシステム 集会室	
12 行徳公民館	末広1-1-31	3,142.44	昭和53	鉄筋コンクリート造	●	●		●				行徳支所内
13 本行徳公民館	本行徳12-8	958.89	昭和54	鉄筋コンクリート造	○			●			集会室	
14 幸公民館	幸1-16-18	693.64	昭和63	鉄筋コンクリート造				●			集会室	
15 南行徳公民館	相之川1-3-7	1,986.80	平成元	鉄筋コンクリート造				●			ケアシステム	
16 菅野公民館	菅野3-24-2	477.32	平成23	鉄筋コンクリート造							ケアシステム	
合計		23,419.40										

※子育て支援施設：放課後保育クラブ、こども館等

注：延床面積は平成 26 年度公民館関係資料による

② 開館時間・開館日数

開館時間：貸館業務 午前 9 時～午後 9 時

休館日：毎月の最終月曜日、祝日、年末年始

開館日数：335 日（平成 25 年度）

③ 事業内容

楽しく学びながら文化に触れたり、暮らしに役立つ事柄を学ぶさまざまな主催講座**(主催事業)**を開催するとともに、地域の皆さんが行うサークル活動など自主的な学習活動やこれから学習したいと考える方々に、活動の場を提供**(貸館事業)**しています。

④ 予約方法・使用料金等

公民館を使用するには、事前の申請、予約が必要です。使用しようとする日の属する週の14週前の使用日と同じ曜日の日から開始します。予約等の受付は、各施設の窓口及びインターネット受付が可能です。

使用する際には、施設ごとに料金が定められた使用料金を支払う必要があります。ただし、市が主催する各種学級講座の修了者による結成された団体（教育委員会に認可されたもの）や市内の社会教育団体等が利用する場合は、使用料が免除となります。

※初めて利用する時は、公民館窓口で申請手続きをする必要があります。

⑤ 利用対象者

本市に在住、在勤の方などが中心となって構成する団体の、各種のサークル活動、学習会、研修会などに利用することができます。

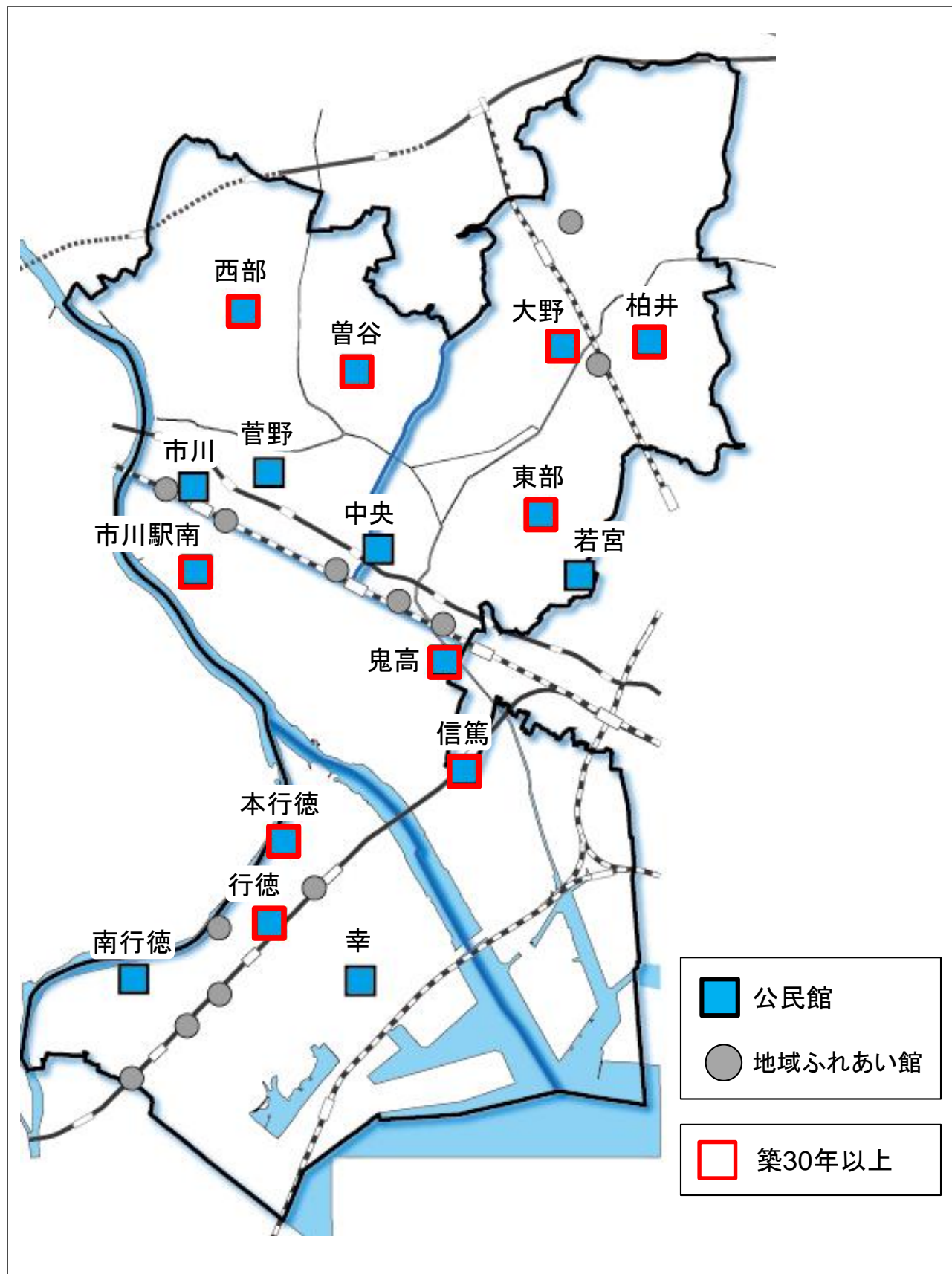
ただし、公民館は公共の「社会教育施設」であることから、社会教育法に基づいて運営がされており、個人での利用や風俗を害する場合、営利目的の事業を行う場合など、使用目的によっては公民館の使用をお断りする場合があります。

※公民館図書室などの個人利用施設を除く

⑥ 配置状況

公民館は、市内に16施設設置しています。

図表 公民館位置図

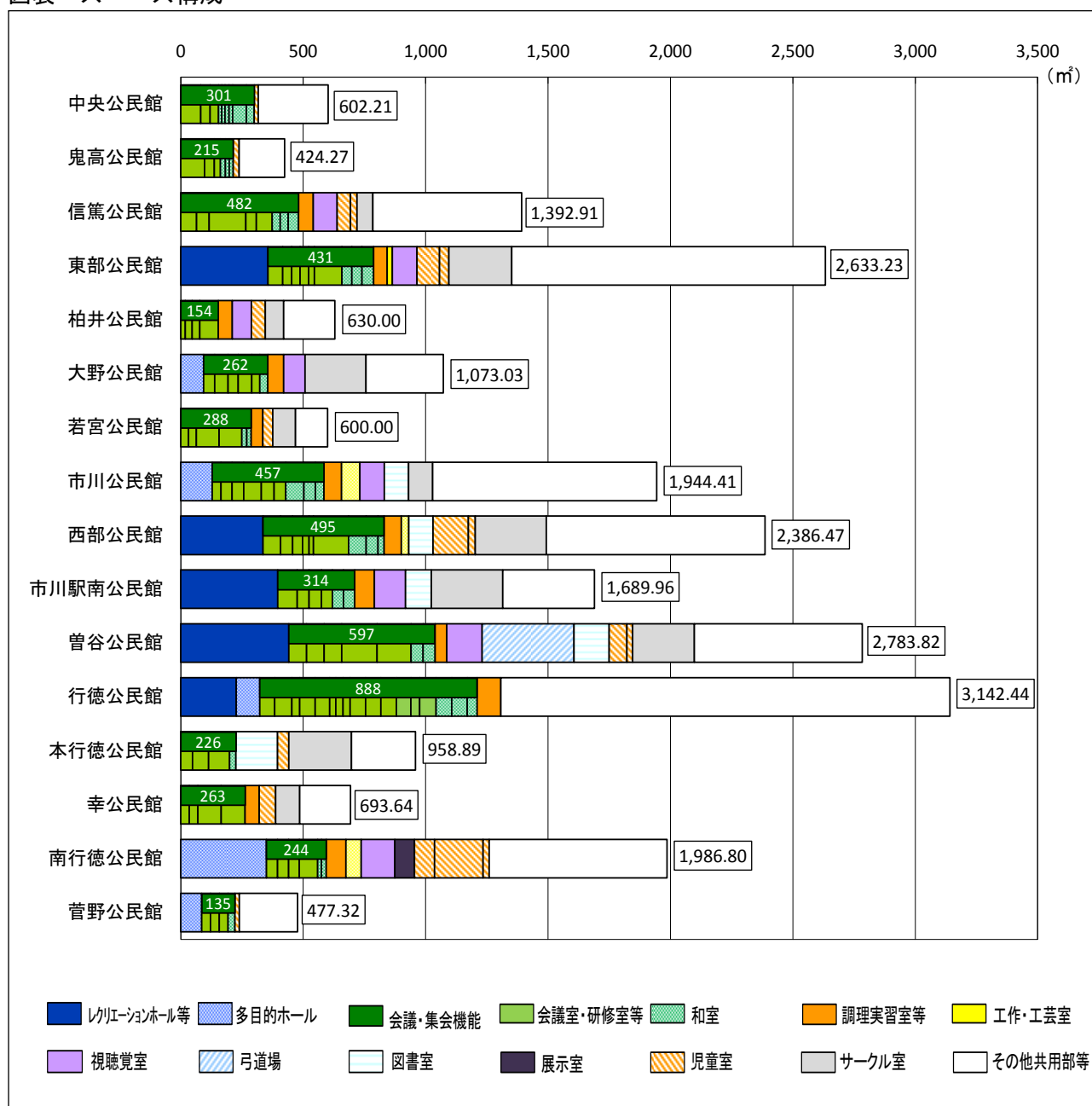


⑦ スペース構成

施設規模は、会議室や和室を中心とした単独施設である鬼高公民館 424 m²から多目的ホール等を持った行徳公民館 3,142 m²までであり、施設によって規模、保有する機能が異なります。

保有機能をみると、全ての施設で会議室・研修室、和室といった会議集会機能が設置されていますが、規模の大きい施設では、レクリエーションホール（体育館）や多目的ホール、調理実習室等、工作・工芸室といった機能が設置されており、施設によって異なります。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の公民館16施設の建物状況は、下記のとおりです。

鬼高公民館等10施設については築30年以上が経過し老朽化が進行しており、今後老朽化対策が必要となっています。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積(m ²)		一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費単位(GJ/m ² ・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	中央公民館	平成元	602.21	25	570	0.947	1,568	2,379	3,520	2,604	3,950	5,846
2	鬼高公民館	昭和53	424.27	36	261	0.616	1,092	1,679	854	2,573	3,957	2,014
3	信篤公民館	昭和56	1,392.91	33	-	-	1,785	1,950	1,209	1,282	1,400	868
4	東部公民館	昭和53	2,633.23	36	1,452	0.551	3,407	4,886	1,962	1,294	1,856	745
5	柏井公民館	昭和54	630.00	35	463	0.735	1,128	1,867	285	1,791	2,964	453
6	大野公民館	昭和56	1,073.03	33	-	-	1,488	128	1,151	1,387	119	1,073
7	若宮公民館	昭和61	600.00	28	563	0.939	1,491	1,796	140	2,485	2,994	233
8	市川公民館	平成2	1,944.41	24	1,904	0.979	4,954	4,130	1,449	2,548	2,124	745
9	西部公民館	昭和49	2,386.47	40	1,666	0.691	3,088	4,533	1,053	1,294	1,899	441
10	市川駅南公民館	昭和56	1,689.96	33	-	-	4,388	5,320	2,304	2,596	3,148	1,363
11	曾谷公民館	昭和57	2,783.82	32	1,571	0.564	3,806	4,911	1,361	1,367	1,764	489
12	行徳公民館	昭和53	3,142.44	36	-	-	8,281	23,974	4,360	2,635	7,629	1,388
13	本行徳公民館	昭和54	958.89	35	660	0.644	1,386	1,587	170	1,446	1,655	177
14	幸公民館	昭和63	693.64	26	622	0.896	1,224	1,755	164	1,765	2,530	237
15	南行徳公民館	平成元	1,986.80	25	1,654	0.833	3,839	3,666	1,012	1,932	1,845	509
16	菅野公民館	平成23	477.32	3	389	0.815	1,528	2,477	1,071	3,200	5,189	2,243
	合計		23,419.40	-	-	-	44,454	67,036	22,066	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
 ■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 全体の利用状況

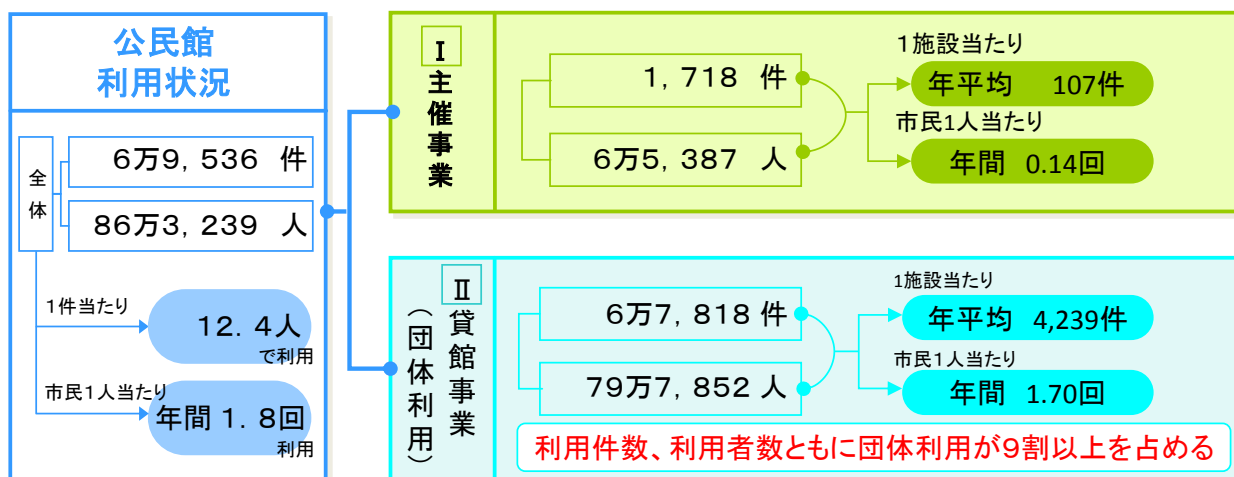
平成 25 年度の公民館の全体利用件数は 6 万 9,536 件、利用者数は 86 万 3,239 人です。

利用目的別の内訳をみると、主催事業が 1,718 件・6 万 5,387 人、サークル活動や地域利用等の貸館事業（団体利用）が 6 万 7,818 件・79 万 7,852 人となっており、利用件数、利用者数ともに貸館事業（団体利用）が 9 割以上を占めています。

貸館事業（団体利用）部屋別の利用状況では、会議・集会室が約 52%を占めており、次いで和室が約 19%となっています。

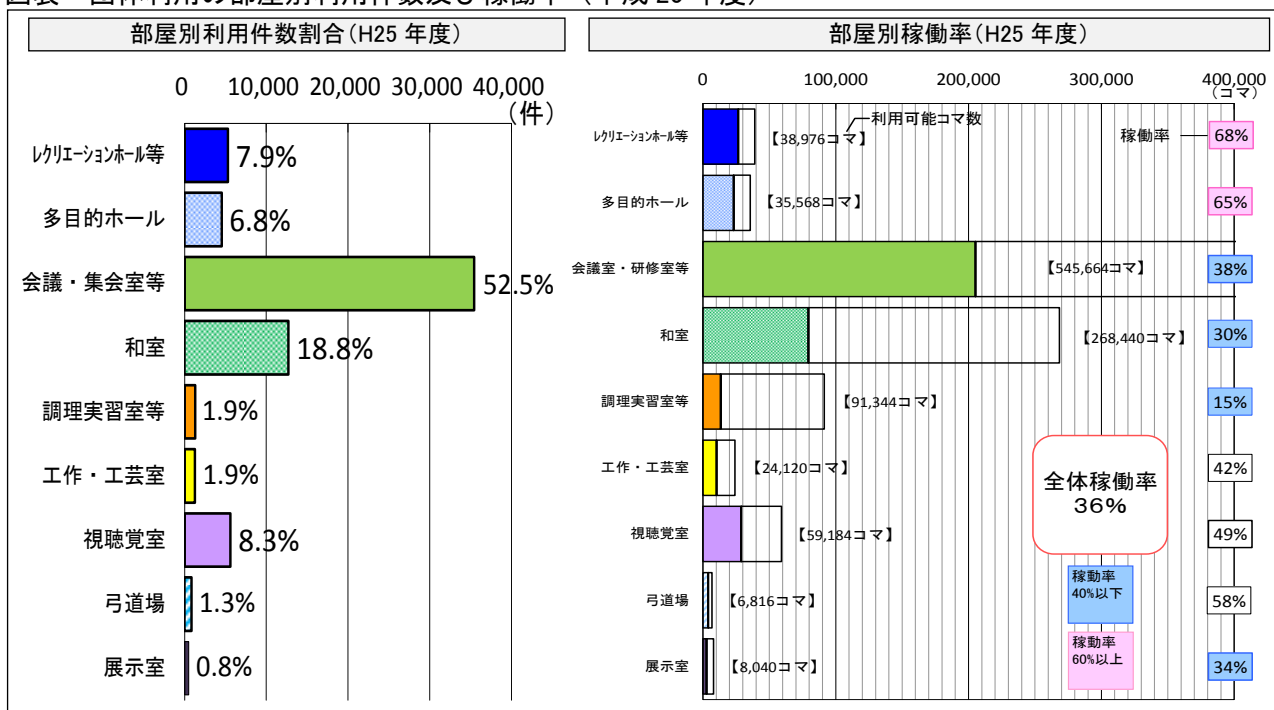
公民館全体の稼働率は 36%であり、部屋機能ごとに見ると、レクリエーションホール(体育館)が 68%と比較的高い一方、用途が限定される調理実習室等が 15%程度となっています。なお、公民館は 30 分を 1 コマとして部屋の利用率を算出しているため、1 コマの単位が長い施設と比較して利用率が低く見える傾向にあります。

図表 市全体利用状況（平成 25 年度）



人口：46万9,523人
(平成25年10月1日)

図表 団体利用の部屋別利用件数及び稼働率（平成 25 年度）

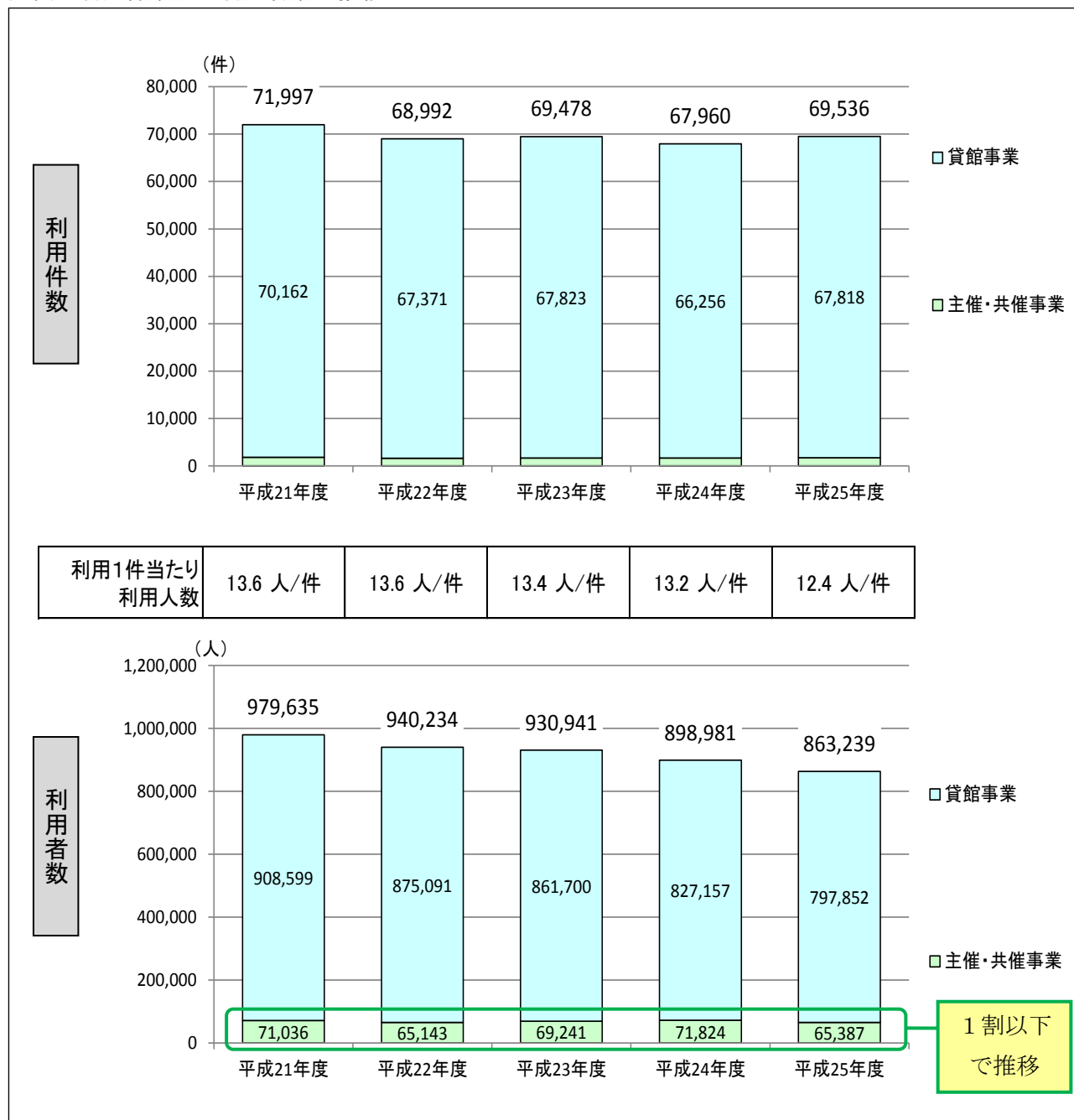


■ 利用推移

利用件数の推移は、平成21年度7万1,997件から平成25年度6万9,536件までほぼ横ばいで推移しています。利用者数は、平成21年度より毎年度実施している改修工事による休館などの影響もあり、平成21年度97万9,635人から平成25年度86万3,239人と減少傾向で推移しています。

内訳をみると、主催事業の利用は全体の7%から8%と、1割以下で推移しています。

図表 利用件数及び利用者数の推移



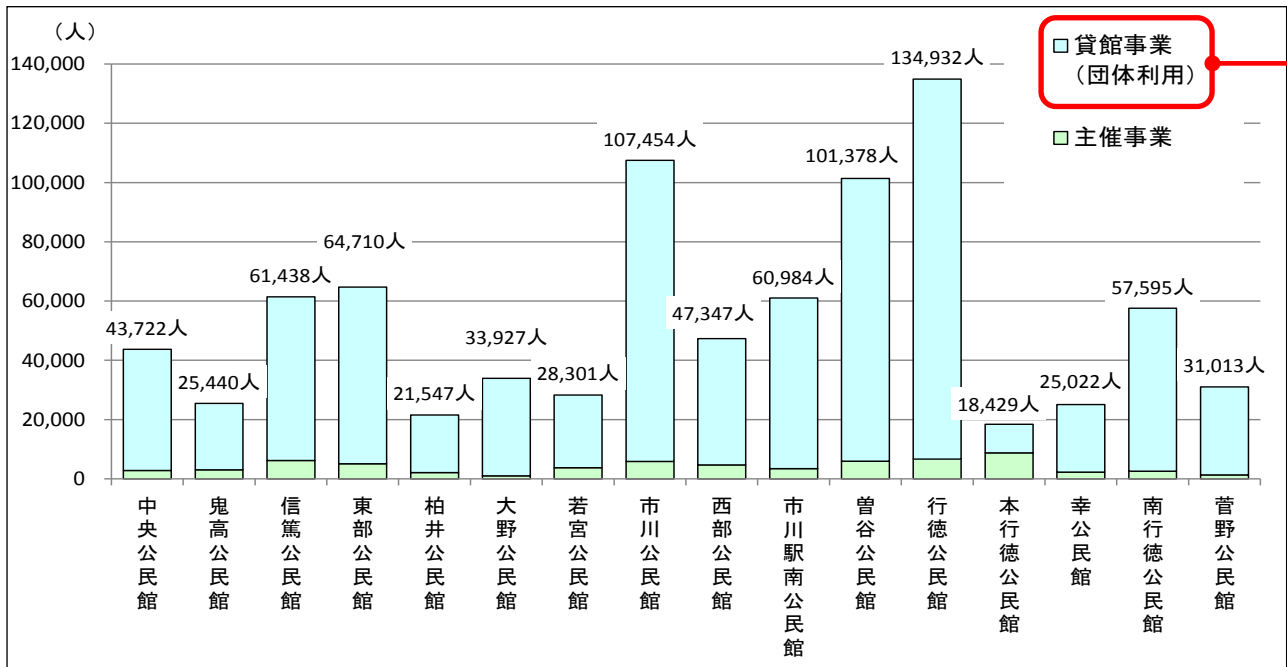
注：【改修工事に伴う休館】平成22年度 東部公民館6ヵ月、平成23年度 行徳公民館(本館)4ヵ月、平成24年度 行徳公民館(本館)2ヵ月、西部公民館(本館)5ヵ月、大野公民館4ヵ月、平成25年度 大野公民館7ヵ月、曾谷公民館2ヵ月

■ 施設別の利用状況

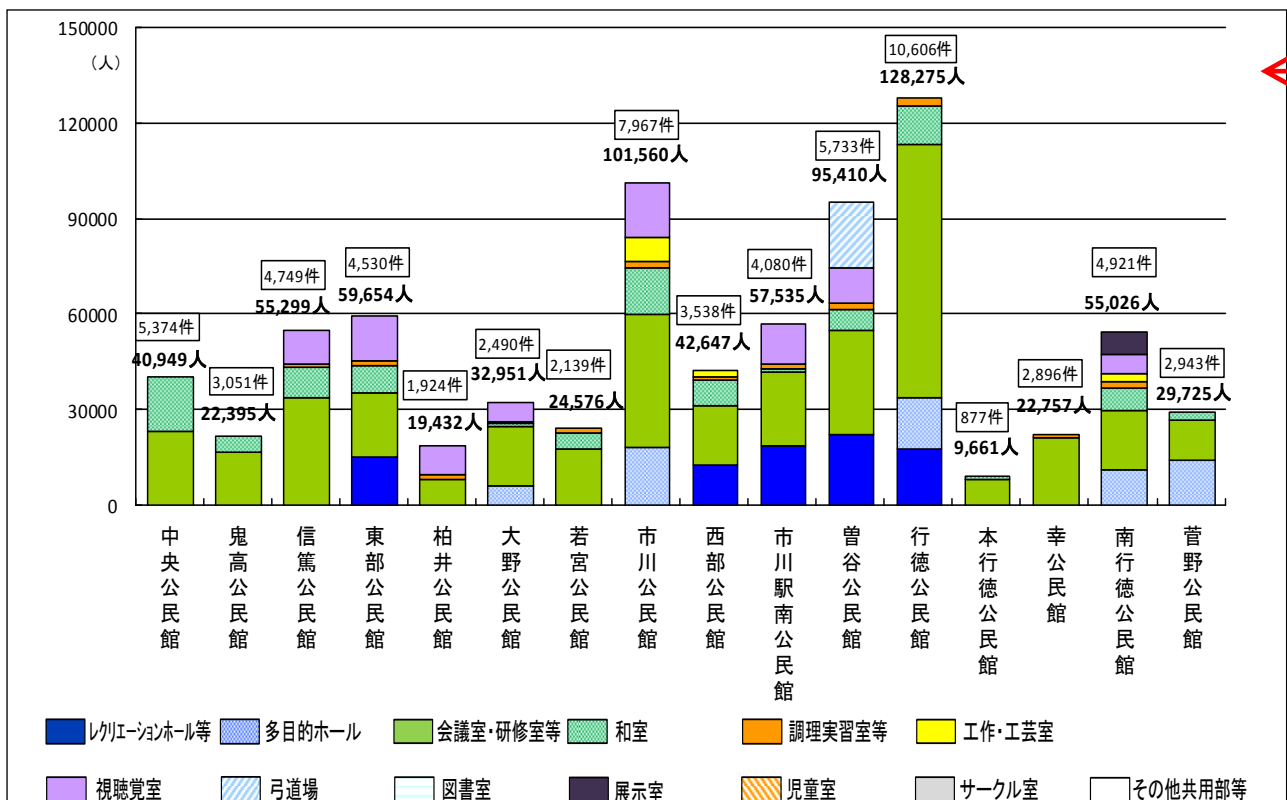
平成 25 年度の施設別利用者数をみると、行徳公民館の利用が約 13.5 万人と最も多く、次いで市川公民館、曾谷公民館となっており、レクリエーションホールや多目的ホールといったホール機能を保有している規模の大きい施設の利用が多くなっております。

一方、本行徳公民館の利用は約 1.8 万人と、施設規模も小さいため利用も少なくなっていますが、主催事業の割合が約 48%と他の公民館に比べて多いのが特色となっています。

図表 施設別・目的別 利用者数（平成 25 年度）



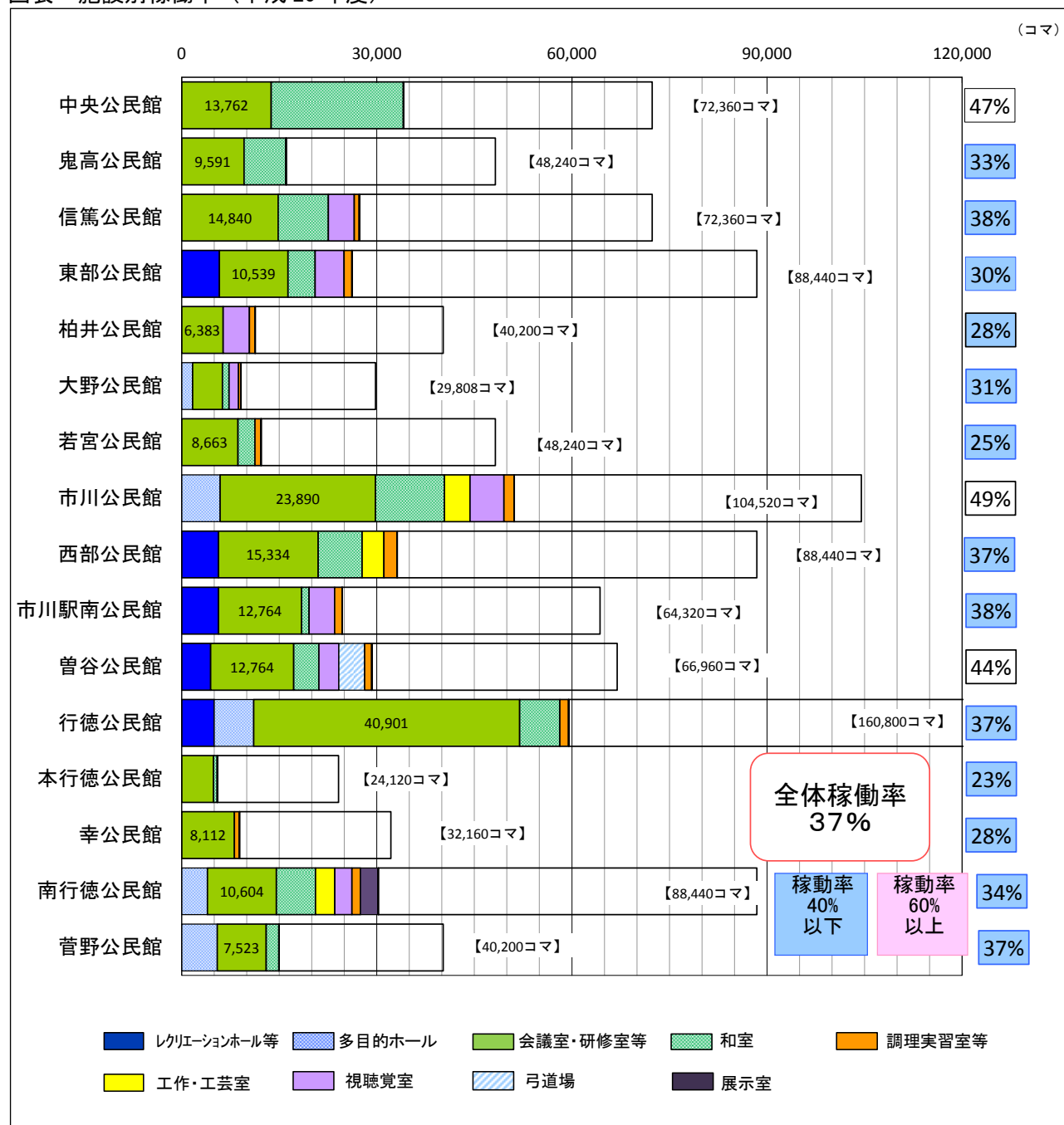
図表 団体利用の施設別・部屋別 利用者数（平成 25 年度）



■ 施設別稼働率

施設別の稼働率は、市川公民館が最も高く、49%となっています。次いで、中央公民館が47%、曾谷公民館が44%となっています。また、利用者数が少ない本行徳公民館が最も低く23%となっています。

図表 施設別稼働率（平成 25 年度）



③ 運営状況

公民館全 16 館は、常勤の再任用職員、非常勤の嘱託職員等により市の直営で運営しています。施設内には、公民館長は 18 人（うち 10 人が非常勤の嘱託職員）以外に社会教育指導員（非常勤職員）126 人（うち 9 人は図書室関連）が配置されています。施設内職員は、施設維持管理、主催講座運営及び利用に関する受付・案内を行っています。

公民館施設の営繕業務（修繕や改修等に関する業務）や運営審議会の運営等は、社会教育課勤務職員が行っています。

3) まとめ

- ・ 築 30 年以上経過した老朽化が進行した施設が 10 施設と過半を占めており、今後効率的な施設更新が必要となります。公民館は、小・中学校施設と同様に地域の拠点施設となることが考えられるため、地域の実情に応じて用途変更なども視野に入れながら更なる有効活用を検討していく必要があります。

(2) 地域ふれあい館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、地域住民の自主的なサークル活動や地域コミュニティ活動を通じて、地域住民のふれあいと集いの場として、地域ふれあい館を13施設保有しています。

施設は旧「青少年館」をリニューアルした施設で、行徳地域ふれあい館等3施設は放課後保育クラブと複合化した施設です。

設置目的：市民相互の交流及び市民が地域で自主的に行う活動の促進を図る。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設			備考
					放課後保育 クラブ	その他子育て 支援施設	その他	
1 市川地域ふれあい館	市川2-7-7	175.77	昭和49	軽量鉄骨構造			地域ケア システム	
2 宮田地域ふれあい館	新田5-16-6	175.47	昭和48	軽量鉄骨構造				
3 平田地域ふれあい館	平田2-16-7	174.96	昭和49	軽量鉄骨構造		●		
4 八幡地域ふれあい館	八幡1-21-10	187.56	昭和53	鉄骨造				
5 本八幡地域ふれあい館	八幡3-7-9	191.07	昭和56	軽量鉄骨構造				
6 鬼越・鬼高地域ふれあい館	鬼越2-15-10	174.76	昭和47	鉄骨造				
7 大野地域ふれあい館	大野町3-1625-1	234.60	平成2	鉄骨造				
8 奉免地域ふれあい館	柏井町2-49-6	169.13	昭和56	軽量鉄骨構造				
9 行徳地域ふれあい館	富浜2-5-19	220.36	昭和54	鉄骨造	●			
10 湊地域ふれあい館	湊11-18	194.40	昭和51	鉄骨造				
11 香取地域ふれあい館	香取2-19-1	209.07	昭和59	軽量鉄骨構造	●			
12 富美浜地域ふれあい館	欠真間2-31-5	319.95	昭和53	鉄骨造	●			
13 新井地域ふれあい館	新井3-31-1	247.08	昭和54	鉄骨造		●		
合計		2,674.18						

② 開館時間・開館日数

開館時間：午前9時～午後9時

※午後・夜間については、あらかじめ利用の予約が入っている時間帯のみの開館。

休館日：毎月の最終月曜日、年末年始

開館日数：342日～346日（平成25年度）

※施設によって異なります。

③ 事業内容

地域の皆さんが行うサークル活動など自主的活動や地域コミュニティ活動の場を提供（貸館事業）しています。

④ 予約方法・使用料金等

地域ふれあい館を使用するには、事前の申請、予約が必要です。予約期間は、ご利用したい日の3ヶ月前から3日前までです。予約方法は、利用したい館へ電話、もしくは直接来館しての予約となります。団体登録は必要ありません。

使用する際には、施設ごとに料金が定められた使用料金を支払う必要があります。

⑤ 利用対象者

本市に在住、在勤、在学の方及びこれらの方が中心となって構成する団体の、各種のサークル活動、学習会、研修会などに利用することができます。

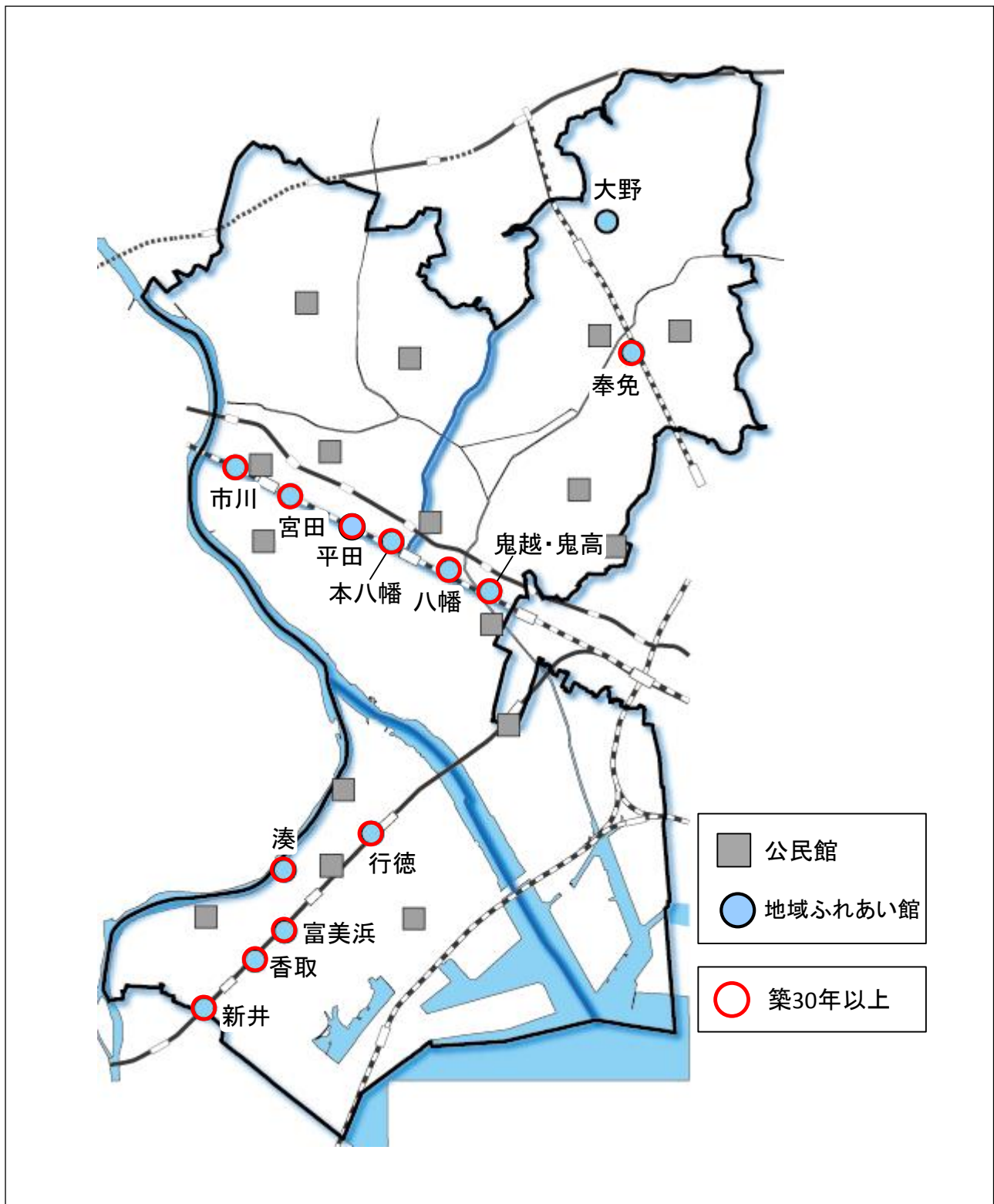
なお、平成27年10月からは本市在住、在勤、在学に限らず使用可能となります。

⑥ 配置状況

地域ふれあい館は、市内に13施設設置しており、JR総武線の高架下等に配置されている施設が多くなっています。

また、市川地域ふれあい館等のように、同じく貸館事業を行っている公民館と近接している施設があります。

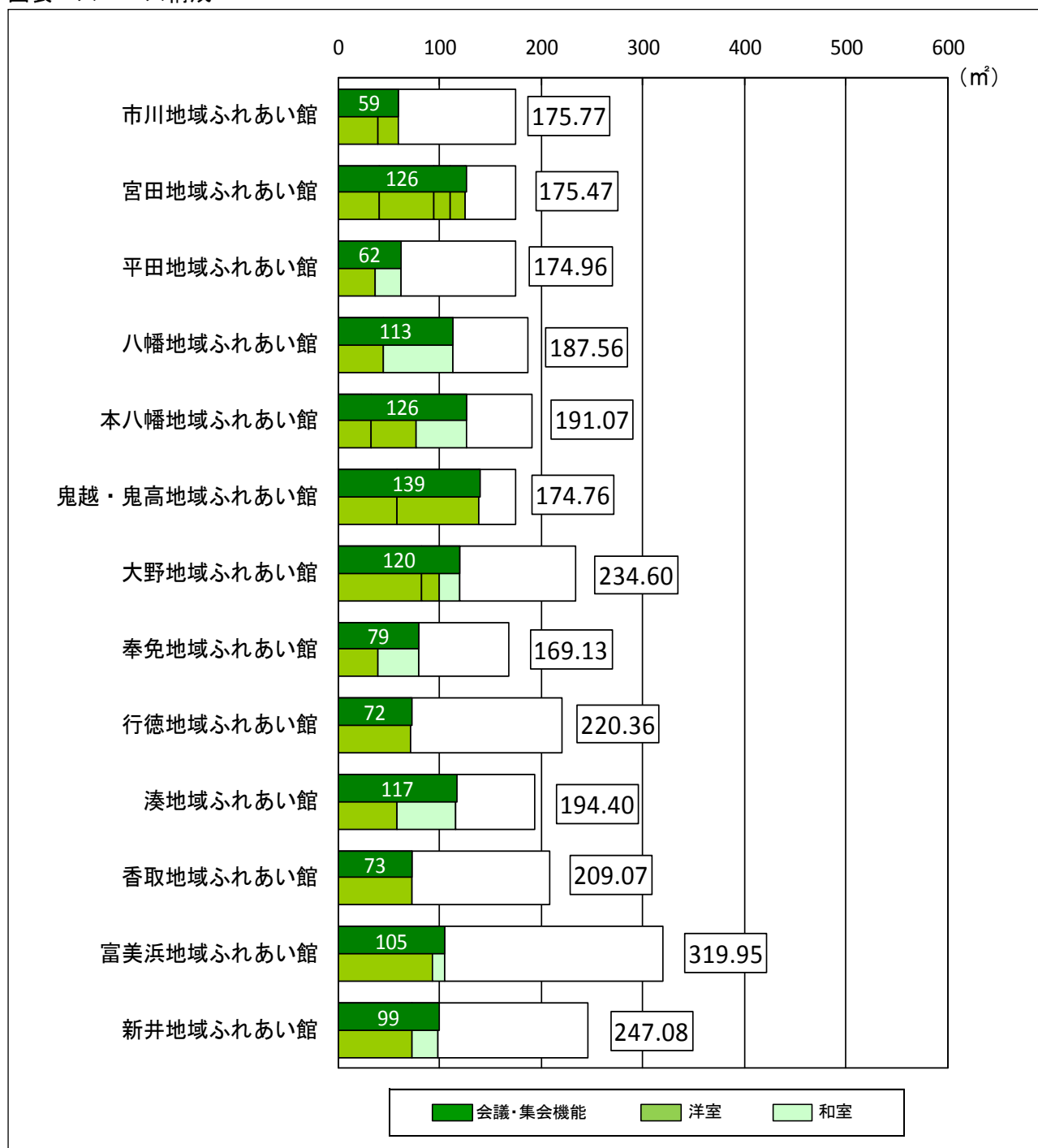
図表 地域ふれあい館位置図



⑦ スペース構成

施設規模は、約 169 m²から 320 m²で洋室や和室が整備されており、13 施設ほぼ均一機能と なっています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の地域ふれあい館13施設の建物状況は、下記のとおりです。

大野地域ふれあい館を除く12施設については築30年以上が経過し老朽化が進行しており、今後老朽化対策が必要となっています。

施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
	建築年度	延床面積(m ²)		一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費原単位(GJ/m ² ・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)		
			燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
市川地域ふれあい館	昭和49	175.77	40	76	0.430	234	106	34	1,331	603	193
宮田地域ふれあい館	昭和48	175.47	41	0	0.000	545	560	818	3,106	3,191	4,662
平田地域ふれあい館	昭和49	174.96	40	0	0.000	260	76	22	1,486	434	126
八幡地域ふれあい館	昭和53	187.56	36	0	0.000	368	106	3	1,962	565	16
本八幡地域ふれあい館	昭和56	191.07	33	0	0.000	448	102	5	2,345	534	26
鬼越・鬼高地域ふれあい館	昭和47	174.76	42	71	0.406	279	102	0	1,596	584	0
大野地域ふれあい館	平成2	234.60	24	0	0.000	646	307	191	2,754	1,309	814
奉免地域ふれあい館	昭和56	169.13	33	0	0.000	321	252	5	1,898	1,490	30
行徳地域ふれあい館	昭和54	220.36	35	0	0.000	410	134	35	1,861	608	159
湊地域ふれあい館	昭和51	194.40	38	0	0.000	444	102	130	2,284	525	669
香取地域ふれあい館	昭和59	209.07	30	0	0.000	376	145	39	1,798	694	187
富美浜地域ふれあい館	昭和53	319.95	36	0	0.000	629	81	39	1,966	253	122
新井地域ふれあい館	昭和54	247.08	35	0	0.000	382	120	312	1,546	486	1,263
合計		2,674.18	-	-	-	5,342	2,193	1,633	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満

■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

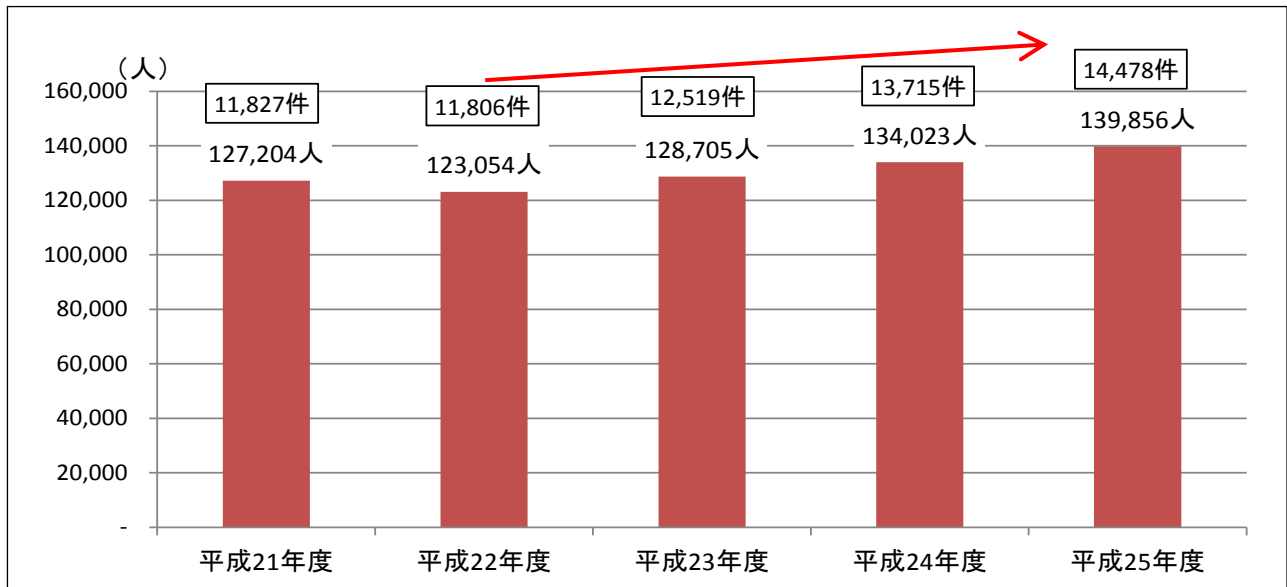
■ : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 利用推移

利用者数の推移は、平成 22 年度約 12.3 万人から平成 25 年度約 14.0 万人と微増傾向となっています。

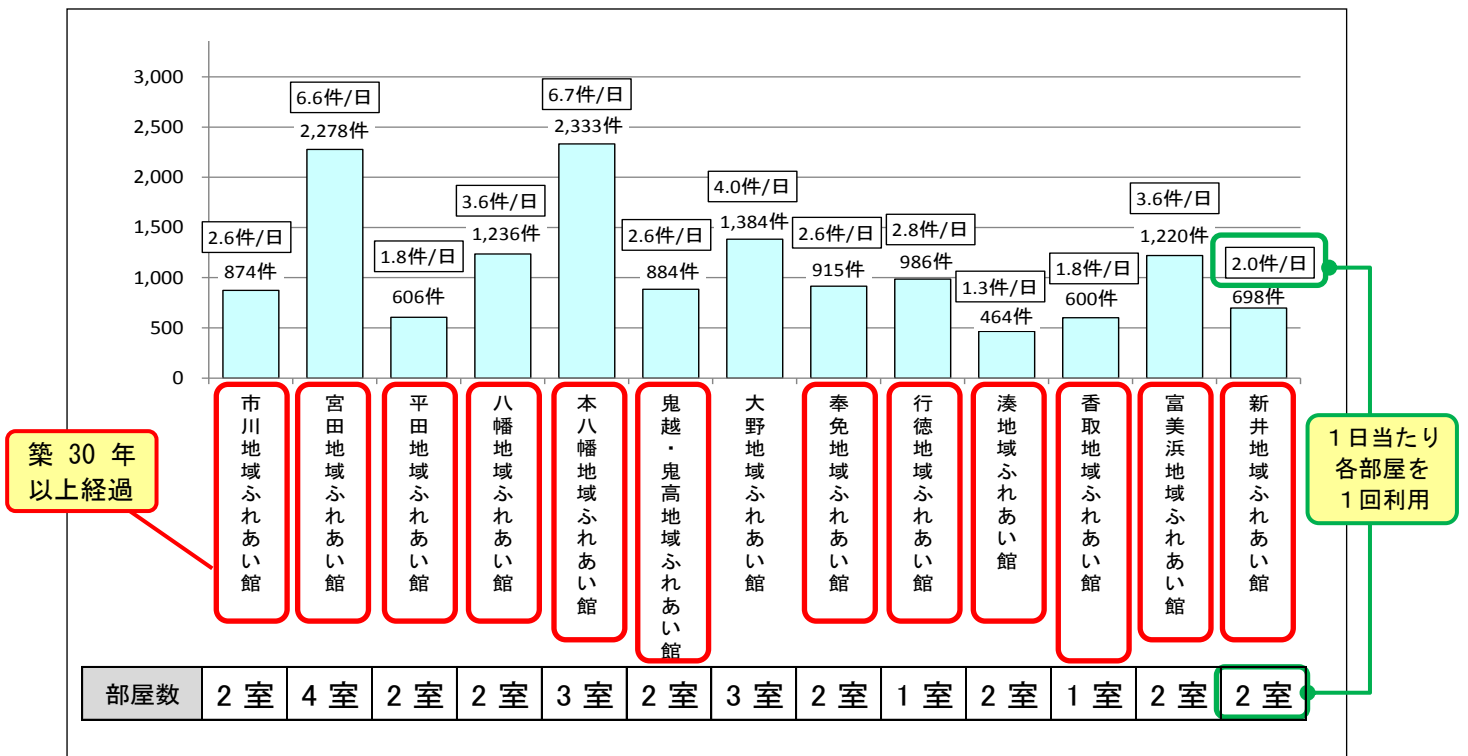
図表 利用件数及び利用者数の推移



■ 施設別の利用状況

平成 25 年度の施設別利用件数をみると、本八幡地域ふれあい館が 2,333 件、運営 1 日当たり約 7 件と最も多く、次いで宮田地域ふれあい館、大野地域ふれあい館となっています。一方、湊地域ふれあい館が 464 件、運営 1 日当たり約 1 件と最も少なくなっています。

図表 施設別・利用件数 (平成 25 年度)



③ 運営状況

地域ふれあい館全 13 施設は、非常勤職員等により市の直営で運営しています。施設には、全体で約 50 人の非常勤職員を配置し、各館常時 1 人がローテーションで勤務しています。

3) まとめ

- 建物の老朽化が進んでおり、その対策の検討が必要となっています。
- 稼働率を向上させる必要があることから、平成 27 年 10 月より対象者の拡大を図ってまいります。

(3) 男女共同参画センター（愛称「ウイズ」）

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、男女が互いに人権を尊重し、共に平等に社会参画し、生き生きと安心して暮らしていけるための学習、活動や交流の場、男女を問わず利用できる施設として、男女共同参画センター（愛称「ウイズ」）を設置しています。

設置目的：市民に男女共同参画社会の形成の促進に関する学習の機会及び活動と交流の場を提供することにより、男女平等の実現に寄与するため

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設	備考
					消防庁舎	
男女共同参画センター	市川1-24-2	1,743.72	平成3	鉄骨鉄筋 コンクリート	●	市川市西消防署 との複合施設

② 開館時間・開館日数

開館時間

団体の交流、活動場所の提供 平日：午前9時～午後9時

土・日：午前9時～午後5時

情報の収集及び提供（情報資料室）：午前9時30分～午後5時

休館日：祝日、毎月最終火曜日、年末年始

開館日数：330日（平成25年度）

③ 事業内容

男女共同参画社会の形成の促進に関する各種講座や講演会を開催します（主催事業）。

出版物、図書、ビデオなどの閲覧や貸出をしています（情報提供事業）。また、女性相談員による一般相談とDV相談、女性弁護士による法律相談（要予約）を実施しています（相談事業）。

男女共同参画社会を目指す、市民の方々のさまざまなサークル活動や学習の場として、研修室等を貸出しています（貸館事業）。

④ 利用対象者

原則として、研修室を利用できるのは団体に限ります。使用者登録は、市川市在住・在勤・在学の方及びこれらの方で構成されている団体が可能です。ただし、営利目的や特定の宗教活動を行っている団体のご利用はできません。

⑤ 配置状況

男女共同参画センターは、JR市川駅と京成市川真間駅の間国道14号沿いに設置しています。周辺には市川公民館等の集会施設が配置されています。

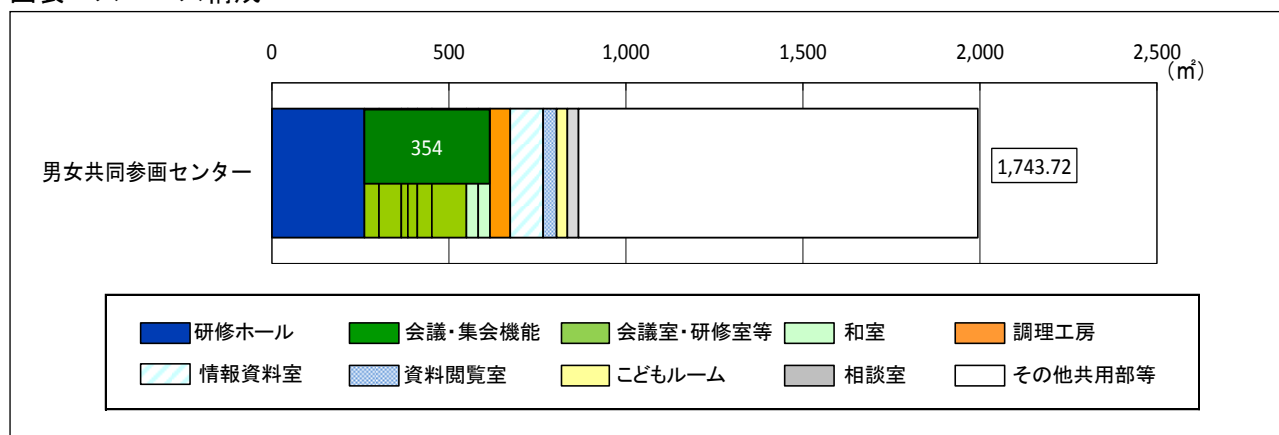
図表 男女共同参画センター位置図



⑥ スペース構成

保有機能をみると、貸館事業の研修ホール（定員 150 人）、研修室、和室、調理工房等がスペースの中心となっています。その他に、資料の閲覧や貸出を行っている情報資料室、相談事業を行う相談室及びこどもルームがあります。こどもルームは、講座等主催事業の参加者の子どもの保育や研修室を利用する団体の自主保育用に利用できるスペースです。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

平成 25 年度の男女共同参画センターの建物状況は、下記のとおりです。

男女共同参画センターは、築 22 年を経過しており、今後老朽化が懸念される施設となっているため、計画的な修繕等を検討する際の対象施設となります。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (m²)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/m²・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/m²)		
				燃料、光熱水費			施設管理に係る委託料	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料	
1	男女共同参画センター	平成3	1,743.72	22	-	-	6,335	3,378	1,394	3,633	1,937	799

<老朽化凡例>
 : 築20年以上30年未満
 : 築30年以上
 <環境対応凡例>
 : 平均値を上回る

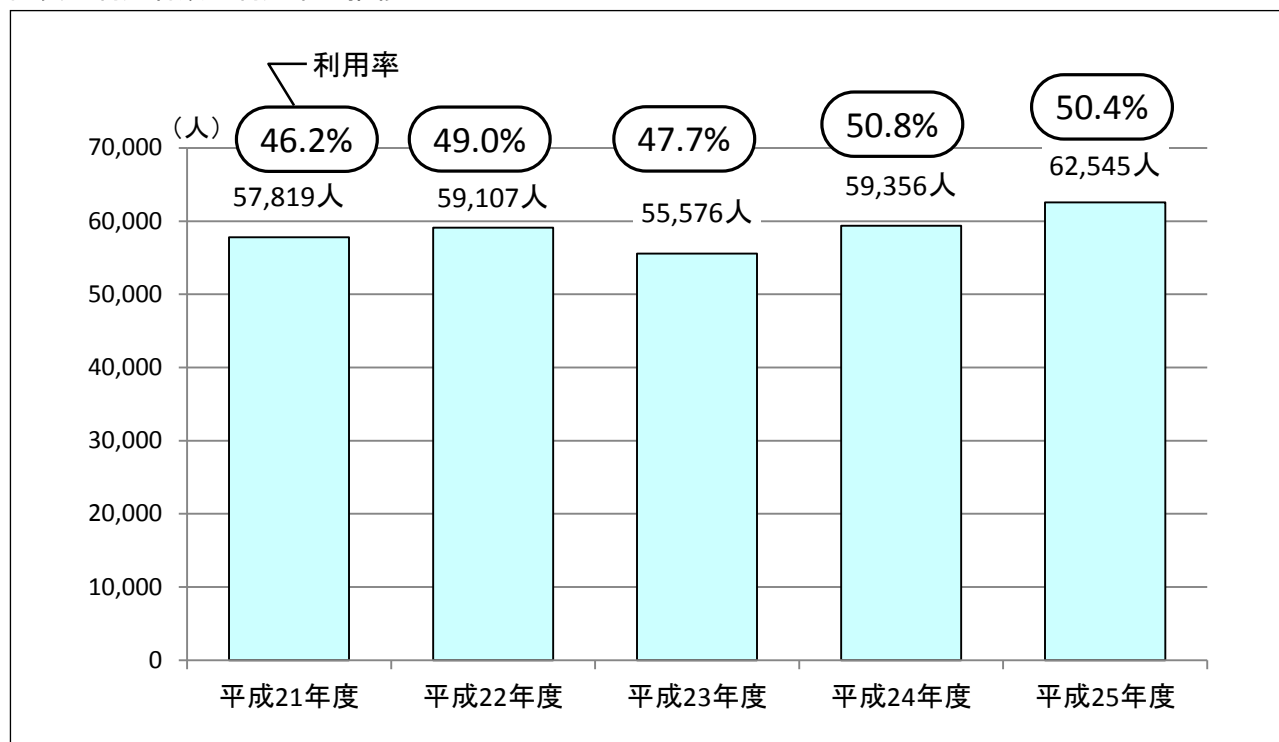
② 利用状況

■ 推移

利用者数の推移は、平成21年度約5.8万人から平成25年度約6.3万人までほぼ横ばいで推移しています。

利用率も横ばいで推移しており、平成25年度は施設全体で50.4%となっています。

図表 利用者数と利用率の推移



※H21～H23 は附属室場は含んでいません。

③ 運営状況

男女共同参画センターは、正規職員5人、再任用職員2人、非常勤職員等により市の直営で運営しています（窓口業務等一部業務委託）。正規職員、再任用は多くの業務に従事し、非常勤職員は、相談業務や主催事業の企画・開催業務などを行っています。

3) まとめ

- 男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の形成の促進に関する各種講座や講演会等のほか、施設の貸出事業も行っていますが、利用状況はほぼ横ばいとなっています。

(4) 市民談話室

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、地域社会の振興及び市民福祉の増進を図るため、市民談話室を2施設保有しています。

八幡市民談話室は、市民の交流の場としての位置付けだけではなく、地域の文化情報や観光情報の発信を行う市の案内施設としての役割も担っています。

南行徳市民談話室は、行政窓口機能である南行徳市民センター内に併設しており、保健施設である保健センターと併設しています。

設置目的：地域社会の振興及び市民福祉の増進を図るため

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設		備考
					庁舎等	保健施設	
1 八幡市民談話室	八幡2-4-8	881.93	平成元	鉄骨鉄筋 コンクリート造			
2 南行徳市民談話室	南行徳1-21-1	1,379.71	平成9	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●	●	南行徳市民センター内
合計		2,261.64					

② 開館時間・開館日数

開館時間：午前9時～午後9時

休館日：毎月の最終月曜日、年末年始

開館日数：346日（平成25年度）

③ 事業内容

市民のサークル活動や地域の活動を行う方々に、活動の場を提供しています（貸館事業）。

④ 予約方法・使用料金等

市民談話室を使用するには、事前の申請、予約が必要です。使用する日の3ヶ月前にあたる日から使用する日まで予約を受け付けています。受付は、各施設の窓口及び電話受付とインターネット受付が可能です。

使用する際には、施設ごとに料金が定められた使用料金を支払う必要があります。

⑤ 利用対象者

本市に在住、在勤の方などが中心となって構成する団体の、各種のサークル活動、学習会、研修会などに利用することができます。

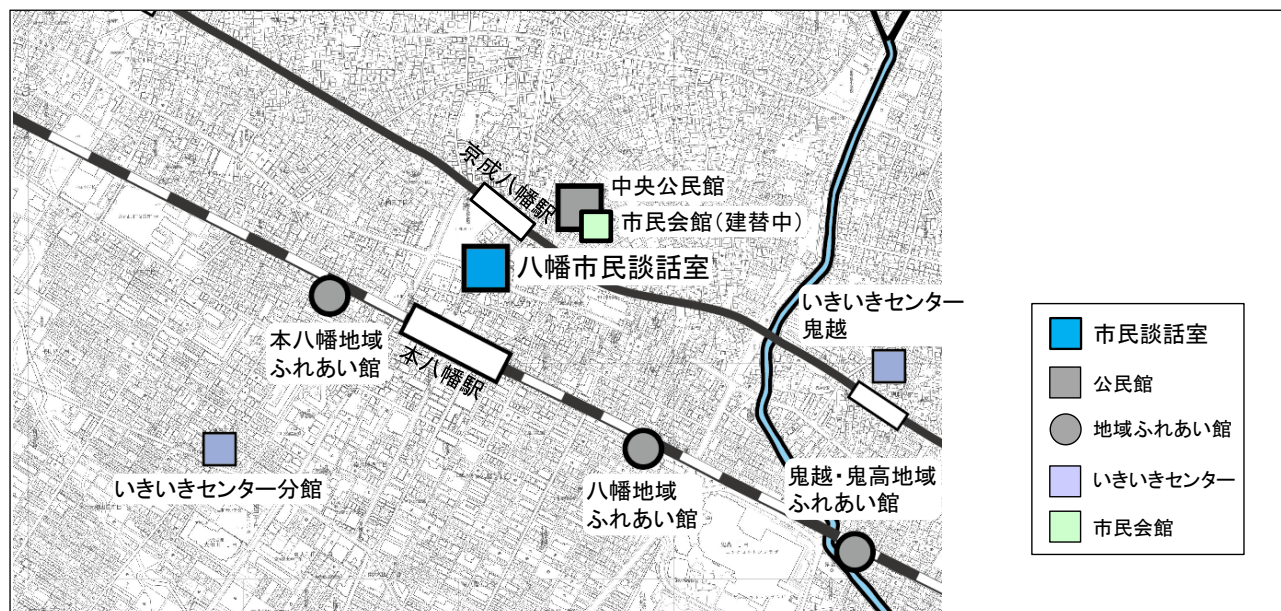
ただし、公民館と同様に営利に係わる教室、販売、勧誘、面接、説明会等を目的とした使用はできません。

⑥ 配置状況

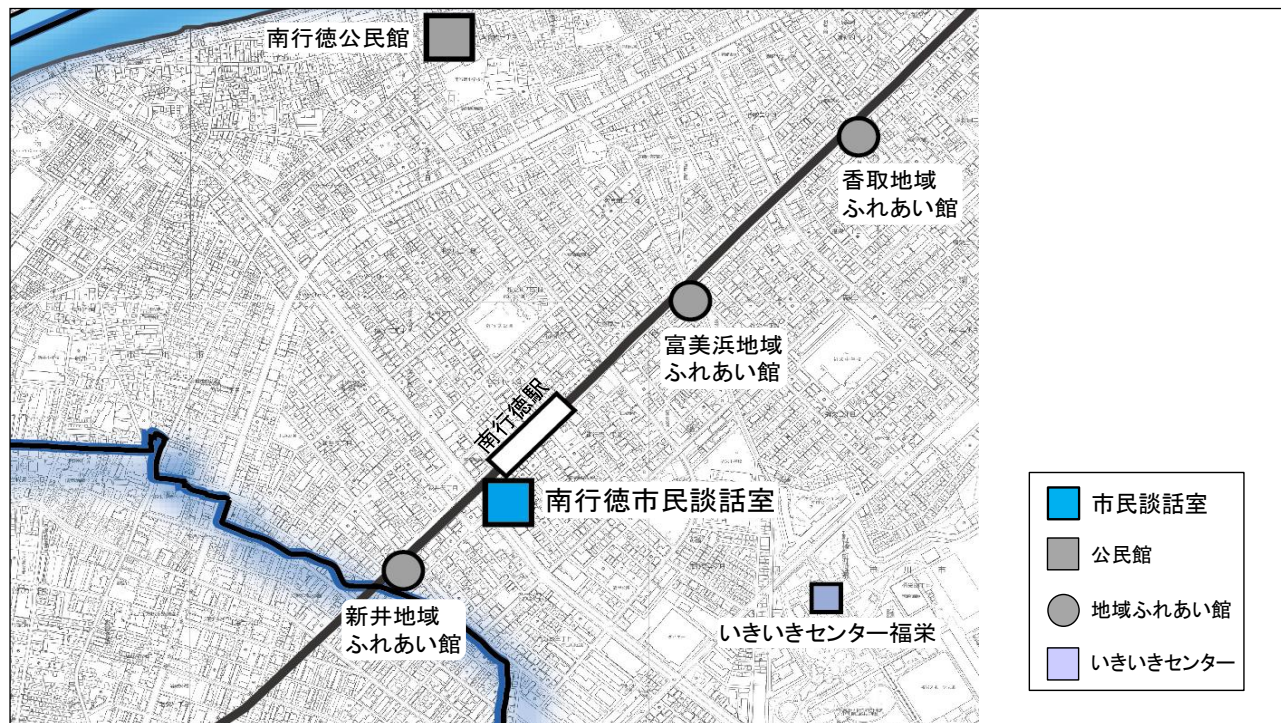
市民談話室は、市内に2施設設置しています。八幡市民談話室は本八幡駅、京成八幡駅に近接し、南行徳市民談話室は南行徳駅に近接しており、共に利便性が高い施設です。

また、各施設の周辺には、公民館や地域ふれあい館といった集会施設が配置されています。

図表 八幡市民談話室位置図



図表 南行徳市民談話室位置図



⑦ スペース構成

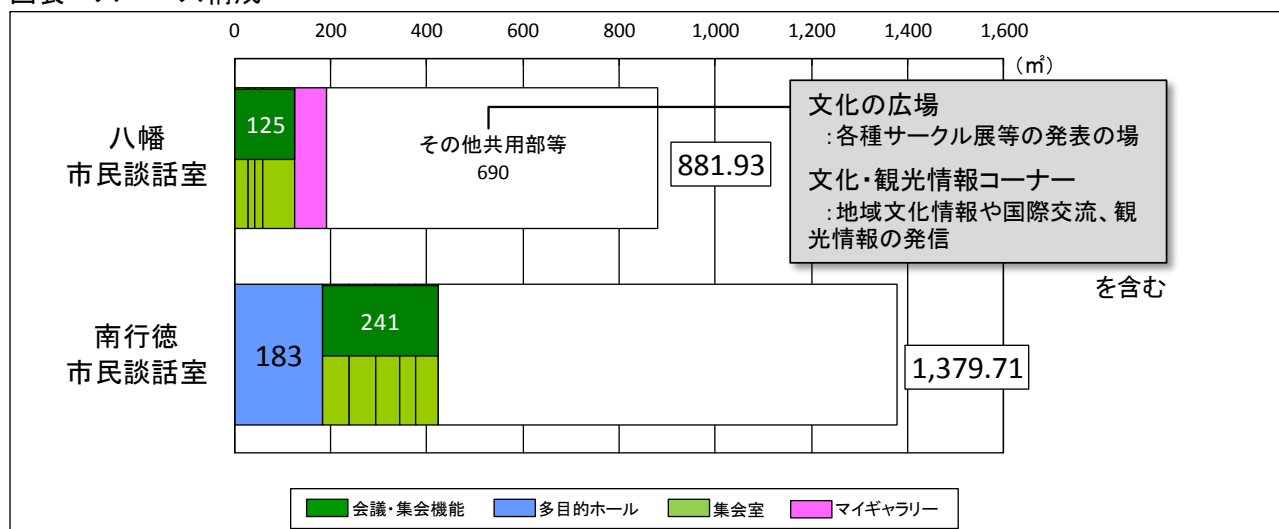
施設規模は、八幡市民談話室が 882 m²、南行徳市民談話室が 1,380 m²となっています。

保有機能をみると、集会室が八幡市民談話室 4 室、南行徳市民談話室 5 室設置されており、スペースの中心となっています。

八幡市民談話室には、貸館事業対象スペースとして、美術作品などを展示できるマイギャラリーを併設している他、地域の文化情報や観光情報の発信を行う「文化・観光情報コーナー」や各種展示などに使える「文化の広場」が設置されています。

南行徳市民センターには、貸館事業対象スペースとして、集会や発表会、展示会等に使用できる多目的ホールを設置しています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

平成 25 年度の市民談話室 2 施設の建物状況は、下記のとおりです。

八幡市民談話室は築 25 年を経過しており、老朽化が懸念される施設となっているため、今後計画的な修繕等を検討する際の対象施設となります。

南行徳市民談話室は、平成 9 年度に整備された比較的新しい施設です。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (m ²)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費単位 (GJ/m ² ・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/m ²)		
				燃料、光熱水費			施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	八幡市民談話室	平成元	881.93	25	1,014	1,149	2,693	3,033	2,204	3,054	3,439	2,499
2	南行徳市民談話室	平成9	1,379.71	17	-	-	3,100	9,848	1,574	2,247	7,138	1,141
合計			2,261.64	-	-	-	5,793	12,882	3,778	-	-	-

<老朽化凡例>
■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>
■ : 平均値を上回る

② 利用状況

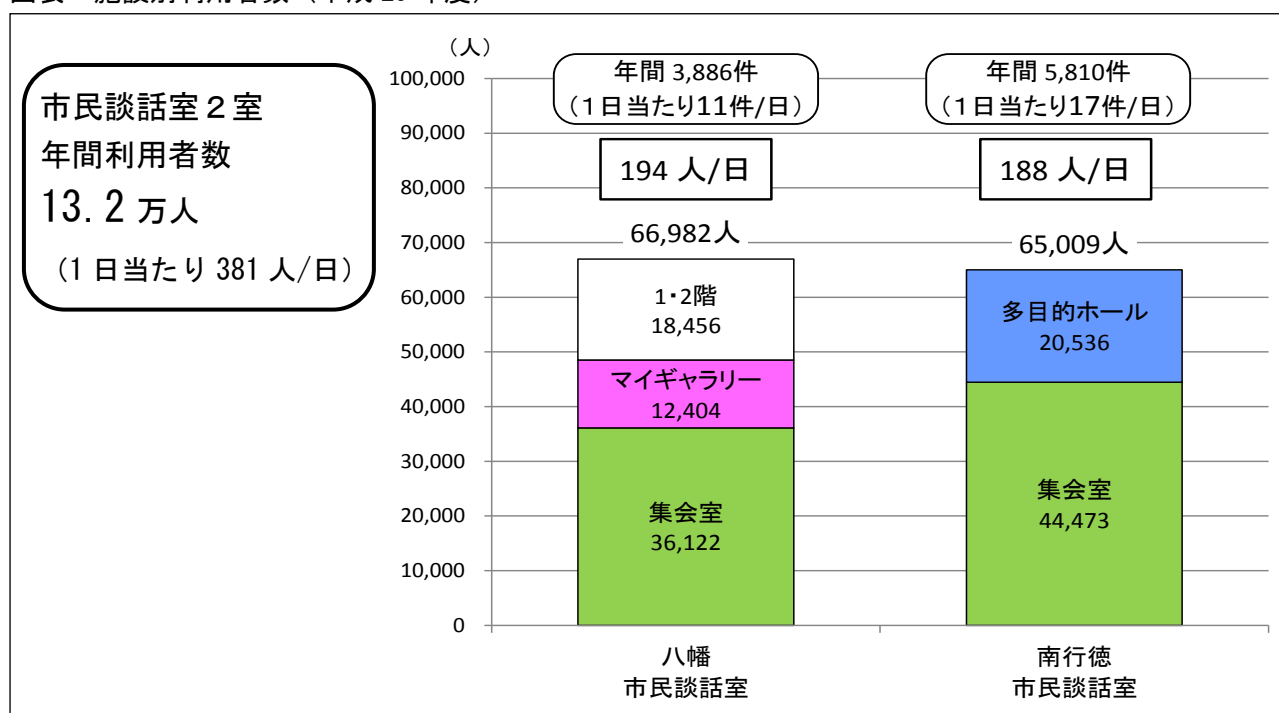
平成 25 年度の市民談話室 2 室の年間利用者数は、13.2 万人、運営日 1 日当たり 381 人となっています。

施設別にみると、八幡市民談話室が 6.7 万人（運営日 1 日当たり 194 人）、南行徳市民談話室が 6.5 万人（運営日 1 日当たり 188 人）となっています。

八幡市民談話室の年間利用件数は、年間 3,886 件（運営 1 日当たり 11 件）であり、延 5 室あることから、毎日 1 室当たり約 2 件程度の利用であることが分かります。

南行徳市民談話室の年間利用件数は、年間 5,810 件（運営 1 日当たり 17 件）であり、延 6 室あることから、毎日 1 室当たり約 3 件程度の利用であることが分かります。

図表 施設別利用者数（平成 25 年度）



③ 運営状況

市民談話室は、再任用職員、非常勤職員により市が直営で運営しています。

八幡市民談話室は、再任用職員が 5 人の他、非常勤職員が配置されています。南行徳市民談話室は、再任用職員が 2 人の他、非常勤職員が配置されています。

施設内職員は、利用に関する受付・案内等を行っています。

3) まとめ

- ・ 貸館対象の事業スペースは集会室、多目的ホールが中心であり、公民館や地域ふれあい館と同様です。
- ・ 2 施設とも利便性の高い駅前にあり、貸館事業系施設の集中がみられます。
- ・ 利用状況を見ると、1 室当たり 1 日 2～3 件程度となっていますが、時間単位では、1 日あたり 1 室 7～8 時間の利用があります。

(5) 文化会館等

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民の芸術文化の振興及び市民福祉の増進等を図るため、ホール等を備えた文化施設を3施設整備しています。

文化会館は、近郊でも有数の設備を持つ会館として、同時に、芸術文化に関する様々な企画事業を主催する会館として、本市における芸術文化の拠点となっています。

行徳公会堂（行徳文化ホールⅠ＆Ⅰ）は、第七中学校の老朽化校舎の建替えに伴い、保育園、ケアハウスなどとともに、PFI事業として一体的に整備された複合施設で、文化会館と同様に企画事業も行われています。文化会館、行徳公会堂（行徳文化ホールⅠ＆Ⅰ）は、指定管理者による管理運営を行っています。

市民会館は、老朽化が進行し、ホール部分の天井耐震調査においても、危険性が高いと判断されたため、現在、建替えを行っています。

設置目的

文化会館	芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るため
市民会館	
行徳公会堂 (行徳文化ホールⅠ＆Ⅰ)	芸術文化の振興及び市民の交流の推進を図るため

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設				備考
					保育園	デイサービス センター	その他高齢者 福祉施設	その他	
1 文化会館	大和田1-1-5	20,117.35	昭和60	鉄骨鉄筋 コンクリート造					
2 市民会館	八幡4-2-1	2,460.39	昭和33	鉄筋コンクリート造					建替え中
3 行徳公会堂 (行徳文化ホールⅠ&Ⅰ)	末広1-1-48	3,077.65	平成16	鉄筋コンクリート造	●	●	●	第七 中学校	PFI事業
合計		25,655.39							

② 開館時間・開館日数

名称	開館時間	休館日	平成25年度 開館日数
文化会館	午前9時～午後9時30分	毎月第2・第4火曜日 年末年始	309日
市民会館	建替中		335日
行徳公会堂 (行徳文化ホールⅠ＆Ⅰ)	午前9時～午後9時30分	毎月第1・第3火曜日 年末年始	329日

③ 事業内容

市民の芸術文化の振興を図るため、芸術文化に関する様々な企画事業を開催しています（主催事業）。また、市民の自主的な芸術文化活動の場を提供しています（貸館事業）。

④ 予約方法・使用料金等

各文化施設を使用するには、事前の申請、予約が必要です。ホールと展示室の予約は次の通りです。市内に在住の方は、利用する日の1年前の月の初日から利用日の30日前まで予約ができます。市外に在住の方は、利用する日の11カ月前からとなっています。

会議室、練習室、和室、茶華道室は、市内に在住の方は利用する日の3カ月前の月の初日から利用日の前日まで予約ができます※1。市外に在住の方は利用する日の2か月前からとなっています。

予約等の受付は、インターネットでの自動抽選となっており、当選後は各施設の窓口にて本申請が必要です。なお、自動抽選後は電話等でも仮予約が可能です。

使用する際には、施設ごとに定められた使用料金を支払う必要があります。

※1 行徳公会堂の大会議室を展示室として利用する場合は、市内に在住の方は利用する日の6カ月前の月の初日から利用日の30日前まで予約ができます。市外に在住の方は利用する日の5カ月前からとなっています。

⑤ 利用対象者

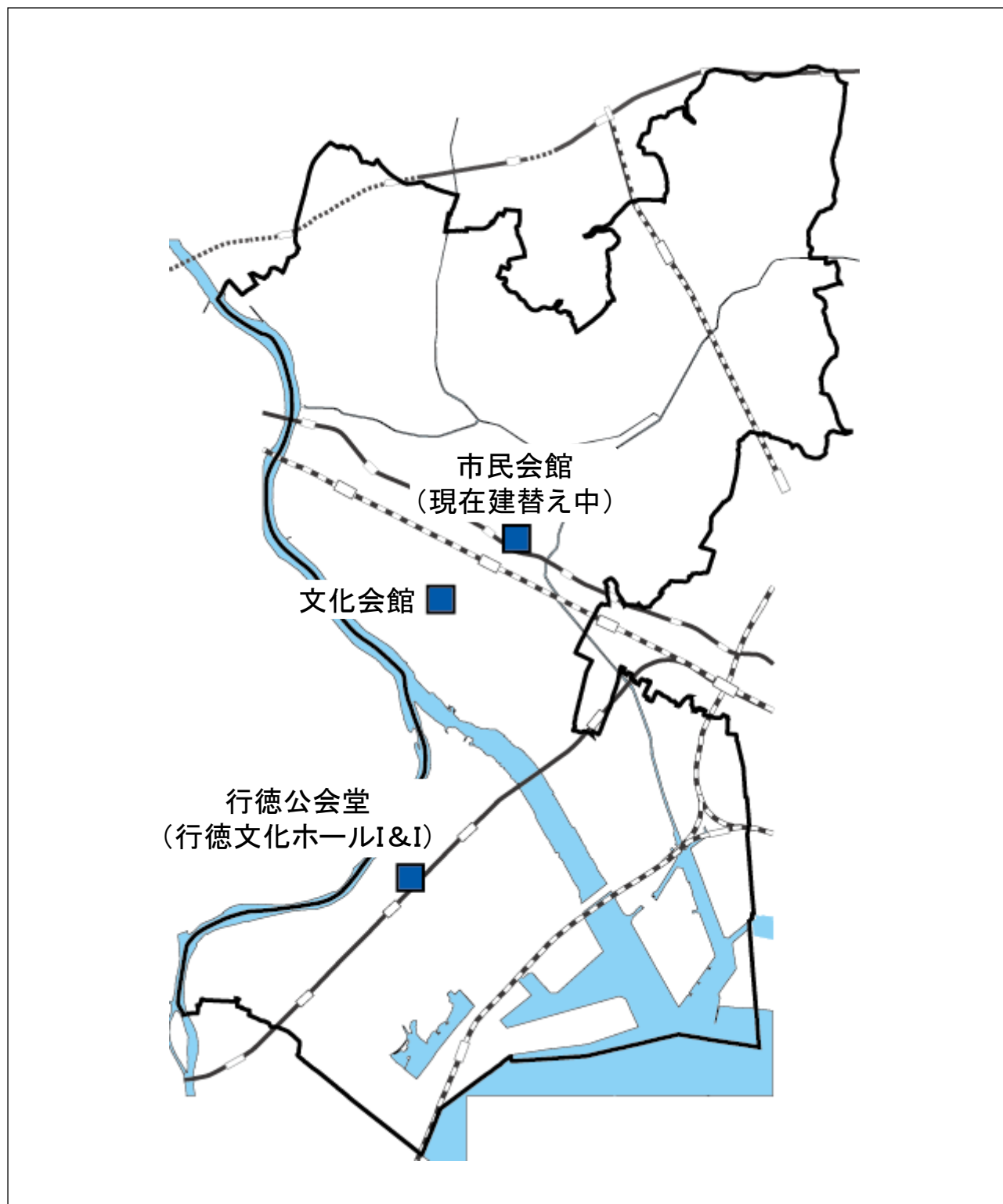
本市に在住、在勤の方などの、文化芸術活動の発表の場、各種のサークル活動、学習会、研修会などに利用することができます。

ただし、風俗を害する場合、施設や付属設備を損傷する恐れがあるとき等は、施設の使用をお断りする場合があります。

⑥ 配置状況

文化会館等は、市のほぼ中心に位置する文化会館を拠点とし、北部の文化活動の場として市民会館、南部の文化活動の場として行徳公会堂（行徳文化ホールI&I）を設置しています。

図表 文化会館等位置図



⑦ スペース構成 (現在建替え中の市民会館を除く)

施設規模は、文化会館が約2万㎡、行徳公会堂(行徳文化ホールI&I)が約3千㎡となっています。文化会館には定員1,945人の大ホールと定員448人の小ホールが設置されている他、会議室や和室、練習室及び展示室が整備され、広域的な芸術文化の拠点施設として、様々な部屋機能を保有しています。

図表 スペース構成

	ホール(定員)		会議・集会機能(部屋面積)					
	大ホール	小ホール	大会議室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	第5会議室
文化会館	1,945人	448人	211㎡	56㎡	122㎡	65㎡	65㎡	116㎡
行徳公会堂 (行徳文化ホールI&I)	—	639人	226㎡	—	—	—	—	—

	会議・集会機能		練習室【防音】(部屋面積)			展示室 (部屋面積)	延床面積 (㎡)
	和室	茶室	第1練習室	第2練習室	第3練習室		
文化会館	59㎡	31㎡	97㎡	52㎡	45㎡	401㎡	20,117㎡
行徳公会堂 (行徳文化ホールI&I)	—	—	—	—	—	—	3,077㎡

2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の文化会館等3施設のうち、現在利用を停止し、建替え中の市民会館を除く2施設の建物状況は、下記のとおりです。

文化会館は築29年を経過しており、今後老朽化が懸念される施設となっているため、今後計画的な対策を検討する対象施設となります。

行徳公会堂(行徳文化ホールI&I)は、平成16年度に整備された比較的新しい施設です。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積(㎡)		一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費単位(GJ/㎡・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/㎡)		
				燃料、光熱水費			施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	文化会館	昭和60	20,117.35	29	22,175	1,102	—	473	51,992	—	24	2,584
2	市民会館	昭和33	2,460.39	建替え中								
3	行徳公会堂 (行徳文化ホールI&I)	平成16	3,077.65	10	—	—	—	65	3,940	—	21	1,280
合計			25,655.39	—	—	—	0	538	55,932	—	—	—

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
 ■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

② 利用状況 (現在建替え中の市民会館を除く)

■ 全体の利用状況

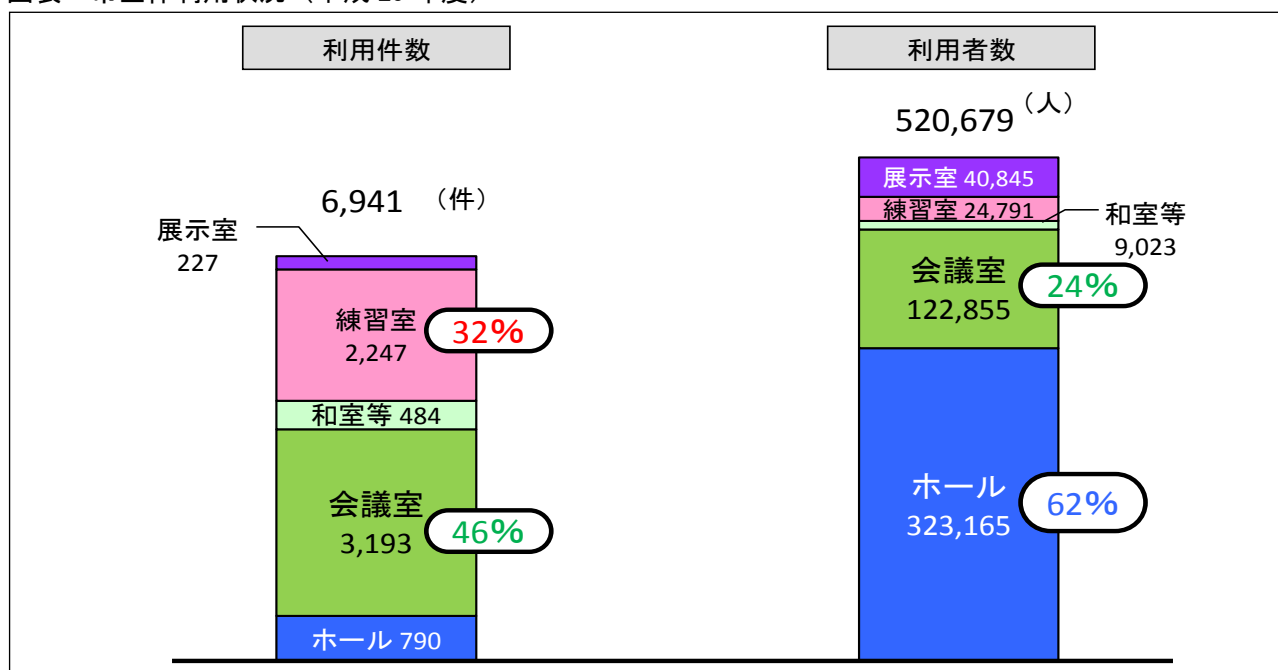
平成 25 年度の文化会館、行徳公会堂(行徳文化ホール I & I)の全体利用件数は 6,941 件、利用者数は 52 万 679 人です。

部屋別の内訳をみると、利用件数ベースでは会議室が約 46%を占め、次いで練習室が 32%を占めています。利用者数ベースではホールが 62%を占めており、ホール中心の利用となっていることがわかります。次いで会議室が 24%を占めています。

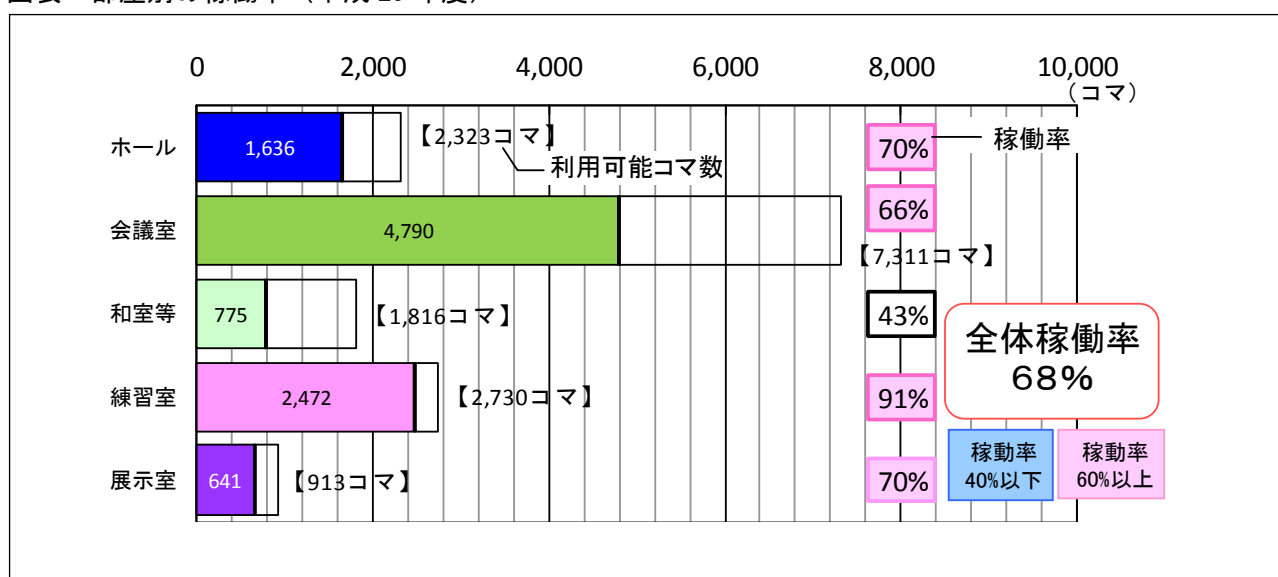
全体稼働率は 68%と、公民館等の集会施設と比べ、非常に高くなっています。

部屋別の内訳をみると、練習室が 91%と非常に高くなっています。次いでホール及び展示室が 70%、会議室が 66%となっております。

図表 市全体利用状況 (平成 25 年度)



図表 部屋別の稼働率 (平成 25 年度)

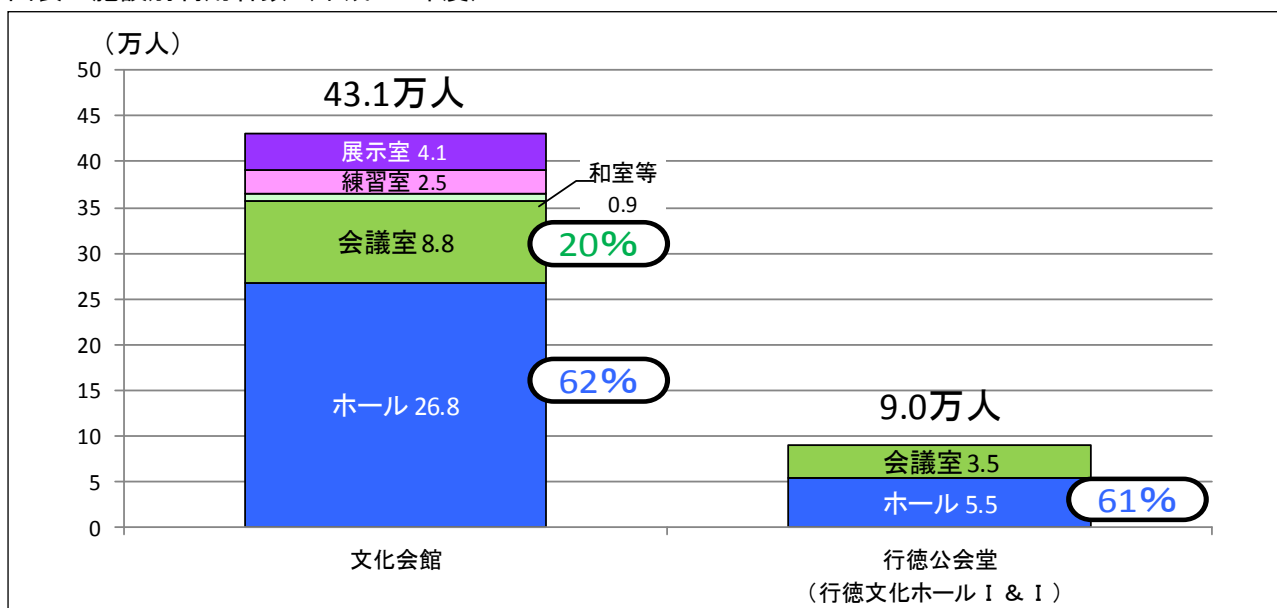


■ 施設別の利用状況

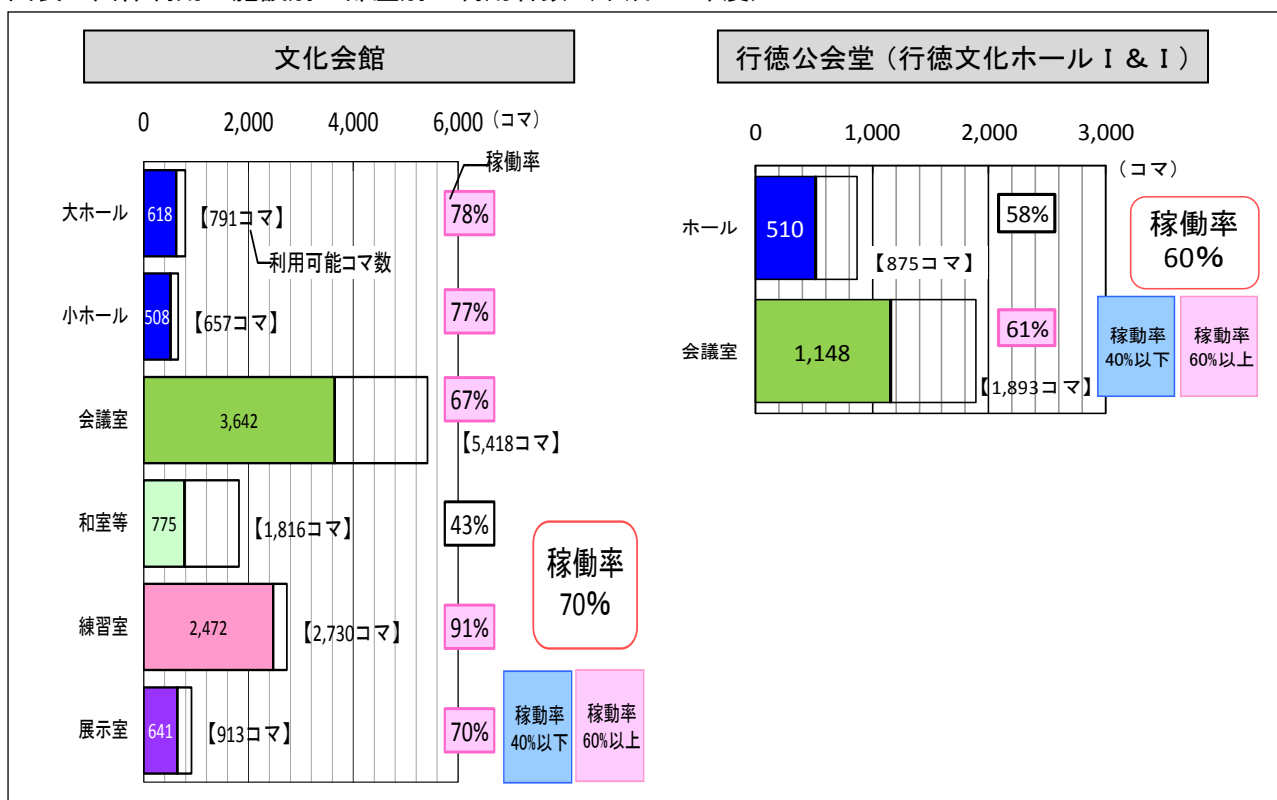
平成 25 年度の施設別利用者数をみると、文化会館が約 43.1 万人、行徳公会堂（行徳文化ホール I & I）が約 9.0 万人です。部屋別の内訳をみると、共にホールが 6 割以上を占めています。

稼働率をみると、文化会館全体は 70% と非常に高く、行徳公会堂（行徳文化ホール I & I）は 60% となっています。部屋別の内訳をみると、文化会館は和室等を除き 60% 以上の稼働率となっています。行徳公会堂（行徳文化ホール I & I）はホール、会議室ともに概ね 60% の稼働率となっております。

図表 施設別利用者数（平成 25 年度）



図表 団体利用の施設別・部屋別 利用者数（平成 25 年度）



③ 運営状況

文化会館、行徳公会堂（行徳文化ホールⅠ＆Ⅱ）は、指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用し、運営しています。

なお、施設の大規模な修繕・改修等に係る業務は市が行っています。

3) まとめ

- 文化会館は築 28 年を経過し、今後老朽化対策に多くの費用が必要となることが見込まれています。
- 文化会館は稼働率が非常に高く、広域的な芸術文化の拠点施設となっています。

(6) その他文化施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、文化都市としてふさわしい街づくりを進めるために、地域の文化資源の活用や文化活動の場の整備を図るため、「街かどミュージアム都市づくり」を実施してきました。7施設保有しています。

設置目的：芸術の鑑賞や創造、発表の場、また市民の連帯感を深め合うため。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設			備考
					図書館	その他 教育施設	その他子育 て支援施設	
1 芳澤ガーデンギャラリー	真間5-1-18	599.25	平成16	鉄筋コンクリート造				
2 木内ギャラリー	真間4-11-4	216.70	平成16	鉄筋コンクリート造				移築
3 東山魁夷記念館	中山1-16-2	1,388.37	平成17	鉄筋コンクリート造				
4 文学ミュージアム	鬼高1-1-4	2,970.00	平成6	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●	●	●	平成25年開館 生涯学習センター
5 清華園	中山4-14-1	174.73	昭和53	木造				
6 水木洋子邸	八幡5-17-3	126.68	昭和16	木造				
7 郭沫若記念館	真間5-3-19	119.80	平成16	木造				移築
合計		5,595.53						

② 開館時間・開館日数

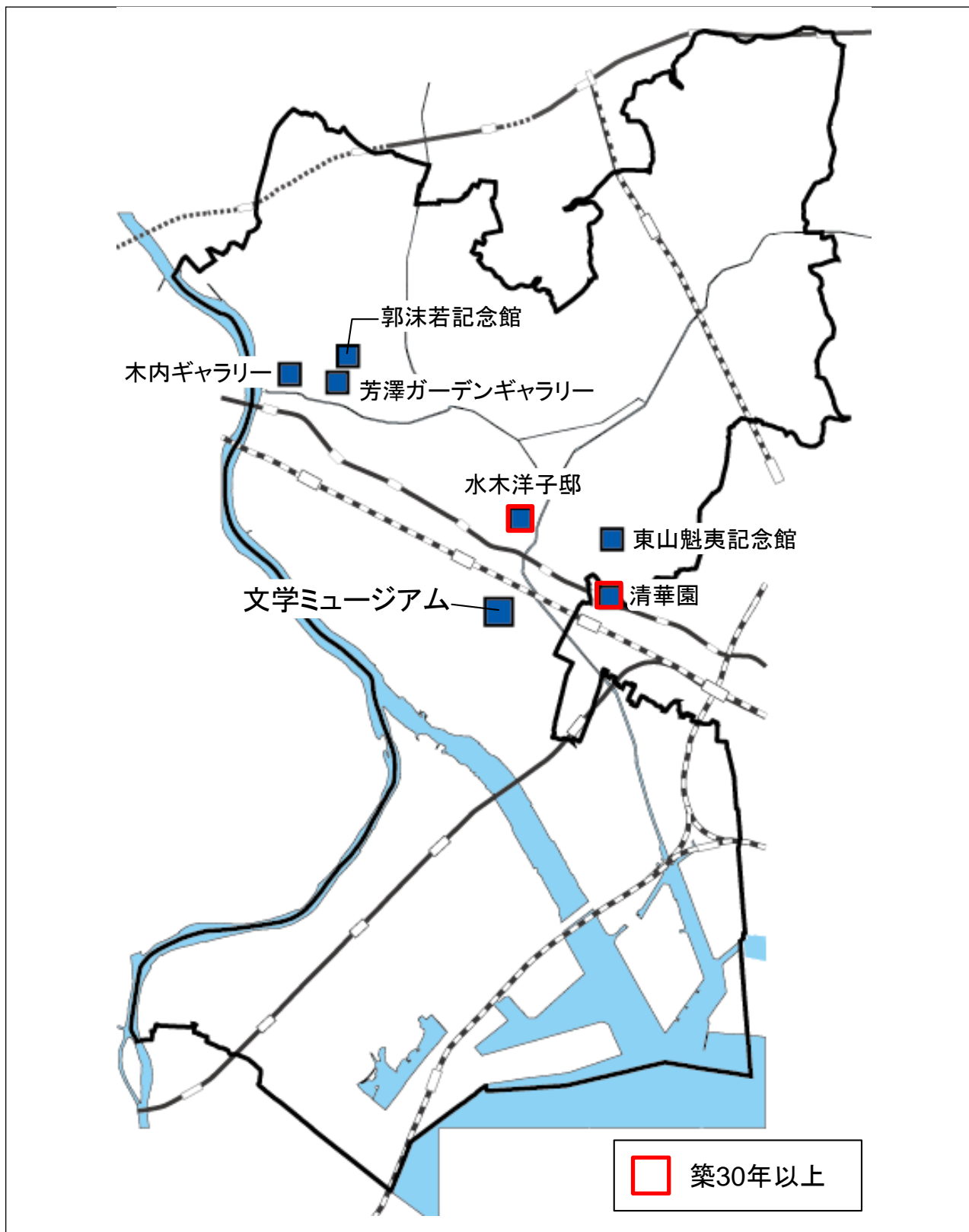
名称	開館時間	休館日	開館日数
芳澤ガーデンギャラリー	午前9時～午後5時	毎週月曜日、年末年始 (祝日の場合は開館、翌日休館)	300日
木内ギャラリー	午前9時～午後5時	毎週月曜日、年末年始 (祝日の場合は開館、翌日休館)	301日
東山魁夷記念館	午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	月曜日 (祝休日の場合は直後の平日) 展示替期間、年末年始	285日
文学ミュージアム	平日：午前10時～午後7時30分 (企画展示室の入室は午後7時まで) 土曜・日曜・祝日：午前10時～午後6時 (企画展示室の入室は午後5時30分まで) 資料室は午前10時～午後5時 (図書の閲覧、複写申し込みは午後4時30分まで)	毎週月曜日 (月曜が祝日の場合は、翌火曜日休館) 館内整理日 (毎月最終平日 ※8月と12月は除く) 年末年始 (企画展示室及び資料室は、展示替え期間中は閉室)	295日
清華園	午前9時～午後5時 (平成27年度より午前10時～午後4時)	月曜日、年末年始 (平成27年度より原則月～木曜日と年末年始が休館。ただし、イベント開催時を除く)	305日
水木洋子邸	午前10時～午後4時	原則、毎月第2、4土曜、日曜日に公開 (1月は第4土曜、日曜日のみ、12月は第2土曜、日曜日)にのみ公開。平成27年度からは、2月も第4土曜、日曜日のみ公開になる)	66日
郭沫若記念館	午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで) (平成27年度より午前10時～午後4時)	月曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始 (平成27年度より原則月～木曜日と年末年始が休館。ただし、4月～5月上旬は無休)	305日

③ 事業内容

市民が身近な場所で芸術・文化に親しめるよう、各施設の特徴を生かした、様々な事業を企画・実施しています。また、各施設を利用して催し物等を開催することもできます。

④ 配置状況

図表 その他文化施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度のその他文化施設7施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
							維持管理費(千円)			床面積当たり(円/㎡)		
		建築年度	延床面積(㎡)	築年数(年)	(一次エネルギー消費量(GJ/年))	一次エネルギー消費(原単位)(GJ/㎡・年)	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料
1	芳澤ガーデンギャラリー	平成16	599.25	10	-	-	※1	87(※2)	1,450(※2)	※1	145(※2)	2,420(※2)
2	木内ギャラリー	平成16	216.70	10	139	0.644		87(※2)	0(※2)		401(※2)	0(※2)
3	東山魁夷記念館	平成17	1,388.37	9	5,361	3,862	11,388	22,618	2,288	8,202	16,291	1,648
4	文学ミュージアム	平成6	2,970.00	20	-	-	14,092	33,783	5,366	4,745	11,375	1,807
合計			5,174.32	-	-	-	25,480	56,575	9,104	-	-	-

※1 指定管理委託料に含む。

※2 指定管理料に含んでいない管理委託料、修繕料。

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応	
		建築年度	延床面積(㎡)	築年数(年)	(一次エネルギー消費量(GJ/年))	一次エネルギー消費(原単位)(GJ/㎡・年)
1	清華園	昭和53	174.73	36	57	0.328
2	水木洋子邸	昭和16	126.68	73	14	0.110
3	郭沫若記念館	平成16	119.80	10	85	0.710
合計			421.21	-	-	-

<老朽化凡例>

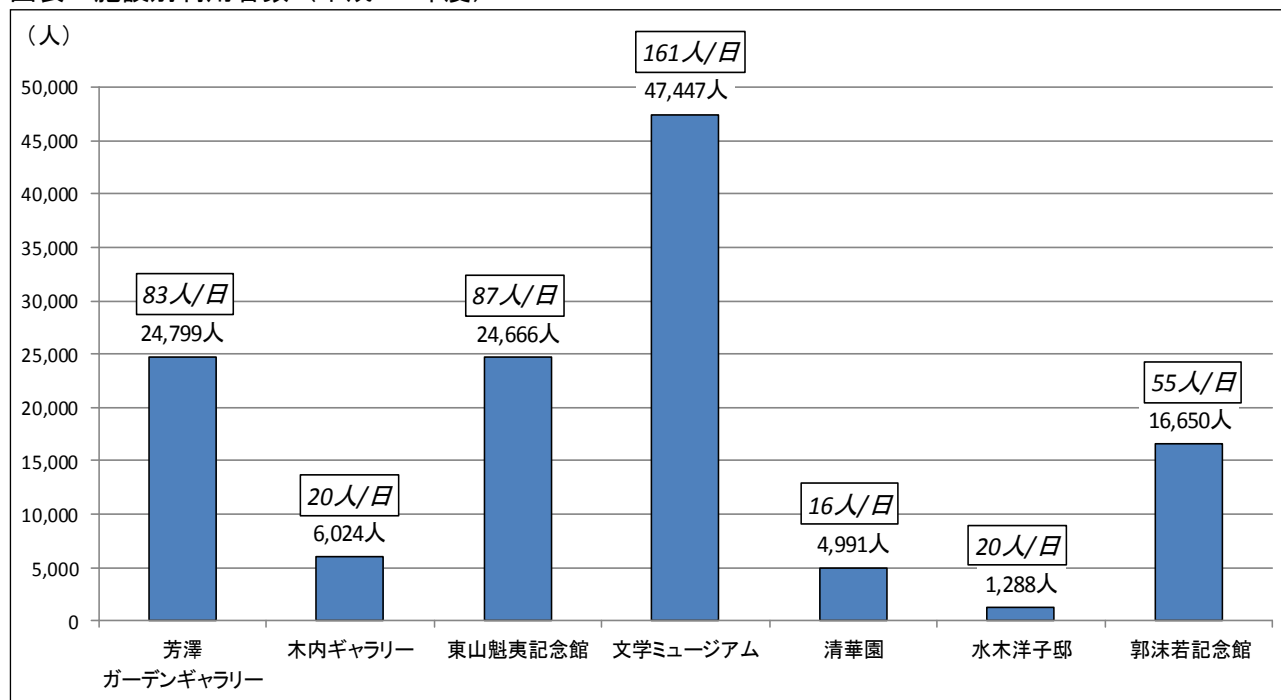
■ : 築30年以上

② 利用状況

■ 利用者数

平成25年度の各施設の年間利用者数は、文学ミュージアムが最も多く約4.7万人、運営1日当たり161人/日です。次いで芳澤ガーデンギャラリーが約2.5万人（運営1日当たり83人/日）、木内ギャラリーが約6千人（運営1日当たり約20人/日）となっています。

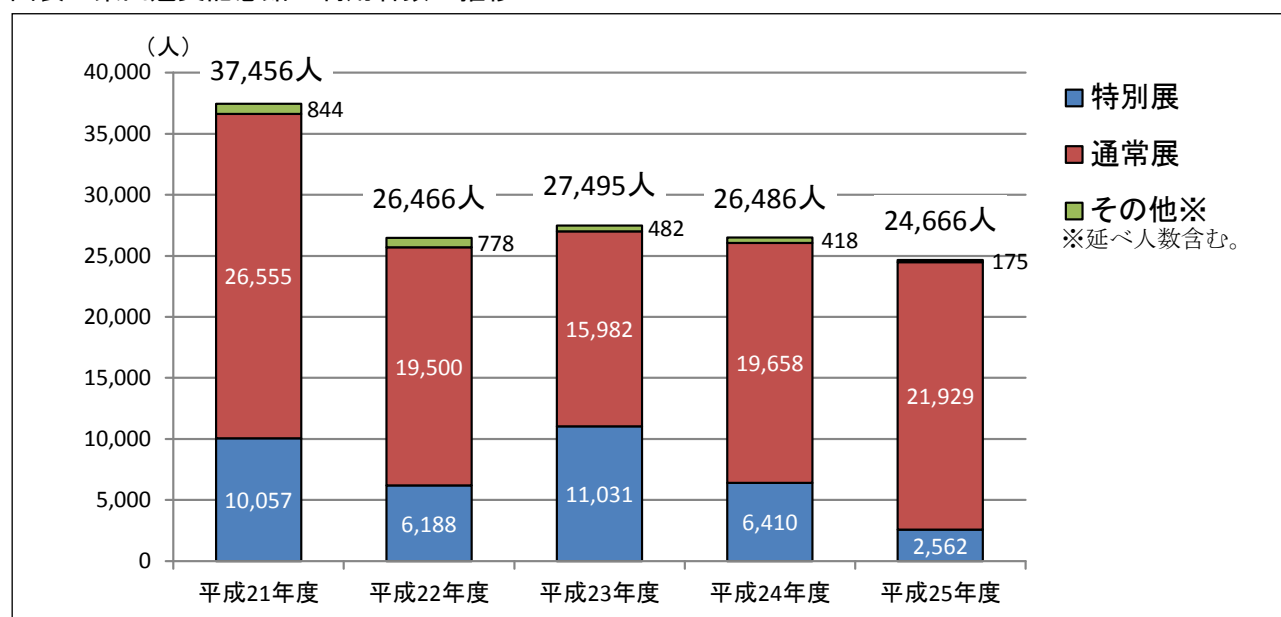
図表 施設別利用者数（平成25年度）



■ 東山魁夷記念館の利用状況

東山魁夷記念館の利用者数の推移は、平成21年度が約3.7万人と最も多く、平成22年度以降は、2.6万人前後で推移しています。

図表 東山魁夷記念館の利用者数の推移



③ 運営状況

芳澤ガーデンギャラリー及び木内ギャラリーは指定管理者制度を導入して運営しています。

その他、文学ミュージアム等 5 施設は、市の直営で運営しています。

東山魁夷記念館は施設に市の職員 4 人、非常勤職員等が配置されています。清華園、水木洋子邸には職員等は配置されておらず、郭沫若記念館には施設の受付窓口に再任用職員が配置されています。(平成 25 年度現在)

文学ミュージアムは、施設に市の職員 4 人、再任用職員 2 人、非常勤職員等が配置されています。

3) まとめ

- ・ その他文化施設のうち、清華園及び水木洋子邸が築 30 年以上経過していることから、老朽化対策を検討する必要があります。

◆ 社会教育系施設

(7) 図書館及び関連施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、図書館及び関連施設として、中央図書館をはじめとした5館1室の施設を配置し、固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービスとして自動車図書館を市内で運行してサービスを行っています。

また、市内の7つの公民館内に公民館図書室、市内の4つの小学校内に市民図書室として地域と結び付いたサービスを行っています。図書購入等の業務は中央図書館で行っていますが、日常の事業運営等については、各公民館図書室、市民図書室が、それぞれの地域に密着したサービスを展開しています。さらに、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ2階窓口、西部、大野、曾谷、東部の公民館図書室及び各市民図書室は図書館とオンライン化し連携しています。

設置目的：市民の教育と文化の発展に寄与するため

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設							備考	
					公民館	小・中学校	男女共同 参画センター	その他子育 て支援施設	庁舎等	消防庁舎	その他		
市立 図書館	1 中央図書館	鬼高1-1-4	6,411.00	平成6	鉄骨鉄筋 コンクリート造				●			●	生涯学習センター内
	2 行徳図書館	末広1-1-31	2,223.00	昭和63	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●			●	●			
	3 信篤図書館	高谷1-8-1	912.00	昭和43	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●						●	
	4 南行徳図書館	相之川1-2-4	360.00	昭和58	鉄骨鉄筋 コンクリート造								
	5 市川駅南口図書館	市川南1-10-1	573.00	平成20	鉄骨鉄筋 コンクリート造				●			アイリンク 展望施設	ザタワーズ ウェスト内
	6 平田図書室	平田1-20-16	256.00	昭和61	鉄骨鉄筋 コンクリート造				●				1Fが平田保育園
	7 自動車図書館					—							
公民館 図書室	8 大野公民館図書室	南大野2-3-19	127.00	昭和56	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●			●	●		ケアシステム ・集会室	大野公民館内
	9 西部公民館図書室	中国分2-13-8	112.00	昭和49	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●			●			ケアシステム ・集会室	西部公民館内
	10 曾谷公民館図書室	曾谷6-25-6	144.00	昭和58	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●			●			ケアシステム ・集会室	曾谷公民館内
	11 東部公民館図書室	本北方3-19-6	81.00	昭和53	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●			●			ケアシステム ・集会室	東部公民館内
	12 市川公民館図書室	市川2-33-2	98.70	平成3	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●							市川公民館内
	13 市川駅南公民館図書室	大洲4-18-3	105.20	昭和56	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●			●			集会室	市川駅南公民館内
	14 本行徳公民館図書室	本行徳12-8	170.00	昭和54	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●			●			集会室	本行徳公民館内
市民 図書室	15 稲越市民図書室	稲越町518-2	135.00	昭和55	鉄骨鉄筋 コンクリート造		●						稲越小学校内
	16 大柏市民図書室	大野町2-1877	315.00	昭和56	鉄骨鉄筋 コンクリート造		●						大柏小学校内
	17 塩焼市民図書室	塩焼5-9-8	135.00	昭和55	鉄骨鉄筋 コンクリート造		●						塩焼小学校内
	18 福栄市民図書室	南行徳2-2-1	112.50	昭和59	鉄骨鉄筋 コンクリート造		●						福栄小学校内
その他	19 男女共同参画センター 情報資料室	市川1-24-2	93.00	平成3	鉄骨鉄筋 コンクリート造			●			●		男女共同参画センター
合計			12,363.40										

② 開館時間・開館日数

名称	開館時間	休館日	開館日数
中央図書館	午前10時～午後7時30分 (土・日・祝日は午後6時まで)	毎週月曜日、年末年始	286日
行徳図書館	午前10時～午後7時30分 (土・日・祝日は午後5時まで)	毎週月曜日、年末年始	286日
信篤図書館	午前9時30分～午後5時	毎週月曜日、祝日、年末年始	278日
南行徳図書館	午前9時30分～午後5時	毎週月曜日、祝日、年末年始	278日
市川駅南口図書館	午前9時30分～午後9時 (土・日・祝日は午後6時まで)	毎週月曜日、年末年始	294日
平田図書室	午前9時30分～午後5時	毎週月曜日、祝日、年末年始	278日
大野公民館図書室	午前9時～午後4時30分	毎週月曜日、祝日、年末年始	118日
西部公民館図書室	午前10時～午後4時30分	毎週月曜日、祝日、年末年始	294日
曾谷公民館図書室	午前10時～午後4時30分	毎月最終月曜日、祝日、年末年始	275日
東部公民館図書室	午前10時～午後4時30分	毎週月曜日、祝日、年末年始	298日
市川公民館図書室	午前9時～午後5時	毎週月曜日、祝日、年末年始	297日
市川駅南公民館図書室	午前9時～午後5時	毎週月曜日、祝日、年末年始	297日
本行徳公民館図書室	午前9時～午後5時	毎週月・火・木・金・土曜日、年末年始	103日
市民図書室 4室	午前10時～午後4時	毎週月・火・木・金曜日、祝日、年末年始	145日 ～148日
男女共同参画センター 情報資料室	午前9時30分～午後5時	毎週月曜日、祝日、年末年始	268日

注：【改修工事に伴う休館】平成25年度 大野公民館7ヵ月、曾谷公民館2ヵ月

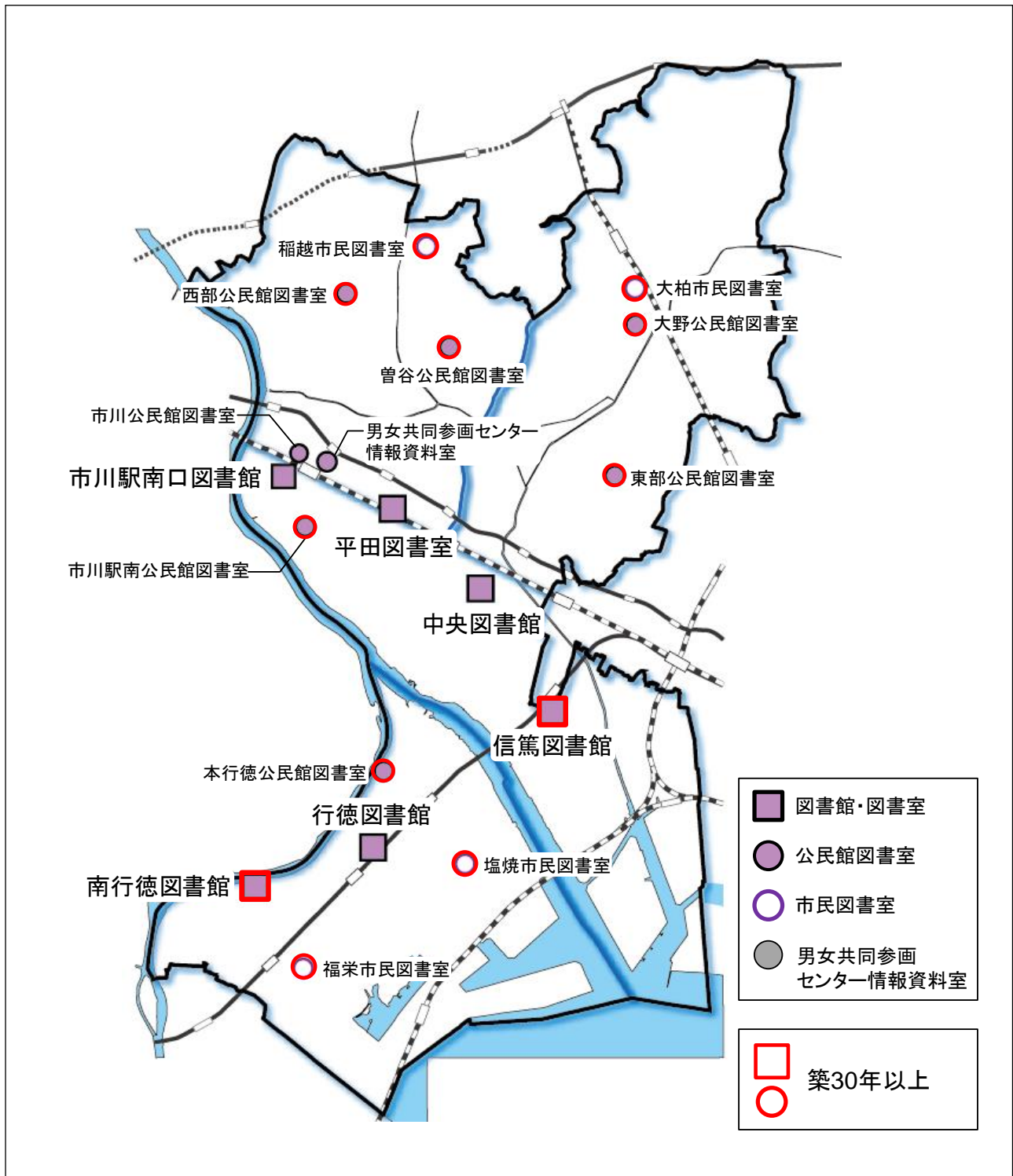
③ 利用方法・利用対象者等

市立図書館で本などを借りる時には、図書館利用券が必要です。図書館利用券は市川市の市立図書館で共通利用券となっており、市内に在住・在勤の方が対象となります。

一度に本・雑誌の貸出しできる冊数は、全館合計20冊までです。貸出し期間は貸出日を含む15日間です。

配置状況

図表 図書館及び関連施設位置図



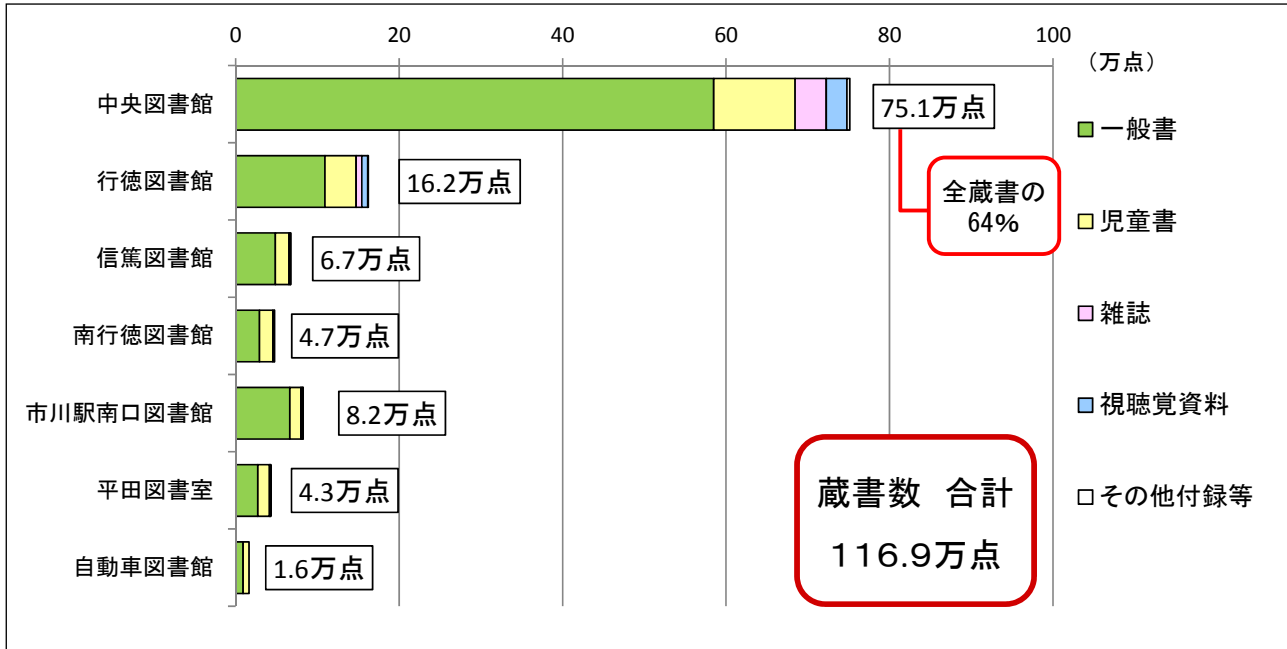
④ 蔵書数

市立図書館の総蔵書数は、116万9,458点です。内訳は、図書資料（一般書・外国語資料・点字図書・児童書）が108万0,867点（約92%）、視聴覚資料（ビデオ・DVD・CD）が3万3,653点（約3%）、その他資料（雑誌・付録等）が5万4,938点（約5%）で、大半が図書資料となっています。また、図書資料のうち、一般書が87万5,048点（約81%）と全体の過半数を占め、児童書が20万5,819点（約18%）となっています。また、一般書のうち、外国語図書が1万4,393点（約1%）となっています。

図表 施設別蔵書数（平成25年度）

(点)

	一般書	児童書	雑誌	視聴覚資料	その他付録等	合計
中央図書館	584,972	99,621	37,825	25,380	3,547	751,345
行徳図書館	109,418	38,115	6,773	7,374	505	162,185
信篤図書館	48,586	16,826	1,548	0	13	66,973
南行徳図書館	29,334	16,221	1,761	0	23	47,339
市川駅南口図書館	66,363	13,615	1,373	899	131	82,381
平田図書室	27,144	14,375	1,394	0	45	42,958
自動車図書館	9,231	7,046	0	0	0	16,277
合計	875,048	205,819	50,674	33,653	4,264	1,169,458



2) 実態把握

① 建物状況

平成 25 年度の市立図書館 5 館 1 室の建物状況は、下記のとおりです。

(公民館図書室及び市民図書室は併設している公民館及び小学校でご確認下さい)

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
							維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
		建築 年度	延床 面積 (㎡)	築 年数 (年)	一 次 エ ネ ル ギ ー 消 費 量 (G J / 年)	一 次 エ ネ ル ギ ー 消 費 原 単 位 (G J / ㎡ ・ 年)	燃 料 、 光 熱 水 費	料 施 設 管 理 に 係 る 委 託	施 設 修 繕 料	燃 料 、 光 熱 水 費	料 施 設 管 理 に 係 る 委 託	施 設 修 繕 料
1	中央図書館	平成6	6,411.00	20	-	-	30,256	51,845	7,438	4,719	8,087	1,160
2	行徳図書館	昭和63	2,223.00	26	-	-	5,854	17,161	5,061	2,633	7,720	2,277
3	信篤図書館	昭和43	912.00	46	-	-	1,144	1,321	568	1,254	1,448	623
4	南行徳図書館	昭和58	360.00	31	129	0.358	1,228	1,585	432	3,411	4,403	1,200
5	市川駅南口図書館	平成20	573.00	6	-	-	指定管理委託料に含まれる					
6	平田図書室	昭和61	256.00	28	-	-	674	1,113	243	2,633	4,348	949
合計			10,735.00	-	-	-	39,156	73,024	13,742	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 施設別貸出点数と貸出者数

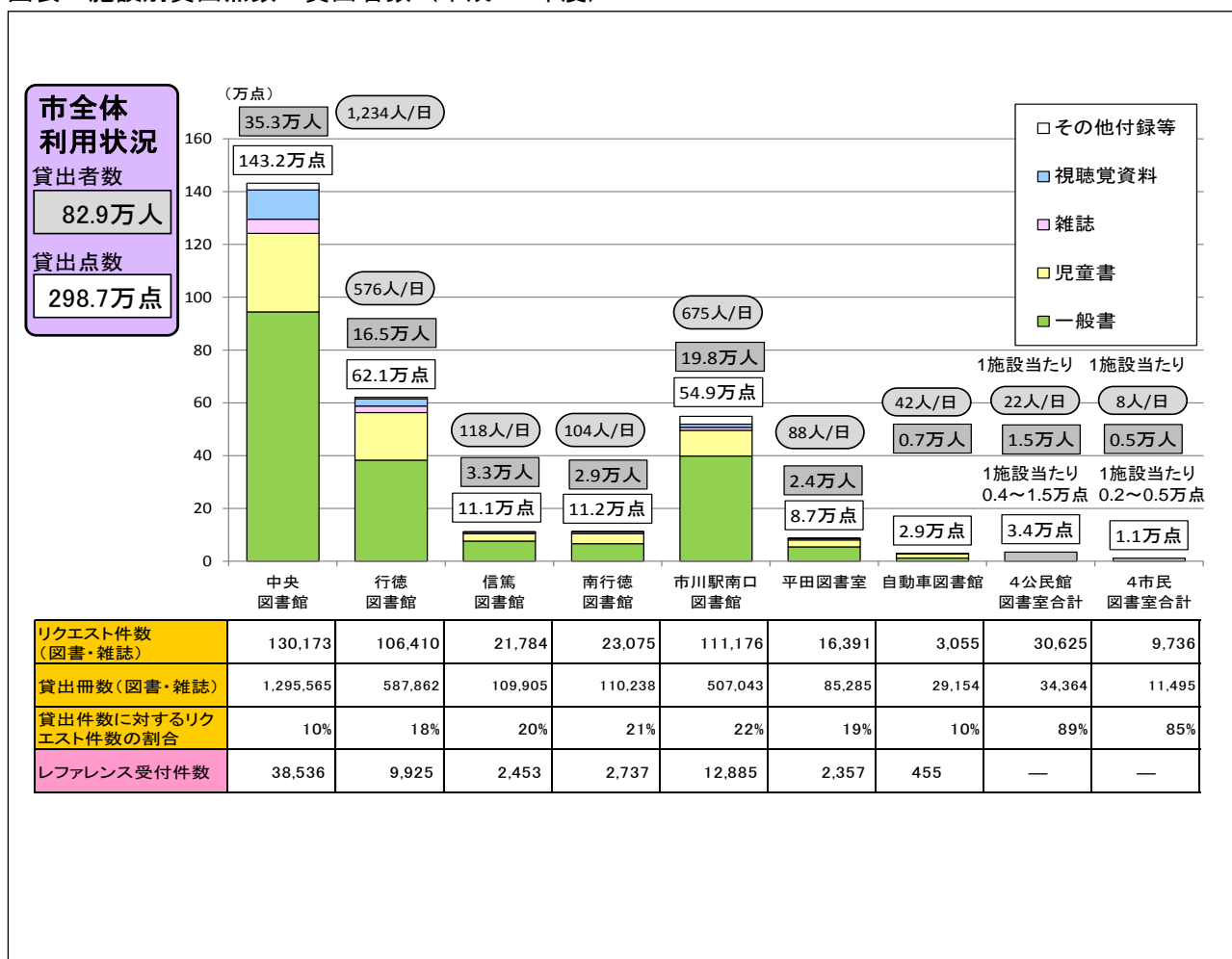
平成 25 年度の市立図書館 5 館 1 室と公民館図書室(図書館とオンライン化されている 4 施設)、市民図書室の全施設及びその他の施設の市立図書館資料の貸出点数は延 298.7 万点、貸出者数は 82.8 万人です。

施設別の内訳は、中央図書館の貸出点数が 143.2 万点と約 48%を占めています。1 日当たりの貸出者数は、中央図書館が 1,234 人/日となっています。

4 公民館図書室の市立図書館資料の貸出点数の合計は 3.4 万点、4 市民図書室の合計は 1.1 万点と自動車図書館とほぼ同程度となっています。市川市では、公民館図書室や市民図書室などが、市立図書館資料の取り次ぎ場所として、きめ細かく配置されています。

なお、市立図書館では男女共同参画センター及び情報プラザともオンラインで結びネットワークを形成しています。

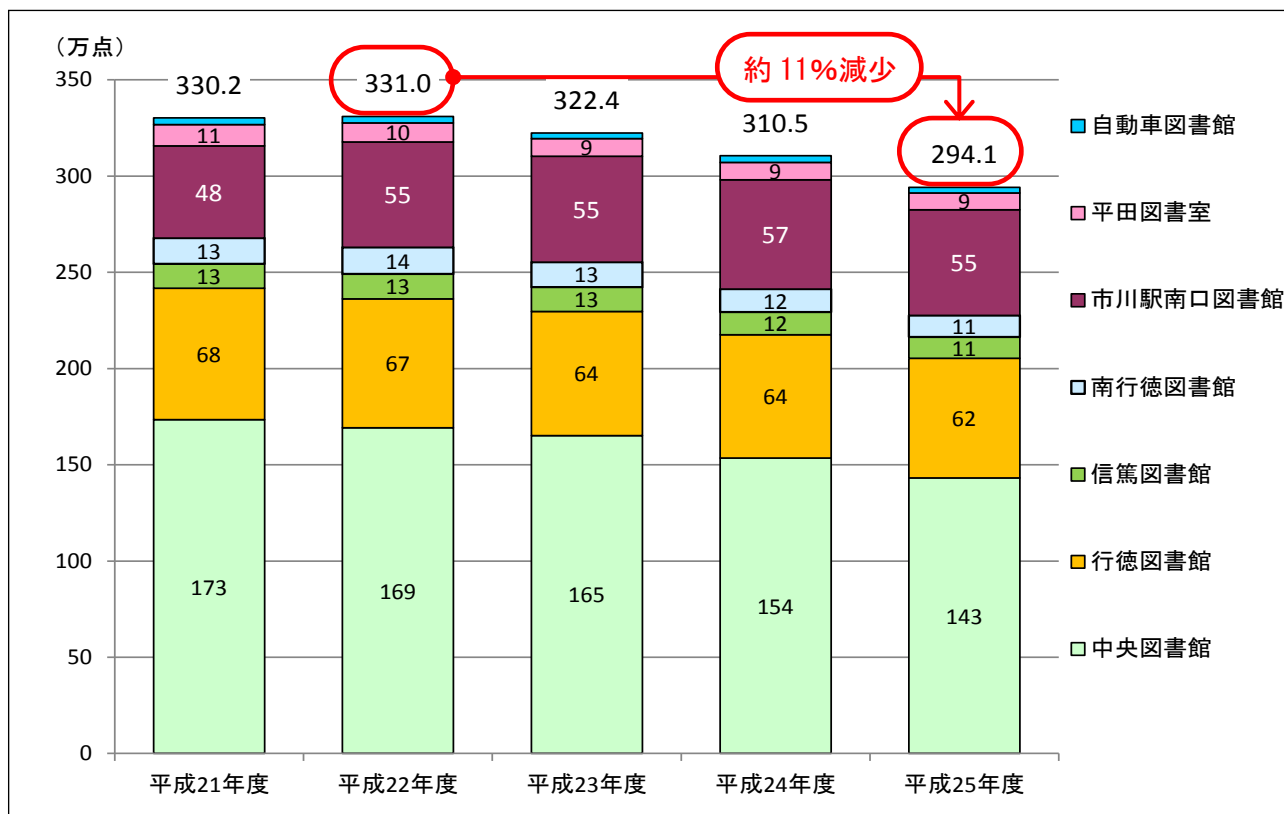
図表 施設別貸出点数・貸出者数（平成 25 年度）



■ 推移

市立図書館の貸出点数の推移をみると、平成22年度331万点から平成25年度294万点まで約11%減少しています。

図表 貸出点数の推移



③ 運営状況

市立図書館のうち、市川駅南口図書館を除く5施設は市の職員により直営で運営しています。5施設で市職員が48人、再任用職員が6人、そのほかに非常勤職員が従事しています。市職員48人中39人が図書館司書です。

施設別にみると、市職員48人中33人が市の図書館サービスの中央機能である中央図書館に従事しています。次いで行徳図書館に8人、その他図書館・図書室に2~3人が従事しています。

市川駅南口図書館は市内図書館で初の指定管理者制度を導入し、民間の能力を活用して運営しています。

3) まとめ

- ・ 図書館サービスは、北部地区には未整備で、代替として公民館に設置された図書館や小学校に併設された市民図書室などをネットワーク化して補い、市民ニーズに対応しています。
- ・ 5館1室のうち2館が築30年以上、2館1室が築20年以上と老朽化が進んでおり、効率的な老朽化対策が必要です。

(8) 博物館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、郷土の資料を公開し、市民及び見学者の知識向上を図る施設として、博物館施設を3施設保有しています。

設置目的：郷土の歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供し、その教養の向上、調査研究等に資するため。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 考古博物館	堀之内2-26-1	1,523.60	昭和47	鉄筋コンクリート造	
2 歴史博物館	堀之内2-27-1	2,005.32	昭和57	鉄筋コンクリート造	
3 自然博物館 (複合施設動植物園)	大町284	2,052.32	昭和61	鉄筋コンクリート造	動物園内
合計		5,581.24			

② 開館時間・開館日数

名称	開館時間	休館日	開館日数
考古博物館	午前9時～午後4時30分	・月曜日(休日の場合は以後の直近の平日) ・年末年始	305日
歴史博物館			305日
自然博物館	午前9時30分～午後4時30分		301日

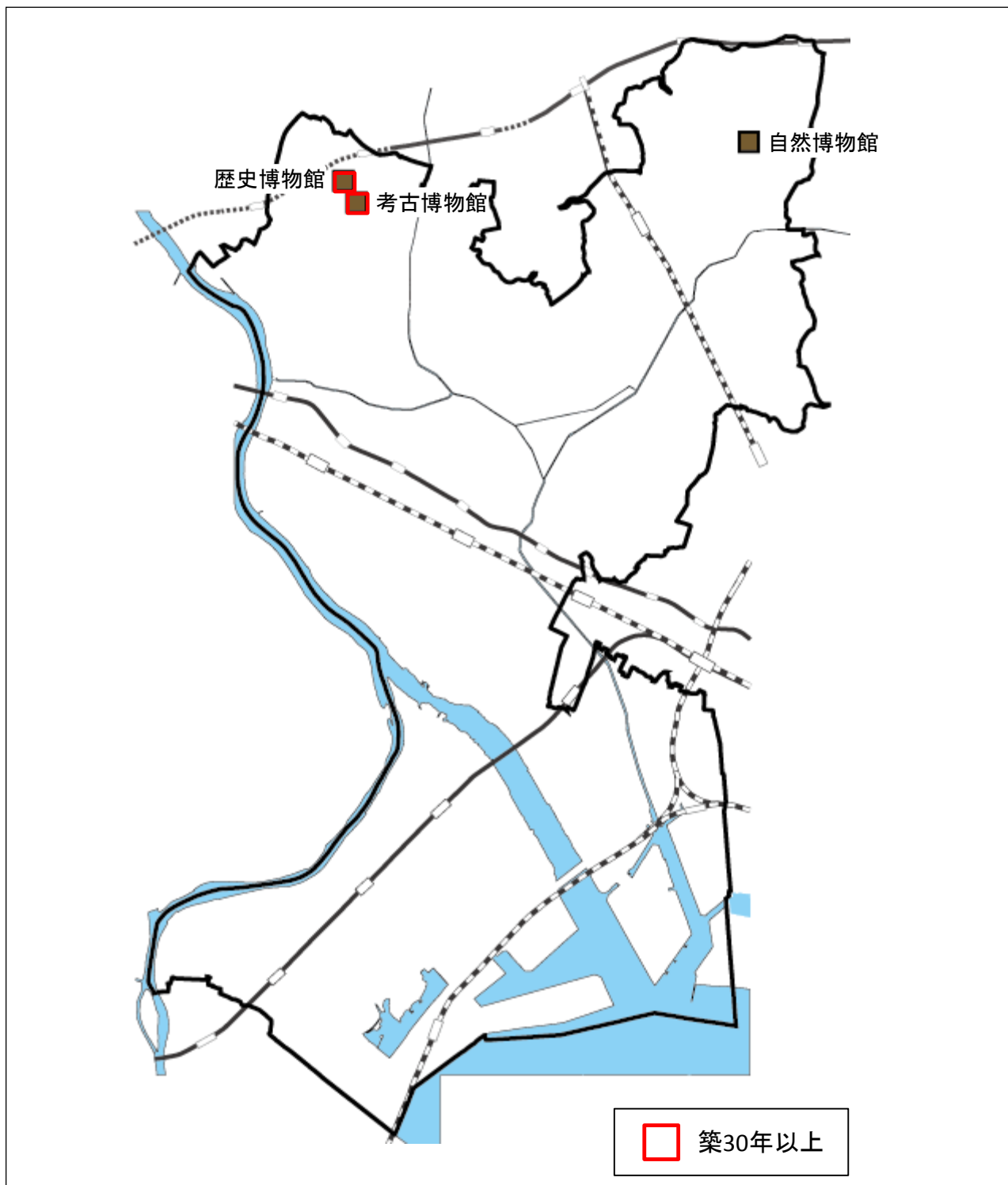
③ 事業内容 (展示内容)

考古博物館	市内の遺跡から出土した考古資料やそれらに関する情報を収集、保管し、原始・古代の市川の様子を中心に展示しています。
歴史博物館	鎌倉時代からの市川の歴史や文化を紹介しています。特に海辺と台地、水路と陸路など、地形を生かした市川的生活や生業を、郷土コーナーでは市川にかかわる人物をとりあげています。
自然博物館	「市川の自然」を対象として、自然のありさまを記録して後世に伝えるとともに、地域の自然とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を展示しています。

- ④ 予約方法・使用料金等
入場は無料となっています。

- ⑤ 配置状況

図表 博物館施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の博物館3施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費 単位(GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	考古博物館	昭和47	1,523.60	42	1,307	0.858	4,272	6,991	1,833	2,804	4,588	1,203
2	歴史博物館	昭和57	2,005.32	32	896	0.447	2,309	778	992	1,151	388	495
3	自然博物館 (複合施設動植物園)	昭和61	2,052.32	28	-	-	5,883	3,549	1,212	2,867	1,729	591
合計			5,581.24	-	-	-	12,464	11,318	4,038	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

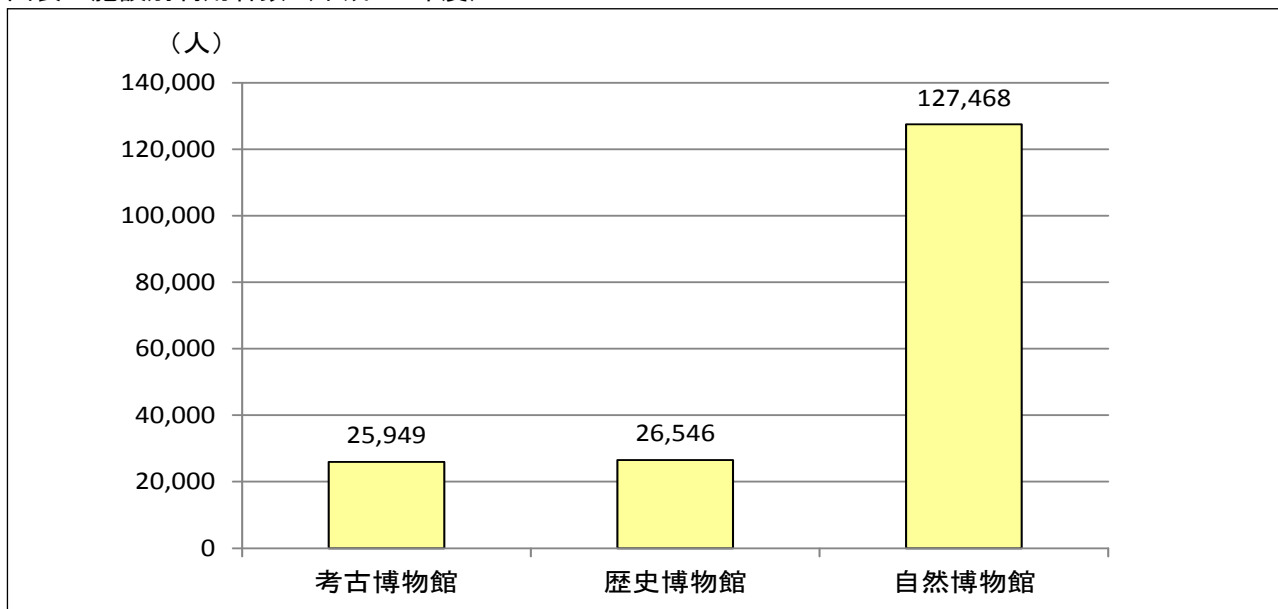
■ : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 施設別利用者数

平成25年度の博物館3施設の利用者数は、考古博物館が2万5,949人、歴史博物館が2万6,546人、自然博物館が12万7,468人となっています。

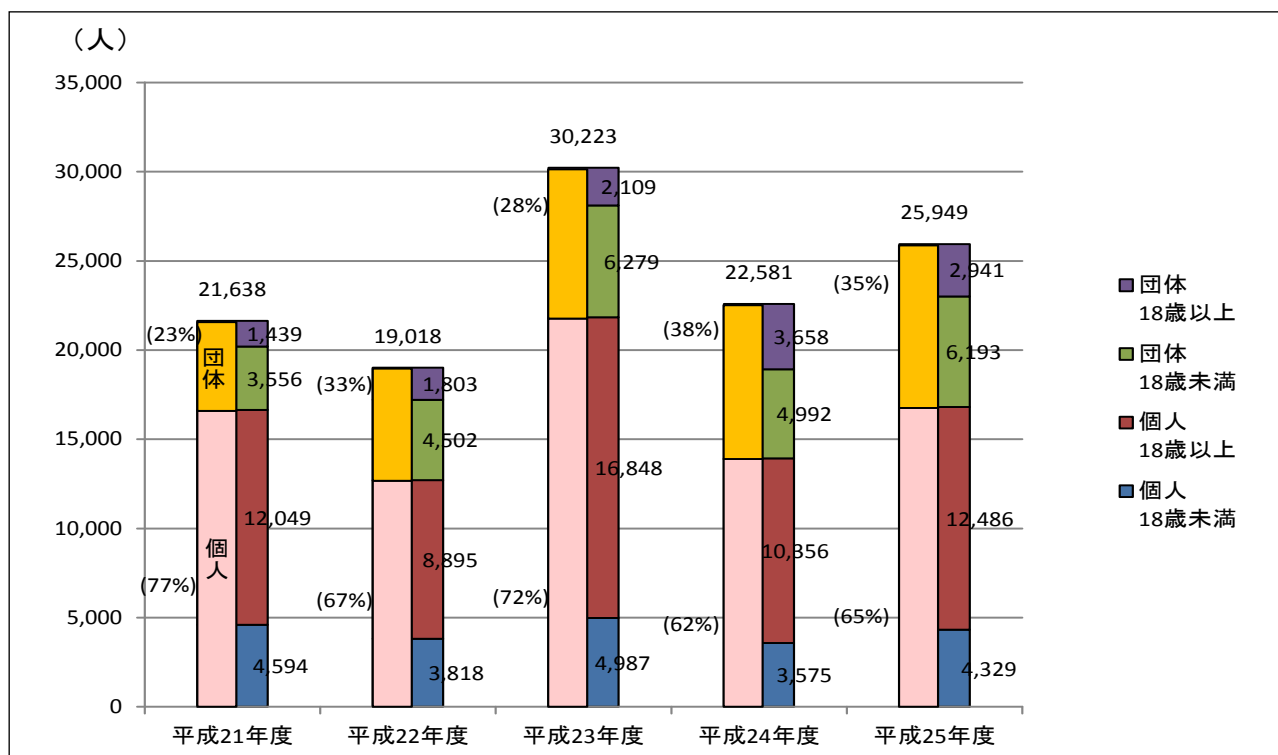
図表 施設別利用者数（平成25年度）



■ 考古博物館の利用状況

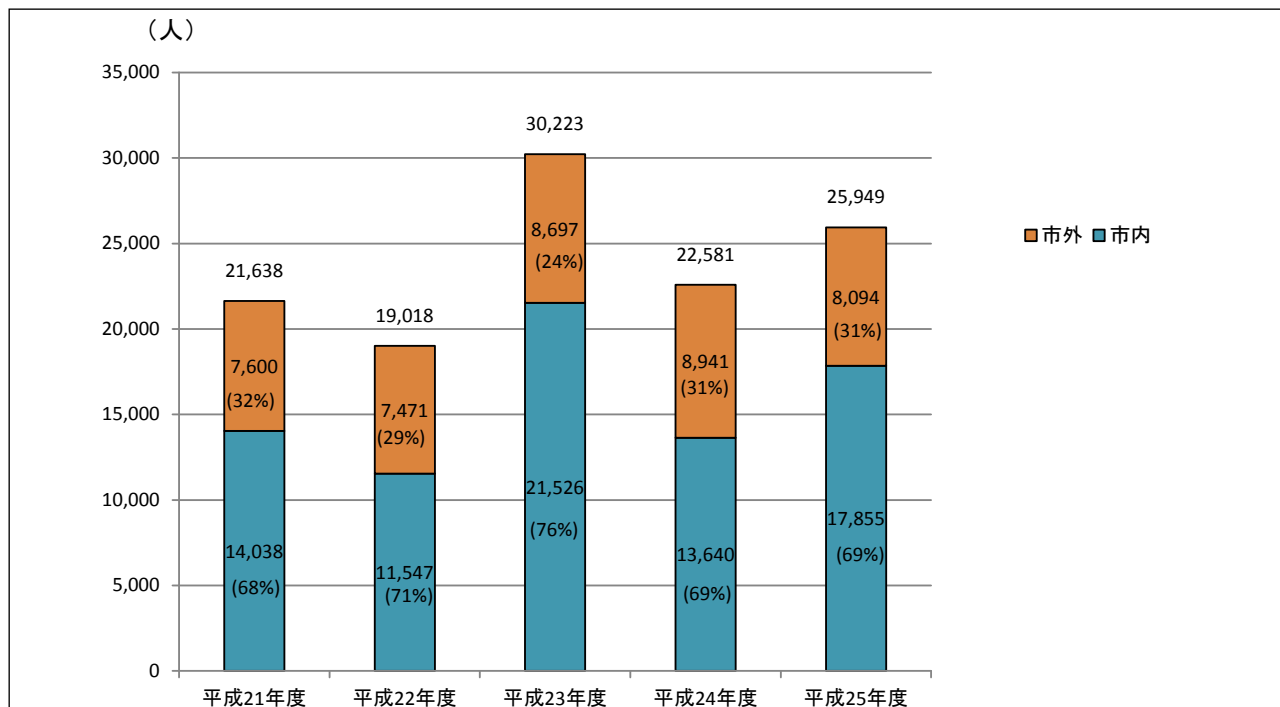
考古博物館の個人・団体別利用状況では、利用者数が最少では平成22年度の1万9,018人から、最大では平成23年度の3万2,223人となっています。平成21年度から平成25年度の個人と団体の利用割合をみると、おおむね個人が約70%、団体が約30%となっています。

図表 個人・団体別利用状況



考古博物館の平成21年度から平成25年度の市内と市外の利用割合をみると、おおむね市内が約70%、市外が約30%となっています。

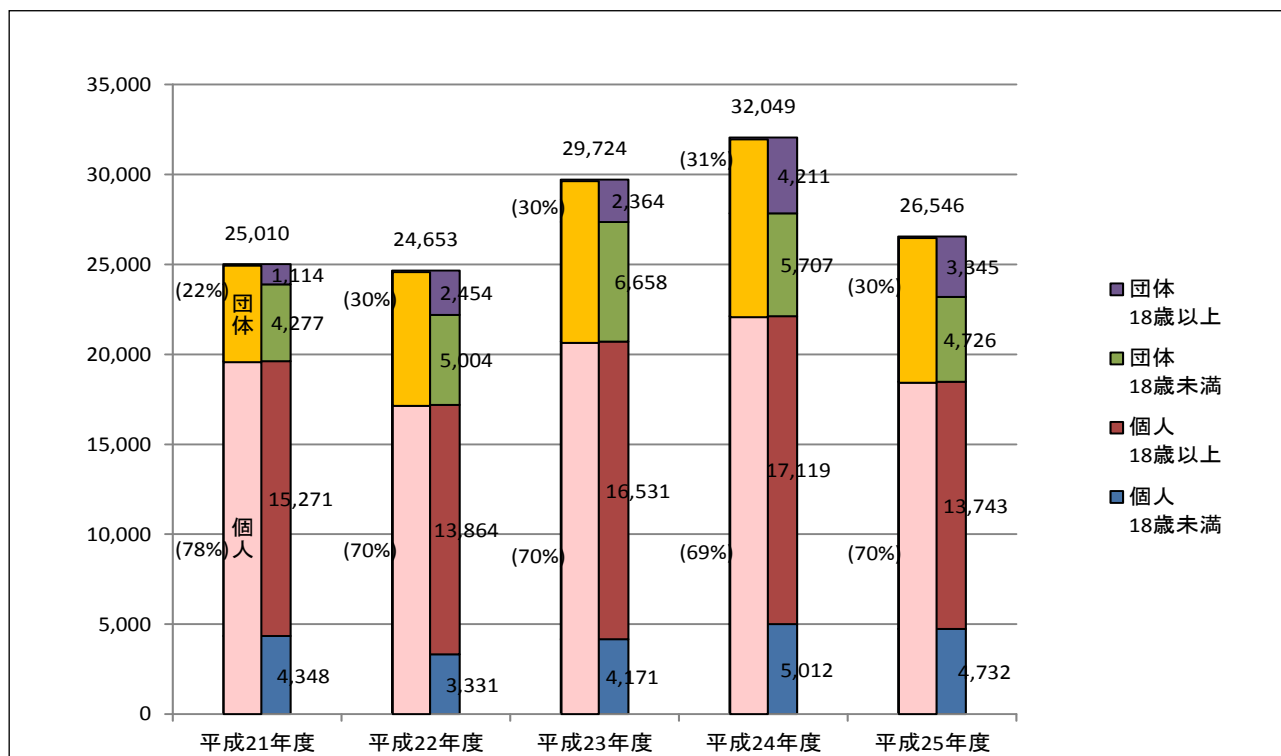
図表 市内・市外の利用状況



■ 歴史博物館の利用状況

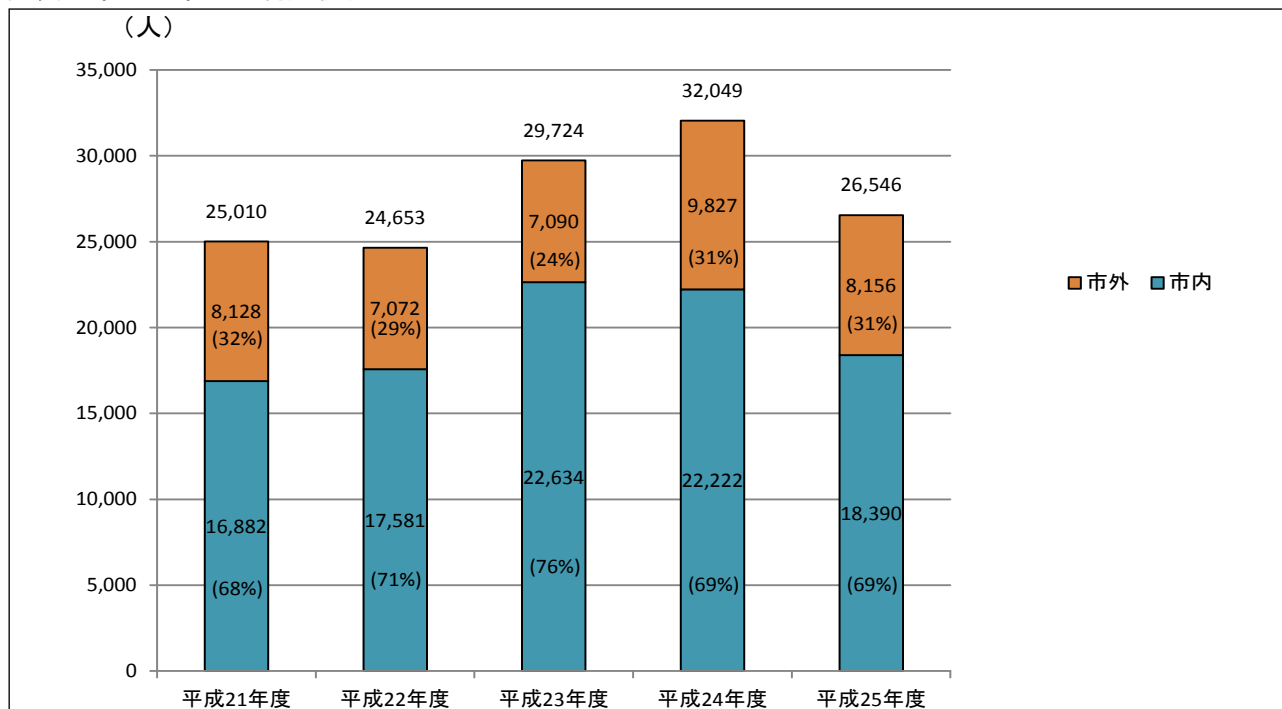
歴史博物館の個人・団体別利用状況では、利用者数が最少では平成22年度の2万4,653人から、最大では平成24年度の3万2,049人となっています。平成21年度から平成25年度の個人と団体の利用割合をみると、おおむね個人が約70%、団体が約30%となっています。

図表 個人・団体別利用状況



歴史博物館の平成21年度から平成25年度の市内と市外の利用割合をみると、おおむね市内が約70%、市外が約30%となっています。

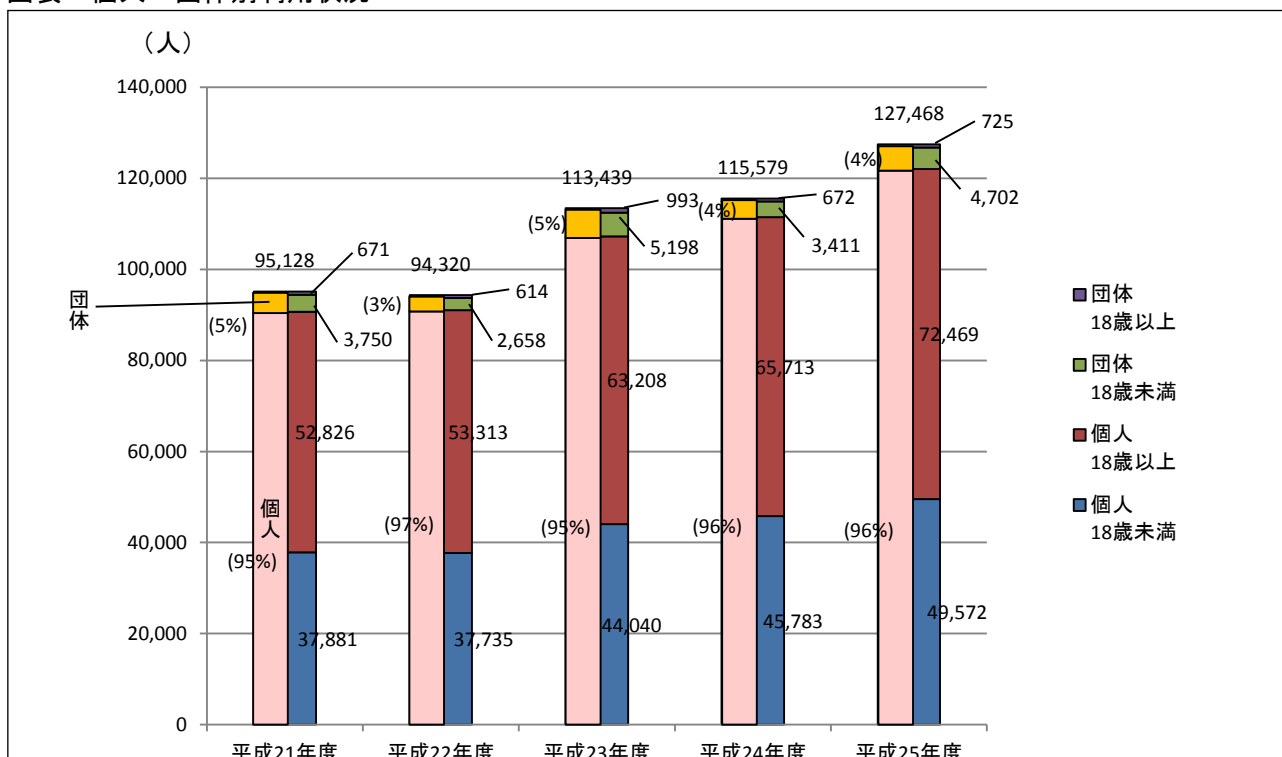
図表 市内・市外の利用状況



■ 自然博物館の利用状況

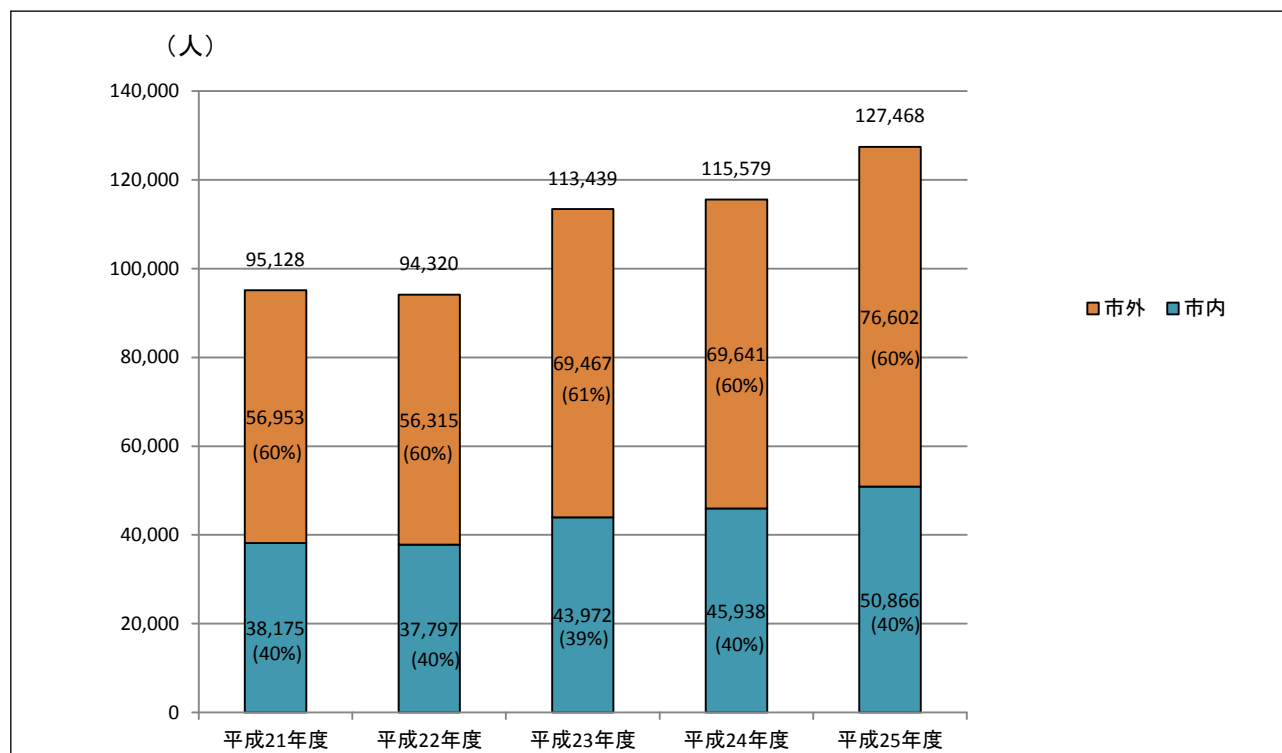
自然博物館の個人・団体別利用状況では、利用者数が最少では平成22年度の9万4,320人から、最大では平成25年度の12万7,468人となっています。平成21年度から平成25年度の個人と団体の利用割合をみると、おおむね個人が約96%、団体が約4%となっています。

図表 個人・団体別利用状況



自然博物館の平成21年度から平成25年度の市内と市外の利用割合をみると、おおむね市内が約40%、市外が約60%となっています。

図表 市内・市外の利用状況



③ 運営状況

博物館3施設は、常勤の市職員、再任用職員、非常勤職員により、市の直営で運営しています。歴史博物館には、市職員が3人及び再任用職員1人、非常勤職員が配置されています。考古博物館には、市職員が5人及び非常勤職員が配置されています。自然博物館には、市職員が6人配置されています。

3) まとめ

- ・ 考古博物館は築42年、歴史博物館は築32年が経過しています。博物館の事業である展示替えにも経費を要することから、施設と事業を含めた総合的な更新対策が必要です。
- ・ 松戸市や流山市等、近隣市にも類似施設があることから、広域連携等の検討が有効と考えられます。
- ・ 自然博物館は、動植物園、自然観察園など一体となった施設であり、定期的に行っている観察会は人気があり利用増につながっています。

◆ スポーツ・レクリエーション系施設

(9) スポーツ施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上を期し、スポーツの振興を図ることを目的とし、市川市スポーツセンター（国府台市民体育館）をはじめとする市民体育館や勤労福祉センター内にある南八幡体育館、市民プール、塩浜まちかど健康サロンといったスポーツ施設を設置しています。

市川市スポーツセンター（国府台市民体育館）は陸上競技場やテニスコート等と併設しています。信篤市民体育館は信篤公民館、図書館等と併設しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設				備考
					公民館	図書館	子育て 支援 施設	その他	
1 市川市スポーツセンター	国府台1-6-4	8,817.74	昭和48	鉄筋コンクリート造					
2 信篤市民体育館	高谷1-8-2	1,124.96	昭和60	鉄骨造	●	●	●	地域ケア 集会所	付属トレーニング室 信篤公民館敷地内
3 塩浜市民体育館	塩浜4-9-1	7,996.22	平成元	鉄骨鉄筋 コンクリート造					
4 南八幡体育館	南八幡2-20-1	489.20	昭和58	鉄骨造					勤労福祉センター内
5 市民プール	北方町4-2270-3	1,933.30	昭和57	鉄筋コンクリート造					
6 塩浜まちかど健康サロン	塩浜4-2-2-101	100.58	平成19	鉄筋コンクリート造					ハイタウン塩浜団地 第2号棟101号室
合計		20,462.00							

② 開館時間・開館日数

名称	開館時間	休館日	開館日数
市川市スポーツセンター	午前9時～午後9時 (月曜日と祝日の翌日は午後5時まで)	最終月曜日、年末年始	346日
信篤市民体育館	午前9時～午後9時 (月曜日と祝日の翌日は午後5時まで)	最終月曜日、年末年始	346日
塩浜市民体育館	午前9時～午後9時 (月曜日と祝日の翌日は午後5時まで)	最終月曜日、年末年始	346日
南八幡体育館	午前9時～午後9時	毎週月曜日、祝日、 年末年始	291日
市民プール	午前9時～午後5時	屋外プールのため 夏季のみ営業	51日
塩浜まちかど健康サロン	午前9時～午後9時 (月曜日と祝日の翌日は午後5時まで)	最終月曜日、年末年始	346日

③ 予約方法・使用料金等

スポーツ施設を事前に予約して使用する場合には、使用者登録の手続きが必要です。

予約の方法は、屋内施設（体育館）では、使用する日の属する前々月の1日から10日までに施設予約システムから「仮予約」の申込みを行います。「仮予約」の日時が重複している場合は、各施設で行われる「調整会議」に出席し、本予約となります。調整終了後は、空き日時に随時「予約申込み」を行うことができます

屋外施設では、使用する日の属する前月の1日から10日までに施設予約システムから「抽選申込み」を行います。「抽選申込み」が重複している場合は、抽選により予約者が決定されます。抽選終了後は、空き日時に随時「予約申込み」を行うことができます。

使用する際には、施設ごとに料金が定められた使用料金を支払う必要があります。

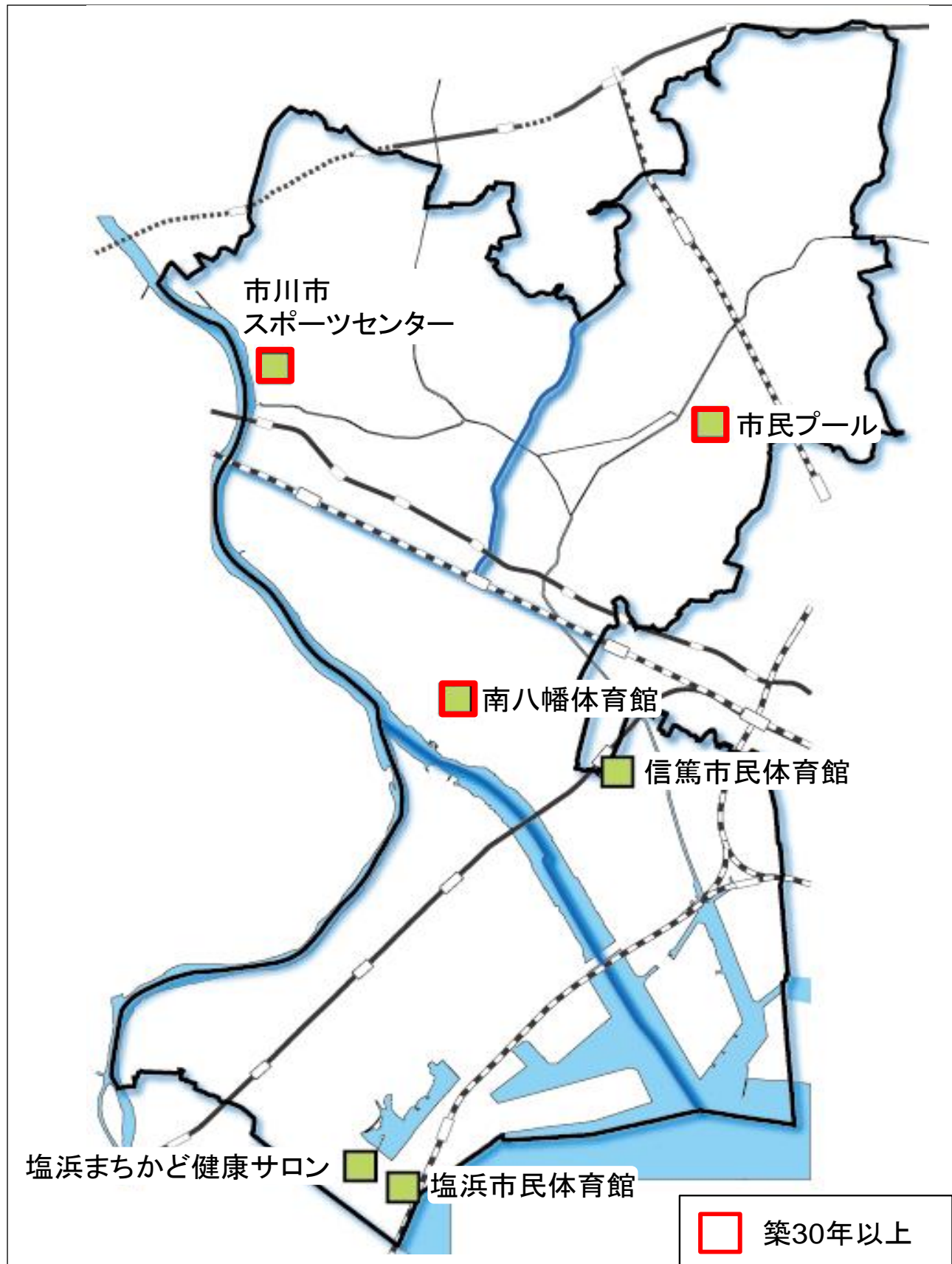
※南八幡体育館を使用する場合は、勤労福祉センターの使用方法になります。

④ 利用対象者

本市に在住、在勤の方などが中心となって構成する団体の、定期活動、練習などに利用することができます。

⑤ 配置状況

図表 スポーツ施設位置図

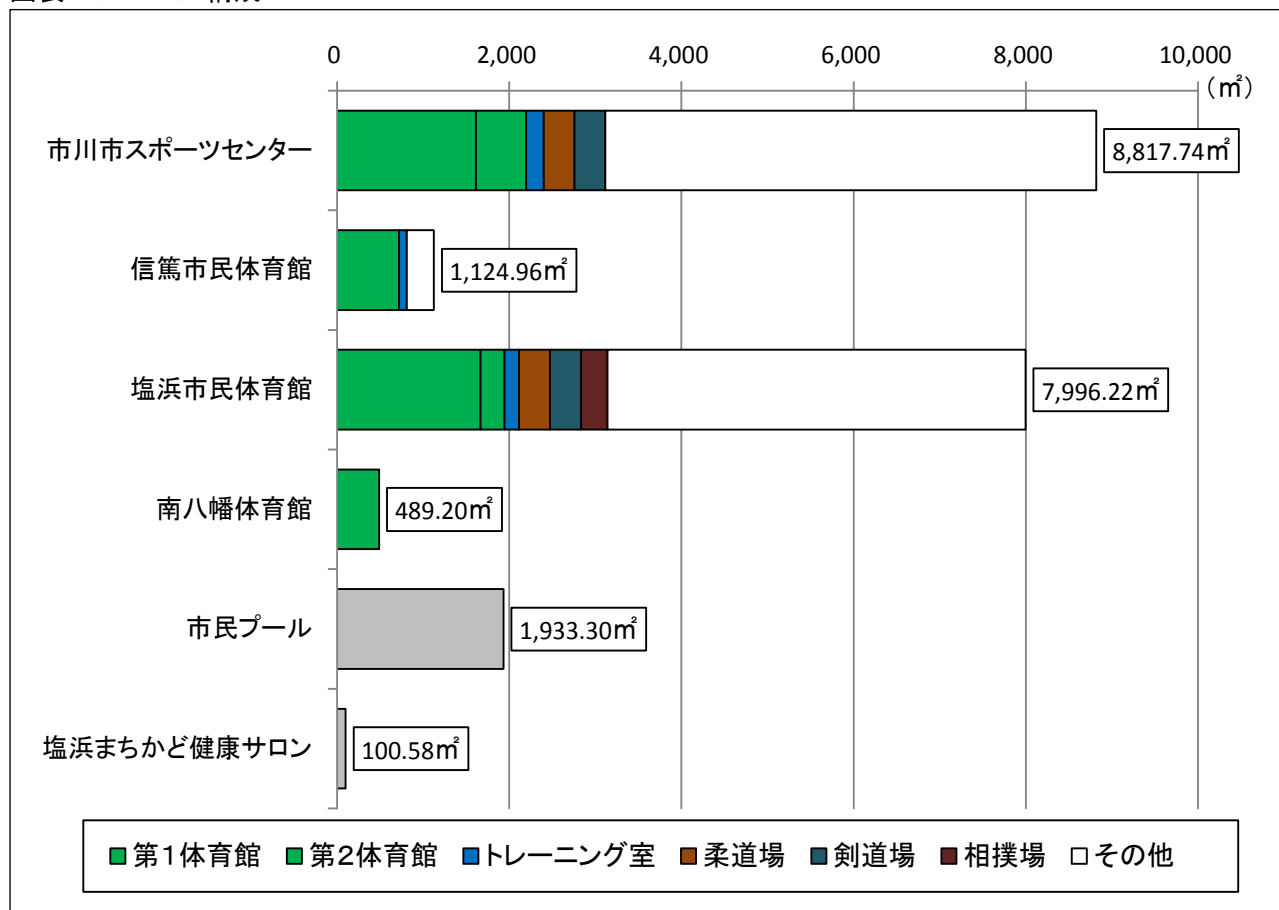


⑥ スペース構成

市川市スポーツセンター及び塩浜市民体育館は第1体育館及び第2体育館を整備しており、その他にトレーニング室、柔道場、剣道場を整備し、さらに塩浜市民体育館には相撲場が整備され、2施設は様々な体育館機能を有した施設となっています。

信篤市民体育館及び南八幡体育館は体育館を中心とした施設です。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

平成 25 年度のスポーツ施設 6 施設の建物状況は、以下のとおりです。

信篤体育館等 3 施設については築 30 年以上が経過し老朽化が進行しており、今後老朽化対策が必要となっています。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	市川市スポーツセンター	昭和48	8,817.74	41	8,162	0.926	25,986	17,365	6,792	2,947	1,969	770
2	信篤市民体育館	昭和60	1,124.96	29	-	-	1,567	2,301	1,681	1,393	2,045	1,494
3	塩浜市民体育館	平成元	7,996.22	25	5,896	0.737	18,735	25,046	4,831	2,343	3,132	604
4	南八幡体育館	昭和58	489.20	31	-	-	1,218	2,033	372	2,489	4,156	761
5	市民プール	昭和57	1,933.30	32	2,122	1.098	16,034	2,732	3,279	8,293	1,413	1,696
6	塩浜まちかど健康サロン	平成19	100.58	7	-	-	438	82	0	4,351	814	0
合計			20,462.00	-	-	-	63,977	49,559	16,955	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

② 利用状況

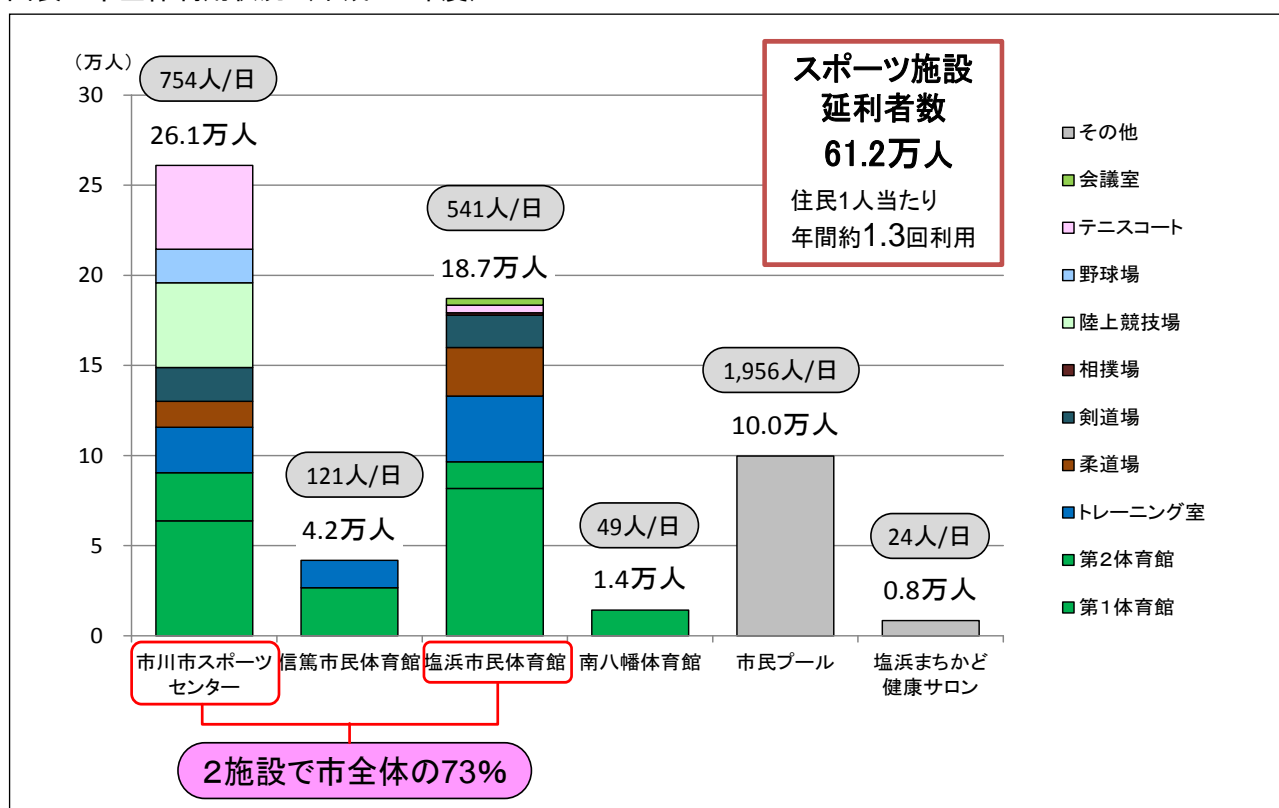
■ 全体の利用状況

平成 25 年度のスポーツ施設の延利用者数は、約 61.2 万人です。平成 25 年の市人口約 47 万人で除算すると、住民 1 人当たり年間約 1.3 回程度の利用となっています。施設別の内訳をみると、市川市スポーツセンターが最も多く約 26 万人（43%）、運営 1 日当たり約 754 人となっています。次いで塩浜市民体育館が約 19 万人（30%）、運営 1 日当たり約 541 人となっており、様々な体育機能を保有している 2 施設で、市全体の約 7 割を占めています。

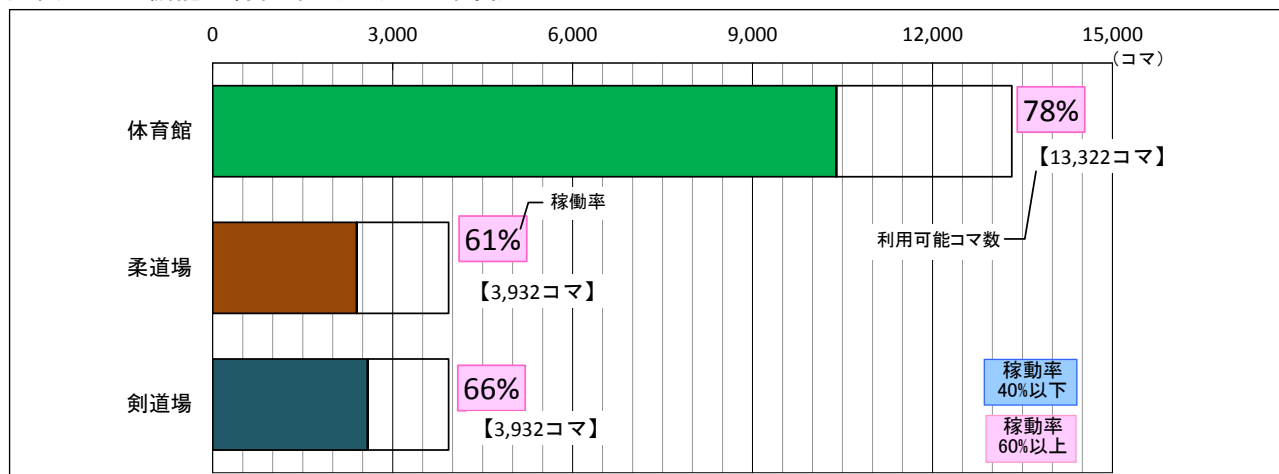
また、夏季のみ開園している市民プールは延 10 万人、運営 1 日当たり約 1,956 人となっています。

主な機能別の稼働率をみると、体育館が 78%、柔道場が 61%、剣道場が 66%といずれも高稼働となっています。

図表 市全体利用状況（平成 25 年度）



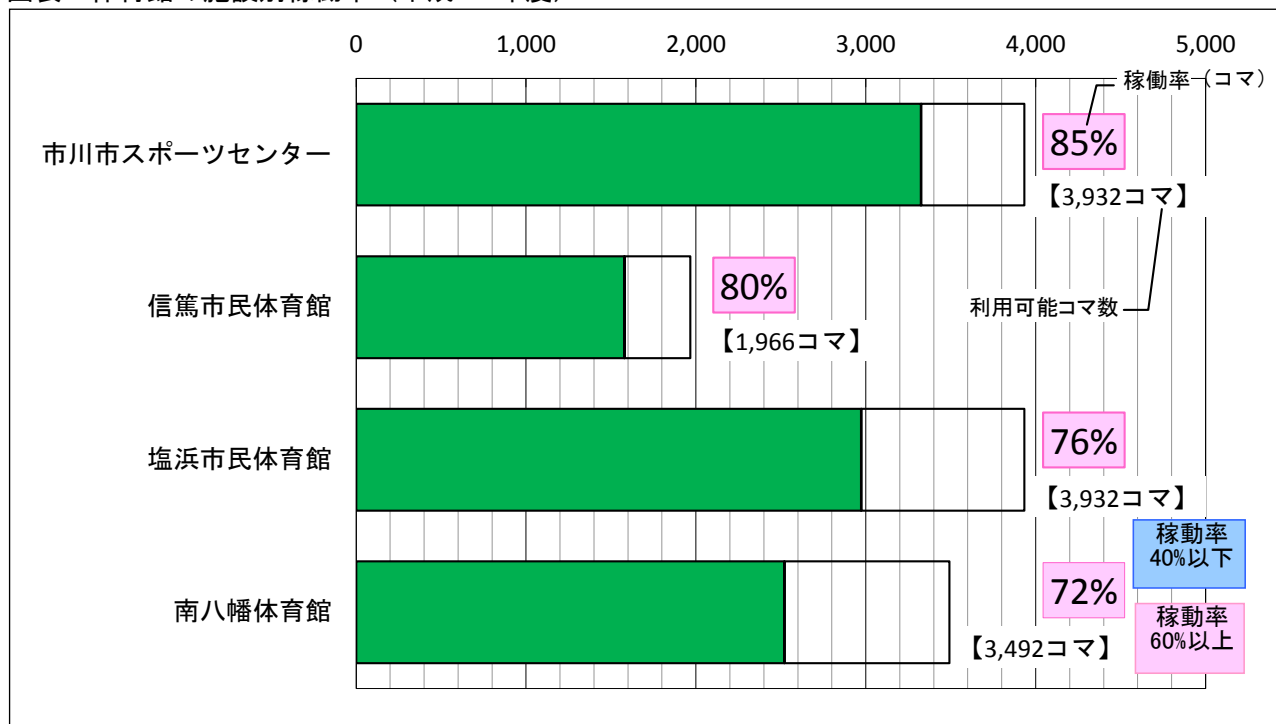
図表 主な機能の稼働率（平成 25 年度）



■ 体育館の施設別稼働率

体育館の施設別の稼働率をみると、最も低い南八幡体育館でも72%と、4施設とも高稼働率となっており、予約が重複して希望日に利用できない状況となっています。

図表 体育館の施設別稼働率（平成25年度）



③ 運営状況

スポーツ施設は、市の職員、再任用職員、非常勤職員等が従事し、市の直営で運営しています。市川市スポーツセンターには、市職員が2人、再任用職員が4人及び非常勤職員が従事しています。その他の市民体育館には1人～4人の再任用職員が従事しています。

3) まとめ

- 市川市のスポーツ施設の拠点は、市川市スポーツセンター及び塩浜市民体育館ですが、その他の施設の体育館も稼働率が高くなっています。その内、市川市スポーツセンター等は築30年以上を経過しており、効率的な老朽化対策が必要です。
- まちかど健康サロンは規模も小さいことから利用者数が少なくなっています。
- スポーツ施設については、テニスコートなど新設の要望も多い状況です。今後は、ニーズ変化に応じた、既存施設の更新と新規施設の建設の両面から、計画的な施設整備を検討する必要があります。

(10) 観光施設等

1) 施設概要

① 施設一覧

本市は、都心から近いにもかかわらず、緑地・川・海などの自然も豊富で、また歴史的な資産・伝統文化、さらには農産物・海産物についても全国に誇れるものを生産しているなど、観光資源がたくさんあります。本市の観光スポットへの案内を行うために、いちかわ観光・物産案内所を設置しています。また、各種観光施設として、アイ・リンクタウン展望施設等4施設を設置しています。

図表 設置目的

いちかわ観光・物産案内所	各種イベント情報、四季折々に季節ごとの旬な情報を随時提供するとともに、観光客のニーズに応じて市内の観光スポットへの案内を行うため
アイ・リンクタウン展望施設	眺望を楽しむことができる市民の憩いと交流の場を提供することにより、市民福祉の増進を図るため
動植物園	野生動物の保護、調査研究、そして「動物とのふれあい」による情操教育とレクリエーションの場を提供するため
少年自然の家	少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図るため

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設	
					博物館等	備考
1 いちかわ観光・物産案内所	市川1-1-1	95.85	平成5	鉄筋コンクリート造		
2 アイ・リンクタウン展望施設 (ザタワーズ ウェスト45階)	市川南1-10-1	707.55	平成20	鉄筋コンクリート造		アイ・リンク情報コーナーを含む
3 動植物園	大町284-1外	4,454.64	昭和61	鉄筋コンクリート造	●	
4 少年自然の家	大町280-4	3,871.76	昭和57	鉄筋コンクリート造		
合計		9,129.80				

② 開館時間・開館日数

	開館時間	休館日	開館日数
いちかわ観光・物産案内所	午前 10 時から午後 4 時	毎月第 1 月曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始	3 4 7 日
アイ・リンクタウン展望施設	◎アイ・リンクタウン展望施設 午前 9 時～午後 10 時 (ただし展望デッキは午後 9 時まで) ◎アイ・リンク情報コーナー 午前 11 時～午後 6 時	毎月第 1 月曜日 (祝日の場合は、直後の平日) 年末年始	3 4 7 日
動植物園	午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分 (ただし、入園は午後 4 時まで)	毎週月曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始	3 0 6 日
少年自然の家	入所時間 (チェックイン) 午前 9 時から午後 3 時まで 退所時間 (チェックアウト) 午前 9 時から午後 4 時まで	毎週月曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始	3 0 7 日

③ 予約方法・利用料金等

少年自然の家を利用する際には、事前に電話等にて予約が必要となります。

動植物園及び少年自然の家は、利用する際に窓口等にて利用料金を支払う必要があります。

④ 配置状況

図表 観光施設等位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の観光施設4施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
							燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料
1	いちかわ観光・物産案内所	平成5	95.85	21	133	1.392	426	284	160	4,446	2,965	1,665
2	アイ・リンクタウン展望施設 (ザ・タワーズ ウェスト45階)	平成20	707.55	6	860	1.216	4,300	26,608	85	6,077	37,606	120
3	動植物園	昭和61	4,454.64	28	13,301	2.986	28,824	47,551	25,240	6,471	10,674	5,666
4	少年自然の家	昭和57	3,871.76	32	2,120	0.548	7,966	13,624	3,333	2,058	3,519	861
合計			9,129.80	-	-	-	41,517	88,067	28,817	-	-	-

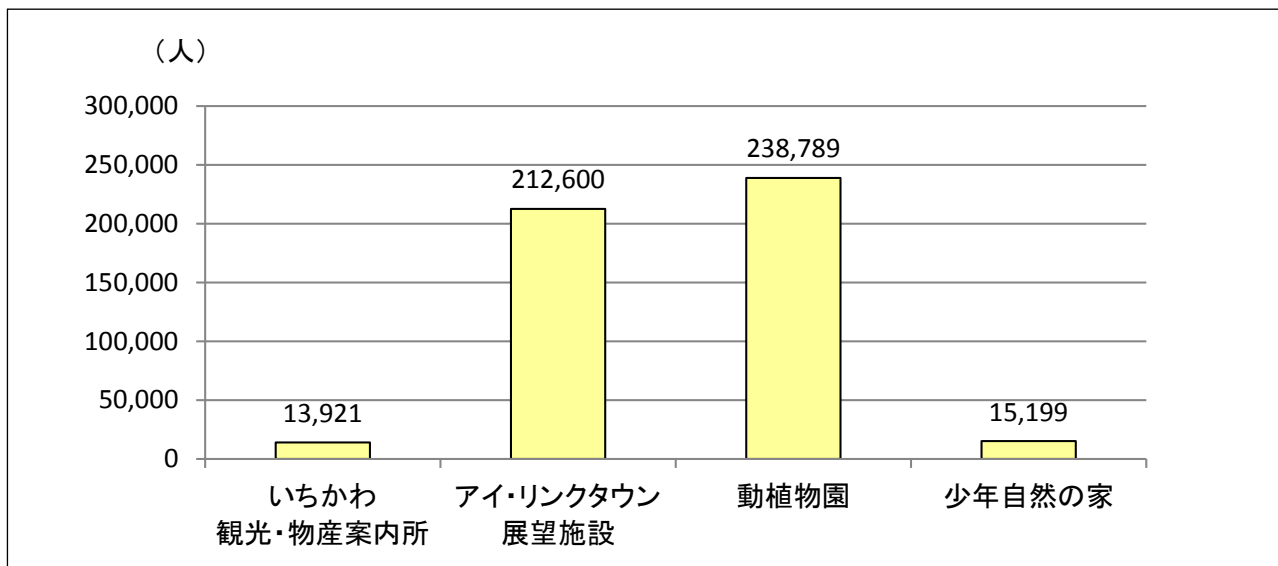
<老朽化凡例>		<環境対応凡例>	
■	: 築20年以上30年未満	■	: 平均値を上回る
■	: 築30年以上		

② 利用状況

■ 利用者数

平成25年度の利用者数は、いちかわ観光・物産案内所が1.4万人、アイ・リンクタウン展望施設が21.3万人、動植物園が23.9万人、少年自然の家が1.5万人となっています。

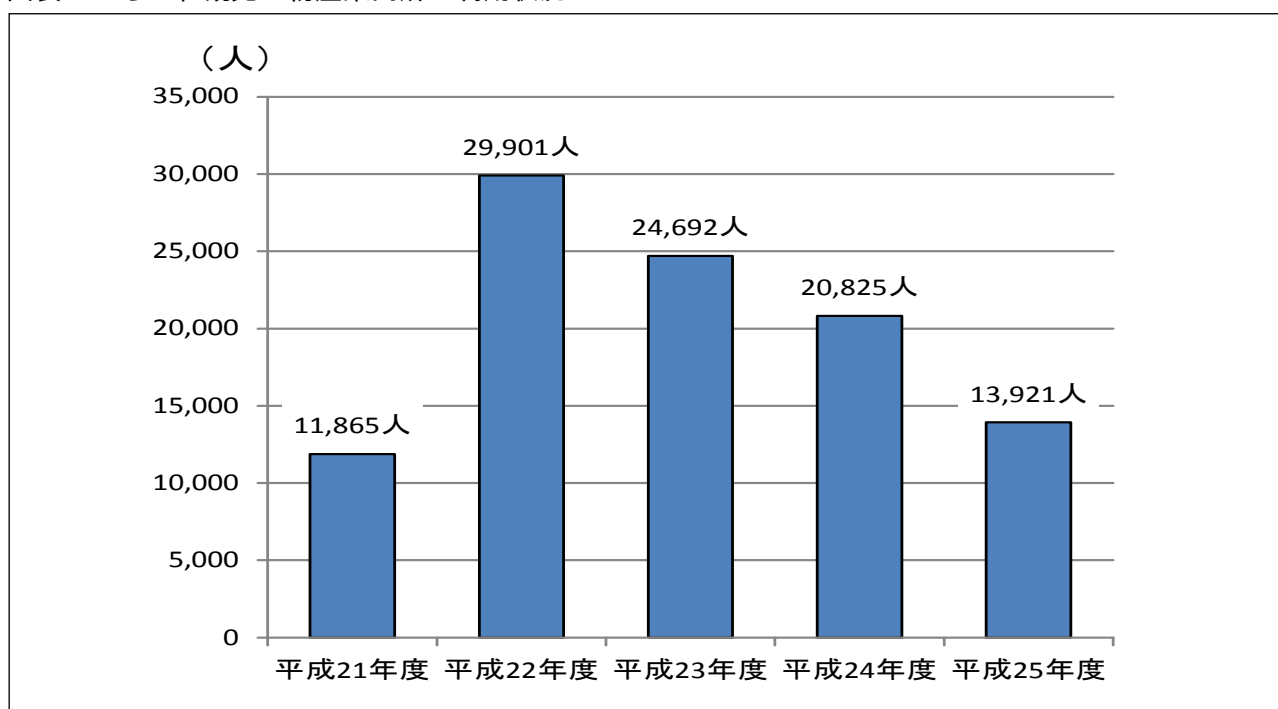
図表 施設別利用者数（平成25年度）



■ いちかわ観光・物産案内所

いちかわ観光・物産案内所は平成21年11月に開設しましたが来所者数は、最大で平成22年度の3.0万人となっています。その後は、平成25年度まで減少傾向にあります。

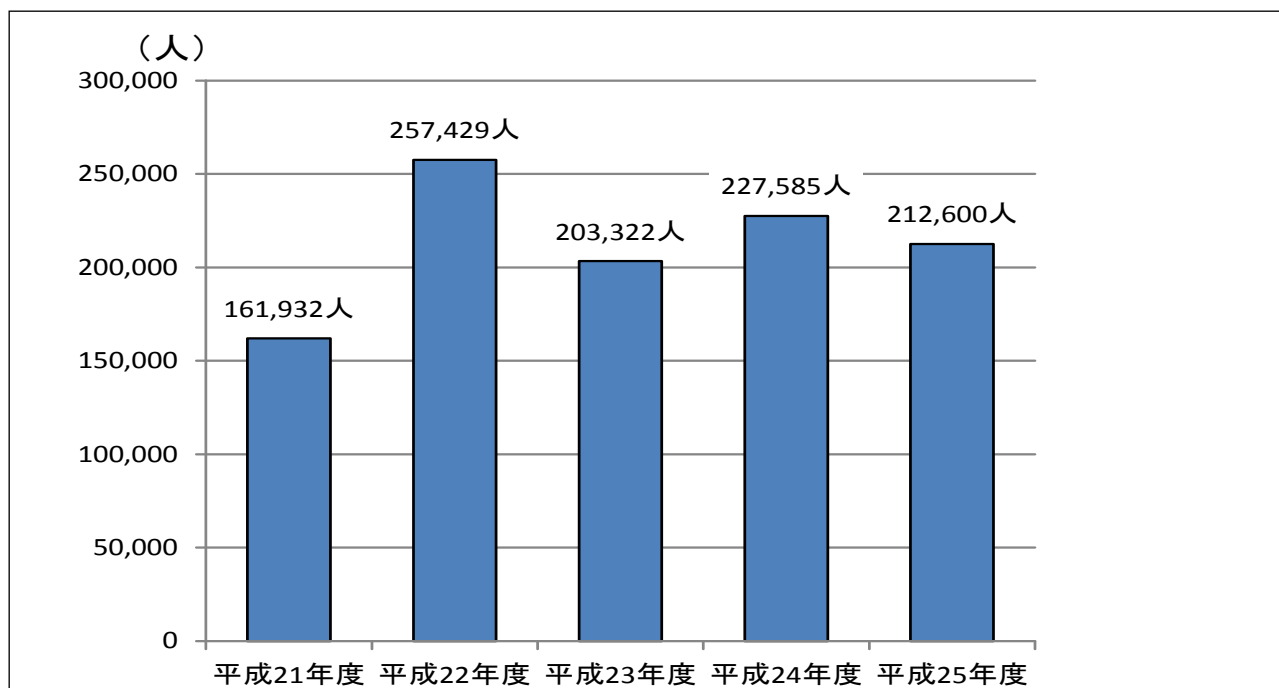
図表 いちかわ観光・物産案内所 利用状況



■ アイ・リンクタウン展望施設

アイ・リンクタウン展望施設は平成21年10月に開設しましたが、来所者数は、最大で平成22年度の25.7万人となっています。その後も平成25年度まで20万人以上で推移しています。

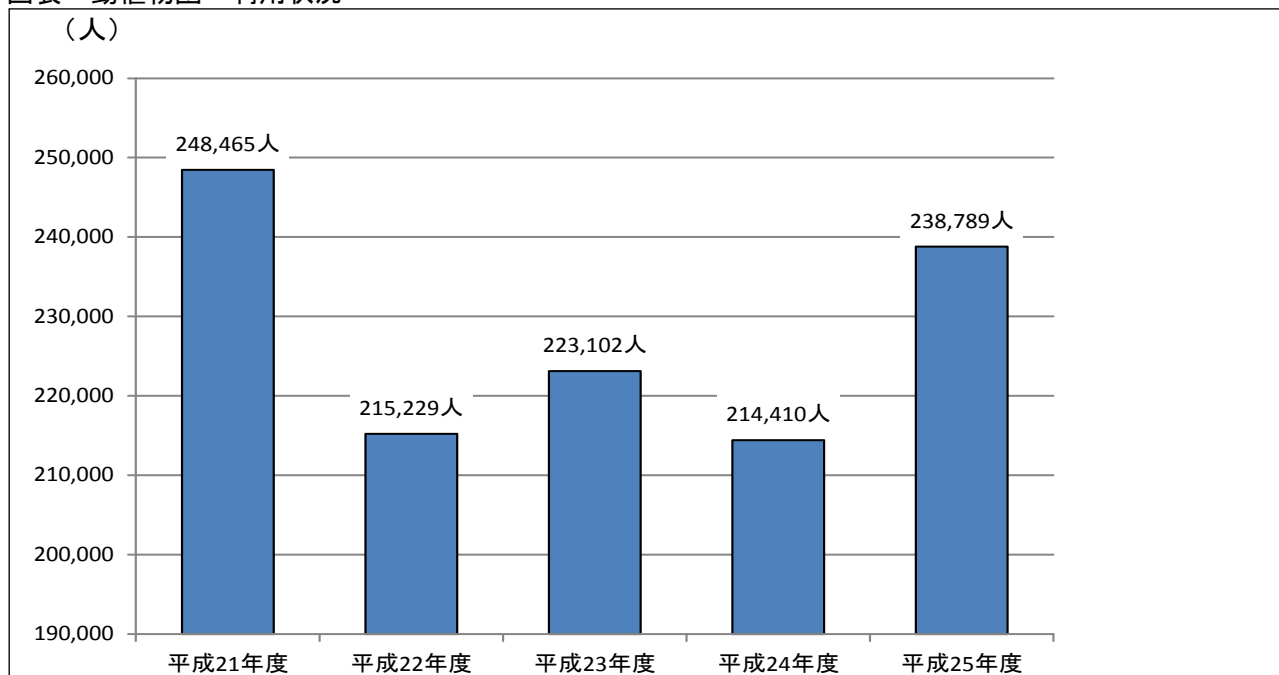
図表 アイ・リンクタウン展望施設 利用状況



■ 動植物園

動植物園の来所者数は、最少で平成24年度の21.4万人から、最大で平成21年度の24.8万人となっています。

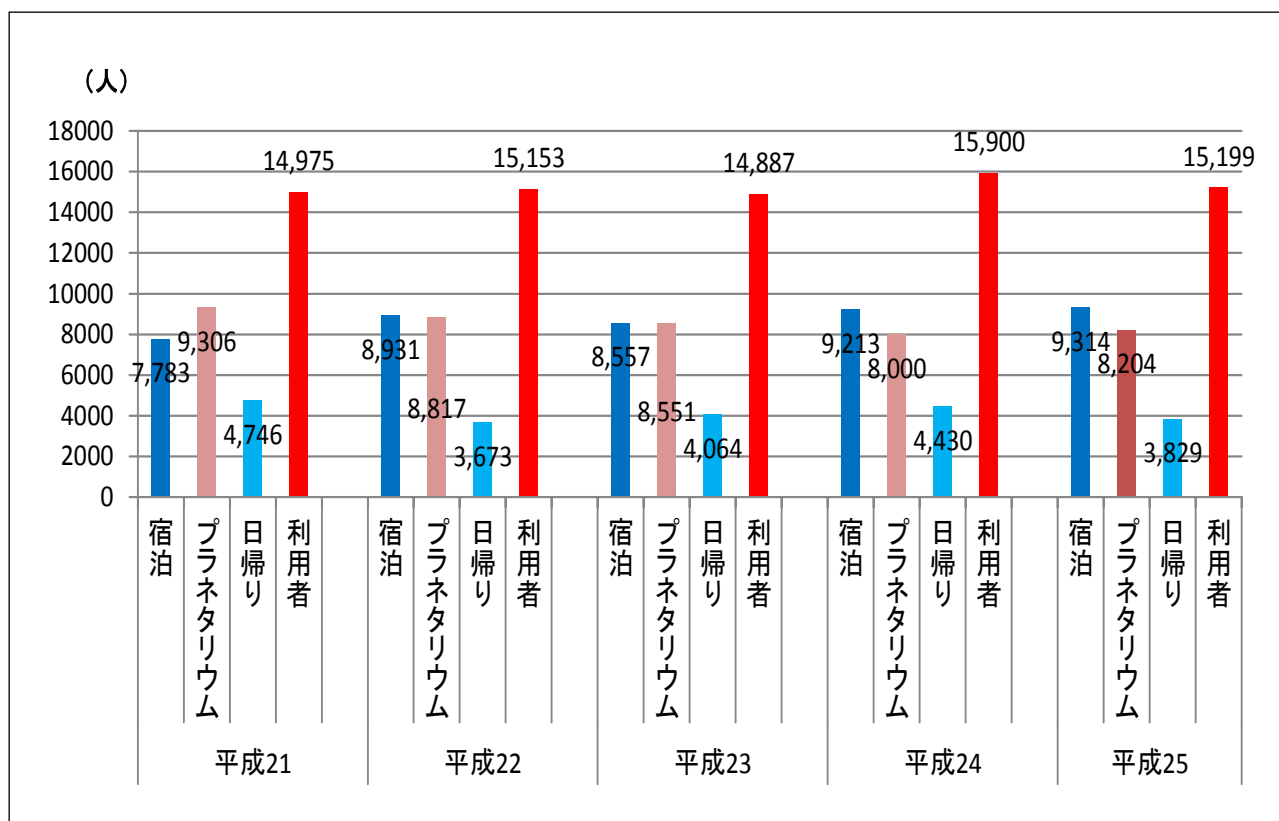
図表 動植物園 利用状況



■ 少年自然の家

少年自然の家の来所者数は、最少で平成23年度から、最大で平成24年度まで、約1.5万人程度で推移しております。

図表 少年自然の家 利用状況



注) 宿泊・プラネタリウム・日帰り (延べ人数)

利用者 (重複した人数を除く)

③ 運営状況

いちかわ観光・物産案内所は、平成25年10月から非常勤職員を廃止し、業務委託のみで運営しております。アイ・リンクタウン展望施設には、非常勤職員が配置されています。動植物園には、市職員が22人及び再任用職員1人、非常勤職員が配置されています。少年自然の家には、市職員が4人及び再任用職員2人、非常勤職員が配置されています。

3) まとめ

- ・ 少年自然の家が築30年以上と老朽化を迎えています。効率的な老朽化対策が必要です。
- ・ 動植物園は築28年が経過し、今後は老朽化対策が必要となることから、施設の魅力の維持・向上と合せた、計画的・効果的な改修を検討していくことが重要です。

◆ 産業系施設

(11) 産業系施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、産業系施設として、地方卸売市場やジョブ・サポートいちかわ、勤労福祉センターを整備しています。

勤労福祉センターは本館と分館を整備しており、本館はスポーツ施設や子育て支援施設、高齢者福祉施設等を併設しています。

ジョブ・サポートいちかわは、ザ タワーズ イースト3階に設置し、若者等の就労等に関する相談等の駅前のサテライト機能です。

設置目的

地方卸売市場	本市における青果物等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図ることにより、市民生活の安定・食生活の安全を確保するとともに、生産出荷者の利益を守るため
勤労福祉センター	勤労者、老人、女性及び児童の福祉の増進と文化教養の向上を図るため
ジョブ・サポートいちかわ	カウンセリング等を実施し、就職活動を支援するため

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設			備考
					スポーツ 施設	子育て支援 施設	その他高齢者 福祉施設	
1 地方卸売市場	鬼高4-5-1	13,551.10	昭和47	鉄骨造				
2 勤労福祉センター本館	南八幡2-20-1	2,862.71	昭和56	鉄筋コンクリート造	●	●	●	
3 勤労福祉センター分館	南八幡5-20-3	1,503.45	昭和40	鉄筋コンクリート造			●	
4 ジョブ・サポートいちかわ	市川南1-1-1	41.06	平成20	鉄筋コンクリート造				ザ タワーズ イースト内
合計		17,958.32						

② 開館時間・開館日数

名称	開館時間	休館日	開館日数
勤労福祉センター	午前9時～午後9時	毎週月曜日、年末年始、祝日	291日
ジョブ・サポートいちかわ	毎月第1・3金曜日 午前10時～午後5時	祝日、年末年始	—

③ 事業内容

勤労福祉センター	勤労者、老人に関する教養及び文化の向上、レクリエーション等に関する主催講座（主催事業）を開催すると共に、専門職員による相談（相談事業）を行っています。 利用者のレクリエーション等の活動の場を提供（貸館事業）しています。
ジョブ・サポートいちかわ	仕事や就職活動について、専門相談員が個別相談に応じます（相談事業）。

④ 予約方法・使用料金等

【勤労福祉センター】

勤労福祉センターを使用するには、事前の申請、予約が必要です。利用したい月の3ヶ月前の1日～15日に施設予約システム等にて予約の抽選を受け付けています。予約等の受付は、各施設の窓口及び電話受付とインターネット受付が可能です。抽選後に、先約のない施設の予約を随時することができます。

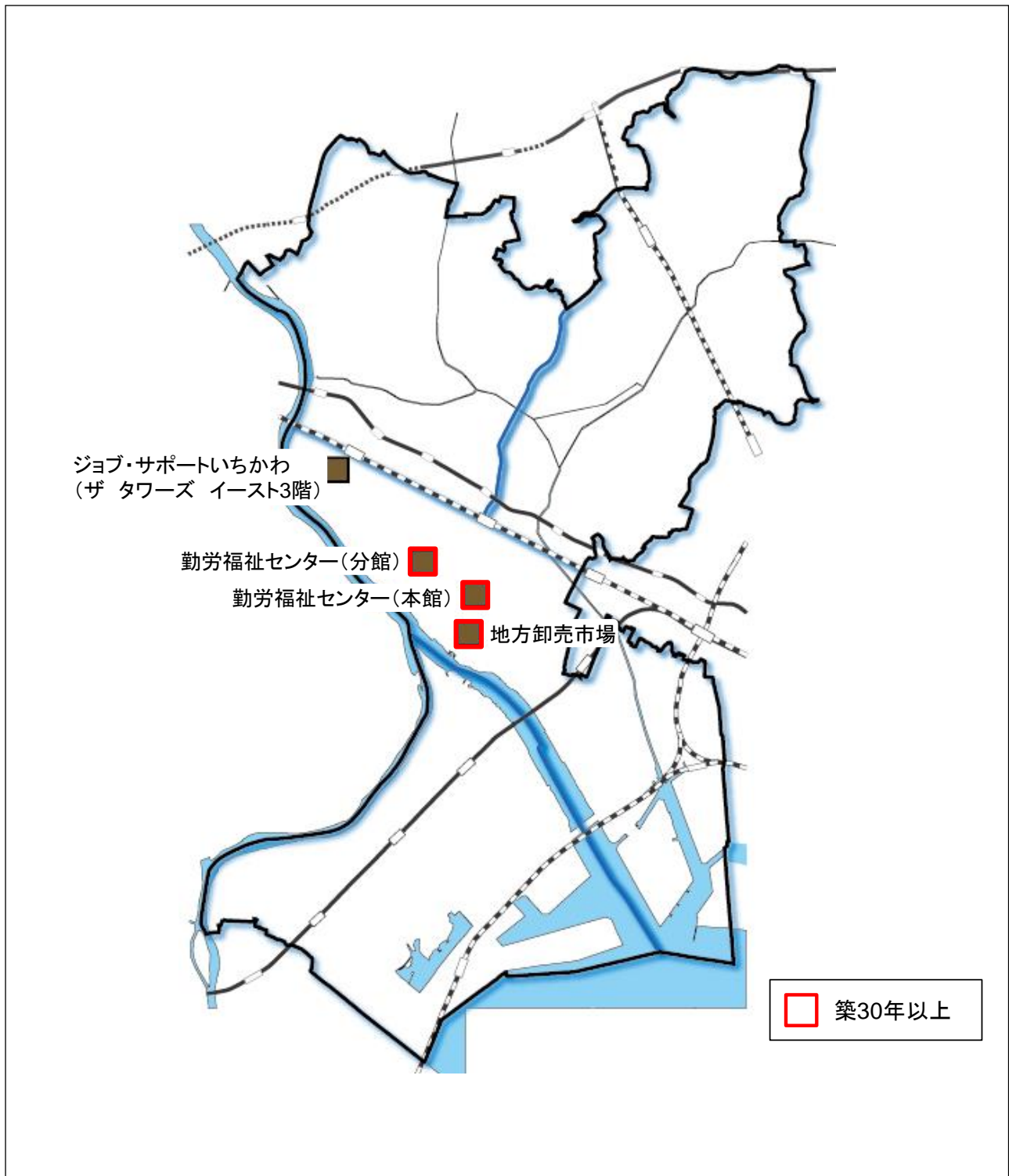
使用する際には、施設ごとに料金が定められた使用料金を支払う必要があります。

【ジョブ・サポートいちかわ】

相談等は、事前に電話等による予約が必要です。相談等の料金は無料です。

⑤ 配置状況

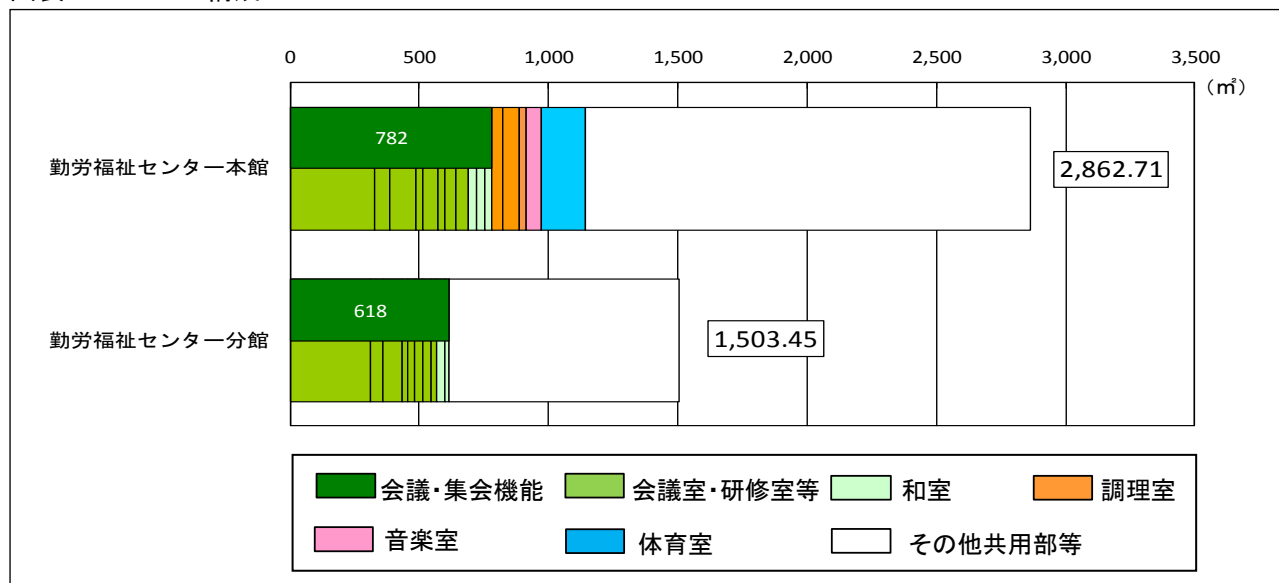
図表 産業系施設位置図



⑥ 勤労福祉センターのスペース構成

貸館事業を行っている勤労福祉センターのスペース構成をみると、会議室・研修室、和室といった会議・集会機能が中心となっています。本館には調理室や音楽室、体育室等が整備されています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

平成 25 年度の産業系施設 4 施設の建物状況は、下記のとおりです。

地方卸売市場等 3 施設については築 30 年以上が経過し老朽化が進行しており、今後老朽化対策が必要となっています。

ジョブ・サポートいちかわは、平成 20 年度に整備されたザ タワーズ イースト内にある新しい施設です。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (m²)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/m²・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/m²)		
							燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料
1	地方卸売市場	昭和47	13,551.10	42	1,242	0.092	26,026	20,782	6,379	1,921	1,534	471
2	勤労福祉センター本館	昭和56	2,862.71	33	-	-	10,219	14,372	2,867	2,341	3,292	657
3	勤労福祉センター分館	昭和40	1,503.45	49	-	-						
4	ジョブ・サポートいちかわ	平成20	41.06	6	-	-						
合計			17,958.32	-	-	-	36,245	35,154	9,246	-	-	-

<老朽化凡例>
 黄色 : 築20年以上30年未満
 赤色 : 築30年以上
 <環境対応凡例>
 紫色 : 平均値を上回る

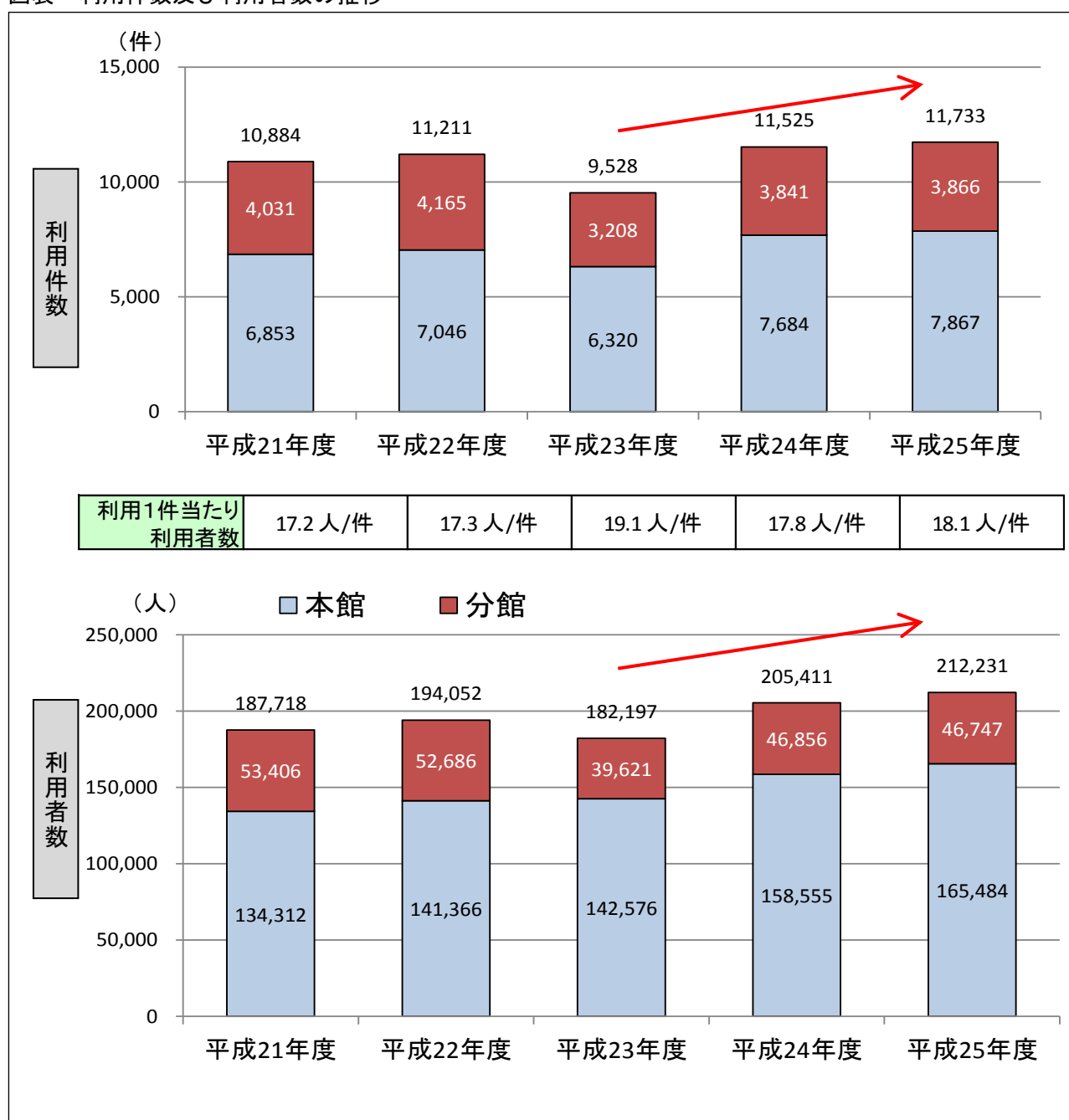
② 利用状況（勤労福祉センター）

産業系施設の利用状況として、貸館事業を行っている「勤労福祉センター」の利用状況を把握いたします。

■ 利用推移

利用件数の推移は、平成21年度1万117件から平成23年度9,790件までほぼ横ばいで推移していましたが、平成24年度以降増加傾向に転じ、平成25年度は1万1,733件となっています。同様に、利用者数は、平成23年度まで18万人から19万人で推移していましたが、平成24年度以降は増加傾向に転じ、平成25年度は21万2,231人となっています。

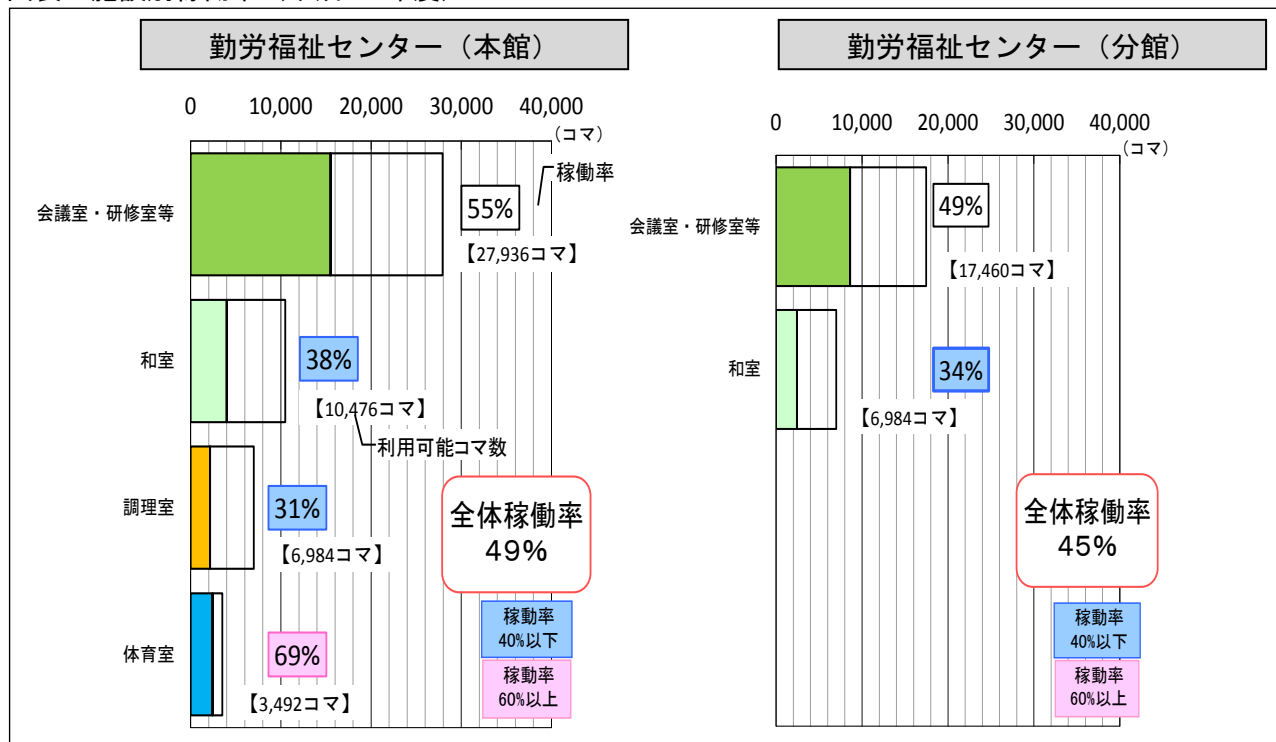
図表 利用件数及び利用者数の推移



■ 施設別稼働率

施設別の稼働率は、勤労福祉センター（本館）が49%、勤労福祉センター（分館）が45%となっています。部屋機能ごとに見ると、勤労福祉センター（本館）の体育室が69%と高くなっている一方、調理室は31%、分館の和室が34%と稼働率が低い部屋機能があります。

図表 施設別稼働率（平成25年度）



③ 運営状況（勤労福祉センター）

勤労福祉センターは、常勤の再任用職員、非常勤の嘱託職員等により市の直営で運営しています。施設内には、4人の再任用職員と非常勤職員が従事しています。

3) まとめ

- 地方卸売市場は、開設当初から場内で営業していた卸売業者が撤退するなど、状況が大きく変化しており、現在は、民営化を検討しています。
- 勤労福祉センターは、本館、分館ともに、築30年を超えており、効率的な老朽化対策が必要です。

◆ 学校教育系施設

(12) 小学校・中学校

1) 施設概要

① 施設一覧

本市には、小学校 39 校、中学校 16 校、特別支援学校 1 校の合計 56 校が設置され、延床面積は 46 万 8,672 m²となっています。施設規模をみると、小学校の延床面積は、国分小学校の 3,766 m² (12 学級) から、妙典小学校の 1 万 3,123 m² (24 学級)、中学校の延床面積は、塩浜中学校の 6,367 m² (6 学級) から第七中学校の 1 万 4,875 m² (23 学級) となっています。

図表 施設一覧(小学校)

(平成 25 年 5 月 1 日現在)

	名称	所在地	延床面積 (m ²)	建築年度 (年度)	校舎構造	屋内運動場	児童 生徒数	学級数(学級)	
								通常学級	特別支援 学級
小学校	1 市川小学校	市川2-32-5	8,360.34	昭和43	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	623人	18	4
	2 真間小学校	真間4-1-1	8,154.79	昭和44	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	546人	18	2
	3 中山小学校	中山1-1-5	9,472.33	昭和42	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	650人	21	1
	4 八幡小学校	八幡3-24-1	7,949.24	昭和38	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	654人	18	3
	5 国分小学校	東国分2-4-1	3,766.27	昭和46	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	305人	12	3
	6 大柏小学校	大野町2-1877	8,425.29	昭和41	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	671人	20	2
	7 宮田小学校	新田4-8-15	5,589.58	昭和34	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	362人	12	0
	8 富貴島小学校	八幡6-10-11	7,618.28	昭和48	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	516人	18	0
	9 若宮小学校	若宮3-54-10	7,805.02	昭和41	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	611人	19	2
	10 国府台小学校	国府台5-25-4	9,841.56	昭和43	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	693人	22	1
	11 平田小学校	平田3-28-1	8,211.21	昭和41	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	427人	14	2
	12 鬼高小学校	鬼高2-13-5	9,804.35	昭和44	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	946人	29	0
	13 菅野小学校	菅野6-14-1	8,482.86	昭和51	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	532人	18	1
	14 行徳小学校	富浜1-1-40	10,012.60	昭和48	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	1,144人	33	4
	15 信篤小学校	原木2-16-1	8,149.31	昭和53	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	923人	27	1
	16 稲荷木小学校	稲荷木1-14-1	7,838.02	昭和41	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	439人	14	2
	17 南行徳小学校	欠真間1-6-38	10,209.14	昭和40	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	721人	23	0
	18 鶴指小学校	大和田4-11-1	9,160.93	昭和42	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	409人	13	1
	19 宮久保小学校	宮久保5-7-1	8,405.55	昭和43	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	755人	23	0
	20 二俣小学校	二俣678	7,944.67	昭和45	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	409人	14	1
	21 中国分小学校	中国分1-22-1	6,609.49	昭和47	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	529人	18	0
	22 曾谷小学校	曾谷7-18-1	8,742.43	昭和48	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	504人	16	0
	23 大町小学校	大町84-10	6,446.08	昭和49	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	131人	6	0
	24 北方小学校	北方町4-1356-1	7,118.96	昭和49	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	301人	11	1
	25 新浜小学校	行徳駅前4-5-1	9,901.69	昭和51	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	890人	26	2
	26 百合台小学校	曾谷6-10-1	7,959.95	昭和52	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	505人	18	1
	27 富美浜小学校	南行徳2-3-1	8,991.86	昭和52	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	834人	25	1
	28 柏井小学校	柏井町1-1149-1	6,114.52	昭和53	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	552人	18	0
	29 大洲小学校	大洲4-18-1	6,341.89	昭和53	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	500人	16	0
	30 幸小学校	幸1-11-1	9,087.16	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	535人	17	0
	31 新井小学校	新井1-18-13	7,828.07	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	1,007人	30	2
	32 南新浜小学校	新浜1-26-1	7,861.46	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	652人	21	0
	33 大野小学校	南大野1-42-1	8,597.13	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	841人	24	0
	34 塩焼小学校	塩焼5-9-8	9,141.05	昭和55	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	794人	25	1
	35 稲越小学校	稲越町518-2	7,446.09	昭和55	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	157人	6	0
	36 塩浜小学校	塩浜4-5-1	7,887.67	昭和55	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	152人	6	0
	37 大和田小学校	大和田1-1-3	5,617.51	昭和57	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	473人	16	0
	38 福栄小学校	南行徳2-2-1	6,341.35	昭和59	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	251人	11	0
	39 妙典小学校	妙典2-14-2	13,123.01	平成11	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	770人	24	0
小学校 計			316,358.71				22,714人	720	38

※建築年度は校舎棟で最も古い建物の建築年度
※上記延床面積には、建物賃借物件は含まない。

19 学級以上
11 学級以下

図表 施設一覧(中学校・特別支援学校)

(平成25年5月1日現在)

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	校舎構造	屋内運動場	児童 生徒数	学級数(学級)	
								通常学級	特別支援 学級
中 学 校	1 第一中学校	国府台2-7-1	9,413.63	昭和36	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	599人	16	2
	2 第二中学校	須和田2-34-1	8,301.18	昭和36	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	678人	19	2
	3 第三中学校	曾谷3-2-1	9,353.05	昭和49	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	655人	19	0
	4 第四中学校	中山1-11-1	9,930.15	昭和35	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	607人	17	1
	5 第五中学校	大野町3-1993	10,101.03	昭和48	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	679人	18	3
	6 第六中学校	鬼高3-16-1	9,581.62	昭和48	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	714人	20	0
	7 第七中学校	末広1-1-48	14,874.58	昭和51	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	811人	23	3
	8 第八中学校	大和田4-9-1	9,647.69	昭和42	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	592人	17	5
	9 下貝塚中学校	下貝塚3-13-1	7,975.49	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	776人	21	0
	10 高谷中学校	高谷1627-4	8,316.00	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	478人	14	2
	11 福栄中学校	福栄3-4-1	9,565.45	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	751人	20	3
	12 東国分中学校	東国分3-5-1	7,784.95	昭和54	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	278人	9	1
	13 大洲中学校	大洲4-21-5	8,220.35	昭和56	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	364人	11	3
	14 塩浜中学校	塩浜4-6-1	6,367.29	昭和56	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	144人	6	0
	15 南行徳中学校	南行徳2-2-2	8,295.56	昭和59	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	722人	21	0
	16 妙典中学校	妙典5-22-1	10,348.01	昭和62	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	855人	24	0
中学校 計			148,076.03				9,703人	275	25
特 別 支 援	1 須和田の丘 支援学校	須和田2-34-1	3,185.74	昭和45	鉄筋コンクリート造	—	83人	—	18
	2 須和田の丘 支援学校 稲越校舎	稲越町518-2	1,052.00	昭和55	鉄筋コンクリート造	—	45人	—	11
特別支援 計			4,237.74				128人	—	29
合 計 (56校)			468,672.48				32,545人	995	92

※建築年度は校舎棟で最も古い建物の建築年度

※上記延床面積には、建物賃借物件は含まない。

19学級以上

11学級以下

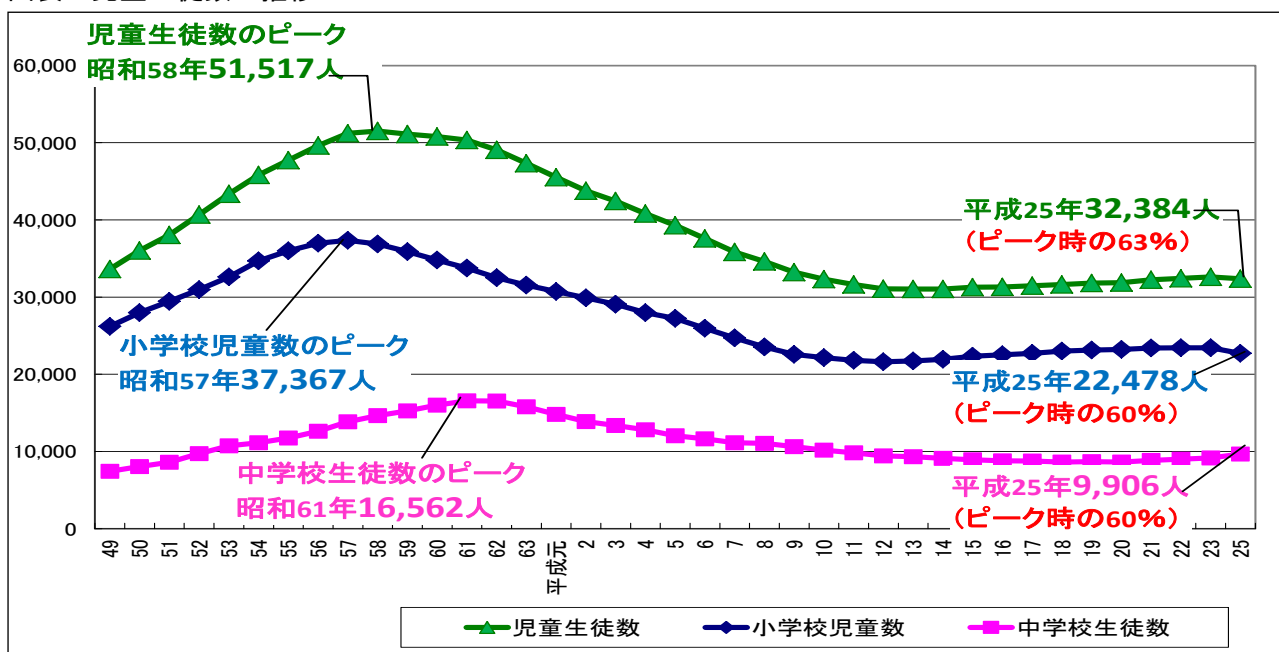
2) 実態把握

① 児童生徒数及び学級数の状況

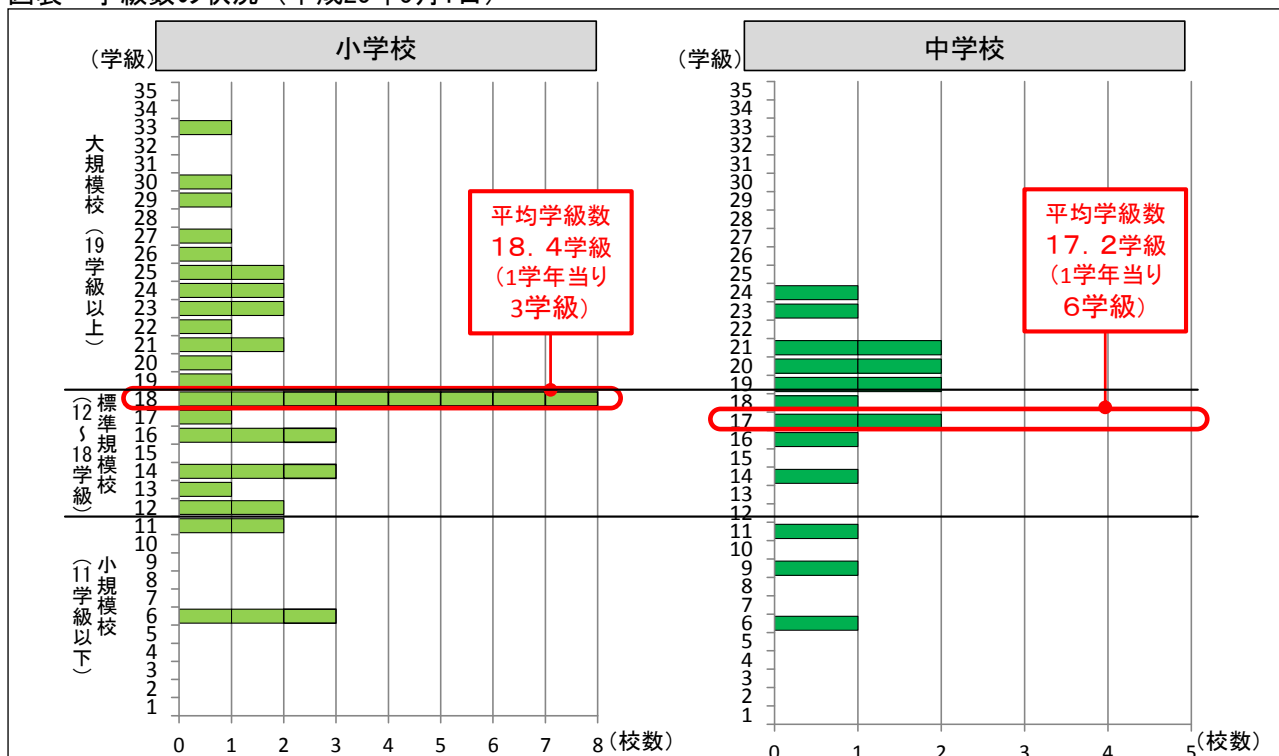
児童生徒数及び学級数の状況を見ると、小中学校の児童生徒数は、昭和58年度の5.2万人をピークに平成12年度まで減少傾向にありました。平成12年度を境に微増傾向に転じ、平成25年5月1日時点では、3.2万人とピーク時の約63%となっています。

平成25年5月1日現在の学級数をみると、小学校は、平均18学級（1学年当たり3学級）となっており、最小6学級から最大33学級です。中学校は、平均17学級（1学年当たり6学級）となっており、最小6学級から最大24学級です。学校によって大きく差があります。

図表 児童生徒数の推移



図表 学級数の状況 (平成25年5月1日)

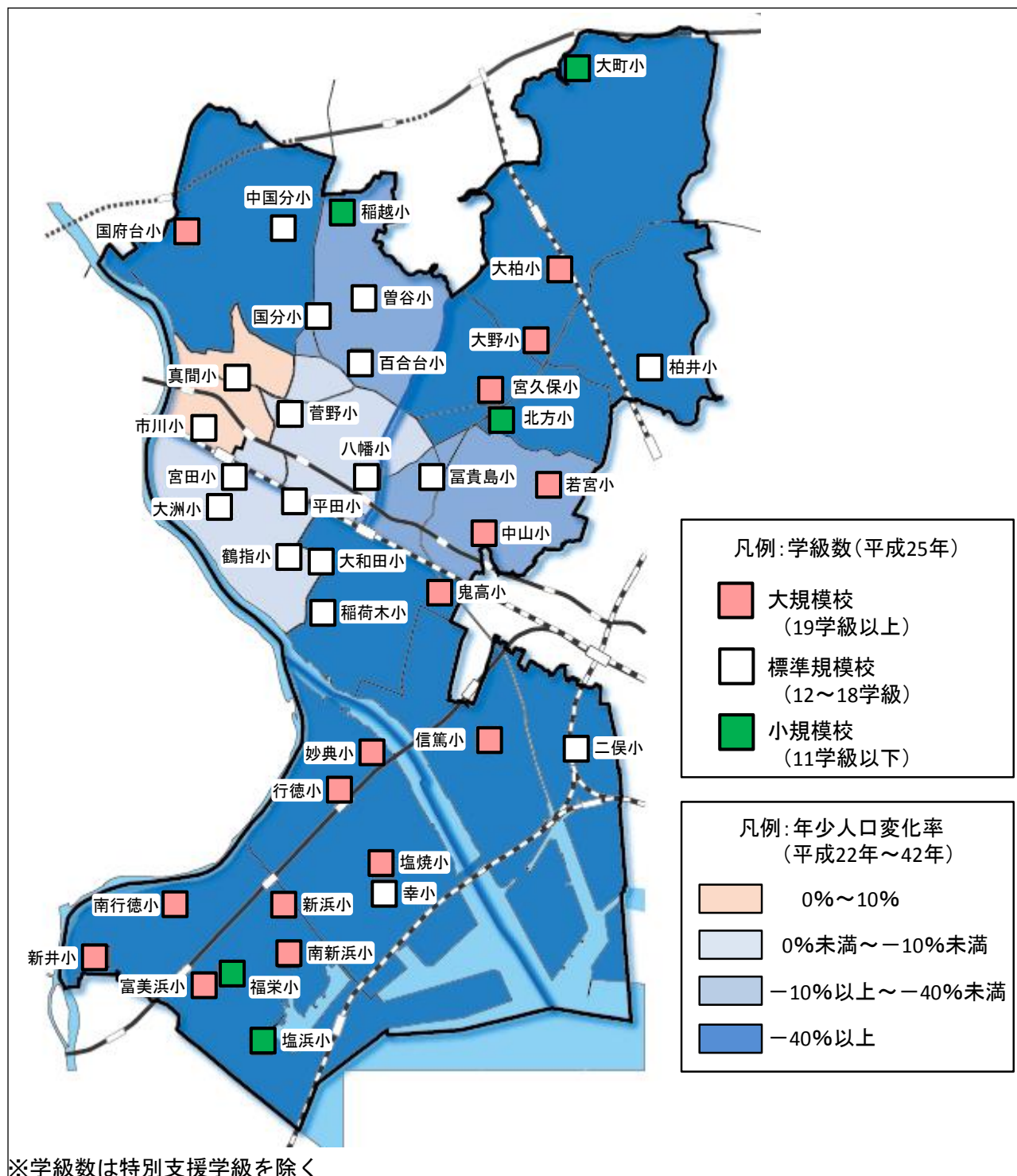


② 学校別の学級数の状況

小学校は39校が配置されており、学級数をみると11学級以下の小規模校が5校、19学級以上の大規模校が16校あります。

また、平成42年までの12地区ごとの年少人口変化率をみると、現在、大規模校が多い信篤地区、行徳地区、南行徳地区等では今後40%以上減少することが予測されており、児童数の減少に伴い、余裕スペースが生じることが予測されます。

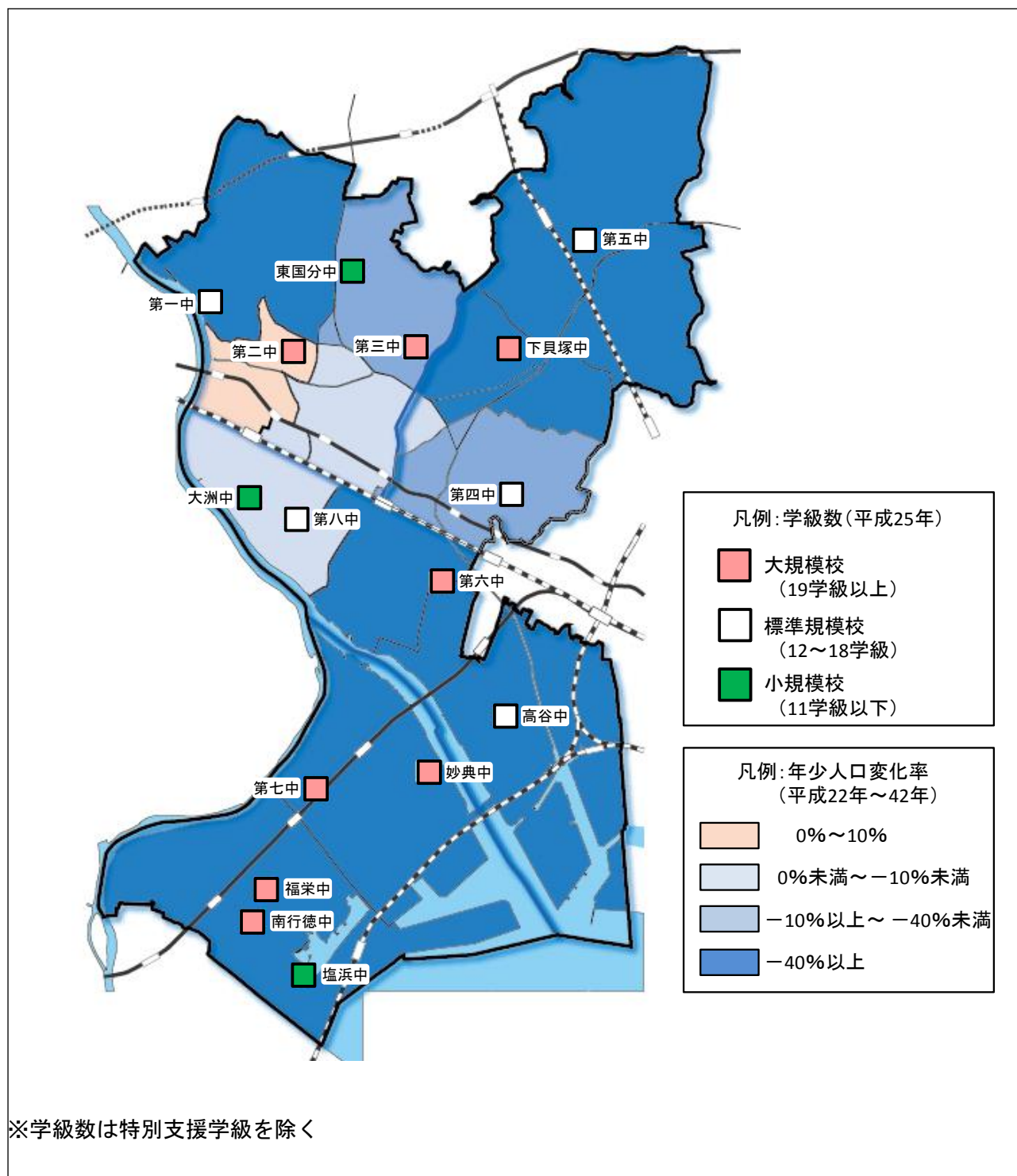
図表 小学校位置図



中学校は16校が配置されており、学級数をみると、11学級以下の小規模校が3校で、19学級以上の大規模校が8校あります。

また、中学校も小学校と同様に、行徳地区、南行徳地区等に大規模校が多いが、今後見込まれる生徒数の減少に伴い、余裕スペースが生じることが予測されます。

図表 中学校位置図



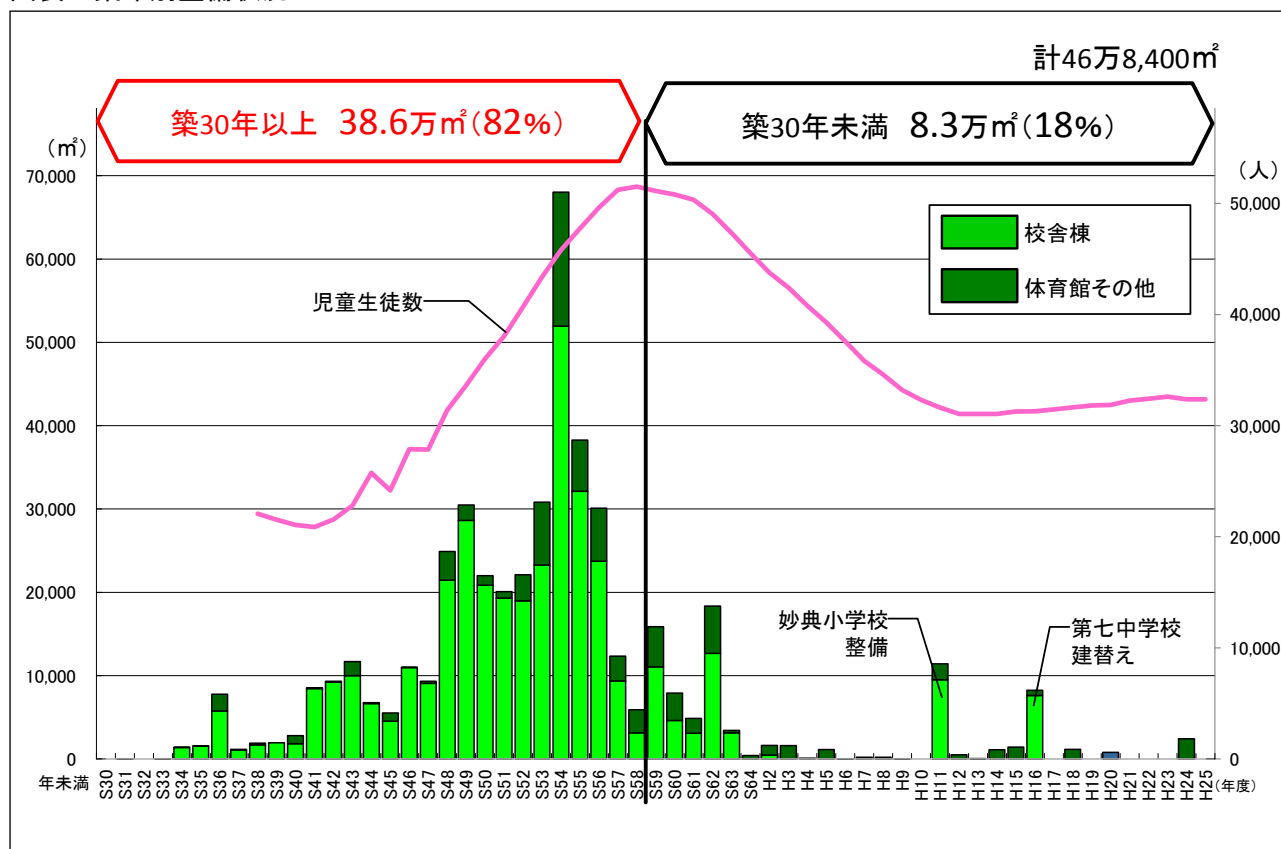
③ 施設の整備状況

小学校・中学校には、校舎や屋内運動場以外にも、プール付属棟や屋外トイレなど、様々な施設があり、それらを含めると学校施設は、約750棟、延床面積約46.8万㎡です。

整備状況をみると、昭和40年代以降、高度経済成長期の児童生徒数の急増に伴い、昭和60年代前半まで整備が行われました。平成に入って以降は、平成11年度に妙典小学校を整備、平成16年度に第七中学校の一部校舎の建替え等しか行っておらず、平成25年末日現在で、最も古い校舎（宮田小学校）が築54年を経過し、築30年以上を経過する建物が約8割を占めており、小学校・中学校全体で老朽化が非常に進行しています。

近年は、耐震化プログラムに基づき、既存校舎の耐震化及び大規模改修等の老朽化対策を実施してきました。

図表 築年別整備状況



平成25年度の小学校・中学校校の建物状況は、下記のとおりです。

図表 小学校の建物状況

図表 中学校の建物状況

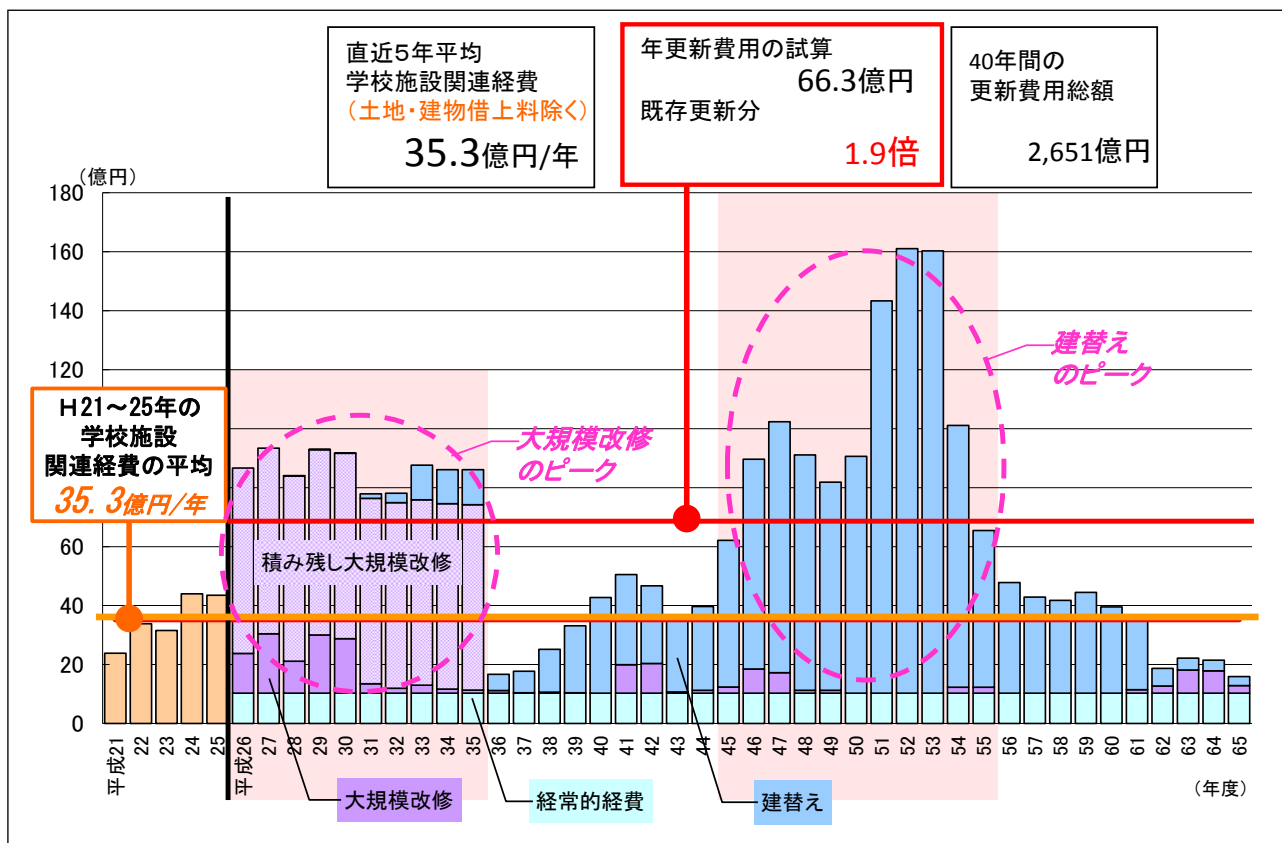
No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応	
		建築年度	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	(一次エネルギー消費量 (GJ/年))	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)			建築年度	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	(一次エネルギー消費量 (GJ/年))	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)
1	市川小学校	昭和43	8,360.34	46	2,256	0.270	1	第一中学校	昭和36	9,413.63	53	1,942	0.206
2	真間小学校	昭和44	8,154.79	45	1,841	0.226	2	第二中学校	昭和36	8,301.18	53	2,504	0.302
3	中山小学校	昭和42	9,472.33	47	2,470	0.261	3	第三中学校	昭和49	9,353.05	40	2,223	0.238
4	八幡小学校	昭和38	7,949.24	51	2,065	0.260	4	第四中学校	昭和35	9,930.15	54	1,560	0.157
5	国分小学校	昭和46	3,766.27	43	2,660	0.706	5	第五中学校	昭和48	10,101.03	41	3,285	0.325
6	大柏小学校	昭和41	8,425.29	48	2,399	0.285	6	第六中学校	昭和48	9,581.62	41	2,162	0.226
7	宮田小学校	昭和34	5,589.58	55	1,642	0.294	7	第七中学校	昭和51	14,874.58	38	5,066	0.341
8	富貴島小学校	昭和48	7,618.28	41	2,046	0.269	8	第八中学校	昭和42	9,647.69	47	1,926	0.200
9	若宮小学校	昭和41	7,805.02	48	2,528	0.324	9	下貝塚中学校	昭和54	7,975.49	35	2,442	0.306
10	国府台小学校	昭和43	9,841.56	46	3,622	0.368	10	高谷中学校	昭和54	8,316.00	35	2,452	0.295
11	平田小学校	昭和41	8,211.21	48	2,218	0.270	11	福栄中学校	昭和54	9,565.45	35	2,474	0.259
12	鬼高小学校	昭和44	9,804.35	45	2,718	0.273	12	東国分中学校	昭和54	7,784.95	35	1,867	0.240
13	菅野小学校	昭和51	8,482.86	38	2,483	0.293	13	大洲中学校	昭和56	8,220.35	33	1,774	0.216
14	行徳小学校	昭和48	10,012.60	41	2,925	0.287	14	塩浜中学校	昭和56	6,367.29	33	1,310	0.206
15	信篤小学校	昭和53	8,149.31	36	3,161	0.388	15	南行徳中学校	昭和59	8,295.56	30	2,361	0.285
16	稲荷木小学校	昭和41	7,838.02	48	2,406	0.307	16	妙典中学校	昭和62	10,348.01	27	2,990	0.289
17	南行徳小学校	昭和40	10,209.14	49	2,177	0.213		合計		148,076.03	-	-	-
18	鶴指小学校	昭和42	9,160.93	47	1,674	0.183							
19	宮久保小学校	昭和43	8,405.55	46	2,234	0.266							
20	二俣小学校	昭和45	7,944.67	44	1,959	0.247							
21	中国分小学校	昭和47	6,609.49	42	2,410	0.365							
22	曾谷小学校	昭和48	8,742.43	41	2,272	0.260							
23	大町小学校	昭和49	6,446.08	40	1,340	0.208							
24	北方小学校	昭和49	7,118.96	40	2,003	0.281							
25	新浜小学校	昭和51	9,901.69	38	2,574	0.260							
26	百合台小学校	昭和52	7,959.95	37	3,000	0.377							
27	富美浜小学校	昭和52	8,991.86	37	2,247	0.250							
28	柏井小学校	昭和53	6,114.52	36	2,733	0.441							
29	大洲小学校	昭和53	6,341.89	36	2,117	0.334							
30	幸小学校	昭和54	9,087.16	35	1,808	0.199							
31	新井小学校	昭和54	7,828.07	35	2,827	0.361							
32	南新浜小学校	昭和54	7,861.46	35	2,469	0.314							
33	大野小学校	昭和54	8,597.13	35	2,910	0.338							
34	塩焼小学校	昭和55	9,141.05	34	2,731	0.299							
35	福越小学校	昭和55	7,446.09	34	2,121	0.285							
36	塩浜小学校	昭和55	7,887.67	34	1,884	0.239							
37	大和田小学校	昭和57	5,617.51	32	1,916	0.341							
38	福栄小学校	昭和59	6,341.35	30	1,529	0.241							
39	妙典小学校	平成11	13,123.01	15	4,677	0.356							
	合計		316,358.71	-	-	-							

<環境対応凡例>
 : 平均値を上回る

3) 今後40年間にかかるコスト試算（シミュレーション）

今後40年間にかかるコストを試算すると、年平均66億円の費用が必要になります。これは、直近5年間の施設関連経費平均約35億円と比べると、毎年度約31億円不足する計算になります。特に、平成46年以降の建替えのピークに適切に対応していく必要があります。

図表 今後かかるコスト試算



《試算条件》

a) 前提

- 現状の施設規模・施設内容を維持することを前提としてコスト試算を行う。
- 施設の統廃合による施設数の増減、および増減築による建物面積の増減については考慮していない。

b) 条件

- 建築物の耐用年数は60年と仮定する。
- 建物附属設備及び配管の耐用年数が概ね15年であることから、2回目の改修時期である建設後30年で建築物の大規模改修を行い、さらにその後30年で建替えると仮定する。
- 試算時点で、建設時からの経過年数が31年以上50年までの施設については、直近の10年間で均等に大規模改修を行うと仮定し、建設時より51年以上経過している施設については、建替えの時期が近いことから、大規模改修は行わずに60年を経過した年度に建替えることとする。

c) 単価

	建替え	大規模改修
学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/㎡	17 万円/㎡

- 経常的経費は、平成21年度から平成25年度の5年間の経常的経費の平均値10.2億円とする。

4) まとめ

- 本市では昭和 40 年代からの人口急増に伴い、学校施設を集中的に整備しましたが、昭和 58 年を境に児童生徒数が減少に転じており、平成 25 年度時点でピーク時の 63%程度となっています。
- 市全体の 14 歳以下の年少人口は、平成 42 年には、平成 22 年の 57,193 人から約 40%減少し、34,800 人となることが予測されています。
- 地域ごとにみると、特に南部地域では、現在 19 学級以上の大規模校が多くみられますが、平成 42 年には年少人口が約 50%減少すると予測されています。一方、市川駅周辺地区では、再開発等による新たな人口流入により、横ばい又は微増傾向と見込まれており、地域によって状況が大きく異なります。
- 建物状況は、築 30 年以上を経過する建物が約 8 割を占めており、小学校・中学校全体で老朽化が非常に進行しています。
- 既存施設の更新費用を一定条件の下、試算すると、これまでの施設整備費用を大きく上回る費用が必要となっており、さらに、昭和 40 年代から 50 年代にかけて集中的に整備したため、大規模改修や建替え費用が集中的に必要となります。

(13) その他教育施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、生涯学習センター内に教職員の研修や教育相談等を行う施設として教育センターを設けている他、その他教育に関するいろいろな悩み、困りごとの相談を受ける施設として少年センターを設置しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設			備考
					図書館	博物館	子育て 支援	
1 教育センター	鬼高1-1-4	2,198.00	平成6	鉄骨鉄筋コンクリート	●	●	●	生涯学習センター内
2 少年センター	鬼高1-1-4	35.00	平成6	鉄骨鉄筋コンクリート	●	●	●	生涯学習センター内
合計		2,233.00						

② 開館時間

施設名	開所時間	休所日
教育センター	研修部 午前9時～午後5時 相談部 午前9時～午後5時	研修部 土日・祝日 相談部 日月・祝日
少年センター	事務室 午前9時～午後5時 相談室 (電話相談) 月～金 午前9時～午後5時 木のみ 午前9時～午後7時 (面接相談) 月～金 午前9時～午後5時 (eメール相談) 24時間受付	土日・祝日

③ 配置状況

図表 その他教育施設



◆ 子育て支援施設

(14) 幼稚園

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市立幼稚園が7園、私立幼稚園が32園あります。

市立幼稚園全体の認可定員は1,770人で、平成25年5月時点の園児数は1,072人、定員に対する入園率は約61%程になっています。

なお、平成22年12月に定めた「公立幼稚園に関する今後のあり方(基本的方針)」に基づき、稲荷木幼稚園を平成26年3月に廃園したため、実態把握を行っていません。また、二俣幼稚園は平成27年度末をもって、当分の間、休園することとしました。

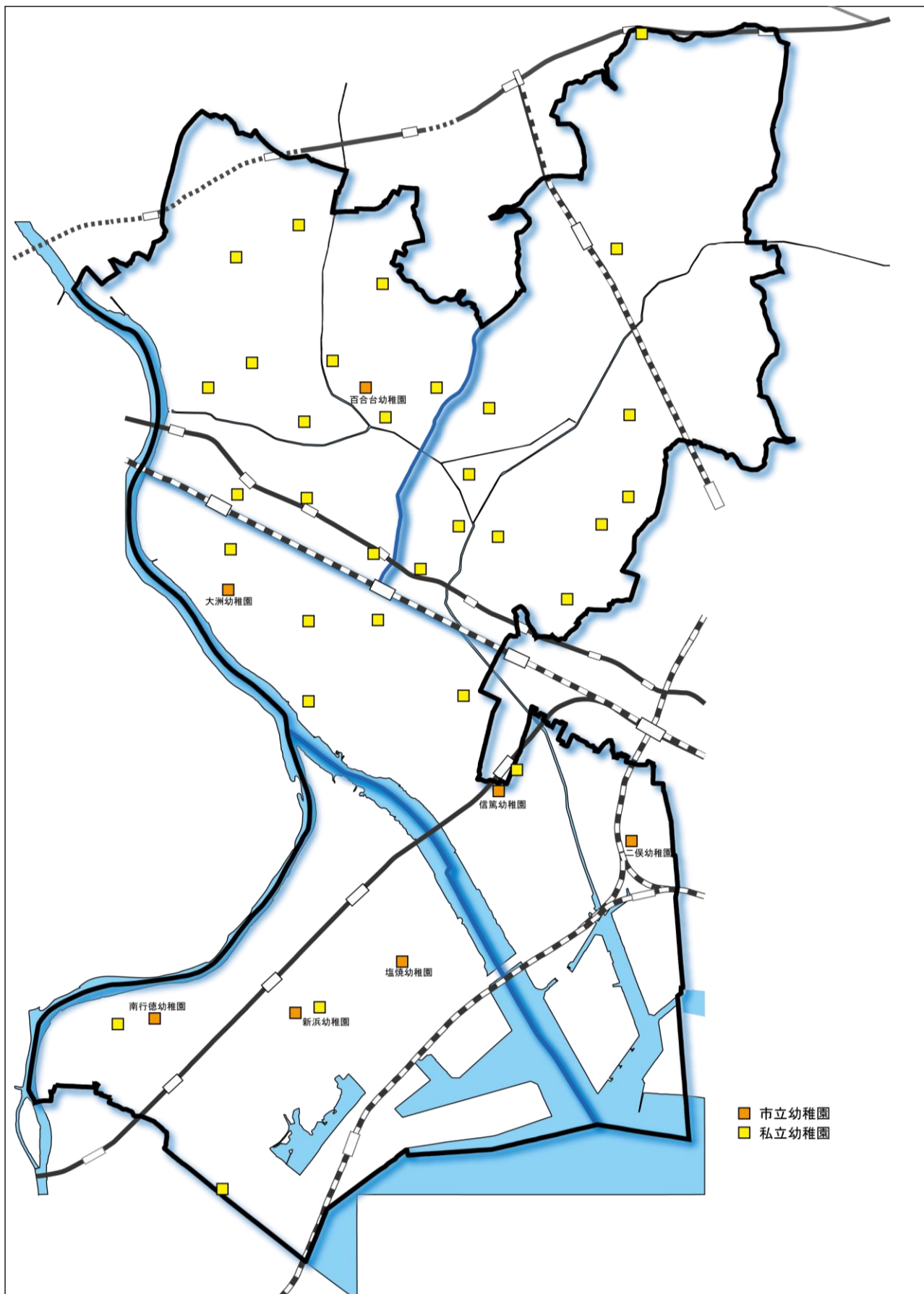
図表 施設一覧(幼稚園)

(平成25年5月1日現在)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	園児数(人)			認可 定員 (人)	入園率	備考
					4歳	5歳	計			
1 二俣幼稚園	二俣678	1,520.58	昭和53	鉄筋コンクリート造	26	49	75	400	19%	
2 信篤幼稚園	高谷1-8-1	1,266.93	昭和54	鉄筋コンクリート造	67	67	134	160	84%	
3 大洲幼稚園	大洲4-3-12	1,267.76	昭和49	鉄筋コンクリート造	70	44	114	240	48%	
4 南行徳幼稚園	欠真間1-6-15	1,723.82	昭和55	鉄筋コンクリート造	97	138	235	330	71%	
5 百合台幼稚園	曾谷6-10-1	1,347.99	昭和57	鉄筋コンクリート造	58	56	114	240	48%	
6 新浜幼稚園	行徳駅前4-5-2	1,060.57	昭和60	鉄筋コンクリート造	80	80	160	160	100%	
7 塩焼幼稚園	塩焼5-9-1	1,262.49	平成3	鉄筋コンクリート造	120	120	240	240	100%	
合計		9,450.14					1,072	1,770	61%	

② 配置状況

図表 幼稚園位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の市立幼稚園7園の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
				燃料、光熱水費			施設管理に係る委託料	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料	
1	二俣幼稚園	昭和53	1,520.58	36	338	0.222	1,604	988	2,313	1,055	650	1,521
2	信篤幼稚園	昭和54	1,266.93	35	201	0.159	1,024	560	2,261	808	442	1,785
3	大洲幼稚園	昭和49	1,267.76	40	265	0.209	1,342	745	3,257	1,058	588	2,569
4	南行徳幼稚園	昭和55	1,723.82	34	375	0.218	1,892	796	3,639	1,097	462	2,111
5	百合台幼稚園	昭和57	1,347.99	32	63	0.047	2,518	887	2,044	1,868	658	1,516
6	新浜幼稚園	昭和60	1,060.57	29	237	0.224	1,233	676	865	1,163	638	815
7	塩焼幼稚園	平成3	1,262.49	23	277	0.220	1,374	775	1,004	1,089	614	795
合計			9,450.14	-	-	-	10,986	5,427	15,383	-	-	-

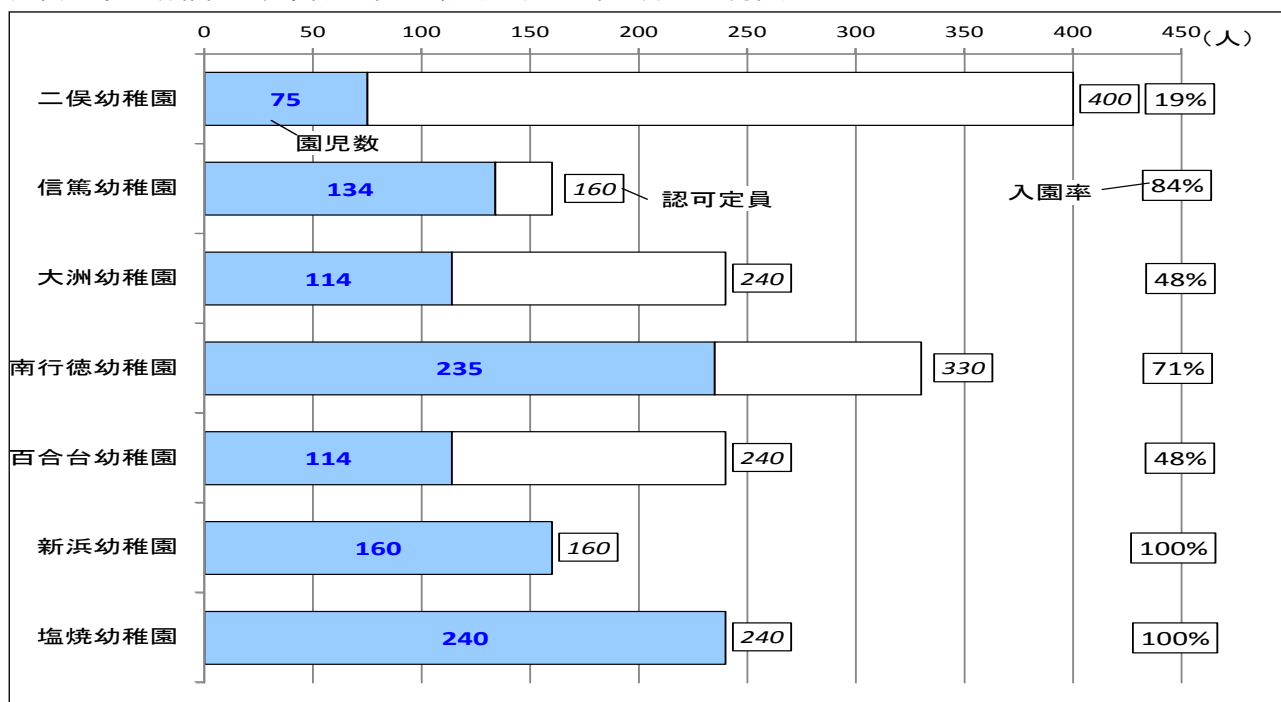
<老朽化凡例> : 築20年以上30年未満 : 築30年以上
 <環境対応凡例> : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 施設別の入園状況

市立幼稚園の施設別の定員に対する入園率は、13%~100%と大きく異なっており、新浜幼稚園と塩焼幼稚園は、入園率100%となっています。

図表 市立幼稚園の定員及び園児数 (平成25年5月1日現在)



3) まとめ

- 市立幼稚園の施設については、老朽化が進み、その利用対象者である市内の幼児人口については年々減少傾向にあります。
- 国においては、平成27年4月より子ども・子育て支援新制度が施行され、幼児教育無償化に向けた取組みも始まろうとしています。
- このような状況変化をふまえ、市立幼稚園の今後のあり方については、子ども施策に対する地域の実情やニーズ等も含め、総合的に検討する必要があります。

(15) 保育園

1) 施設概要

① 施設一覧

■ 保育園

本市では、市立保育園を28園、私立保育園が40園(平成27年3月31日現在)あります。

施設別の延床面積は、若宮保育園(定員60人)の約200㎡から妙典保育園(定員90人)の約1,112㎡となっています。市立保育園全体の認可定員は3,143人で、平成25年4月1日時点の入所児童数は3,073人、入所率は約98%です。

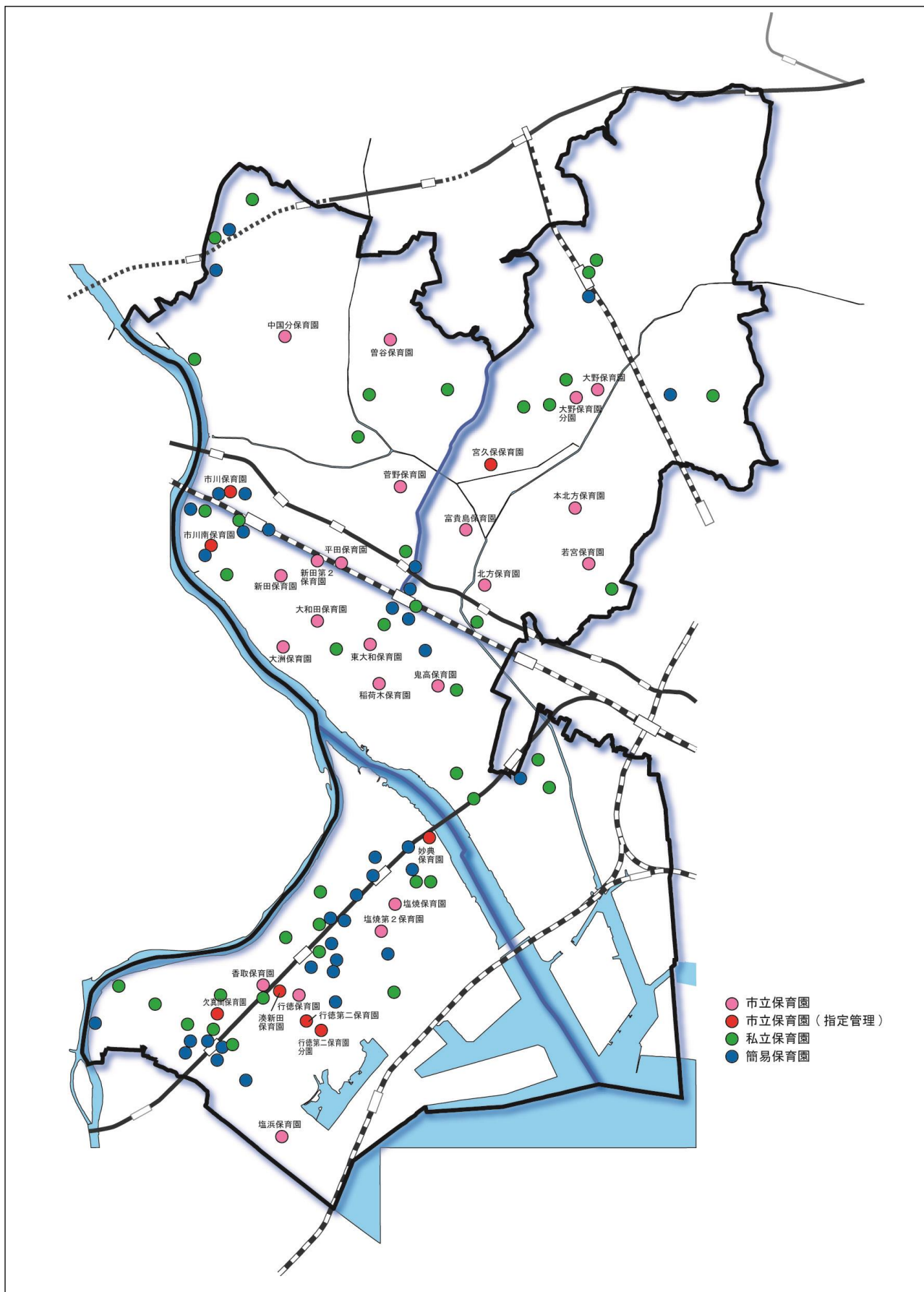
図表 施設一覧(保育園)

(平成25年4月1日現在)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	園児数(人)						計	認可定員 (人)	入園率	備考
					0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				
1 平田保育園	平田1-20-16	1,088.16	昭和51	鉄筋コンクリート造	8	14	18	21	22	22	105	110	95%	平田図書室面積含む
2 北方保育園	北方1-12-1	425.99	昭和45	木造	6	12	13	16	14	22	83	85	98%	
3 若宮保育園	若宮3-7-6	200.22	昭和39	木造	—	4	7	11	16	13	51	60	85%	
4 大洲保育園	大洲2-3-8	508.86	昭和41	木造	3	8	12	19	19	21	82	100	82%	
5 富貴島保育園	八幡6-14-19	396.86	昭和43	木造	3	10	15	21	21	20	90	90	100%	
6 東大和田保育園	東大和田2-6-2	548.07	昭和44	木造	9	17	19	26	23	26	120	120	100%	
7 中国分保育園	中国分2-13-1	535.29	昭和45	木造	1	15	19	24	28	24	111	120	93%	
8 大和田保育園	大和田4-4-1	523.72	昭和46	木造	5	16	17	21	20	18	97	120	81%	
9 新田保育園	新田3-21-1	671.80	昭和47	軽量鉄骨造	6	14	20	22	30	27	119	120	99%	
10 鬼高保育園	鬼高1-11-20	671.27	昭和48	鉄筋コンクリート造	9	15	20	22	24	25	115	120	96%	
11 行徳保育園	行徳駅前4-22-17	935.34	昭和49	鉄筋コンクリート造	12	20	26	25	32	34	149	150	99%	
12 菅谷保育園	菅谷7-28-15	963.36	昭和49	鉄筋コンクリート造	6	15	18	23	24	28	114	120	95%	
13 本北方保育園	本北方2-40-23	732.80	昭和50	鉄筋コンクリート造	9	15	24	25	22	28	123	130	95%	
14 菅野保育園	菅野4-12-16	752.11	昭和52	鉄骨造	9	18	20	24	23	24	118	120	98%	
15 塩焼保育園	塩焼2-2-5	900.59	昭和53	鉄骨造	9	24	26	30	28	29	146	150	97%	
16 稲荷木保育園	稲荷木1-26-16	680.38	昭和53	鉄骨造	3	14	16	20	18	21	92	100	92%	
17 新田第2保育園	新田2-1-24	933.71	昭和54	鉄筋コンクリート造	6	17	20	23	25	26	117	120	98%	
18 塩焼第2保育園	塩焼3-11-15	826.90	昭和54	鉄筋コンクリート造	6	15	19	23	26	24	113	120	94%	
19 塩浜保育園	塩浜4-2-10-101	848.58	昭和55	鉄筋コンクリート造	5	18	20	19	23	23	108	120	90%	
20 大野保育園	南大野2-4-5	907.59	昭和55	鉄筋コンクリート造	11	27	28	30	33	32	161	150	107%	
21 香取保育園	香取2-6-25	537.03	昭和57	鉄筋コンクリート造	4	9	15	15	15	16	74	70	106%	
22 市川保育園	市川2-24-12	821.24	昭和63	鉄骨造	12	20	22	25	25	27	131	120	109%	
23 行徳第二保育園	行徳駅前4-26-10	835.05	昭和56	鉄筋コンクリート造	7	29	30	27	29	26	148	148	100%	
24 湊新田保育園	湊新田2-8-3	558.87	平成13	鉄骨造	8	10	12	12	12	14	68	60	113%	
25 妙典保育園	妙典6-2-45	1,111.70	平成14	鉄骨造	8	16	18	18	18	18	96	90	107%	ファミリー・サポート・センター面積含む
26 市川南保育園	市川南4-1-15	755.08	昭和50	鉄筋コンクリート造	9	19	23	25	26	26	128	130	98%	
27 宮久保保育園	宮久保3-17-10	588.91	昭和51	鉄筋コンクリート造	9	15	20	21	22	20	107	100	107%	
28 欠真間保育園	欠真間2-25-8	643.11	昭和52	鉄骨造	6	15	18	20	24	24	107	100	107%	
合計		19,902.59									3,073	3,143	98%	

② 配置状況

図表 保育園位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の保育園28施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
							維持管理費(千円)			床面積当たり(円/㎡)		
		建築年度	延床面積(㎡)	築年数(年)	一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費単位(GJ/㎡・年)	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料
1	平田保育園	昭和51	1,088.16	38	589	0.542	3,671	464	3,933	3,374	426	3,614
2	北方保育園	昭和45	425.99	44	521	1.223	2,734	467	1,233	6,419	1,097	2,893
3	若宮保育園	昭和39	200.22	50	374	1.869	1,999	467	1,473	9,984	2,333	7,359
4	大洲保育園	昭和41	508.86	48	556	1.092	2,801	405	1,820	5,504	796	3,577
5	富貴島保育園	昭和43	396.86	46	492	1.238	2,302	440	4,154	5,802	1,108	10,466
6	東大和田保育園	昭和44	548.07	45	599	1.094	2,900	574	1,647	5,291	1,047	3,004
7	中国分保育園	昭和45	535.29	44	644	1.203	3,750	467	4,249	7,006	873	7,938
8	大和田保育園	昭和46	523.72	43	552	1.055	3,012	405	1,758	5,750	773	3,357
9	新田保育園	昭和47	671.80	42	595	0.885	2,999	532	1,772	4,464	792	2,637
10	鬼高保育園	昭和48	671.27	41	700	1.043	3,310	405	3,701	4,931	603	5,513
11	行徳保育園	昭和49	935.34	40	924	0.988	4,637	453	1,891	4,958	485	2,022
12	曾谷保育園	昭和49	963.36	40	693	0.410	3,911	467	2,552	4,059	485	2,649
13	本北方保育園	昭和50	732.80	39	743	1.014	3,686	584	3,231	5,030	797	4,409
14	菅野保育園	昭和52	752.11	37	829	1.102	4,057	579	4,143	5,394	770	5,508
15	塩焼保育園	昭和53	900.59	36	606	0.673	4,286	550	2,408	4,759	611	2,674
16	稲荷木保育園	昭和53	680.38	36	526	0.770	3,168	453	1,951	4,657	666	2,867
17	新田第2保育園	昭和54	933.71	35	838	0.898	3,675	746	3,233	3,936	799	3,462
18	塩焼第2保育園	昭和54	826.90	35	849	1.027	4,532	515	3,622	5,481	623	4,381
19	塩浜保育園	昭和55	848.58	34	832	0.981	4,141	447	674	4,880	527	794
20	大野保育園	昭和55	907.59	34	923	1.017	4,730	1,861	3,688	5,212	2,050	4,063
21	香取保育園	昭和57	537.03	32	514	0.956	2,556	453	1,081	4,760	844	2,013
22	市川保育園	昭和63	821.24	26	1130	1.376	-	54	-	-	66	-
23	行徳第二保育園	昭和56	835.05	33	905	1.084	451	54	-	541	65	-
24	湊新田保育園	平成13	558.87	13	610	1.092	-	54	-	-	97	-
25	妙典保育園	平成14	1,111.70	12	962	0.865	-	54	-	-	49	-
26	市川南保育園	昭和50	755.08	39	779	1.031	-	54	-	-	72	-
27	宮久保保育園	昭和51	588.91	38	562	0.954	-	285	1,075	-	484	1,826
28	欠真間保育園	昭和52	643.11	37	765	1.190	-	54	-	-	84	-
	合計		19,902.59	-	-	-	73,311	12,344	55,287	-	-	-

※ 維持管理「-」は、指定管理委託料に含まれる。

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

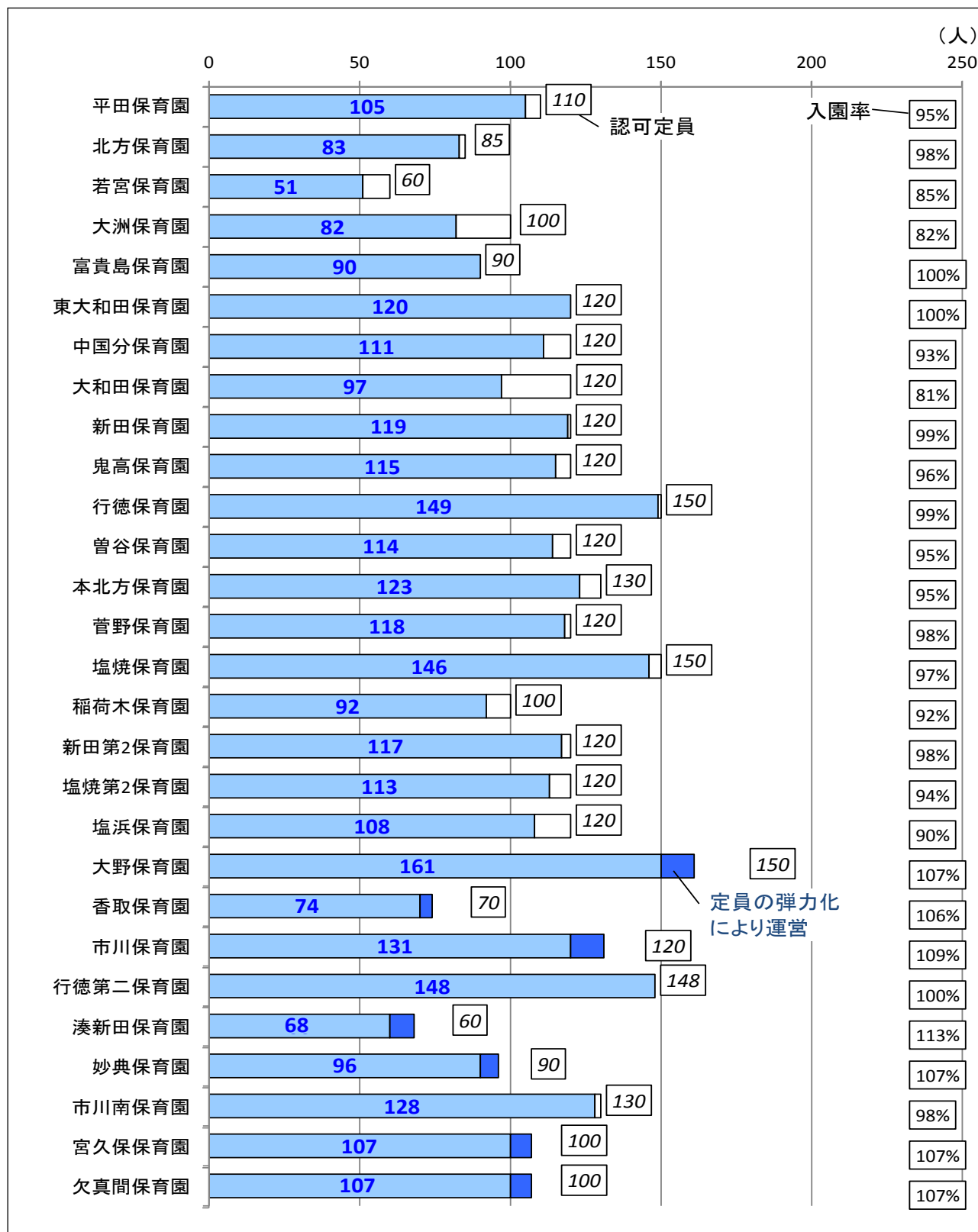
■ : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 施設別の入園状況

市立保育園の施設別の入園率は、81%~113%です。施設によっては、定員を越えています
が、定員の弾力的運用により運営を行っています。

図表 市立保育園の定員及び園児数（平成25年4月1日現在）



3) まとめ

- 本市では、28園中7園で指定管理者制度を導入しており、社会福祉法人が運営し一定の経費削減効果をあげています。私立保育園も各々専門性を発揮し、児童福祉施設として一定の役割を果たしています。また、平成27年度より指定管理者制度を導入している園の民営化を進めていく予定です。

(16) 放課後保育クラブ

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、保護者等が就労等により昼間家庭にいない小学1年生から3年生の児童に、放課後等において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的として、市内43か所に放課後保育クラブを設置しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設		備考
					学校	集会 施設	
1 市川小学校放課後保育クラブ	市川2-32-5	100.75	昭和54	軽量鉄骨造	●		市川小学校内
2 真間小学校放課後保育クラブ	真間4-1-1	152.96	昭和44	鉄筋コンクリート造	●		真間小学校内
3 中山小学校放課後保育クラブ	中山1-1-5	84.24	昭和56	軽量鉄骨造	●		中山小学校内
4 八幡小学校放課後保育クラブ	八幡3-24-1	173.46	昭和38	鉄筋コンクリート造	●		八幡小学校内
5 国分小学校放課後保育クラブ	東国分2-4-1	70.50	昭和46	鉄筋コンクリート造	●		国分小学校内
6 大柏小学校放課後保育クラブ	大野町2-1877	133.50	昭和38	鉄筋コンクリート造	●		大柏小学校内
7 宮田小学校放課後保育クラブ	新田4-8-15	128.25	昭和34	鉄筋コンクリート造	●		宮田小学校内
8 富貴島小学校放課後保育クラブ	八幡6-10-11	133.20	昭和48	鉄筋コンクリート造	●		富貴島小学校内
9 若宮小学校放課後保育クラブ	若宮3-54-10	171.87	昭和38	鉄筋コンクリート造	●		若宮小学校内
10 国府台小学校放課後保育クラブ	国府台5-25-4	152.00	昭和43	鉄筋コンクリート造	●		国府台小学校内
11 平田小学校放課後保育クラブ	平田3-28-1	189.00	昭和36	鉄筋コンクリート造	●		平田小学校内
12 鬼高小学校放課後保育クラブ	鬼高2-13-5	161.74	昭和44	鉄筋コンクリート造	●		鬼高小学校内
13 菅野小学校放課後保育クラブ	菅野6-14-1	137.60	昭和51	鉄筋コンクリート造	●		菅野小学校内
14 行徳小学校放課後保育クラブ	富浜1-1-40	162.64	昭和31	鉄筋コンクリート造	●		行徳小学校内
15 信篤小学校放課後保育クラブ	原木2-16-1	273.94	昭和53	鉄筋コンクリート造	●		信篤小学校内
16 稲荷木小学校放課後保育クラブ	稲荷木1-14-1	84.24	昭和55	軽量鉄骨造	●		稲荷木小学校内
17 南行徳小学校放課後保育クラブ	欠真間1-6-38	272.59	昭和31	鉄筋コンクリート造	●		南行徳小学校内
18 鶴指小学校放課後保育クラブ	大和田4-11-1	147.20	昭和42	鉄筋コンクリート造	●		鶴指小学校内
19 宮久保小学校放課後保育クラブ	宮久保5-7-1	136.80	昭和43	鉄筋コンクリート造	●		宮久保小学校内
20 二俣小学校放課後保育クラブ	二俣678	66.00	昭和45	鉄筋コンクリート造	●		二俣小学校内

(16) 放課後保育クラブ

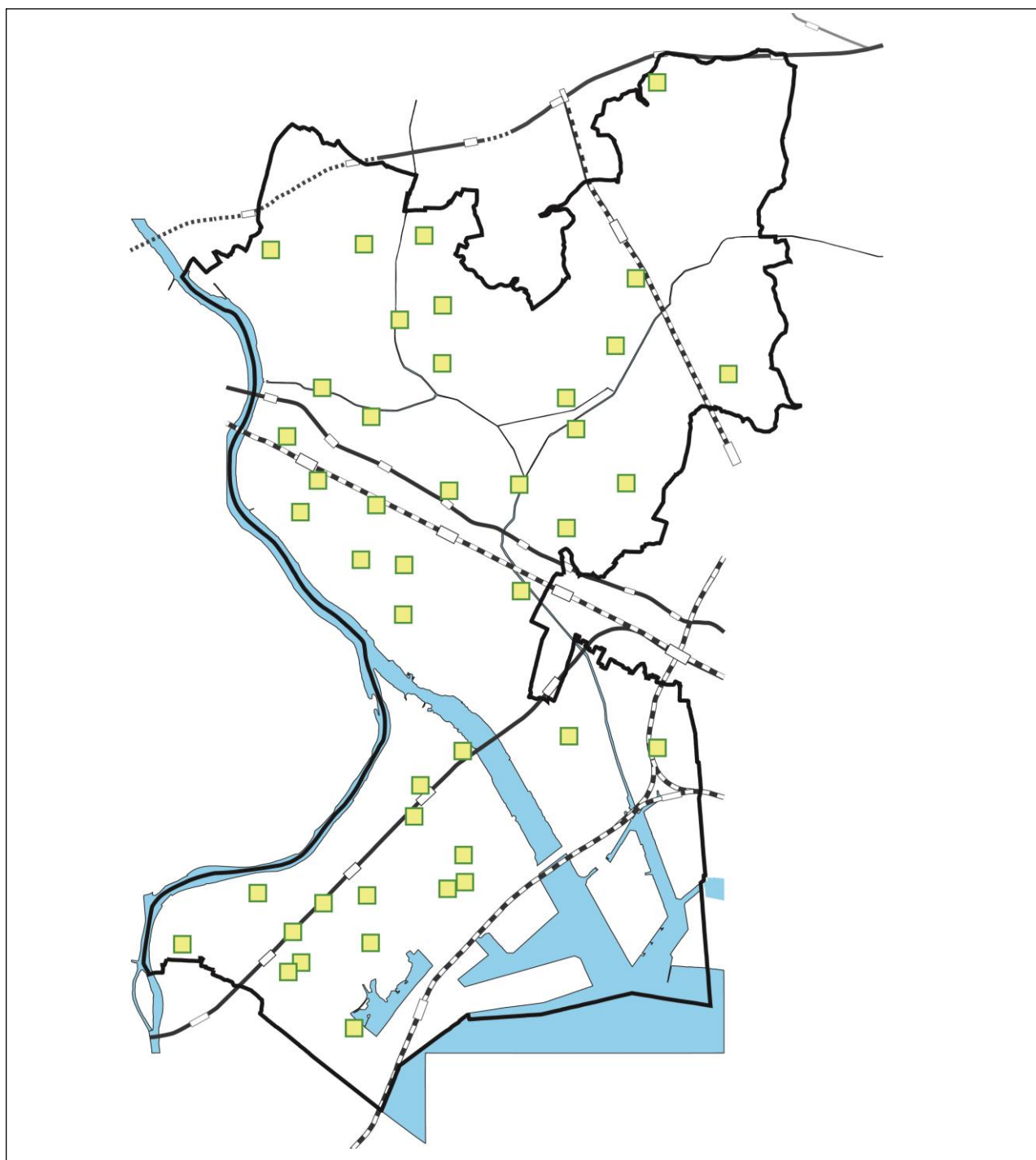
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設		備考
					学校	集会 施設	
21 中国分小学校放課後保育クラブ	中国分1-22-1	188.50	平成20	軽量鉄骨造	●		中国分小学校内
22 曾谷小学校放課後保育クラブ	曾谷7-18-1	129.60	昭和48	鉄筋コンクリート造	●		曾谷小学校内
23 大町小学校放課後保育クラブ	大町84-10	67.50	昭和49	鉄筋コンクリート造	●		大町小学校内
24 北方小学校放課後保育クラブ	北方町4-1356-1	67.50	昭和49	鉄筋コンクリート造	●		北方小学校内
25 新浜小学校放課後保育クラブ	行徳駅前4-5-1	202.60	昭和51	鉄筋コンクリート造	●		新浜小学校内
26 百合台小学校放課後保育クラブ	曾谷6-10-1	135.00	昭和52	鉄筋コンクリート造	●		百合台小学校内
27 富美浜小学校放課後保育クラブ	南行徳2-3-1	135.00	昭和52	鉄筋コンクリート造	●		富美浜小学校内
28 柏井小学校放課後保育クラブ	柏井町1-1149-1	80.86	平成元	軽量鉄骨造	●		柏井小学校内
29 大洲小学校放課後保育クラブ	大洲4-18-1	135.00	昭和53	鉄筋コンクリート造	●		大洲小学校内
30 幸小学校放課後保育クラブ	幸1-11-1	135.00	昭和54	鉄筋コンクリート造	●		幸小学校内
31 新井小学校放課後保育クラブ	新井1-18-13	343.80	平成25	軽量鉄骨造	●		新井小学校内
32 南新浜小学校放課後保育クラブ	新浜1-26-1	202.50	昭和54	鉄筋コンクリート造	●		南新浜小学校内
33 大野小学校放課後保育クラブ	南大野1-42-1	170.40	昭和54	鉄筋コンクリート造	●		大野小学校内
34 塩焼小学校放課後保育クラブ	塩焼5-9-8	423.20	平成24	軽量鉄骨造	●		塩焼小学校内
35 稲越小学校放課後保育クラブ	稲越町518-2	66.47	昭和55	鉄筋コンクリート造	●		稲越小学校内
36 塩浜小学校放課後保育クラブ	塩浜4-5-1	133.71	昭和60	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●		塩浜小学校内
37 大和田小学校放課後保育クラブ	大和田1-1-3	92.82	平成12	軽量鉄骨造	●		大和田小学校内
38 福栄小学校放課後保育クラブ	南行徳2-2-1	91.98	昭和59	鉄筋コンクリート造	●		福栄小学校内
39 妙典小学校放課後保育クラブ	妙典2-14-2	117.90	平成11	鉄筋コンクリート造	●		妙典小学校内
40 幸公民館放課後保育クラブ	幸1-16-18	75.30	昭和63	鉄筋コンクリート造		●	幸公民館内
41 富美浜地域ふれあい館放課後保育クラブ	欠真間2-31-5	103.42	昭和53	鉄骨造		●	富美浜地域ふれあい館内
42 行徳地域ふれあい館放課後保育クラブ	富浜2-5-19	50.00	昭和54	鉄骨造		●	行徳地域ふれあい館内
43 香取地域ふれあい館放課後保育クラブ	香取2-19-1	53.00	昭和59	軽量鉄骨造		●	香取地域ふれあい館内
合計		6,133.54					

② 開館時間・休所日

開館時間	平日	下校時から18:30まで
	学校休業日(土曜日、夏休み等)	8:00から18:30まで
休所日	1. 日曜日、祝日 2. 年末年始(12月29日~1月3日) 3. その他市長が必要と認めた日 ※上記以外にも台風、地震等の自然災害、感染症の拡大、凶悪犯罪等が起きた場合、臨時閉所となる場合があります。	

③ 配置状況

図表 放課後保育クラブ位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の放課後保育クラブ43施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	一次エネルギー 消費量 (GJ/年)	一次エネルギー 消費 単 位 (GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
							燃料、 光熱水費	料 料 施設 管理 に係 る 委 託	施 設 修 繕 料	燃料、 光熱水費	料 料 施設 管理 に係 る 委 託	施 設 修 繕 料
1	市川小学校放課後保育クラブ	昭和54	100.75	35	-	-	171	3	441	1,698	26	4,376
2	真間小学校放課後保育クラブ	昭和44	152.96	45	-	-	167	3	418	1,092	17	2,731
3	中山小学校放課後保育クラブ	昭和56	84.24	33	-	-	157	3	425	1,862	31	5,047
4	八幡小学校放課後保育クラブ	昭和38	173.46	51	-	-	134	3	431	774	15	2,485
5	国分小学校放課後保育クラブ	昭和46	70.50	43	-	-	139	3	158	1,966	37	2,245
6	大柏小学校放課後保育クラブ	昭和38	133.50	51	-	-	174	3	386	1,307	20	2,893
7	宮田小学校放課後保育クラブ	昭和34	128.25	55	-	-	175	3	292	1,363	21	2,275
8	富貴島小学校放課後保育クラブ	昭和48	133.20	41	-	-	162	3	305	1,213	20	2,286
9	若宮小学校放課後保育クラブ	昭和38	171.87	51	-	-	234	3	309	1,359	15	1,796
10	国府台小学校放課後保育クラブ	昭和43	152.00	46	-	-	238	3	315	1,569	17	2,075
11	平田小学校放課後保育クラブ	昭和36	189.00	53	-	-	254	3	384	1,344	14	2,031
12	鬼高小学校放課後保育クラブ	昭和44	161.74	45	-	-	471	3	904	2,915	16	5,588
13	菅野小学校放課後保育クラブ	昭和51	137.60	38	-	-	167	3	313	1,217	19	2,273
14	行徳小学校放課後保育クラブ	昭和31	162.64	58	-	-	331	3	664	2,035	16	4,080
15	信篤小学校放課後保育クラブ	昭和53	273.94	36	-	-	428	3	588	1,564	10	2,146
16	稲荷木小学校放課後保育クラブ	昭和55	84.24	34	-	-	191	3	317	2,269	31	3,762
17	南行徳小学校放課後保育クラブ	昭和31	272.59	58	-	-	145	3	603	530	10	2,212
18	鶴指小学校放課後保育クラブ	昭和42	147.20	47	-	-	117	3	306	793	18	2,076
19	宮久保小学校放課後保育クラブ	昭和43	136.80	46	-	-	173	3	388	1,266	19	2,837
20	二俣小学校放課後保育クラブ	昭和45	66.00	44	-	-	74	3	212	1,116	40	3,206

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

(16) 放課後保育クラブ

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	一次エネルギー 消費量 (GJ/年)	一次エネルギー 消費 原単位 (GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
							燃料、 光熱水費	施設 管理に 係る委託	施設 修繕料	燃料、 光熱水費	施設 管理に 係る委託	施設 修繕料
21	中国分小学校放課後保育クラブ	平成20	188.50	6	-	-	289	3	218	1,534	14	1,156
22	曾谷小学校放課後保育クラブ	昭和48	129.60	41	-	-	155	3	340	1,199	20	2,627
23	大町小学校放課後保育クラブ	昭和49	67.50	40	-	-	65	3	89	967	39	1,312
24	北方小学校放課後保育クラブ	昭和49	67.50	40	-	-	101	3	155	1,489	39	2,295
25	新浜小学校放課後保育クラブ	昭和51	202.60	38	-	-	303	3	617	1,495	13	3,046
26	百合台小学校放課後保育クラブ	昭和52	135.00	37	-	-	191	3	327	1,414	20	2,421
27	富美浜小学校放課後保育クラブ	昭和52	135.00	37	-	-	160	3	433	1,185	20	3,206
28	柏井小学校放課後保育クラブ	平成元	80.86	25	-	-	258	3	365	3,194	33	4,513
29	大洲小学校放課後保育クラブ	昭和53	135.00	36	-	-	234	3	444	1,730	20	3,285
30	幸小学校放課後保育クラブ	昭和54	135.00	35	-	-	152	3	419	1,126	20	3,106
31	新井小学校放課後保育クラブ	平成25	343.80	1	-	-	559	3	972	1,626	8	2,829
32	南新浜小学校放課後保育クラブ	昭和54	202.50	35	-	-	260	3	554	1,286	13	2,735
33	大野小学校放課後保育クラブ	昭和54	170.40	35	-	-	221	3	451	1,295	15	2,646
34	塩焼小学校放課後保育クラブ	平成24	423.20	2	-	-	266	3	531	629	6	1,255
35	稲越小学校放課後保育クラブ	昭和55	66.47	34	-	-	73	3	90	1,097	40	1,357
36	塩浜小学校放課後保育クラブ	昭和60	133.71	29	-	-	128	3	167	959	20	1,247
37	大和田小学校放課後保育クラブ	平成12	92.82	14	-	-	329	146	510	3,547	1,573	5,499
38	福栄小学校放課後保育クラブ	昭和59	91.98	30	-	-	56	3	220	607	29	2,396
39	妙典小学校放課後保育クラブ	平成11	117.90	15	-	-	428	146	523	3,633	1,238	4,435
40	幸公民館放課後保育クラブ	昭和63	75.30	26	-	-	155	224	159	2,055	2,980	2,105
41	富美浜地域ふれあい館放課後保育クラブ	昭和53	103.42	36	-	-	208	28	120	2,008	271	1,165
42	行徳地域ふれあい館放課後保育クラブ	昭和54	50.00	35	-	-	189	64	270	3,775	1,274	5,390
43	香取地域ふれあい館放課後保育クラブ	昭和59	53.00	30	-	-	128	52	142	2,410	976	2,671
合計			6,133.54	-	-	-	9,010	757	16,272	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

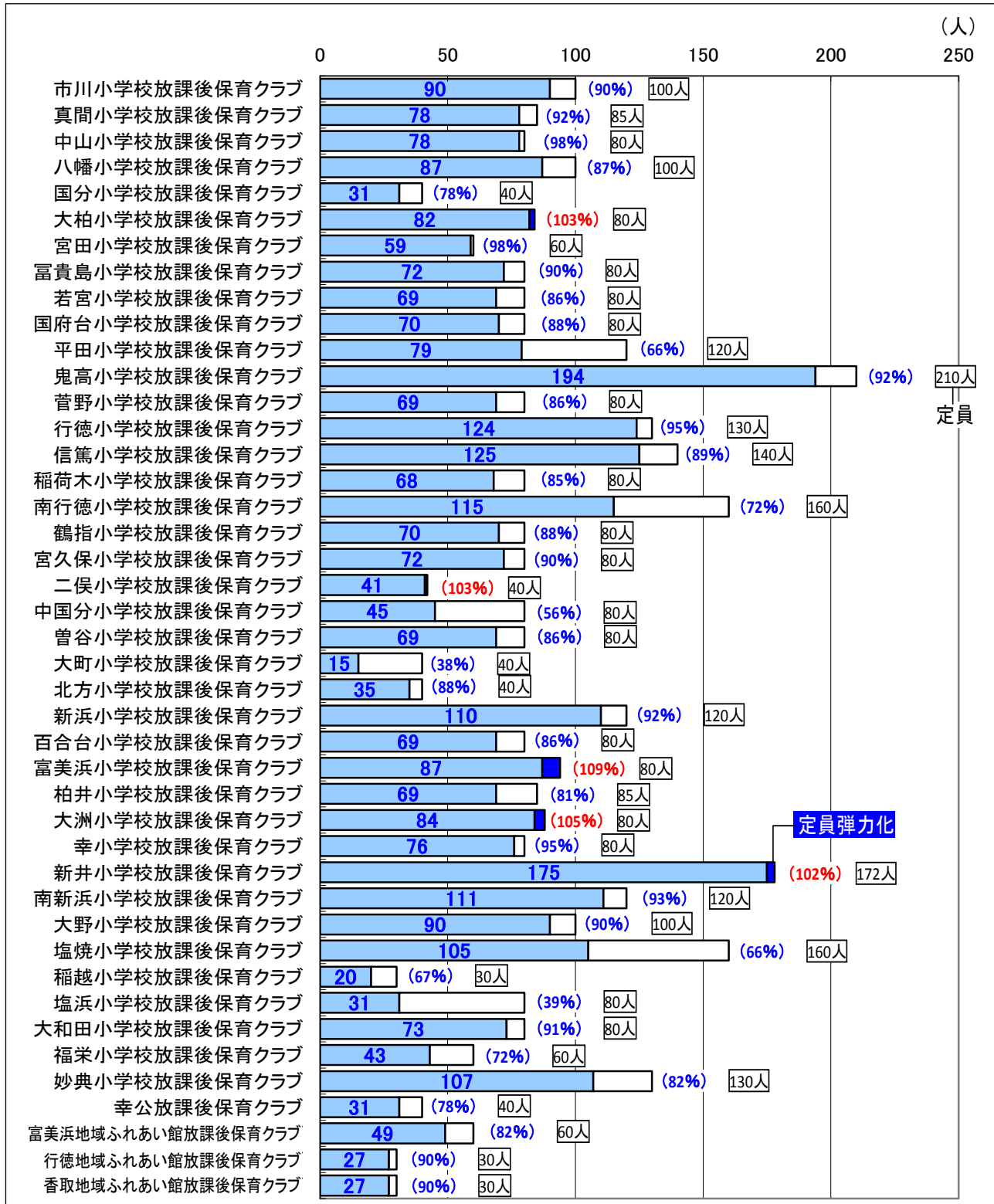
■ : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 入所児童数

放課後保育クラブの入所可能人員は3,762人ですが、待機児童対策として43施設中5施設で入所可能人員の弾力化を図り、17人の入所可能人員増を行っています。

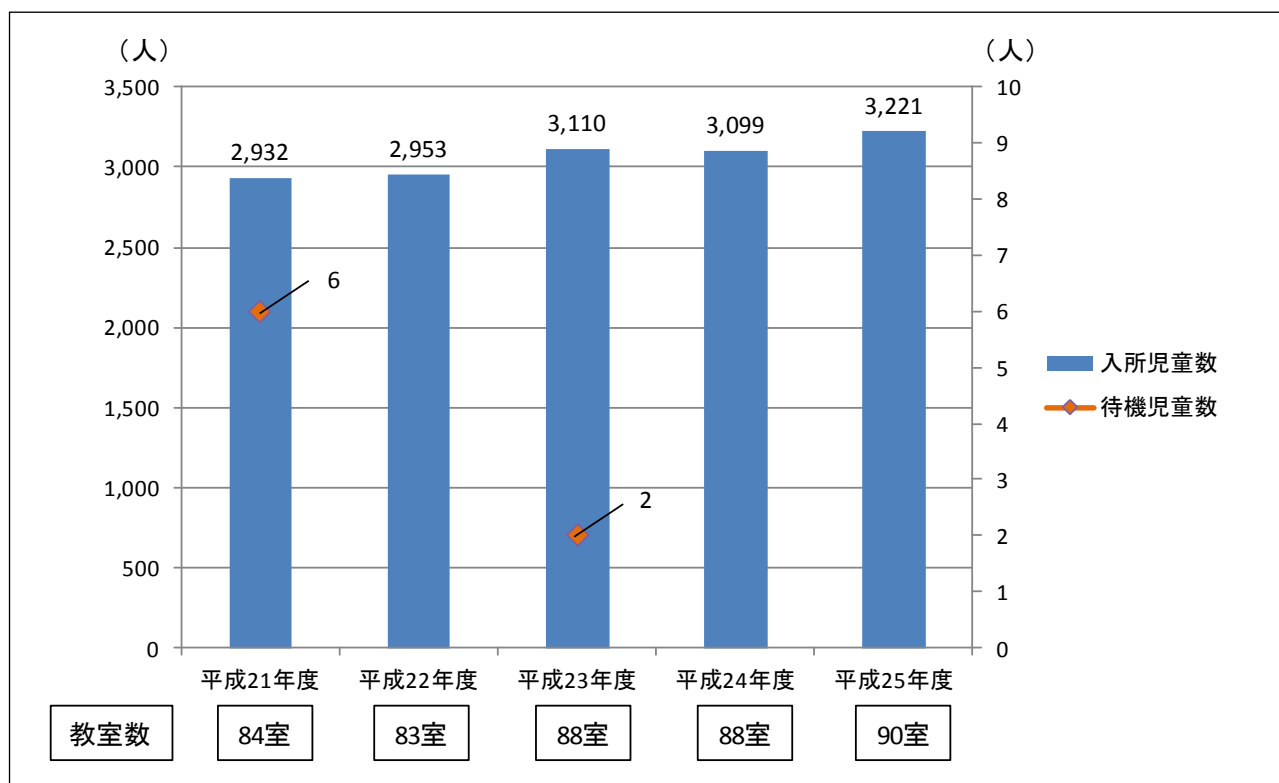
図表 入所可能人員及び入所児童数（平成25年度）



■ 推移

放課後保育クラブの入所児童数をみると、平成21年度の2,932人から平成25年度の3,221人と1.09倍に増加しています。待機児童数は平成21年度に6人、平成23年度に2人となっておりますが、平成24年度、平成25年度は0人で推移しています。教室数は、平成21年度の84室から平成25年度の90室です。

図表 入所児童数等の推移（平成25年度）



③ 運営状況

放課後保育クラブは、指定管理者制度により、「社会福祉法人 市川市社会福祉協議会」が運営をしています。

3) まとめ

- ・ 児童福祉法が改正され、学童保育の対象年齢が拡大されるなど、放課後保育クラブを取り巻く状況が大きく変化しています。
- ・ 施設的には、小学校内の教室を利用しているものが大半であり、老朽化の状況はほぼ校舎と同様です。

(17) その他子育て支援施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、遊びを通して子どもたちの健やかな成長を育み、情操を豊かにするための施設としてこども館を15施設、市内の学校施設等の余裕教室を活用し、放課後等における子どもの居場所をつくり、地域の人々とのふれあいや異年齢間交流による豊かな生活体験をする機会を提供するための施設としてビーイングを9施設、お子さんと保護者、妊婦さんが情報交換するための施設として親子つどいの広場を4施設、会員相互で子育てを支え合うための施設としてファミリー・サポート・センターを2施設、合計その他子育て支援施設を30施設設置しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設							備考
					集会 施設	産業系 施設	学校 施設	幼保・ こども園	高齢 福祉 施設	医療 施設	庁舎等	
1 本北方こども館	本北方3-19-16	241.60	昭和53	鉄筋コンクリート造	●							東部公民館内
2 中国分こども館	中国分2-13-8	432.00	昭和49	鉄筋コンクリート造	●							西部公民館内
3 新田こども館	新田2-1-24	100.00	昭和54	鉄筋コンクリート造				●				新田第2保育園内
4 田尻こども館	田尻4-13-3	132.50	平成22	軽量鉄骨造					●			いきいきセンター田尻内
5 塩浜こども館	塩浜4-3 ハイタウン塩浜1号棟103	132.30	昭和46	鉄筋鉄骨造								ハイタウン塩浜1号棟1階
6 相之川こども館	相之川1-3-7	198.24	平成元	鉄筋コンクリート造	●							南行徳公民館内
7 市川こども館	市川2-33-6	941.53	昭和49	鉄筋コンクリート造					●			いきいきセンター市川
8 中央こども館	梶高1-1-4	1,655.00	平成6	鉄骨鉄筋 コンクリート造	●							生涯学習センター内
9 大洲こども館	大洲4-18-3	468.59	昭和55	鉄筋コンクリート造		●						こども発達センター内
10 南八幡こども館	南八幡2-20-1	349.40	昭和43	鉄筋コンクリート造		●						勤労福祉センター本館内
11 柏井こども館	柏井町2-844	56.70	昭和54	鉄筋コンクリート造	●							柏井公民館内
12 曾谷こども館	曾谷6-25-5	72.00	昭和58	鉄筋コンクリート造	●							曾谷公民館内
13 信篤こども館	高谷1-8-1	48.52	昭和56	鉄筋コンクリート造	●							信篤公民館内
14 本行徳こども館	本行徳12-8	50.00	昭和54	鉄筋コンクリート造	●							本行徳公民館内
15 末広こども館	末広1-1-31	84.00	昭和53	鉄筋コンクリート造							●	行徳支所2階行徳公民館内
16 曾谷小ビーイング	曾谷7-18-1	-	昭和48	鉄筋コンクリート造			●					曾谷小学校内
17 塩浜小ビーイング	塩浜4-5-1	-	昭和55	鉄筋コンクリート造			●					塩浜小学校内
18 鶴指小ビーイング	大和田4-11-1	-	昭和42	鉄筋コンクリート造			●					鶴指小学校内
19 市川小ビーイング	市川2-32-5	-	昭和36	鉄筋コンクリート造			●					市川小学校内
20 宮田小ビーイング	新田4-8-15	-	昭和34	鉄筋コンクリート造			●					宮田小学校内
21 八幡小ビーイング	八幡3-24-1	-	昭和38	鉄筋コンクリート造			●					八幡小学校内
22 稲荷木小ビーイング	稲荷木1-14-1	-	昭和41	鉄筋コンクリート造			●					稲荷木小学校内
23 平田ビーイング	平田2-16-7	-	昭和49	軽量鉄骨造	●							平田地域ふれあい館
24 富美浜小ビーイング	南行徳2-3-1	-	昭和52	鉄筋コンクリート造			●					富美浜小学校内
25 新井親子つどいの広場	新井3-31-1	-	昭和54	鉄骨造	●							新井地域ふれあい館
26 新浜親子つどいの広場	新浜1-26-1	-	昭和54	鉄筋コンクリート造			●					南新浜小学校内
27 八幡親子つどいの広場	八幡4-2-1	-	昭和31	鉄筋コンクリート造							●	八幡分庁舎内
28 二俣親子つどいの広場	二俣678	-	昭和53	鉄筋コンクリート造				●				二俣幼稚園内
29 ファミリー・サポート・センター本部	大洲1-18-1	-	平成16	鉄骨造						●		急病診療・ふれあいセンター内
30 ファミリー・サポート・センター妙典支部	妙典6-2-45	-	平成14	鉄骨造				●				妙典保育園内
合計		4,962.38										

② 事業内容

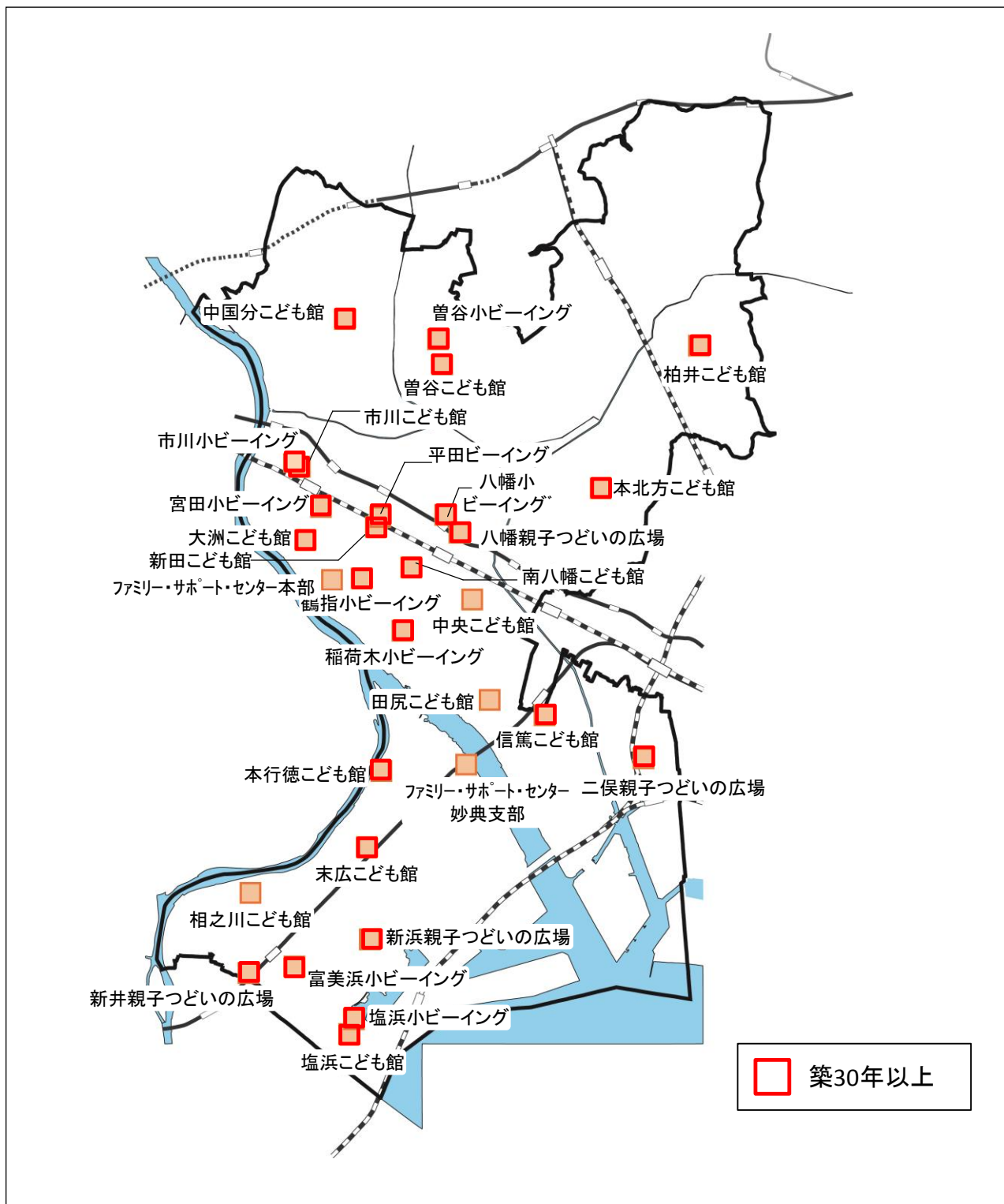
こども館	遊びを通して子どもたちの健やかな成長を育み、情操を豊かにするため。対象者は0～18歳の児童（就学前は保護者同伴）、保護者、妊婦。
ビーイング	市内の学校施設等の余裕教室を活用し、放課後等における子どもの居場所をつくり、地域の人々とのふれあいや異年齢間交流による豊かな生活体験をする機会を提供することで、子どもの生きる力、創造性豊かな心、共感する心を養い、子どもたちの健全育成を図ることを目的とする。小学生から高校生までを対象とした自由遊びの場。
親子つどいの広場	子育て親子（主に3歳未満の者及びその親又はこれに準ずる者）が気軽につどいの広場に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや育児相談を行う場を提供することにより、子育てをする親の負担感の緩和を図り、安心して子育て及び子育てをすることができ環境を整備し、地域における子育て支援の充実を図る。
ファミリー・サポート・センター	育児の援助を行いたい者及び育児の援助を受けたい者によって組織するいちかわファミリー・サポート・センターを設置し、会員が行う子育てに関する相互援助活動を支援することにより、会員が仕事と育児を両立できる環境を整備し、子どもと子育て家庭を地域全体で支えるまちづくりを推進する。

③ 開館時間・休館日

施設名	開館時間	休館日
中央こども館	(平日) 午前10時～午後6時 (土日祝日・振替休日) 午前10時～午後5時	月曜日（※下記参照） 館内整理日（土日祝を除く月末） 年末年始（12月28日～1月4日） ※但し、月曜日が国民の祝日もしくは振替休日である時には、月曜日は開館し、火曜日が休館となります。
その他のこども館	午前9時～正午／午後1時～午後5時	月曜日、国民の祝日 (月曜日と重なる場合は火曜日も休館となります) 年末年始（12月28日～1月4日）
ビーイング	(平日) 午後2時30分～午後5時30分 (土・長期休業日等) 午前10時～午後5時30分	日曜日、国民の祝日 お盆休み（8月13日～8月15日） 年末年始（12月28日～1月4日）
親子つどいの広場	午前10時～午後4時	日曜日、祝祭日、 年末年始（12月28日～1月4日）
ファミリー・サポート・センター	午前9時～午後5時	月曜日、日曜日・祝祭日、年末年始

④ 配置状況

図表 その他子育て支援施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度のその他子育て支援施設30施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	本北方こども館	昭和53	241.60	36	-	-	335	480	603	1,387	1,987	2,496
2	中国分こども館	昭和49	432.00	40	-	-	636	934	217	1,472	2,162	502
3	新田こども館	昭和54	100.00	35	-	-	441	0	0	4,410	0	0
4	田尻こども館	平成22	132.50	4	-	-	352	307	313	2,657	2,317	2,362
5	塩浜こども館	昭和46	132.30	43	-	-	347	86	0	2,623	650	0
6	相之川こども館	平成元	198.24	25	-	-	383	366	237	1,932	1,846	1,196
7	市川こども館	昭和49	941.53	40	-	-	1,498	2,467	106	1,591	2,620	113
8	中央こども館	平成6	1,655.00	20	-	-	7,852	13,455	1,930	4,744	8,130	1,166
9	大洲こども館	昭和55	468.59	34	-	-	916	1,094	417	1,955	2,335	890
10	南八幡こども館	昭和43	349.40	46	-	-	694	1,148	977	1,986	3,286	2,796
11	柏井こども館	昭和54	56.70	35	-	-	115	191	29	2,028	3,369	511
12	曾谷こども館	昭和58	72.00	31	-	-	108	140	39	1,500	1,944	542
13	信篤こども館	昭和56	48.52	33	-	-	65	71	44	1,340	1,463	907
14	本行徳こども館	昭和54	50.00	35	-	-	99	113	12	1,980	2,260	240
15	末広こども館	昭和53	84.00	36	-	-	221	637	75	2,631	7,583	893
16	曾谷小ビーイング	昭和48	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-
17	塩浜小ビーイング	昭和55	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-
18	鶴指小ビーイング	昭和42	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-
19	市川小ビーイング	昭和36	-	53	-	-	-	-	-	-	-	-
20	宮田小ビーイング	昭和34	-	55	-	-	-	-	-	-	-	-
21	八幡小ビーイング	昭和38	-	51	-	-	-	-	-	-	-	-
22	稲荷木小ビーイング	昭和41	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-
23	平田ビーイング	昭和49	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-
24	富美浜小ビーイング	昭和52	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-
25	新井親子つどいの広場	昭和54	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-
26	新浜親子つどいの広場	昭和54	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-
27	八幡親子つどいの広場	昭和31	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-
28	二俣親子つどいの広場	昭和53	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-
29	ファミリー・サポート・センター本部	平成16	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
30	ファミリー・サポート・センター妙典支部	平成14	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
合計			4,962.38	-	-	-	14,062	21,489	4,999	-	-	-

<老朽化凡例>

: 築20年以上30年未満
 : 築30年以上

<環境対応凡例>

: 平均値を上回る

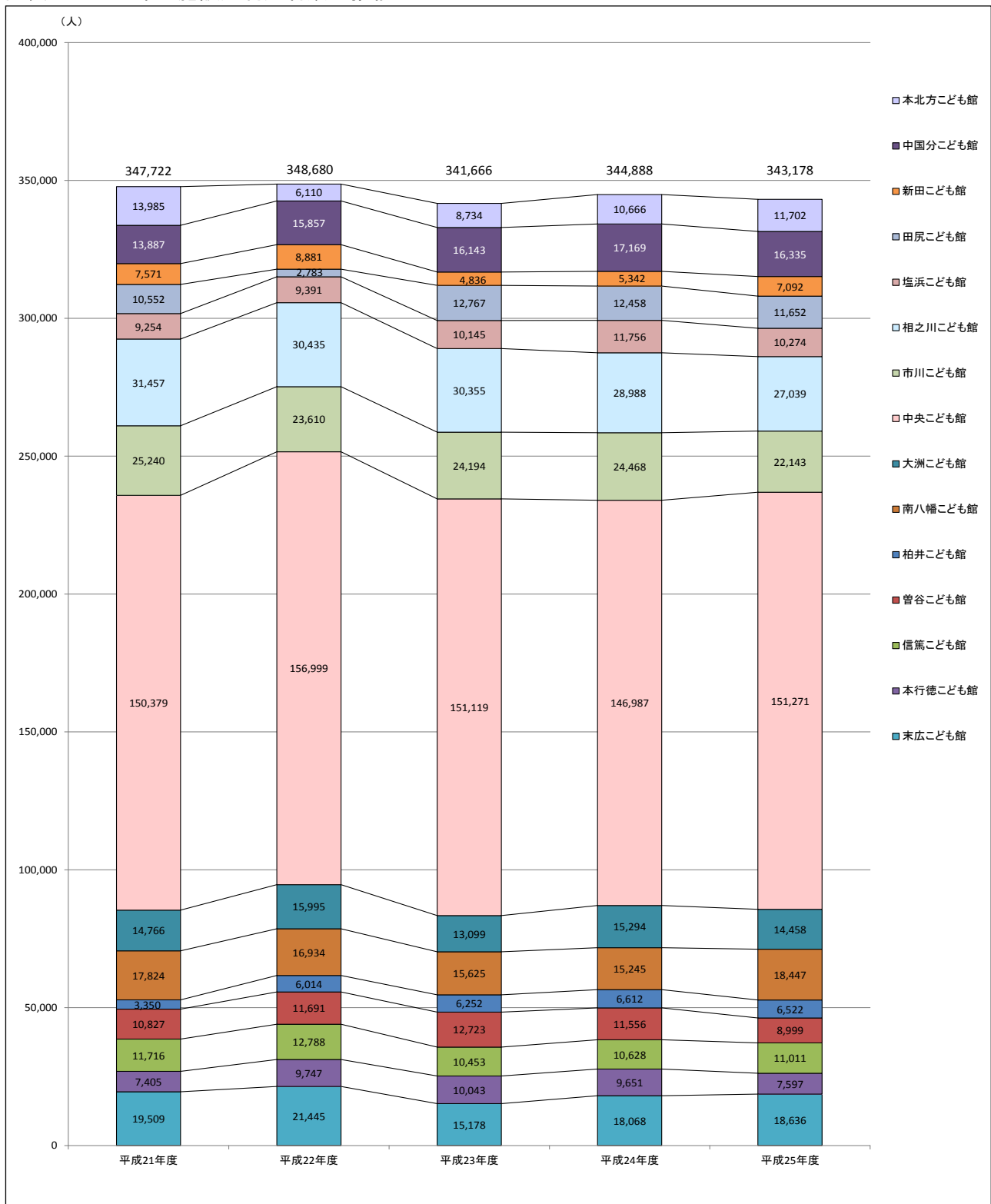
利用状況

■ こども館

こども館 15 施設の利用者数は、平成 21 年度 34 万 7,722 人から平成 25 年度 34 万 3,178 人までほぼ横ばいで推移しています。

内訳をみると、中央こども館が約 44%、相之川こども館が約 8%、市川こども館が約 6%となっています。

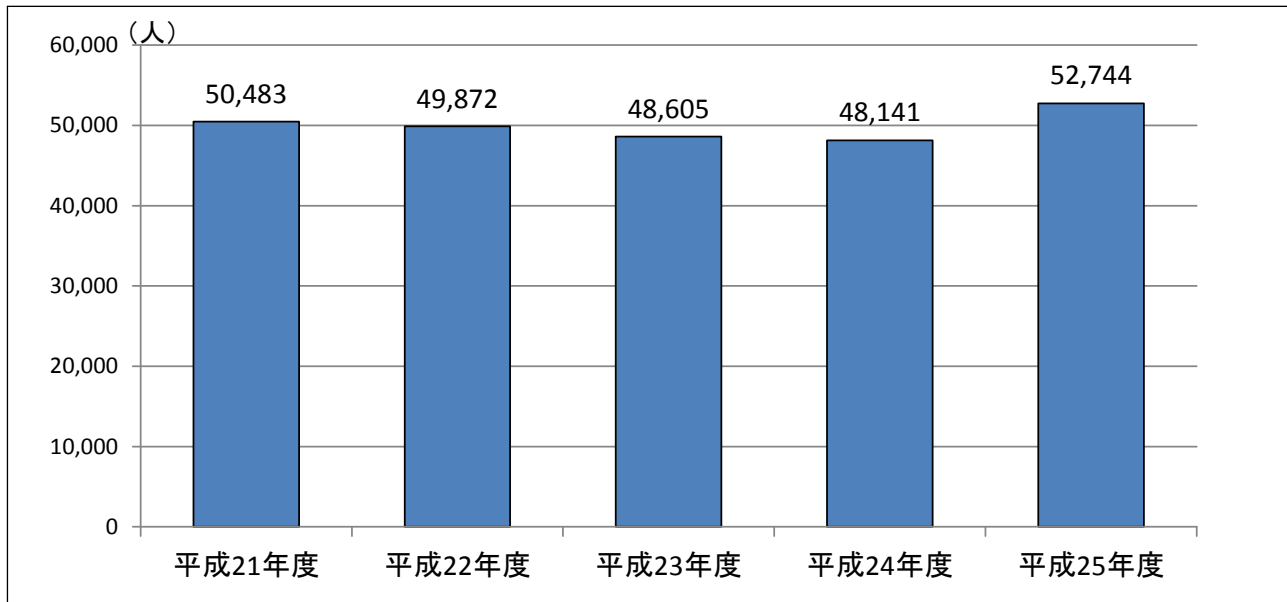
図表 こども館 施設別利用者数の推移



■ 親子つどいの広場

親子つどいの広場事業の利用者数は、平成21年度5万483人から平成25年度5万2,744人までほぼ横ばいで推移しています。

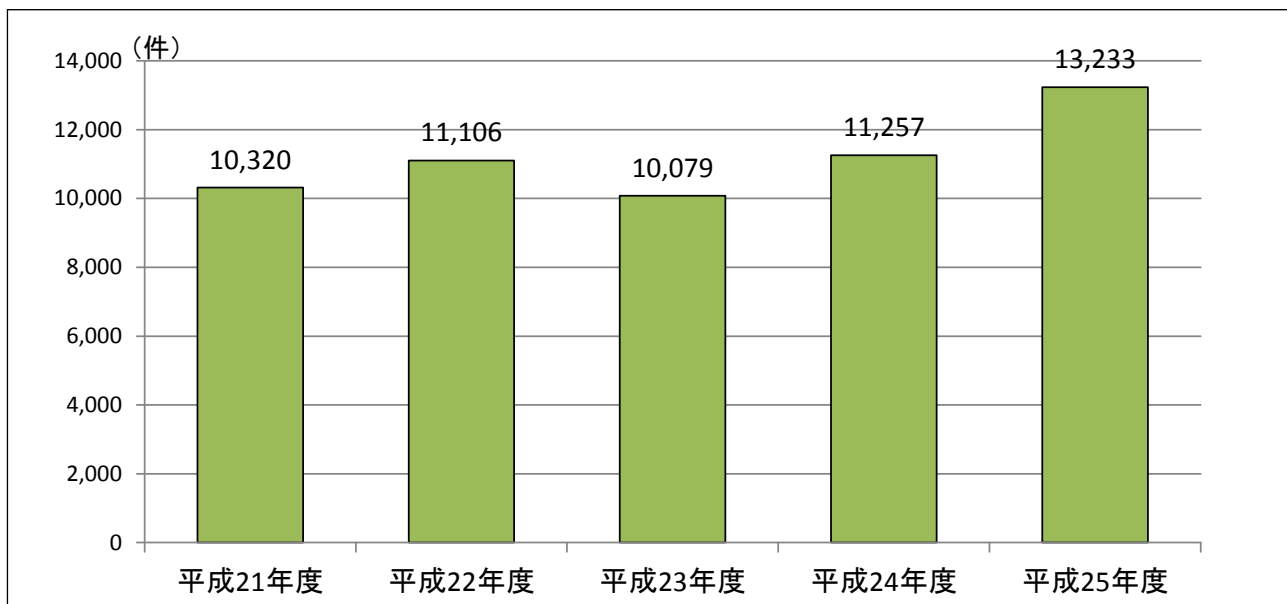
図表 親子つどいの広場 利用者数の推移



■ ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの活動件数は、平成21年度1万320件から平成25年度1万3,233件と5年間で3割の増加で推移しています。

図表 ファミリー・サポート・センター 活動件数の推移



② 運営状況

こども館 15 施設の職員数は、児童厚生員（正規職員 13 人、非常勤職員 40 人）の資格を有する職員 53 人が配置されています。

ビーイングは、地域と連携しながら非常勤職員により運営しています。

親子つどいの広場は、NPO 法人及び生活協同組合が運営しています。

ファミリー・サポート・センターは、NPO 法人が運営しています。

3) まとめ

- ・ その他子育て支援施設は、小学校や公民館などの一部を利用しているものが多くなっています。

◆ 保健・福祉施設

(18) いきいきセンター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、高齢者の方が集まって、講座、同好会、サークルなどの活動に利用してもらうための施設として、13 施設設置しています。

設置目的：老人の心身の健康保持と福祉の増進に寄与するため

図表 施設一覧

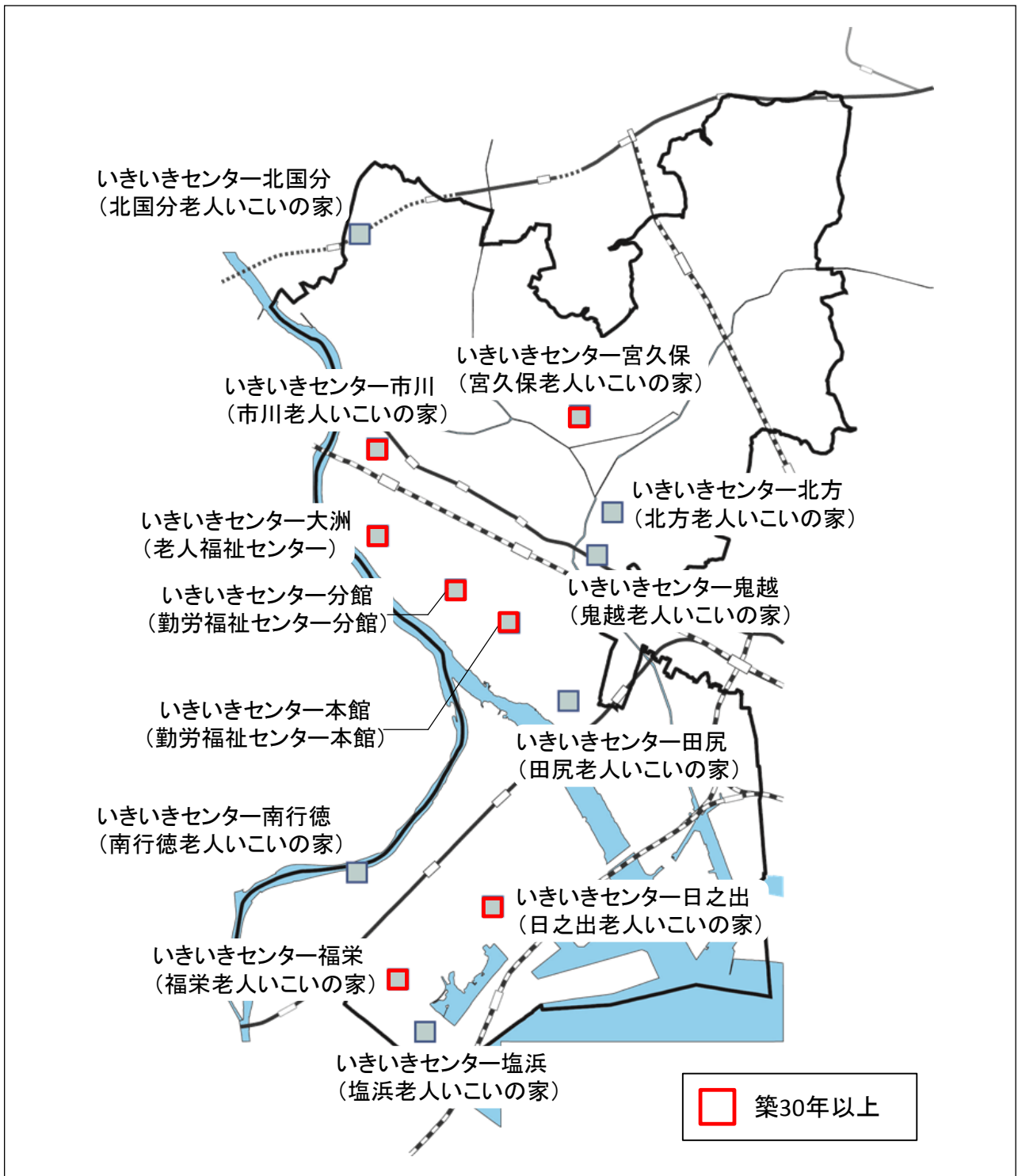
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設				備考
					福祉 施設	障害 福祉	産業系 施設	その他 子育て 支援	
1 いきいきセンター市川 (市川老人いこいの家)	市川2-33-6	351.63	昭和48	鉄筋コンクリート造				●	市川こども館併設
2 いきいきセンター北方 (北方老人いこいの家)	北方2-29-19	228.66	平成22	軽量鉄骨造		●			北方第2児童公園内
3 いきいきセンター南行徳 (南行徳老人いこいの家)	香取1-17-18	406.01	平成16	鉄骨造	●				南行徳デイサービスセンター 併設
4 いきいきセンター田尻 (田尻老人いこいの家)	田尻4-13-3	193.77	平成23	軽量鉄骨造				●	田尻こども館併設
5 いきいきセンター宮久保 (宮久保老人いこいの家)	宮久保4-2-4	285.12	昭和57	軽量鉄骨造					白幡神社境内
6 いきいきセンター鬼越 (鬼越老人いこいの家)	鬼越1-25-3	181.26	平成20	軽量鉄骨造					
7 いきいきセンター福栄 (福栄老人いこいの家)	福栄4-32-2	473.10	昭和59	鉄筋コンクリート造					江戸川第二終末処理場内
8 いきいきセンター日之出 (日之出老人いこいの家)	日之出8-18	134.68	昭和59	木造					
9 いきいきセンター塩浜 (塩浜老人いこいの家)	塩浜4-3 ハイタウン塩浜101	133.97	昭和60	鉄骨鉄筋 コンクリート造					ハイタウン塩浜1号棟101
10 いきいきセンター北国分 (北国分老人いこいの家)	北国分1-12-32	97.75	平成5	木造平屋建	●				高齢者住宅併設
11 いきいきセンター大洲 (老人福祉センター)	大洲4-18-3	572.99	昭和56	鉄筋コンクリート造				●	こども発達センター内
12 いきいきセンター本館 (勤労福祉センター本館)	南八幡2-20-1	160.19	昭和56	鉄筋コンクリート造				●	勤労福祉センター本館内
13 いきいきセンター分館 (勤労福祉センター分館)	南八幡5-20-3	170.00	昭和40	鉄筋コンクリート造				●	勤労福祉センター分館内
合計		3,389.13							

② 開館時間・休所日

開館時間	午前9時から午後5時まで。
休所日	月曜日、祝日（月曜日が祝休日の場合はその翌日）、年末年始

③ 配置状況

図表 いきいきセンター位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度のいきいきセンター13施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積(m ²)		一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費原単位(GJ/m ² ・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	いきいきセンター市川 (市川老人いきいの家)	昭和48	351.63	41	-	-	559	923	40	1,590	2,625	114
2	いきいきセンター北方 (北方老人いきいの家)	平成22	228.66	4	-	-	253	238	38	1,106	1,041	166
3	いきいきセンター南行徳 (南行徳老人いきいの家)	平成16	406.01	10	-	-	0	121	0	0	298	0
4	いきいきセンター田尻 (田尻老人いきいの家)	平成23	193.77	3	-	-	352	307	25	1,817	1,584	129
5	いきいきセンター宮久保 (宮久保老人いきいの家)	昭和57	285.12	32	-	-	1,185	719	260	4,156	2,522	912
6	いきいきセンター鬼越 (鬼越老人いきいの家)	平成20	181.26	6	-	-	377	454	0	2,080	2,505	0
7	いきいきセンター福栄 (福栄老人いきいの家)	昭和59	473.10	30	-	-	2,564	1,072	2,066	5,420	2,266	4,367
8	いきいきセンター日之出 (日之出老人いきいの家)	昭和59	134.68	30	-	-	309	423	8	2,294	3,141	59
9	いきいきセンター塩浜 (塩浜老人いきいの家)	昭和60	133.97	29	-	-	295	522	26	2,202	3,896	194
10	いきいきセンター北国分 (北国分老人いきいの家)	平成5	97.75	21	-	-	412	390	0	4,215	3,990	0
11	いきいきセンター大洲 (老人福祉センター)	昭和56	572.99	33	-	-	1,821	2,193	911	3,178	3,827	1,590
12	いきいきセンター本館 (勤労福祉センター本館)	昭和56	160.19	33	-	-	399	677	138	2,491	4,226	861
13	いきいきセンター分館 (勤労福祉センター分館)	昭和40	170.00	49	-	-	292	581	170	1,718	3,418	1,000
合計			3,389.13	-	-	-	8,818	8,620	3,682	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

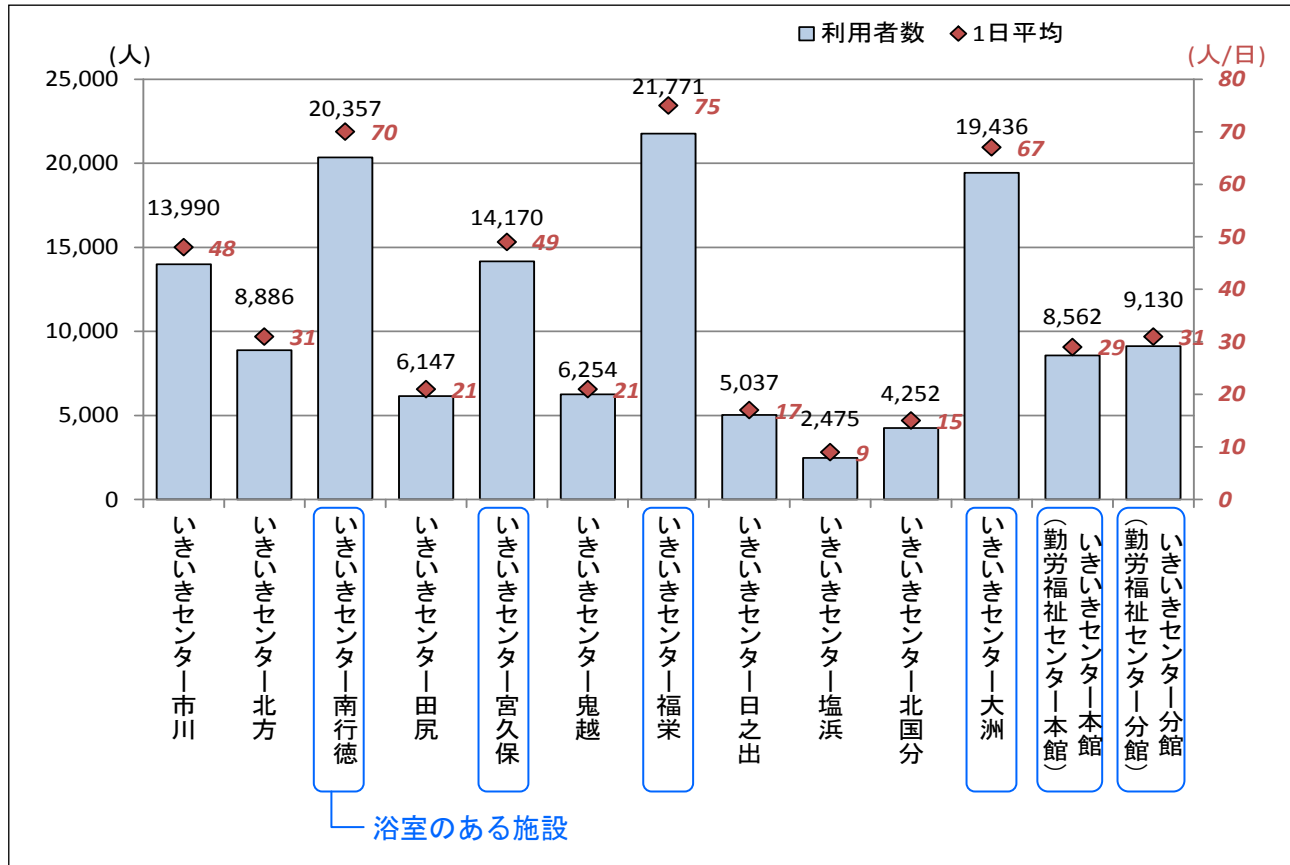
<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

② 利用状況

いきいきセンターの施設別利用者数は、いきいきセンター塩浜の2,475人からいきいきセンター福栄の2万1,771人、1日の平均利用者数も、9人から75人と施設によりばらつきがみられます。特に、浴室のある施設は利用者数が多い傾向にあります。

図表 施設別利用者数（平成25年度）



(出典) 市川市統計年鑑平成26年版

③ 運営状況

いきいきセンター南行徳は、指定管理者による運営を行っています。その他12施設は、直営となっています。

3) まとめ

- ・ 築30年以上を経過している老朽化した施設が、7施設のため、今後は効率的な老朽化対策が求められます。
- ・ 施設によって年間利用者数に大きな違いがありますが、利用者の多い施設は施設規模も比較的大きく、施設規模の小さい施設は利用者も少ない傾向にあるため、利用者1人当たりにかかるコストについては一部の施設を除いて、平均コストとの大きなかい離は見られませんでした。

(19) デイサービスセンター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、高齢者の方の日常生活支援や入浴等を行える施設（通所施設）として、デイサービスセンターを7施設設置しています。

設置目的：介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）に基づく通所介護、介護予防通所介護等の事業を実施することにより、そのサービスを受ける者の心身の健康を保持し、ふれあいを深めるとともに、その家族の身体的、精神的負担の軽減を図るため

図表 施設一覧

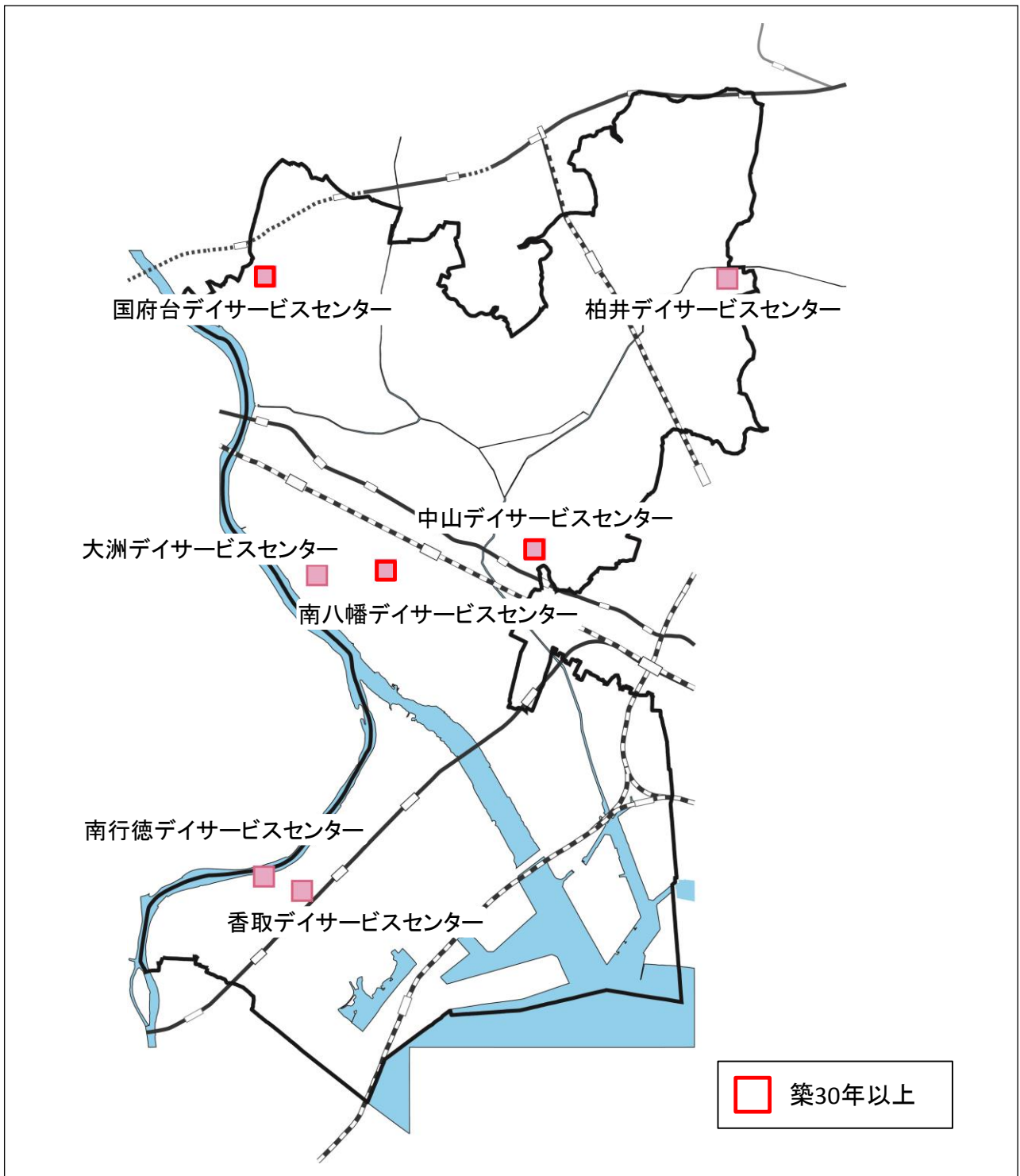
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設				備考
					産業系 施設	高齢 福祉 施設	医療 施設	学校	
1 香取デイサービスセンター	香取2-2-2	838.69	平成5	鉄筋コンクリート造					
2 南八幡デイサービスセンター	南八幡5-20-3	1,016.00	昭和40	鉄筋コンクリート造	●				勤労福祉センター分館内 メンタルサポートセンター面積含む
3 中山デイサービスセンター	中山1-2-1	381.80	昭和44	鉄筋コンクリート造					
4 国府台デイサービスセンター	国府台5-25-4	447.70	昭和43	鉄筋コンクリート造				●	国府台小学校校舎内
5 南行徳デイサービスセンター	香取1-17-18	403.68	平成16	鉄筋コンクリート造		●			いきいきセンター南行徳内
6 柏井デイサービスセンター	柏井町4-229-4	2,115.39	平成9	鉄骨鉄筋コンクリート造			●		保健医療福祉センター内
7 大洲デイサービスセンター	大洲1-18-1	388.87	平成16	鉄骨鉄筋コンクリート造			●		急病診療・ふれあいセンター内
合計		5,592.13							

② 開館時間・開館日数

施設名	開所時間	休所日	年間開館日数
香取デイサービスセンター	午前8時30分～ 午後5時30分	年中無休	362日
南八幡デイサービスセンター	午前8時30分～ 午後5時30分	日曜日、 12/30～1/3	307日
中山デイサービスセンター	午前8時30分～ 午後5時30分	土、日曜日 12/30～1/3	243日
国府台デイサービスセンター	午前8時30分～ 午後5時30分	土、日曜日 12/30～1/3	243日
南行徳デイサービスセンター	午前8時30分～ 午後5時30分	日曜日	309日
柏井デイサービスセンター	午前8時30分～ 午後5時30分	土曜日、 12/30～1/3	307日
大洲デイサービスセンター	午前8時30分～ 午後5時30分	日曜日、 12/30～1/3	307日

③ 配置状況

図表 デイサービスセンター位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度のデイサービスセンター7施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (m^2)		一次エネルギー消費量 ($GJ/年$)	一次エネルギー消費 原単位($GJ/m^2 \cdot 年$)	維持管理費 (千円)			床面積当たり ($円/m^2$)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	香取デイサービスセンター	平成5	838.69	21	2,060	2,456	36	126	0	43	150	0
2	南八幡デイサービスセンター	昭和40	1,016.00	49	818	0.805	1,575	407	3,150	1,550	400	3,100
3	中山デイサービスセンター	昭和44	381.80	45	350	0.917	36	0	0	94	0	0
4	国府台デイサービスセンター	昭和43	447.70	46	-	-	3,077	0	3,355	6,873	0	7,493
5	南行徳デイサービスセンター	平成16	403.68	10	-	-	0	0	468	0	0	1,160
6	柏井デイサービスセンター	平成9	2,115.39	17	-	-	8,691	7,047	430	4,109	3,331	203
7	大洲デイサービスセンター	平成16	388.87	10	-	-	1,942	1,551	261	4,993	3,989	672
合計			5,592.13	-	-	-	15,356	9,131	7,664	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
 ■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

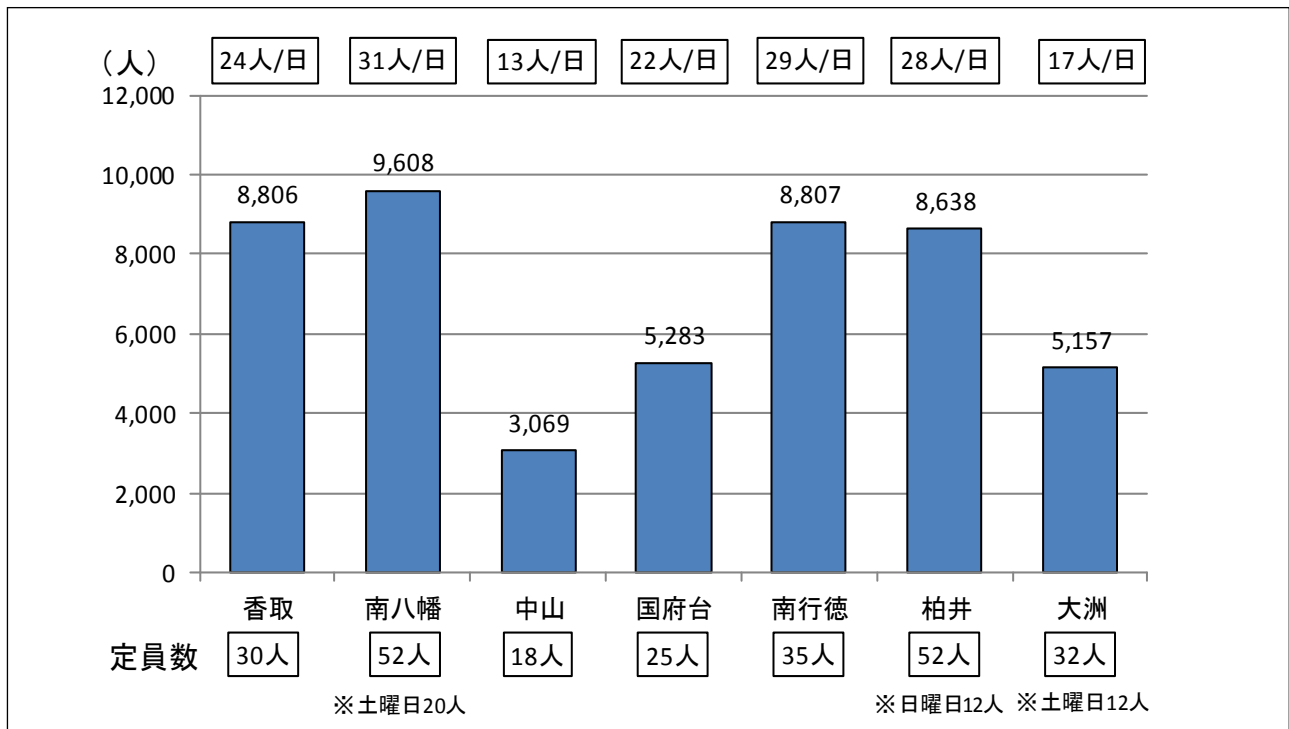
② 利用状況

■ 利用者数

平成25年度のデイサービスセンター7施設の利用者数は、延4.9万人です。

施設別にみると、中山デイサービスセンターの3,069人（運営1日当たり13人）から南八幡デイサービスセンターの9,608人（運営1日当たり31人）となっています。施設によって差が生じています。

図表 施設別利用者数（平成25年度）



③ 運営状況

デイサービスセンターは全施設、社会福祉法人等が運営しています。公設民営となっています。

3) まとめ

- ・ デイサービスセンター7施設のうち、3施設が築40年以上経過しています。市の施設の一部を利用しているものが多く、公設民営施設の更新についての検討が必要です。

(20) その他高齢者福祉施設

1) 施設概要

① 施設一覧

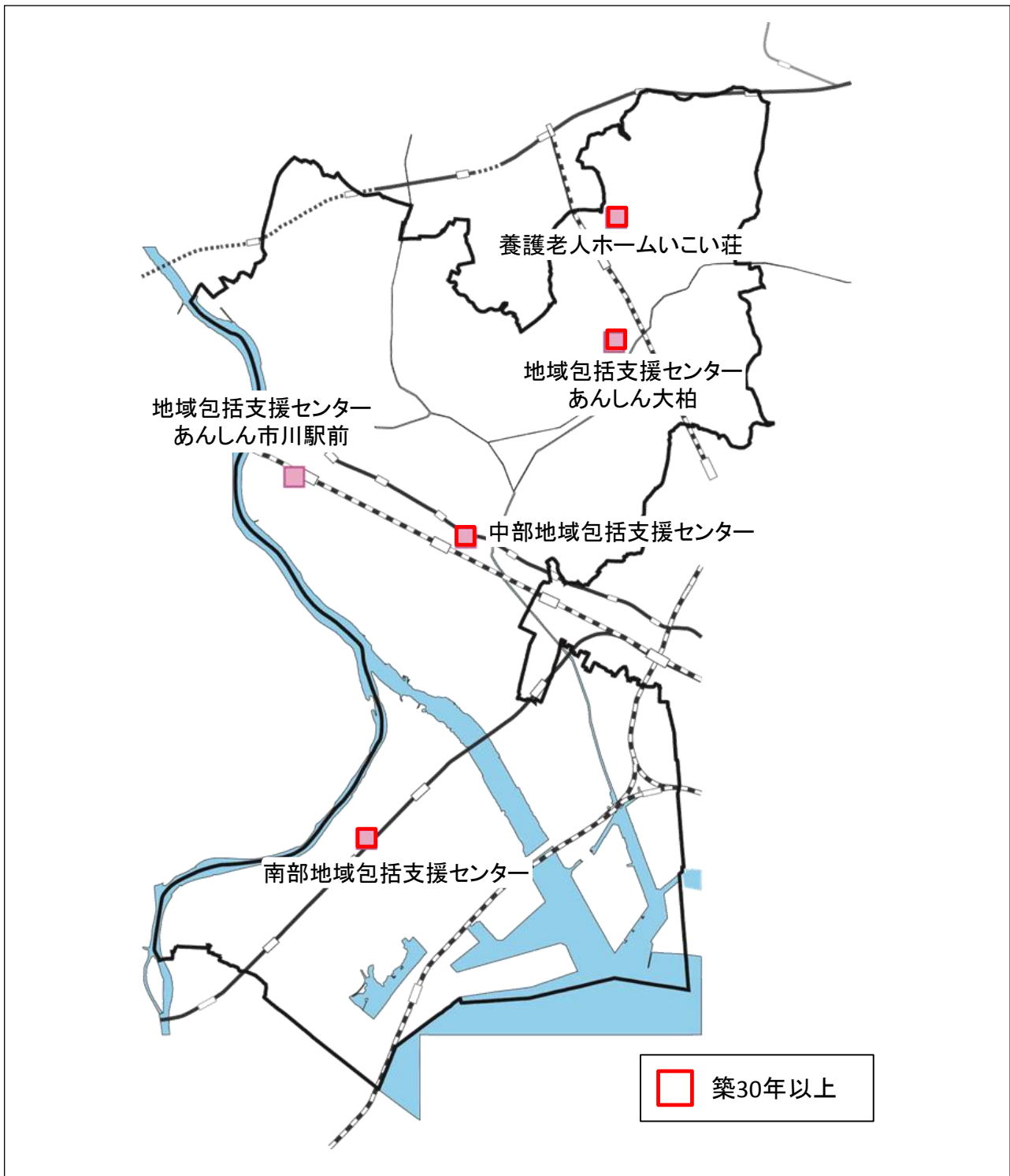
本市では、高齢者の入居施設として養護老人ホームいこい荘を設置しています。また、地域の介護福祉サービスの拠点施設として、地域包括支援センターを市内に4か所設置しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設		備考
					庁舎等	学校	
1 養護老人ホームいこい荘	大町521	1,986.17	昭和58	鉄筋コンクリート造			
2 地域包括支援センター あんしん大柏	南大野2丁目3-19	-	昭和56	鉄筋コンクリート造	●		大柏出張所内
3 地域包括支援センター あんしん市川駅前	市川南1丁目1-1	-	平成20	鉄筋コンクリート造			ザ タワーズ イースト内
4 中部地域包括支援センター	八幡1丁目1-1	-	昭和33	鉄筋コンクリート造	●		本庁舎内
5 南部地域包括支援センター	末広1丁目1-31	-	昭和53	鉄筋コンクリート造	●		行徳支所内
合計		1,986.17					

② 配置状況

図表 その他高齢者福祉施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度のその他高齢者福祉施設1施設の建物状況は、下記のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積 (㎡)		一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	養護老人ホームいこい荘	昭和58	1,986.17	31	3,252	1,601	0	926	260	0	466	131

<老朽化凡例>		<環境対応凡例>	
■	: 築20年以上30年未満	■	: 平均値を上回る
■	: 築30年以上		

3) まとめ

- ・ 老人ホームいこい荘は、築30年以上経過しています。効率的な老朽化対策が求められます。
- ・ 地域包括支援センターは、今後のあり方を検討中です。

(21) 障害者福祉施設

1) 施設概要

① 施設一覧

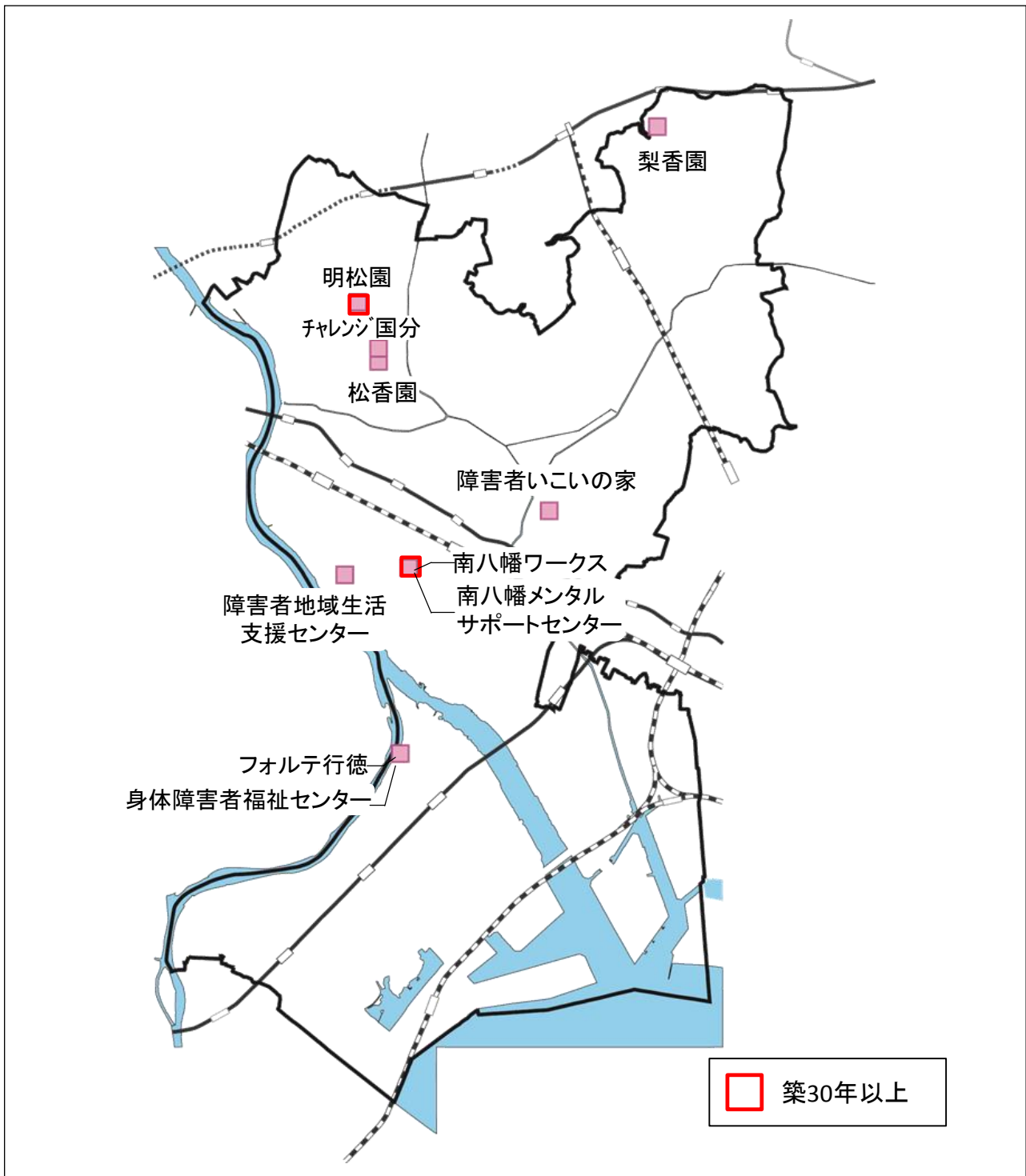
本市では、知的障害者・身体障害者及び精神障害者が、地域社会の中でその人らしい生活を送ることができるように、さまざまな援助を行う施設として、障害者福祉施設を10施設設置しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	備考
1 松香園	国分3-20-2	1,395.79	平成21	鉄骨造	
2 梨香園	大町77-19	886.00	平成元	鉄骨造	
3 明松園	中国分2-17-21	802.02	昭和56	鉄骨造	
4 南八幡ワークス	南八幡5-20-3	341.71	昭和41	鉄筋コンクリート造	勤労福祉センター分館内
5 チャレンジ国分	国分3-22-27	504.00	昭和62	鉄骨造	
6 フォルテ行徳	本行徳1-5	496.00	昭和60	鉄筋コンクリート造	身体障害者福祉センター内
7 南八幡メンタルサポートセンター	南八幡5-20-3	282.28	昭和41	鉄筋コンクリート造	勤労福祉センター分館内
8 身体障害者福祉センター	本行徳1-5	460.00	昭和60	鉄筋コンクリート造	
9 障害者地域生活支援センター	大洲1-18-1	146.34	平成16	鉄筋コンクリート造	急病診療・ふれあいセンター内
10 障害者いこいの家	北方2-29-19	63.68	平成22	軽量鉄骨造	北方老人いこいの家内
合計		5,377.82			

② 配置状況

図表 障害者福祉施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の障害者福祉施設10施設の建物状況は、下表のとおりです。

施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
	建築年度	延床面積(m ²)		一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費原単位(GJ/m ² ・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)		
			燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
松香園	平成21	1,395.79	5	835	0.598	0	0	0	0	0	0
梨香園	平成元	886.00	25	496	0.560	2,437	1,514	1,333	2,751	1,709	1,504
明松園	昭和56	802.02	33	603	0.752	2,263	1,909	1,601	2,822	2,380	1,996
南八幡ワークス	昭和41	341.71	48	-	-	723	50	0	2,116	146	0
チャレンジ国分	昭和62	504.00	27	230	0.457	1,126	964	326	2,235	1,912	646
フォルテ行徳	昭和60	496.00	29	-	-	70	0	107	141	0	216
南八幡メンタルサポートセンター	昭和41	282.28	48	-	-	597	146	70	2,115	517	248
身体障害者福祉センター	昭和60	460.00	29	407	0.426	1,396	1,151	2,731	3,035	2,502	5,937
障害者地域生活支援センター	平成16	146.34	10	-	-	738	629	98	5,043	4,298	670
障害者いこいの家	平成22	63.68	4	-	-	253	238	38	3,973	3,737	597
合計	-	5,377.82	-	-	-	9,603	6,600	6,303	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
 ■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

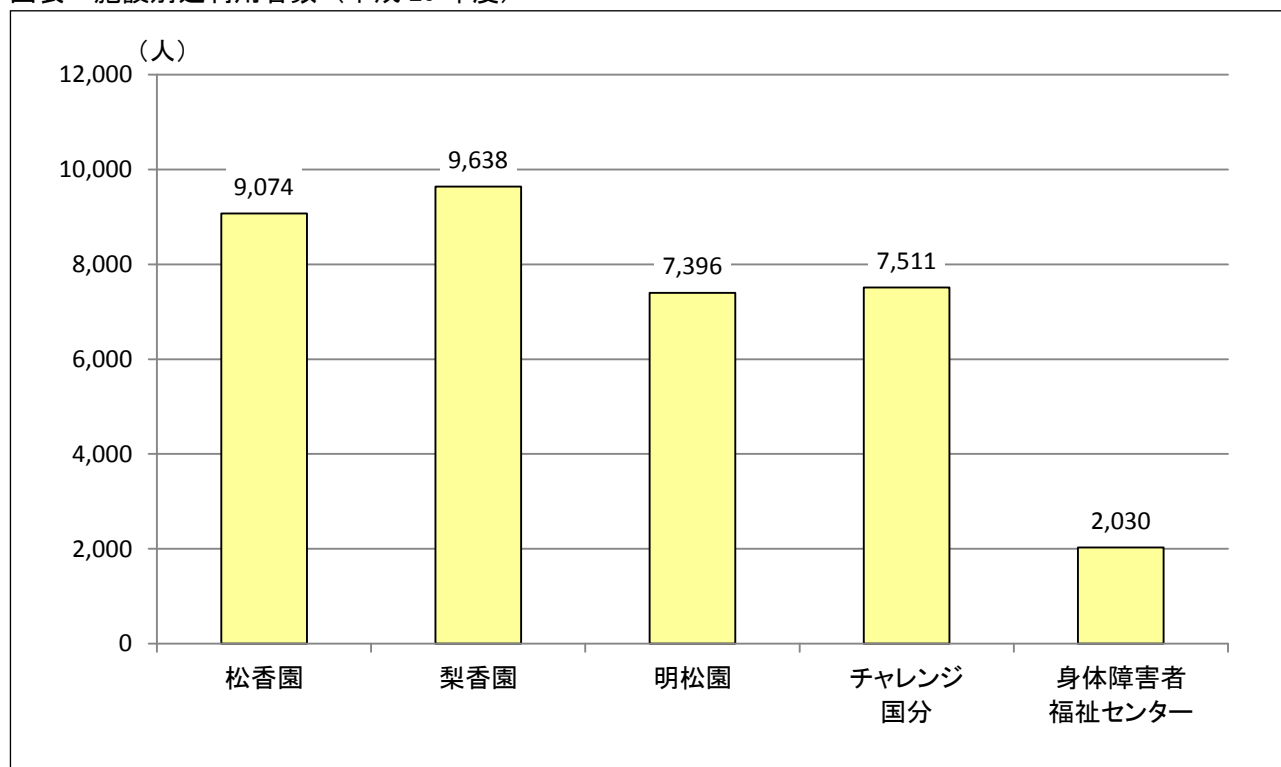
② 利用状況

■ 利用者数

平成25年度の障害者福祉施設5施設の利用者数は、延3.6万人です。

施設別にみると、身体障害者福祉センターの2,030人から梨香園の9,638人になっています。

図表 施設別延利用者数（平成25年度）



③ 運営状況

明松園、梨香園、チャレンジ国分、フォルテ行徳、身体障害者福祉センターは直営で運営しています。松香園、南八幡ワークスは指定管理者による運営となっています。

3) まとめ

- 明松園は、築33年経過と老朽化が進行しているため、今後効率的な対応が必要となっています。

(22) こども発達センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、ことば、運動、行動、情緒などの発達に心配のあるお子さんに対して、遊びや活動を通してお子さんの発達をうながす支援や家族支援を行うための施設として、こども発達センター（こども発達相談室、あおぞらキッズ、おひさまキッズ）を設けています。

こども発達センターは、児童館や公民館、いきいきセンター等との複合施設となっています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設			備考
					公民館	いきいき センター	子育て 支援施設	
こども発達センター	大洲4-18-3	3,084.54	昭和55	鉄筋コンクリート造	●	●	●	

② 事業内容

・こども発達相談室

子どもの発達に関する相談を受け付け、一人ひとりに応じた個別支援計画に基づいた療育や家族支援を行っています。

・あおぞらキッズ

通園にて行動・情緒などに課題のある子どもについて、遊び・生活面の療育や専門職員による個別指導により、機能訓練及び生活支援を行っています。

・おひさまキッズ

通園にて運動発達などに課題のある子どもについて、遊び・生活面の療育や専門職員による個別療育により機能訓練及び生活支援を行っています。

③ 開館時間・開館日数

施設名	開所時間	休所日
こども発達センター	午前9時～午後5時 ※通園時間 午前10時～午後2時30分	土日、祝日、年末年始

④ 配置状況

図表 こども発達センター位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成 25 年度のこども発達センターの建物状況は、下表のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応	
		建築年度	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	一次エネルギー消費量 (GJ/年)	一次エネルギー消費原単位 (GJ/㎡・年)
1	こども発達センター	昭和55	3,084.54	34	3,951	0.827

<老朽化凡例>

- : 築20年以上30年未満
- : 築30年以上

<環境対応凡例>

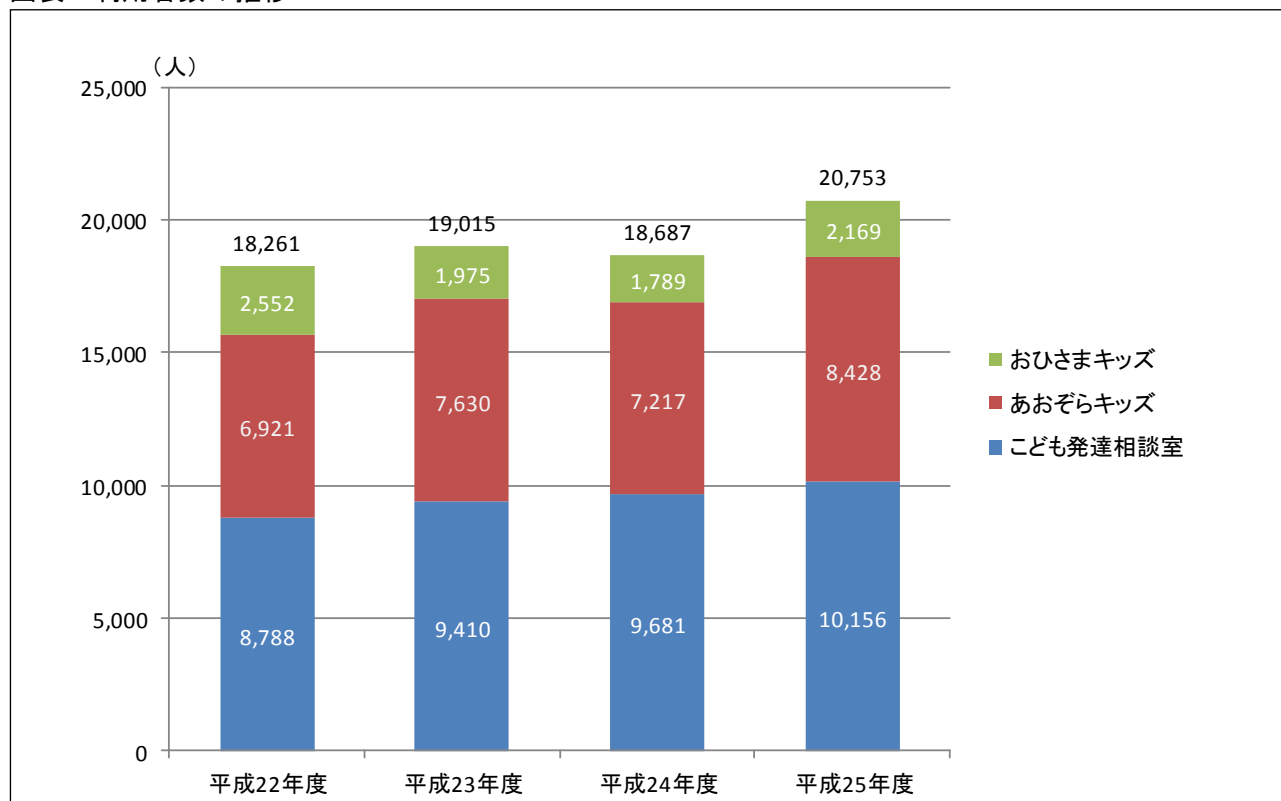
- : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 推移

こども発達センターの年間延利用者数の推移は、平成22年度の18,261人から平成25年度の20,753人まで約1.14倍となっています。

図表 利用者数の推移



③ 運営状況

こども発達相談室は、正職員9人及び非常勤職員等、あおぞらキッズは正職員14人及び非常勤等、おひさまキッズは正職員6人及び非常勤職員等が勤務しており、3施設とも市の直営により運営しています。

(23) 保健施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、保健センター2施設と、介護老人保健施設を設置しています。

図表 施設一覧

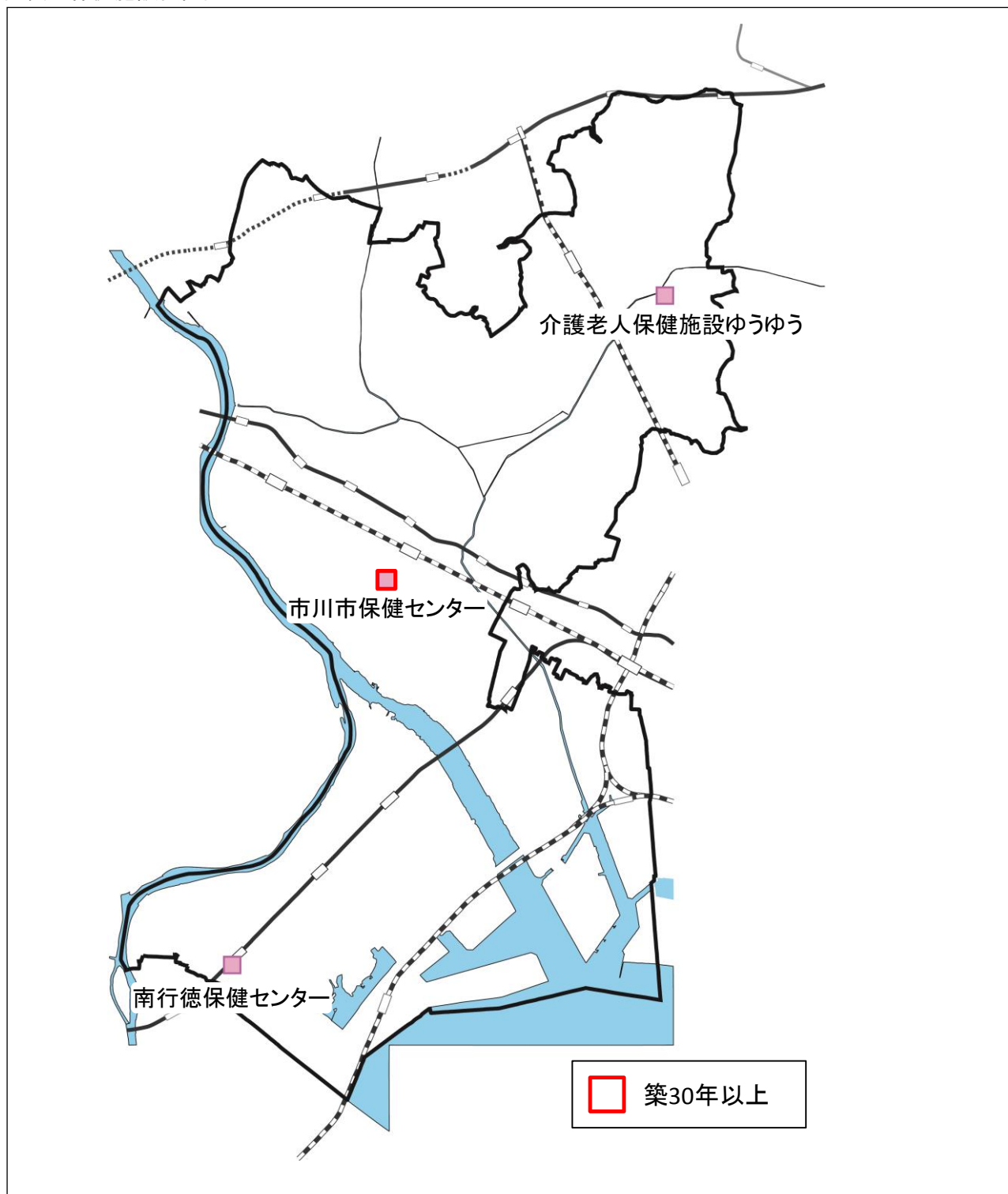
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設			備考
					窓口	高齢 福祉 施設	医療 施設	
1 市川市保健センター	南八幡4-18-8	2,336.24	昭和56	鉄筋コンクリート造				
2 南行徳保健センター	南行徳1-21-1	2,041.46	平成9	鉄筋コンクリート造	●			南行徳市民センター内
3 介護老人保健施設ゆうゆう	柏井町4-229-4	8,867.94	平成9	鉄筋鉄骨コンクリート造		●	●	保健医療福祉センター内
合計		13,245.64						

② 開館時間・開館日数

施設名	開所時間	休所日
市川市保健センター	午前8時45分～午後5時15分	土日、祝日、年末年始
南行徳保健センター	午前8時45分～午後5時15分	土日、祝日、年末年始
介護老人保健施設ゆうゆう	午前8時30分～午後5時	土日、祝日、年末年始

③ 配置状況

図表 保健施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の保健施設の建物状況は、下表のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化 築年数(年)	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積(m ²)		(一次エネルギー消費量(GJ/年))	一次エネルギー消費原単位(GJ/m ² ・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)		
				燃料、光熱水費			料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	
1	市川市保健センター	昭和56	2,336.24	33	638	0.273	-	-	-	-	-	-
2	南行徳保健センター	平成9	2,041.46	17	-	-	-	-	-	-	-	-
3	介護老人保健施設ゆうゆう	平成9	8,867.94	17	-	-	49,409	39,763	3,563	5,572	4,484	402
合計			13,245.64	-	-	-	49,409	39,763	3,563	-	-	-

<老朽化凡例>
 : 築20年以上30年未満
 : 築30年以上
 <環境対応凡例>
 : 平均値を上回る

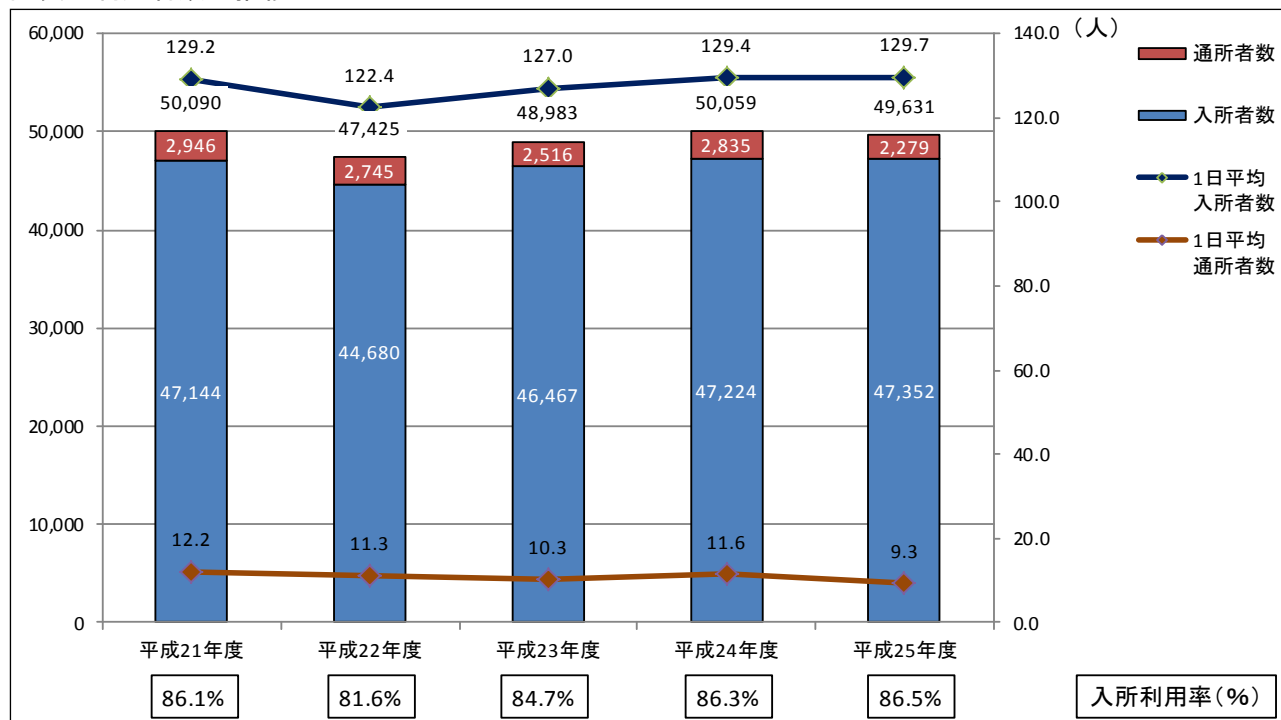
② 利用状況

■ 介護老人保健施設ゆうゆう

介護老人保健施設ゆうゆうの利用者数は、最少が平成22年度の47,425人、最大が平成21年度の50,090人と、おおむね50,000人前後で推移しています。

同施設の入所利用率は、最少が平成22年度の81.6%、最大が平成25年度の86.5%と、おおむね80%強で推移しています。

図表 利用者数の推移



◆ 医療施設

(24) 医療施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、急病診療所を始め、3施設の医療施設を設置しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設				備考
					高齢 福祉 施設	保健 施設	障害 福祉 施設	幼児 児童 施設	
1 急病診療所	大洲1-18-1	408.59	平成16	鉄骨造	●		●	●	急病診療・ふれあいセンター内
2 休日急病等歯科診療所	大洲1-18-1	133.84	平成16	鉄骨造	●		●	●	急病診療・ふれあいセンター内
3 リハビリテーション病院	柏井町4-229-4	11,409.85	平成9	鉄骨鉄筋コンクリート造	●	●			保健医療福祉センター
合計		11,952.28							

② 診療時間等

施設名	診療時間		休診日	診療科目
急病診療所	月曜日～金曜日	午後8時～午後11時	-	内科・小児科
	土曜日	午後8時～午後11時	-	内科・小児科・外科
	日曜・祝日 年末年始(12/30～1/4)	午前10時～午後5時 午後8時～午後11時	-	内科・小児科・外科
休日急病等歯科診療所	日曜・祝日 盆期(8/13～8/15) 年末年始(12/30～1/4)	午前10時～午後5時	-	歯科
リハビリテーション病院	午前8時30分から午前11時30分 (診療受付時間)		土曜日、日曜日、 祝日、年末年始 (12月29日から同月 31日、1月2日及び1 月3日)	内科・消化器科・整形 外科・リハビリテーシ ョン科

③ 配置状況

図表 医療施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の医療施設の建物状況は、下表のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化 築年数(年)	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積(m ²)		一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費原単位(GJ/m ² ・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)		
							燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料
1	急病診療所	平成16	408.59	10	-	-	2,803	2,164	365	5,167	3,989	673
2	休日急病等歯科診療所	平成16	133.84	10	-	-						
3	リハビリテーション病院	平成9	11,409.85	17	-	-	-	-	-	-	-	-
合計			11,952.28	-	-	-	2,803	2,164	4,967	-	-	-

<老朽化凡例>

- : 築20年以上30年未満
- : 築30年以上

<環境対応凡例>

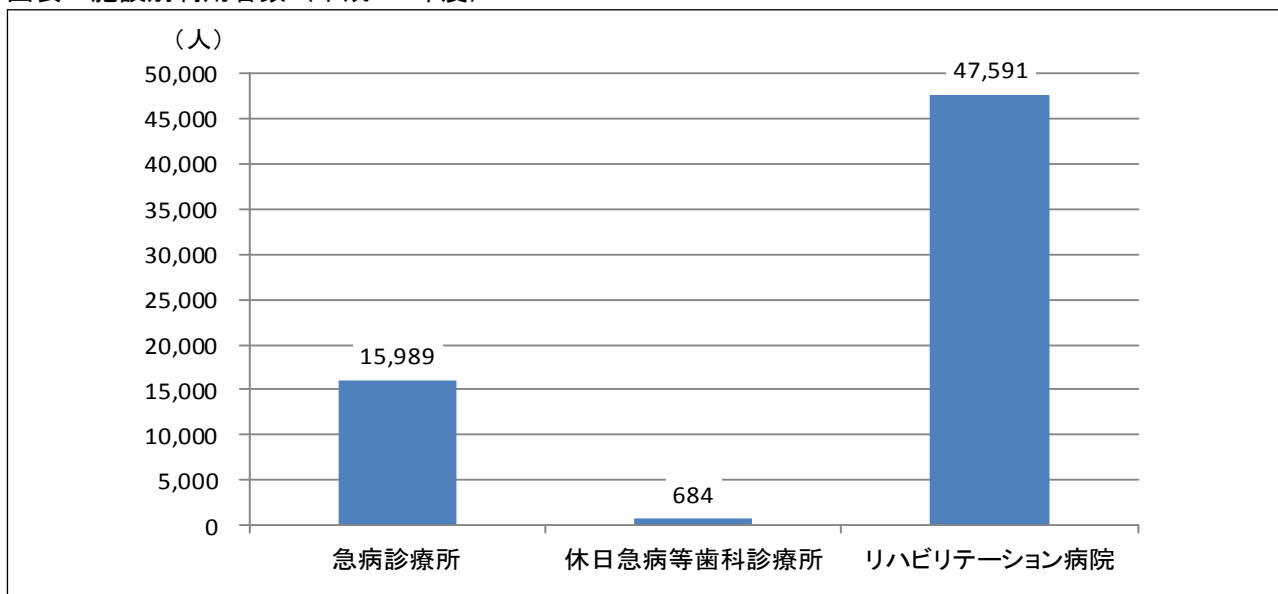
- : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 施設別利用者数

平成 25 年度の医療施設の施設別利用者数は、急病診療所の 15,989 人、休日急病等歯科診療所の 684 人、リハビリテーション病院の 47,591 人となっております。

図表 施設別利用者数（平成 25 年度）

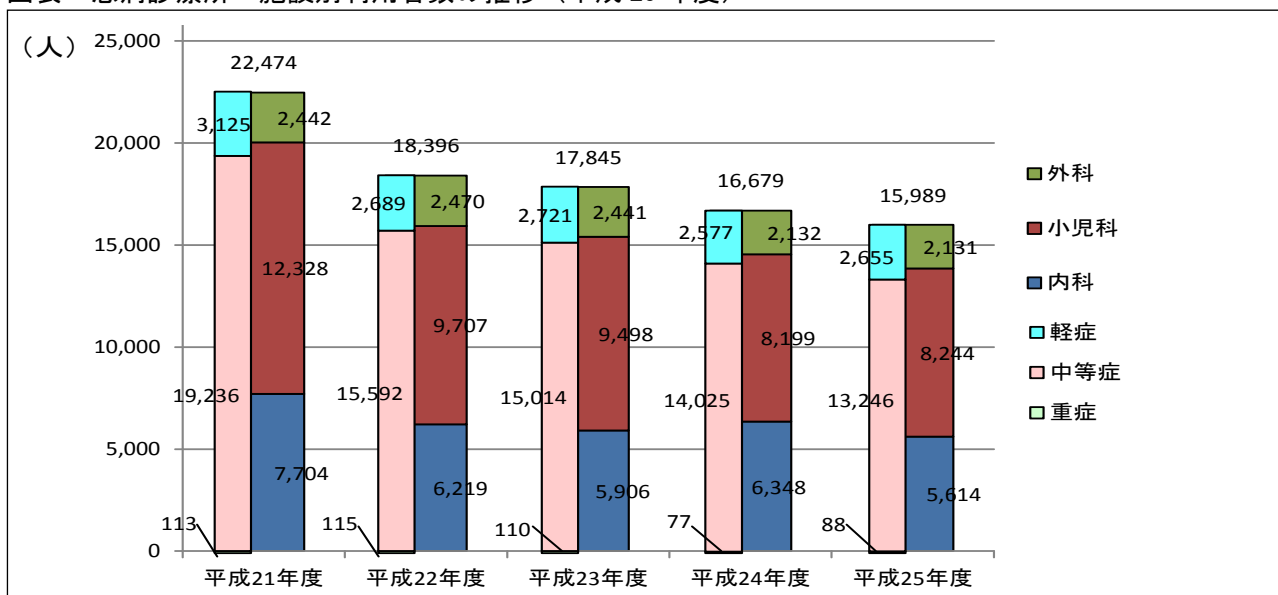


■ 推移

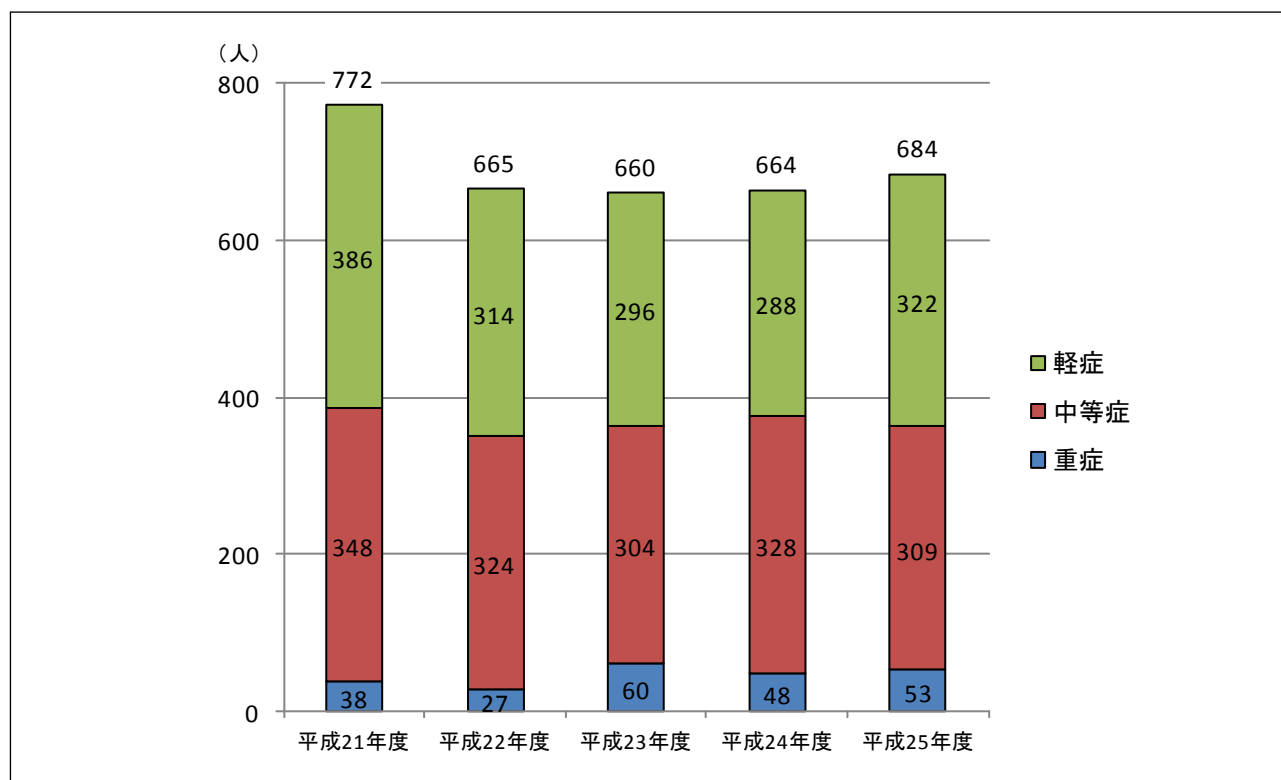
急病診療所の受診患者数は、平成 21 年度の 22,474 人から平成 25 年度の 15,989 人まで約 30%の減少傾向となっております。特に小児科の受診者数がこの 5 年間で 12,328 人から 8,244 人へと 33%の減少となっています。

休日急病等歯科診療所の受診患者は平成 21 年度の 772 人から、平成 25 年度の 684 人まで約 11%の減少傾向となっております。

図表 急病診療所 施設別利用者数の推移（平成 25 年度）

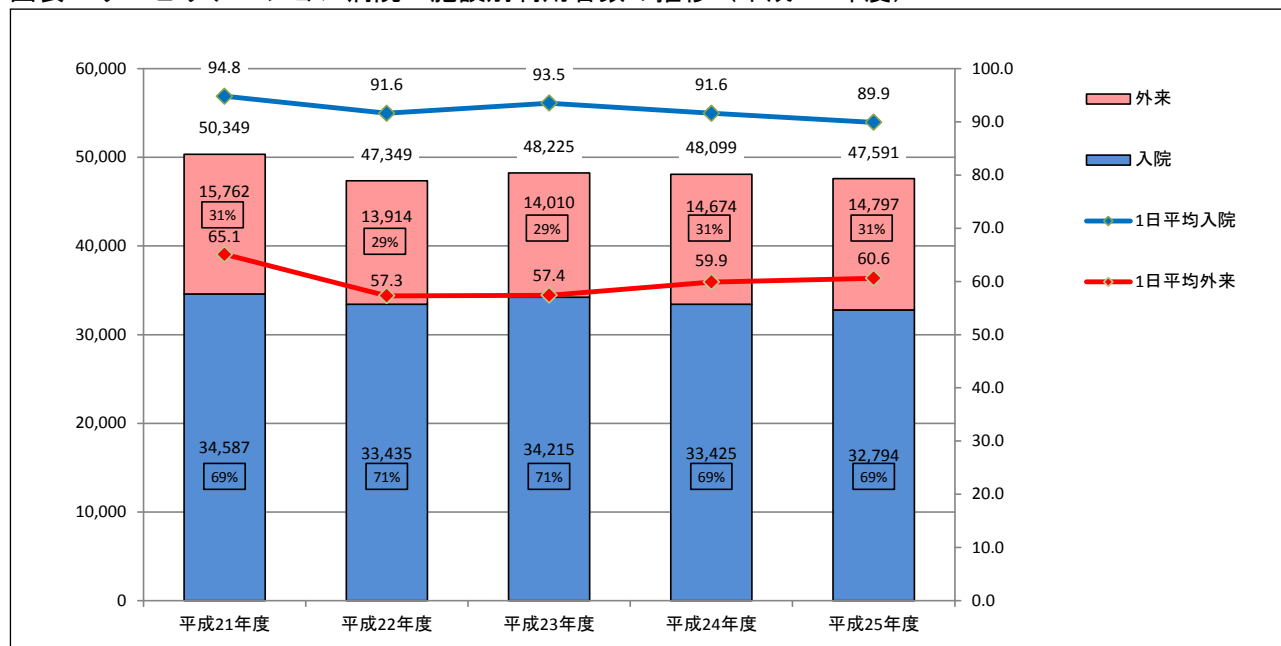


図表 休日急病等歯科診療所 施設別利用者数の推移 (平成 25 年度)



リハビリテーション病院の延べ患者数は、平成 21 年度の 50,349 人から平成 25 年度の 47,591 人までほぼ横ばいとなっております。延べ患者数の内訳割合の推移をみると、入院が約 70%、外来が約 30%でそれぞれ横ばいとなっております。

図表 リハビリテーション病院 施設別利用者数の推移 (平成 25 年度)



◆ 行政系施設

(25) 庁舎等

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市役所本庁舎以外に、八幡分庁舎や分庁舎A・B棟、分庁舎C棟など庁舎機能を持つ施設を保有しています。その中には、情報プラザのように民間ビルを賃借して保有している施設や、アクス本八幡、ターミナルシティ本八幡のようにビルの一部を区分所有している施設があります。

現在、本庁舎の建替え計画が進行しています。

他に、行徳支所や大柏出張所等の行政窓口機能を保有する施設が7施設あります。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設				備考
					公民館	図書館	子育て 支援 施設	その他	
1 本庁舎	八幡1-1-1	18,181.81	昭和33	鉄筋コンクリート造					新第1庁舎に建替え
2 行徳支所	末広1-1-31	3,018.87	昭和53	鉄筋コンクリート造	●	●	●	●	行徳支所、南部地域包括支援センター、行徳公民館、行徳図書館等と複合施設
3 大柏出張所	南大野2-3-19	266.68	昭和56	鉄筋コンクリート造	●	●		●	地域包括支援センターあんしん大柏、大野公民館と複合施設
4 南行徳市民センター	南行徳1-21-1	3,942.45	平成9	鉄骨鉄筋コンクリート造				●	南行徳保健センター、南行徳市民談話室と複合施設
5 市川駅行政サービスセンター	市川南1-1-1	883.20	平成20	鉄筋コンクリート造					ザタワーズ イースト 3階
6 信篤窓口連絡所	高谷1-8-3	77.76	平成元	軽量鉄骨造					
7 国分窓口連絡所	国分6-22-8	45.56	平成10	鉄筋コンクリート造					JA国分支店内
8 中山窓口連絡所	中山4-14-1	41.40	平成5	木造					
9 八幡分庁舎	八幡4-2-1	1,295.04	昭和31	鉄筋コンクリート造					
10 分庁舎A・B棟	南八幡2-18-9	4,554.42	昭和63	鉄骨造					新第2庁舎に建替え
11 分庁舎C棟	東大和田1-2-10	993.71	平成6	鉄骨造					
12 アクス本八幡	八幡3-4-1	488.88	平成8	鉄骨鉄筋コンクリート造					区分所有(NPO)
13 ターミナルシティ 本八幡執務室	八幡3-3-2のJ401 及び408	389.08	平成25	鉄筋コンクリート造					区分所有(経済部、監査)
14 情報プラザ	南八幡4-2-5	809.22	平成13	鉄骨鉄筋コンクリート造					民間建物を賃借
合計		34,988.08							

2) 市川市新庁舎建設について

① 建替え計画

現在の庁舎が抱える耐震性能不足、老朽化、狭あい、バリアフリー対応の遅れなど、様々な問題の解決を図るため、庁舎の建て替えを進めています。

現本庁舎の敷地に新第1庁舎（着工予定 平成29年夏頃、竣工予定 平成32年春頃）、現分庁舎A・B棟の敷地に新第2庁舎（着工予定 平成27年夏頃、竣工予定 平成29年春頃）をそれぞれ整備する計画です。

図表 新第1庁舎イメージ図



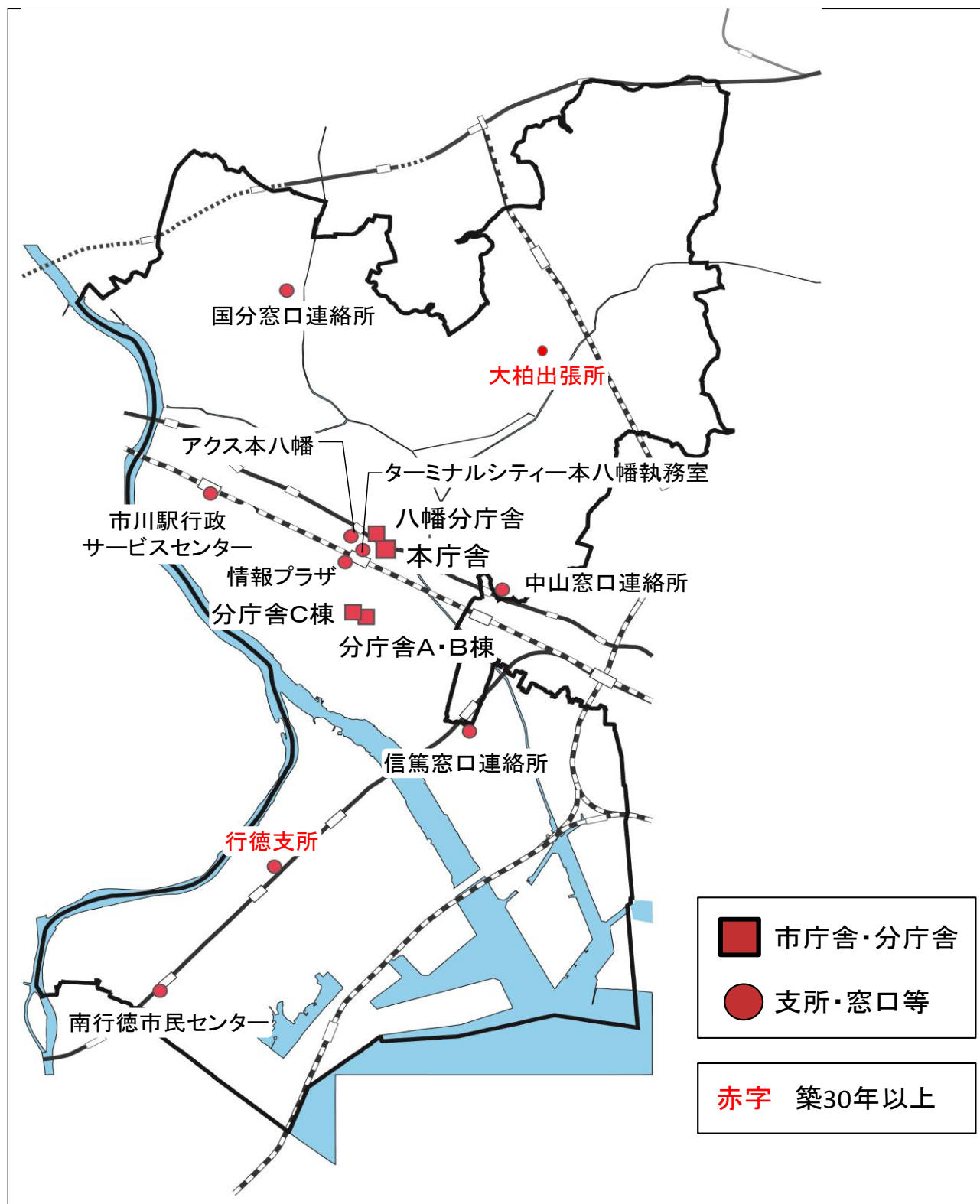
図表 新第2庁舎イメージ図



※イメージは基本設計段階のものです。

② 配置状況

図表 庁舎等位置図



3) 行政窓口機能の実態把握

① 建物状況

平成25年度の庁舎等7施設の建物状況は、下表のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応	
		建築年度	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	一次エネルギー消費量 (GJ/年)	原一次エネルギー消費 (GJ/㎡・年)
1	行徳支所	昭和53	3,018.87	36	7,821	0.914
2	大柏出張所	昭和56	266.68	33	-	-
3	南行徳市民センター	平成9	3,942.45	17	3,445	0.874
4	市川駅行政サービスセンター	平成20	883.20	6	-	-
5	信篤窓口連絡所	平成元	77.76	25	78	1.003
6	国分窓口連絡所	平成10	45.56	16	-	-
7	中山窓口連絡所	平成5	41.40	21	77	1.853
	合計		8,275.92	-	-	-

<老朽化凡例>

: 築20年以上30年未満
 : 築30年以上

<環境対応凡例>

: 平均値を上回る

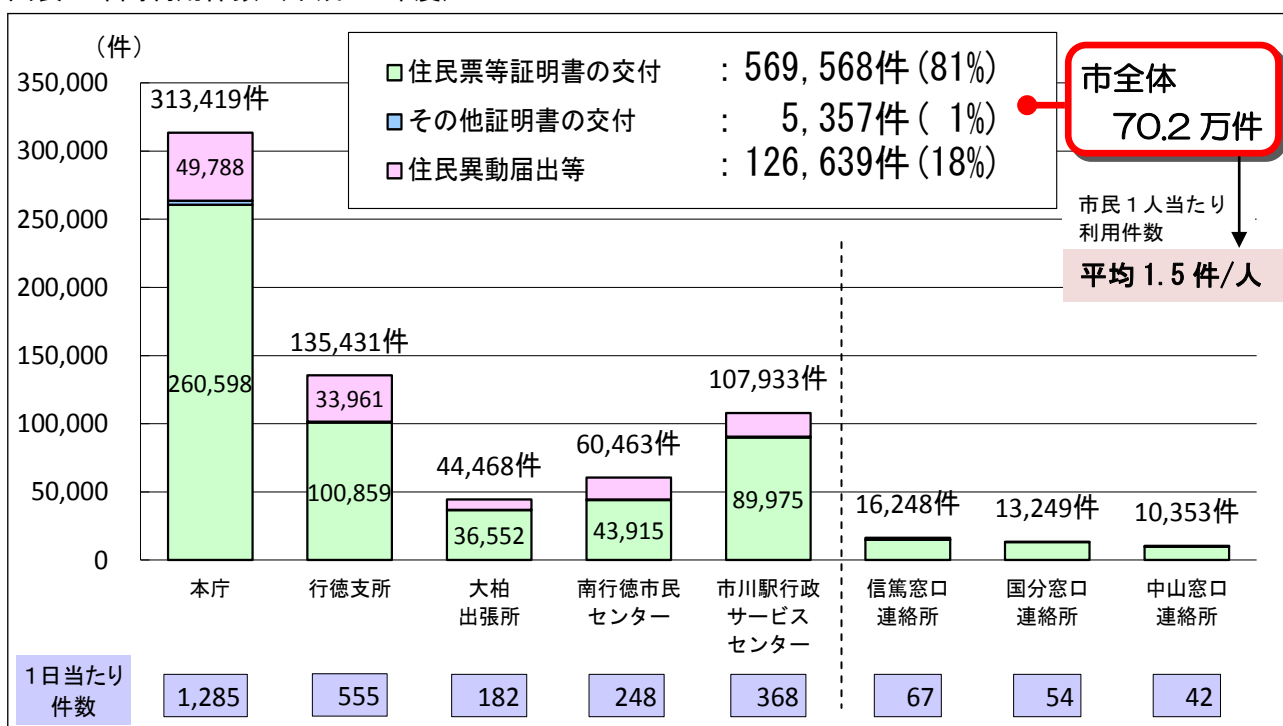
② 利用状況

■ 窓口の利用件数

本庁、支所、出張所等では、市民課以外の福祉部門や税部門、建築部門、教育委員会など、様々な部署で、届出等の窓口業務を行っており、全ての窓口業務を数値化することが困難なため、窓口業務の多くを占める戸籍、住民基本台帳、印鑑登録関係の証明書・届出等の取扱件数をもって窓口の利用件数としました。

平成 25 年度の全体の窓口利用件数は、約 70.2 万件です。市民 1 人当たり年間約 1.5 件の利用となっています。取扱業務ごとの内訳をみると、住民票等証明書などの交付が約 57.0 万件と全体の約 81% を占めています。施設別の利用件数では、本庁が約 31.3 万件と全体利用の約 45% を占めています。支所及び出張所、各センターの利用件数は、大柏出張所の約 4.4 万件から行徳支所の約 13.5 万件となっています。1 日当たりの利用件数は、本庁舎が 1,285 件/日、支所及び出張所、各センターは大柏出張所の 182 件/日から行徳支所の 555 件/日となっています。また、3 箇所の窓口連絡所につきましては、本庁市民課の連絡所として証明書の交付等をおこなっている施設です。

図表 年間利用件数（平成 25 年度）

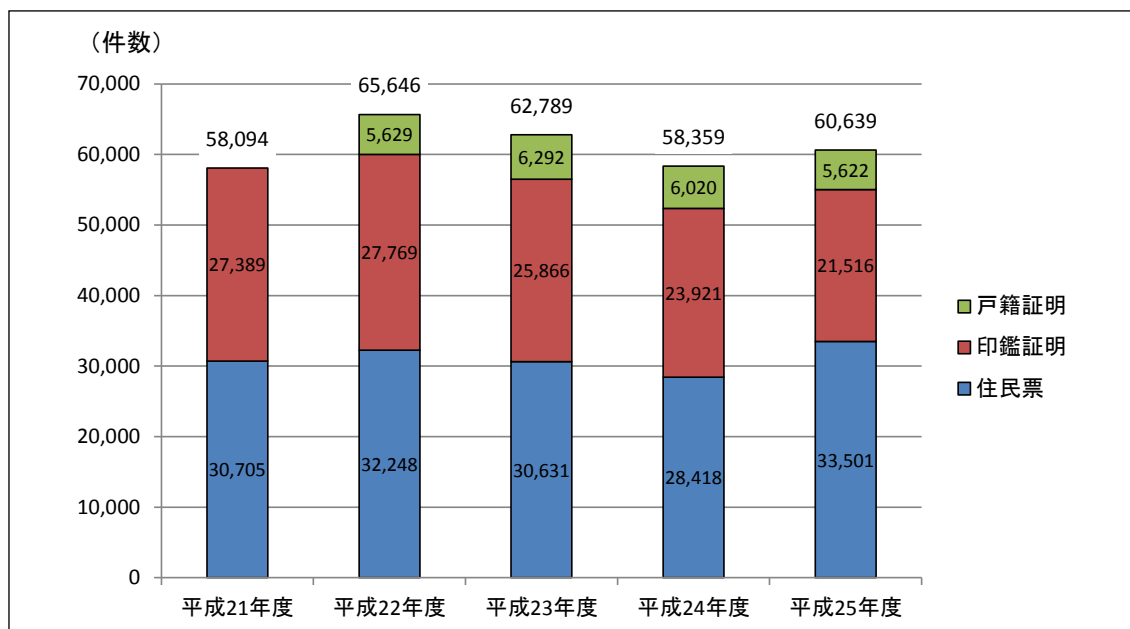


		本庁	行徳支所	大柏出張所	南行徳市民センター	市川駅行政サービスセンター	信篤窓口連絡所	国分窓口連絡所	中山窓口連絡所
証明書	戸籍に関する証明書	●	●	●	●	●	●	●	●
	住民基本台帳関係証明書	●	●	●	●	●	●	●	●
	印鑑登録証明書	●	●	●	●	●	●	●	●
	証明書（その他）	●	●	●	●	●	●	●	●
届出等	住民異動届出	●	●	●	●	●	●	-	●
	戸籍届出	●	●	●	●	-	-	-	-
	印鑑登録	●	●	●	●	●	●	-	●
	住基カード関係	●	●	●	●	●	-	-	-
	公的個人認証（電子証明書）	●	●	●	●	●	-	-	-

■ 交付サービスの推移

自動交付機による発行件数の推移は、平成 21 年度の 58,094 件から平成 25 年度の 60,639 件の間で推移しております。内訳をみると、住民票が約 50%、印鑑証明が約 40%、戸籍証明が約 10%となっております。

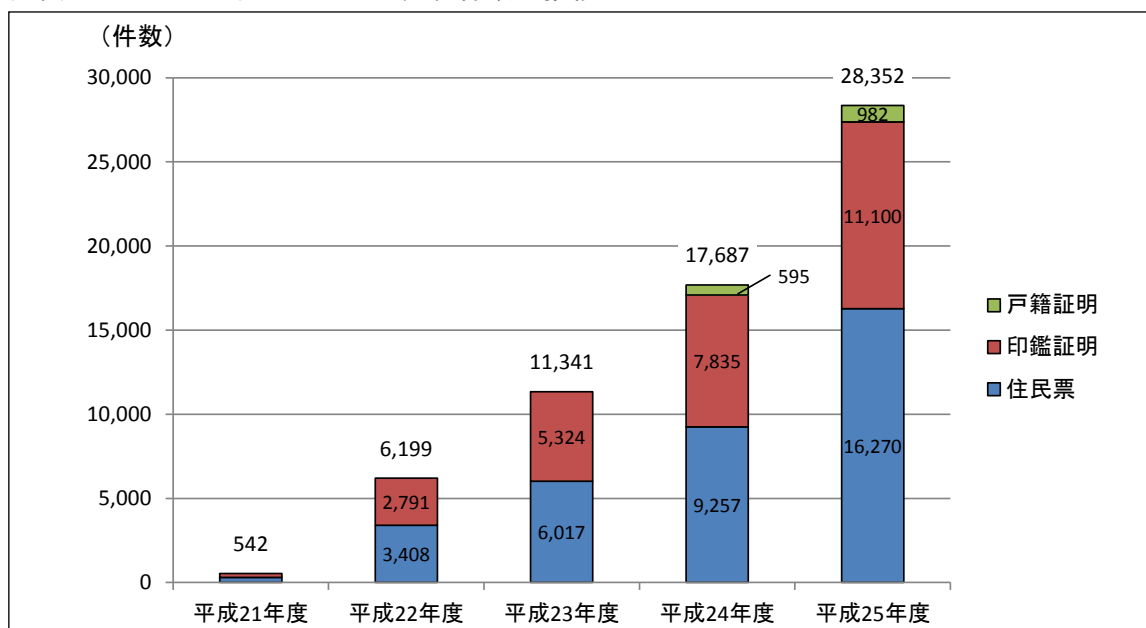
図表 自動交付機 発行件数の推移



※戸籍証明は、平成 22 年 4 月 1 日開始

コンビニ交付サービスによる発行件数の推移は、平成 21 年 542 件から平成 25 年度 28,352 件まで 5 年間で 50 倍以上増加しております。内訳をみると、自動交付機の約 10%と比べて、戸籍証明が約 3%と割合が少なくなっております。

図表 コンビニ交付サービス 発行件数の推移



※戸籍証明は、平成 24 年 4 月 1 日開始

(26) 消防庁舎

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民の生命・財産を守るため、消防局・東消防署合同庁舎のほか、3ヶ所の消防署、7ヶ所の出張所を設置しています。

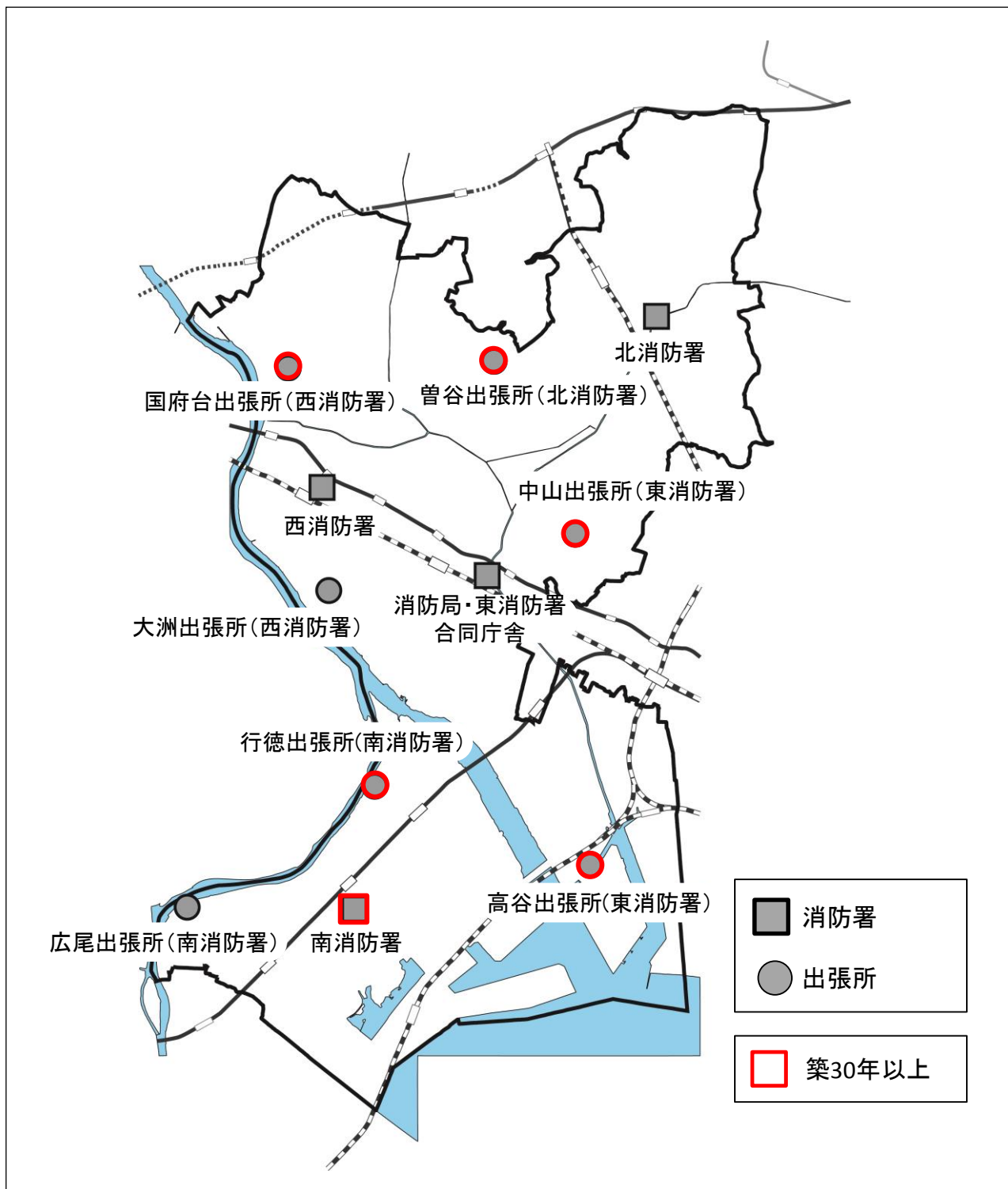
西消防署は男女共同参画センターと、西消防署大洲出張所は急病診療・ふれあいセンターとの複合施設です。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	複合・併設施設		備考
					庁舎等	保健施設	
1 消防局・東消防署合同庁舎	八幡1-8-1	4,243.92	昭和60	鉄骨鉄筋コンクリート造			
2 西消防署	市川1-24-2	1,782.33	平成3	鉄骨鉄筋コンクリート造	●		男女共同参画センター と複合施設
3 南消防署	行徳駅前4-6-19	1,332.75	昭和52	鉄骨造			
4 北消防署	大野4-2163-1	1,819.26	平成23	鉄筋コンクリート造			
5 中山出張所(東消防署)	北方3-10-11	267.00	昭和55	鉄骨造			
6 高谷出張所(東消防署)	高谷2023-10	874.80	昭和42	鉄筋コンクリート造			
7 国府台出張所(西消防署)	国府台1-6-8	409.17	昭和48	鉄筋コンクリート造			
8 行徳出張所(南消防署)	本行徳12-10	390.32	昭和53	鉄骨造			
9 広尾出張所(南消防署)	広尾2-2-12	849.98	平成21	鉄骨造			
10 大洲出張所(西消防署)	大洲1-18-1	983.88	平成16	鉄骨造		●	急病診療・ふれあいセン ターと複合施設
11 曾谷出張所(北消防署)	曾谷2-7-2	396.56	昭和47	鉄筋コンクリート造			
合計		13,349.97					

② 配置状況

図表 消防庁舎位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の消防庁舎11施設の建物状況は、下表のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応	
		建築年度	延床面積 (m^2)	築年数 (年)	一次エネルギー消費量 ($\text{GJ}/\text{年}$)	一次エネルギー消費 原単位($\text{GJ}/\text{m}^2 \cdot \text{年}$)
1	消防局・東消防署合同庁舎	昭和60	4,243.92	29	4,363	1.028
2	西消防署	平成3	1,782.33	23	5,063	2.841
3	南消防署	昭和52	1,332.75	36	1,349	1.012
4	北消防署	平成23	1,819.26	3	1,450	0.797
5	中山出張所(東消防署)	昭和55	267.00	34	442	1.654
6	高谷出張所(東消防署)	昭和42	874.80	47	324	0.371
7	国府台出張所(西消防署)	昭和48	409.17	41	323	0.790
8	行徳出張所(南消防署)	昭和53	390.32	36	391	1.002
9	広尾出張所(南消防署)	平成21	849.98	5	620	0.730
10	大洲出張所(西消防署)	平成16	983.88	10	-	-
11	曾谷出張所(北消防署)	昭和47	396.56	42	520	1.311
	合計		13,349.97	-	-	-

<老朽化凡例>

: 築20年以上30年未満
 : 築30年以上

<環境対応凡例>

: 平均値を上回る

(27) 消防団車庫兼詰所

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民の生命・財産を守るため、消防団車庫兼詰所他を23施設保有しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	備考
1 消防団第1分団車庫兼詰所	国府台3-10	46.98	昭和53	木造	
2 消防団第2分団車庫兼詰所	市川3-25-3	67.88	平成22	軽量鉄骨造	
3 消防団第3分団車庫兼詰所	市川2-25-16	79.49	昭和50	木造	
4 消防団第4分団車庫兼詰所	真間2-7-9	40.97	昭和50	木造	
5 消防団第5分団車庫兼詰所	平田2-23-10	57.12	平成25	軽量鉄骨造	
6 消防団第6分団車庫兼詰所	南八幡3-23-17	96.29	平成19	軽量鉄骨造	
7 消防団第7分団車庫兼詰所	菅野1-16-22	48.02	昭和55	木造	
8 消防団第8分団車庫兼詰所	宮久保5-16-9	92.74	平成20	木造	
9 消防団第9分団車庫兼詰所	鬼越2-17-6	74.00	平成13	軽量鉄骨造	貸借建物
10 消防団第10分団車庫兼詰所	中山2-10-3	45.13	平成24	木造	
11 消防団第11分団車庫兼詰所	本北方3-19-15	91.09	平成元	軽量鉄骨造	
12 消防団第12分団車庫兼詰所	北国分4-10	50.58	昭和57	軽量鉄骨造	
13 消防団第13分団車庫兼詰所	中国分1-6-19	55.06	平成15	木造	
14 消防団第14分団車庫兼詰所	曾谷2-7-2	86.40	昭和62	軽量鉄骨造	
15 消防団第15分団車庫兼詰所	須和田2-22-7	59.20	平成6	軽量鉄骨造	
16 消防団第16分団車庫兼詰所	大野町3-1948	81.15	平成3	軽量鉄骨造	
17 消防団第17分団車庫兼詰所	柏井町2-1312	79.49	平成4	木造	
18 消防団第18分団車庫兼詰所	大町273	92.76	平成2	軽量鉄骨造	
19 消防団第19分団車庫兼詰所	田尻5-5-20	133.06	平成5	軽量鉄骨造	
20 消防団第20分団車庫兼詰所	妙典1-11-22	55.06	平成9	木造	
21 消防団第21分団車庫兼詰所	富浜3-4-18	92.01	平成19	軽量鉄骨造	
22 消防団第22分団車庫兼詰所	香取1-9-2	109.31	平成元	軽量鉄骨造	
23 消防団第3水防庫兼第23分団詰所	相之川1-23-3	92.73	昭和62	軽量鉄骨造	
合計		1,726.52			

2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の消防団車庫兼詰所23施設の建物状況は、下表のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応	
		建築年度	延床面積 (m^2)	築年数 (年)	(一次エネルギー消費量 ($\text{GJ}/\text{年}$))	一次エネルギー消費 原単位($\text{GJ}/\text{m}^2 \cdot \text{年}$)
1	消防団第1分団車庫兼詰所	昭和53	46.98	36	-	-
2	消防団第2分団車庫兼詰所	平成22	67.88	4	-	-
3	消防団第3分団車庫兼詰所	昭和50	79.49	39	-	-
4	消防団第4分団車庫兼詰所	昭和50	40.97	39	-	-
5	消防団第5分団車庫兼詰所	平成25	57.12	1	-	-
6	消防団第6分団車庫兼詰所	平成19	96.29	7	-	-
7	消防団第7分団車庫兼詰所	昭和55	48.02	34	-	-
8	消防団第8分団車庫兼詰所	平成20	92.74	6	-	-
9	消防団第9分団車庫兼詰所	平成13	74.00	13	-	-
10	消防団第10分団車庫兼詰所	平成24	45.13	2	-	-
11	消防団第11分団車庫兼詰所	平成元	91.09	25	-	-
12	消防団第12分団車庫兼詰所	昭和57	50.58	32	-	-
13	消防団第13分団車庫兼詰所	平成15	55.06	11	-	-
14	消防団第14分団車庫兼詰所	昭和62	86.40	27	-	-
15	消防団第15分団車庫兼詰所	平成6	59.20	20	-	-
16	消防団第16分団車庫兼詰所	平成3	81.15	23	-	-
17	消防団第17分団車庫兼詰所	平成4	79.49	22	-	-
18	消防団第18分団車庫兼詰所	平成2	92.76	24	-	-
19	消防団第19分団車庫兼詰所	平成5	133.06	21	-	-
20	消防団第20分団車庫兼詰所	平成9	55.06	17	-	-
21	消防団第21分団車庫兼詰所	平成19	92.01	7	-	-
22	消防団第22分団車庫兼詰所	平成元	109.31	25	-	-
23	消防団第3水防庫兼第23分団詰所	昭和62	92.73	27	-	-
合計			1,726.52	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
 ■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

◆ 市営住宅

(28) 市営住宅

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、住宅に困窮する市民に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進のために、市営住宅を25団地の管理を行っています。

設置目的：住宅に困窮している低額所得者の方々に賃貸するため

図表 施設一覧

名称	棟	棟別戸数	間取り	所在地	建築年度(年度)	延床面積(m ²)	構造	備考
1 大町第一団地	A棟	37	2DK・3DK	大町95	平成2	2,484.90	鉄筋コンクリート造	
	B棟	67	2DK・3DK	大町95	平成元	4,557.54	鉄筋コンクリート造	
	C棟	73	3DK	大町95	平成3	4,853.71	鉄筋コンクリート造	
2 大町第二団地	1号棟	24	3K	大町124	昭和43	1,073.28	鉄筋コンクリート造	
	2号棟	30	3K	大町124	昭和44	1,378.59	鉄筋コンクリート造	
	3号棟	30	3K	大町124	昭和44	1,378.59	鉄筋コンクリート造	
	4号棟	75	2DK	大町124	昭和45	4,066.20	鉄筋コンクリート造	
	5号棟	90	2DK	大町124	昭和46	5,151.42	鉄筋コンクリート造	
	6号棟	16	2DK	大町124	昭和47	916.42	鉄筋コンクリート造	
	7号棟	78	2DK・3DK	大町124	平成4	5,221.81	鉄筋コンクリート造	
	8号棟	50	2DK・3DK	大町124	平成6	3,521.40	鉄筋コンクリート造	
3 大町第三団地	A棟	104	2DK	大町124	昭和47	5,862.42	鉄筋コンクリート造	
	B棟	135	2DK	大町124	昭和48	8,434.12	鉄筋コンクリート造	
4 南大野団地		15	2LDK・3LDK	南大野2-27-13	平成12	1,669.10	鉄筋コンクリート造	借上
5 柏井第一団地	1号棟	30	3DK	柏井町2-1344	昭和59	2,201.89	鉄筋コンクリート造	
	2号棟	27	2DK・3DK	柏井町2-1344	昭和60	1,964.31	鉄筋コンクリート造	
	3号棟	12	3DK	柏井町2-1344	昭和62	804.96	鉄筋コンクリート造	
6 柏井第二団地		17	2K・2DK	柏井町2-754	平成8	938.52	鉄筋コンクリート造	
7 柏井第三団地		12	2DK	柏井町2-1358	昭和59	602.84	鉄筋コンクリート造	
8 奉免団地	1号棟	18	3DK	奉免町310	昭和54	1,240.90	鉄筋コンクリート造	
	2号棟	18	3DK	奉免町310	昭和54	1,240.90	鉄筋コンクリート造	
	3号棟	30	3DK	奉免町310	昭和54	2,176.70	鉄筋コンクリート造	
	4号棟	16	3DK	奉免町310	昭和54	1,103.02	鉄筋コンクリート造	
	5号棟	18	2LDK	奉免町310	昭和54	1,237.60	鉄筋コンクリート造	
9 北方第一団地	1号棟	18	3DK	北方町4-1996	昭和52	1,110.60	鉄筋コンクリート造	
	2号棟	12	3DK	北方町4-1996	昭和52	740.66	鉄筋コンクリート造	
	3号棟	24	3DK	北方町4-1996	昭和52	1,337.78	鉄筋コンクリート造	
10 北方第二団地	A棟	12	3DK	北方町4-2008-4	昭和63	918.34	鉄筋コンクリート造	
	B棟	15	3DK	北方町4-2008-4	昭和63	1,177.19	鉄筋コンクリート造	
	C棟	24	2DK・3DK	北方町4-2008-4	平成元	1,760.11	鉄筋コンクリート造	

名称	棟	棟別戸数	間取り	所在地	建築年度(年度)	延床面積(m ²)	構造	備考
11 曾谷第一団地		24	3DK	曾谷2-7-1	昭和57	1,565.34	鉄筋コンクリート造	
12 曾谷第二団地		18	3DK	曾谷1-37-5	昭和58	1,195.11	鉄筋コンクリート造	
13 曾谷第三団地		24	1K+2DK・2DK	曾谷2-31-20	昭和49	1,380.49	鉄筋コンクリート造	
14 曾谷第四団地	A棟	18	3DK	曾谷5-20	昭和61	1,226.65	鉄筋コンクリート造	
	B棟	6	3DK	曾谷5-20	昭和61	421.44	鉄筋コンクリート造	
15 宮久保団地		15	3DK	宮久保2-24-20	昭和61	887.94	鉄筋コンクリート造	
16 東菅野団地		18	3DK	東菅野3-12-18	昭和55	1,255.00	鉄筋コンクリート造	
17 八幡団地		3	2K	八幡6-21-1	昭和26	105.80	木造	
18 平田団地		15	2DK	平田1-17-10	昭和62	799.95	鉄筋コンクリート造	
19 稲荷木団地		12	3DK	稲荷木3-2-8	昭和56	762.35	鉄筋コンクリート造	
20 原木団地		21	3DK	原木3-3-1	昭和60	1,526.81	鉄骨鉄筋コンクリート造	
21 行徳駅前団地		25	2DK・3LDK	行徳駅前1-21-1	平成12	1,007.40	鉄骨鉄筋コンクリート造	借上
22 相之川第一団地		19	3DK	新井1-1-20	昭和59	1,487.67	鉄骨鉄筋コンクリート造	
23 相之川第二団地	A棟	119	3DK	相之川1-7	昭和49	8,329.60	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	B棟	126	3DK	相之川1-7	昭和50	8,602.66	鉄骨鉄筋コンクリート造	
24 相之川第三団地	C棟	63	2DK・3DK	相之川1-23	昭和52	4,779.18	鉄骨鉄筋コンクリート造	
25 塩浜団地	1号棟	104	3K・3DK	塩浜4-4	昭和53	8,524.42	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	2号棟	66	3K・3DK	塩浜4-4	昭和55	5,465.95	鉄筋コンクリート造	
	3号棟	66	2DK・3K・3DK	塩浜4-4	昭和56	5,134.60	鉄筋コンクリート造	
	4-1号棟	46	3DK	塩浜4-6	昭和57	3,942.60	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	4-2号棟	50	3DK	塩浜4-6	昭和58	3,603.49	鉄骨鉄筋コンクリート造	
合計						133,130.27		

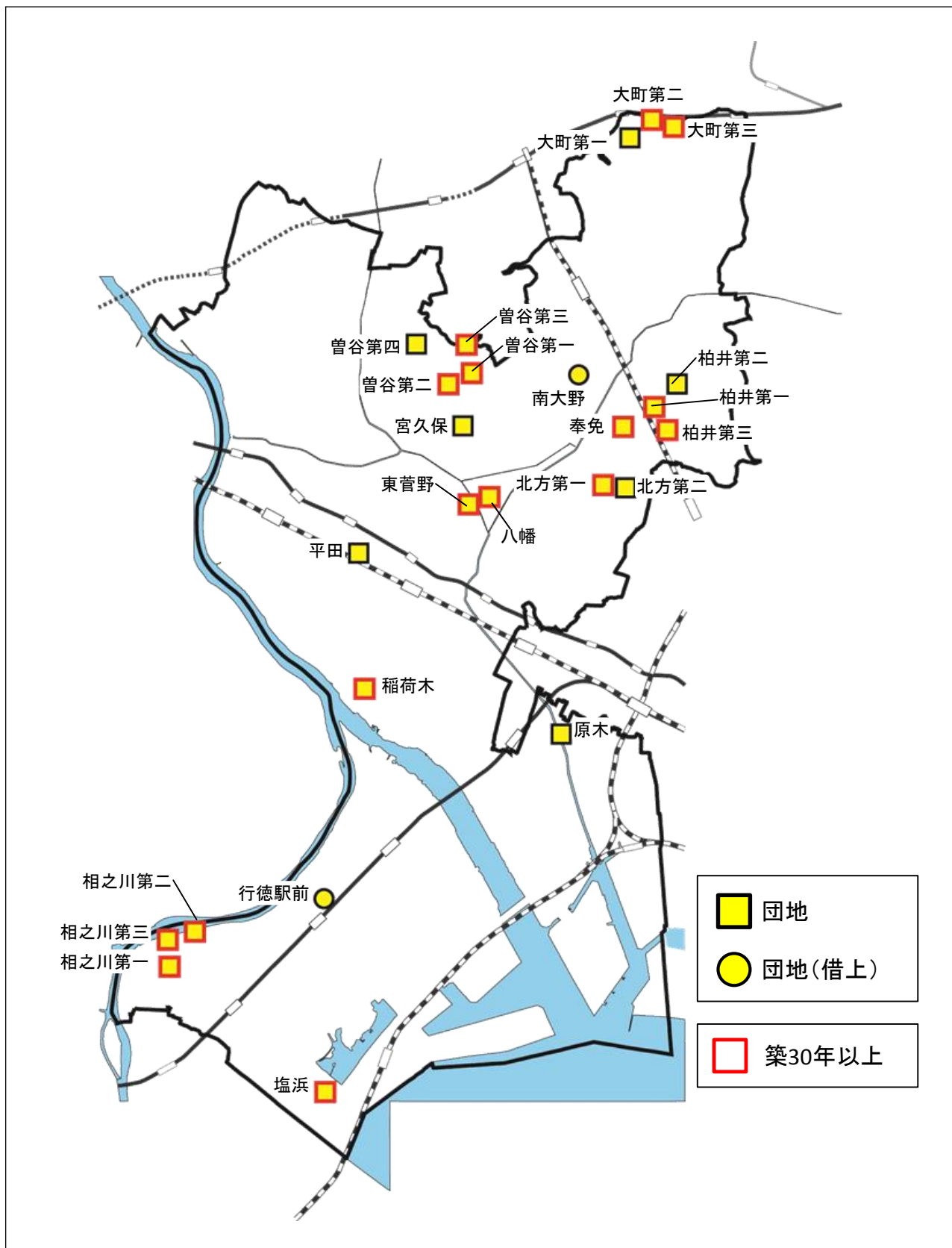
② 申し込み方法

市営住宅では、例年50戸程度の空家が発生します。この空家に入居するための手続きとして、『空家入居希望者の登録制度』を設けております。

この制度は、市営住宅でこれから発生する空家に入居を希望する方々を、あらかじめ住宅に困窮している度合い（これを「住宅困窮度」といいます。）の高い順に登録し、空家発生の都度、その登録順位に従って紹介し、入居していただくというものです。

③ 配置状況

図表 市営住宅位置図

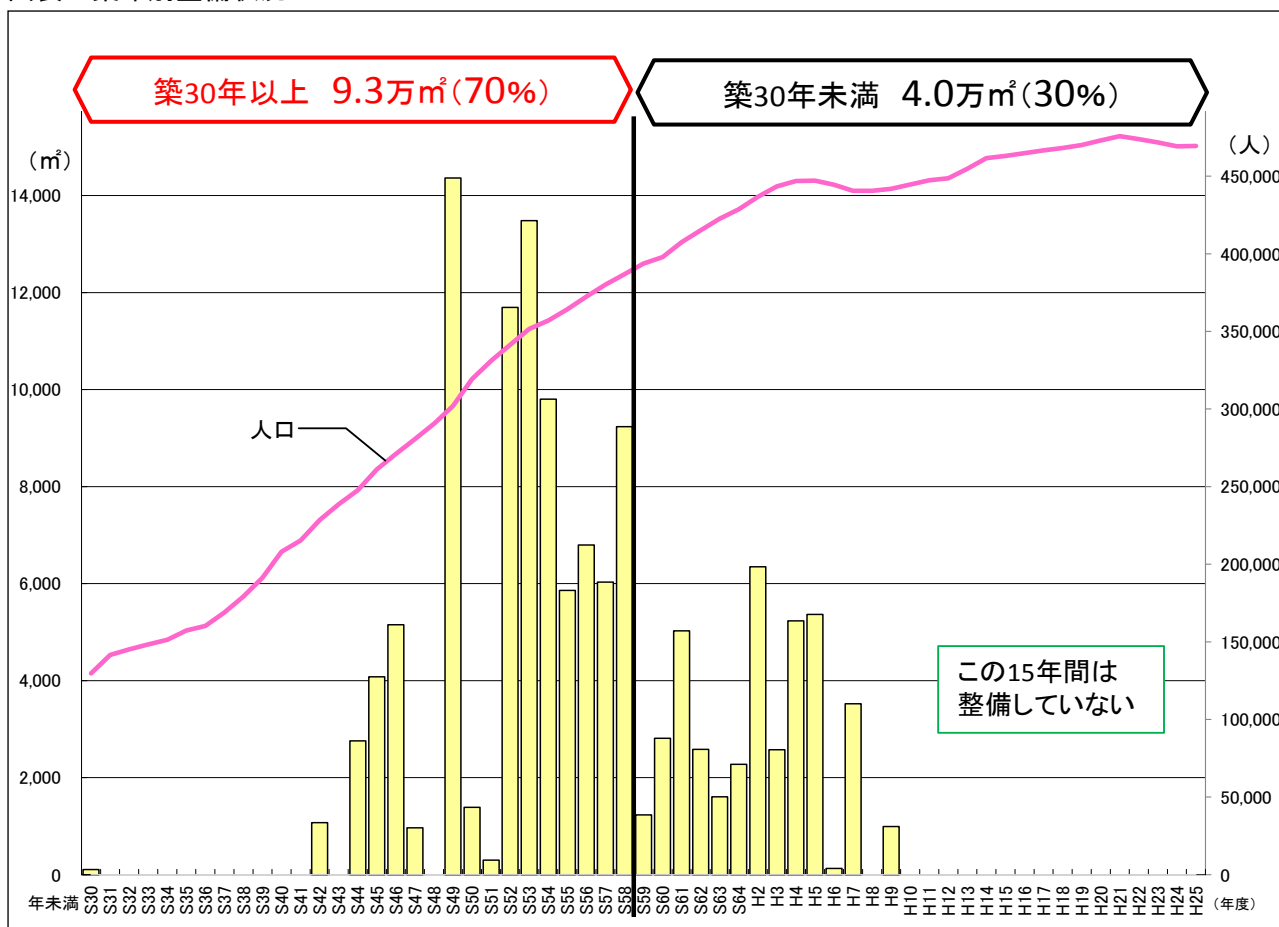


2) 実態把握

① 施設の整備状況 (借上げ施設を除く)

市営住宅の棟別の整備状況をみると、昭和40年代以降、高度経済成長期の人口増加に伴い、平成初期まで整備が行われました。平成10年度以降の15年間は新たな整備は行っていません。平成25年末日現在で、築30年以上を経過する建物が約7割を占めており、市営住宅全体で老朽化が非常に進行しています。

図表 築年別整備状況



平成 25 年度の市営住宅の建物状況は、下記のとおりです。

図表 市営住宅の建物状況

No.	施設名	基本情報		老朽化	環境対応		維持管理(H25年度)					
							維持管理費(千円)			床面積当たり(円/㎡)		
		建築年度	延床面積(㎡)	築年数(年)	(一次エネルギー消費量(GJ/年))	一次エネルギー消費原単位(GJ/㎡・年)	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料	燃料、光熱水費	料 施設管理に係る委託	施設修繕料
1	大町第一団地	平成元	11,896.15	25	-	-	0	3,322	8,489	0	279	714
2	大町第二団地	昭和43	22,707.71	46	-	-	0	7,940	29,098	0	350	1,281
3	大町第三団地	昭和47	14,296.54	42	-	-	1,179	7,361	10,483	82	515	733
4	柏井第一団地	昭和59	4,971.16	30	-	-	0	664	2,794	0	134	562
5	柏井第二団地	平成8	938.52	18	-	-	0	347	159	0	369	169
6	柏井第三団地	昭和59	602.84	30	-	-	0	119	2,956	0	198	4,903
7	奉免団地	昭和54	6,999.12	35	-	-	0	948	5,599	0	136	800
8	北方第一団地	昭和52	3,189.04	37	-	-	0	512	1,319	0	161	414
9	北方第二団地	昭和63	3,855.64	26	-	-	0	484	829	0	126	215
10	曾谷第一団地	昭和57	1,565.34	32	-	-	0	234	4,711	0	150	3,010
11	曾谷第二団地	昭和58	1,195.11	31	-	-	0	179	1,643	0	150	1,375
12	曾谷第三団地	昭和49	1,380.49	40	-	-	0	232	3,669	0	168	2,658
13	曾谷第四団地	昭和61	1,648.09	28	-	-	0	234	2,411	0	142	1,463
14	宮久保団地	昭和61	887.94	28	-	-	0	152	1,429	0	171	1,610
15	東菅野団地	昭和55	1,255.00	34	-	-	0	165	410	0	132	327
16	八幡団地	昭和26	105.80	63	-	-	90	82	99	853	775	939
17	平田団地	昭和62	799.95	27	-	-	0	138	673	0	172	841
18	稲荷木団地	昭和56	762.35	33	-	-	0	105	319	0	138	419
19	原木団地	昭和60	1,526.81	29	-	-	0	405	2,779	0	266	1,820
20	相之川第一団地	昭和59	1,487.67	30	-	-	0	354	308	0	238	207
21	相之川第二団地	昭和49	16,932.26	40	-	-	0	4,687	9,084	0	277	537
22	相之川第三団地	昭和52	4,779.18	37	-	-	0	1,174	3,723	0	246	779
23	塩浜団地	昭和53	26,671.06	36	-	-	0	6,189	26,507	0	232	994
	合計		130,453.77	-	-	-	1,269	36,031	119,492	-	-	-

<老朽化凡例>

■ : 築20年以上30年未満
■ : 築30年以上

<環境対応凡例>

■ : 平均値を上回る

3) まとめ

- 全 25 施設のうち、16 施設が築 30 年以上経過しています。効率的な老朽化対策が必要です。

また 6 施設が築 20 年以上経過しています。今後は計画的な老朽化対策も必要になります。事実、トータルコストのうち、最も大きな割合を占めているのが施設修繕料となっています。

◆ その他

(29) 公園

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、憩いやレクリエーションなどを通じて住民に親しまれる公園などの都市公園を387施設保有しており、管理棟やトイレ等の建物は都市公園105箇所、児童遊園地他2箇所、さわやかハウス8箇所の計115箇所169棟になります。

図表 都市公園の整備状況（平成26年3月31日）

種別	個所	開設面積 (ha)	備考
1 街区公園	326	31.13	
2 近隣公園	11	16.80	
3 地区公園	3	14.81	
4 運動公園	2	9.21	
5 歴史公園	3	5.87	
6 総合公園	1	11.39	
7 都市緑地公園	41	58.13	
合計	387	147.34	

(参考：スポーツ施設と併設している公園)

名称	住所	備考
1 国府台公園	国府台1-6	
2 行徳中央公園	富浜3-10	
3 塩焼中央公園	塩焼5-6	
4 塩浜第2公園	塩浜3-25	
5 江戸川河川敷緑地	市川南4丁目、大洲2丁目、大和田5丁目、稲荷木3丁目、河原	

(30) 処理施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、供給処理施設として3施設保有しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造	備考
1 市川市衛生処理場	二俣新町15	7,283.05	平成11	鉄筋コンクリート造	
2 菅野終末処理場	東菅野2-23-1	5,757.45	昭和42	鉄筋コンクリート造	
3 市川市クリーンセンター	田尻1003	23,431.04	平成5	鉄骨鉄筋コンクリート造	
合計		36,471.54			

② 配置状況

図表 供給処理施設位置図



(31) 霊園・斎場

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市営の霊園を設置しています。また、市民等の火葬や法事等を行うための施設として斎場を設置しています。

図表 設置目的

霊園	住民の利用に供するため、霊園を設置する
斎場	火葬、葬儀、法事等を行うための施設

図表 施設一覧

名称	所在地	建築年度 (年度)	延床面積 (㎡)	構造	備考
1 霊園	大野町4-2481	昭和36	1,637.55	軽量鉄骨造	新管理事務所 平成27年3月供用開始
2 斎場	大野町4-2610-1	昭和54	4,217.53	鉄筋コンクリート	
3 斎場 塩浜式場	塩浜2-1-7	平成8	307.51	軽量鉄骨造	廃止(平成26年7月)
合計			5,855.08		

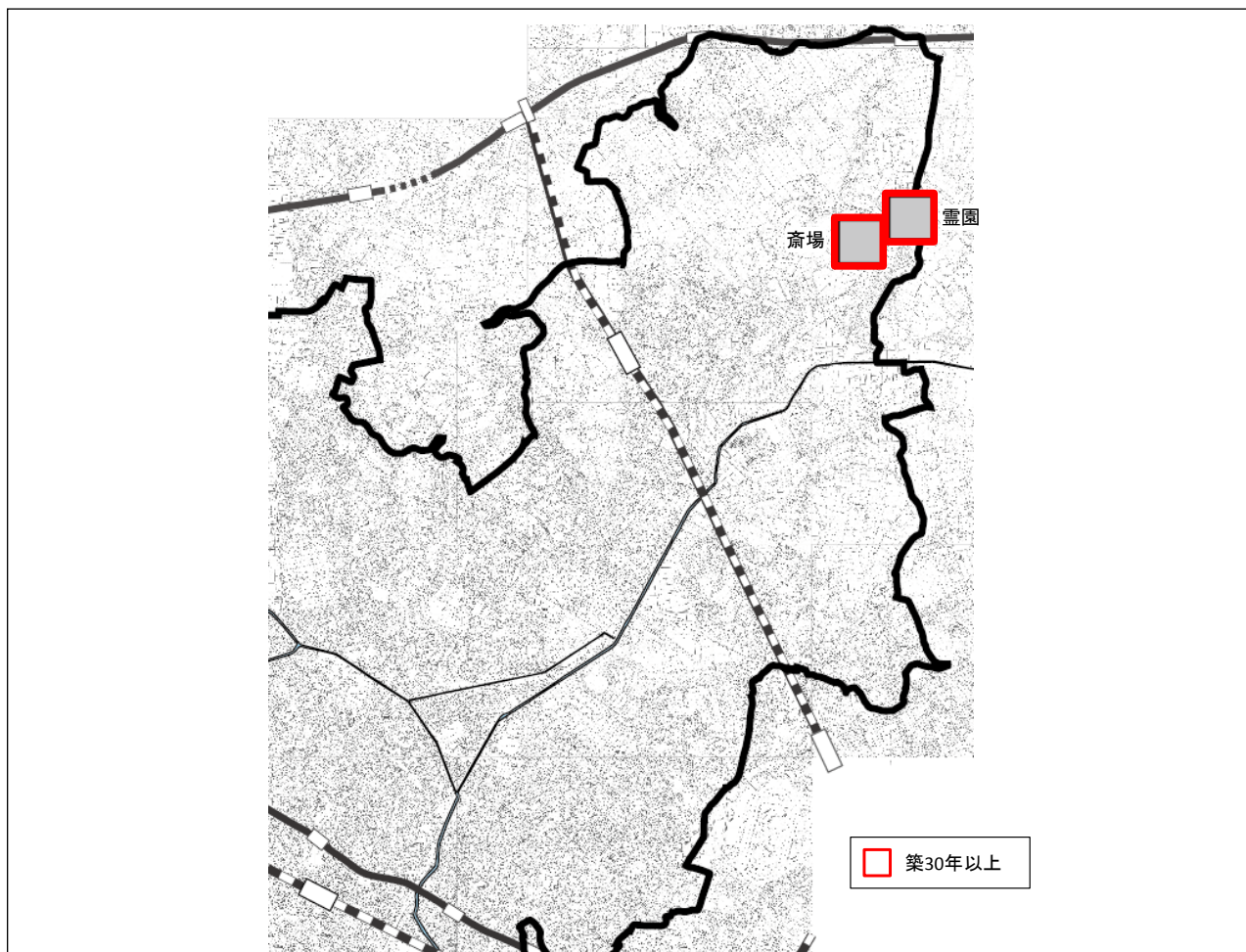
※ 合計延床面積は、廃止済みの塩浜式場を除く。

② 開園時間・休場日

名称	開園・開場時間	休園・休場日
1 市川市霊園	午前8時～午後6時 通常時 午前7時～午後7時 お盆及び彼岸期間 午前8時～午後5時 冬季期間(11月～2月)	年末年始 12月29日～1月3日
2 市川市斎場	午前8時30分～午後5時	火葬場 1月1日～1月3日及び友引の日 式場 1月1日～1月3日 ※友引の日においては、式場の貸し出し業務に限り行います。
3 塩浜式場	平成26年7月に廃止	

③ 配置状況

図表 霊園・斎場位置図



2) 実態把握

① 建物状況

平成25年度の霊園・斎場2施設の建物状況は、下表のとおりです。

No.	施設名	基本情報		老朽化 築年数(年)	環境対応		維持管理(H25年度)					
		建築年度	延床面積(m ²)		一次エネルギー消費量(GJ/年)	一次エネルギー消費単位(GJ/m ² ・年)	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)		
							燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料	燃料、光熱水費	施設管理に係る委託料	施設修繕料
1	霊園	昭和36	1,637.55	53	567	0.346	3,302	27,525	3,010	2,017	16,809	1,838
2	斎場	昭和54	4,217.53	35	12,326	2.923	29,629	24,036	10,200	7,025	5,699	2,418
合計			5,855.08	-	-	-	32,931	51,561	13,210	-	-	-

<老朽化凡例>
 : 築20年以上30年未満
 : 築30年以上

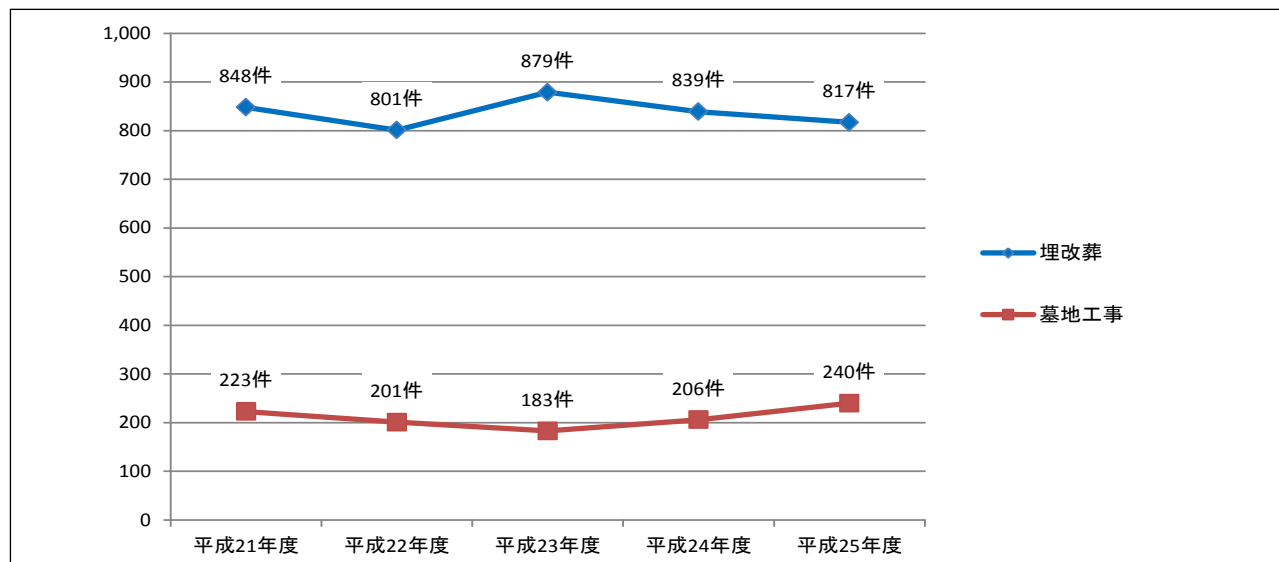
<環境対応凡例>
 : 平均値を上回る

② 利用状況

■ 市川市霊園

市川市霊園の施設使用状況は、埋改葬が約 840 件／年、墓地工事が約 210 件／年で推移しています。

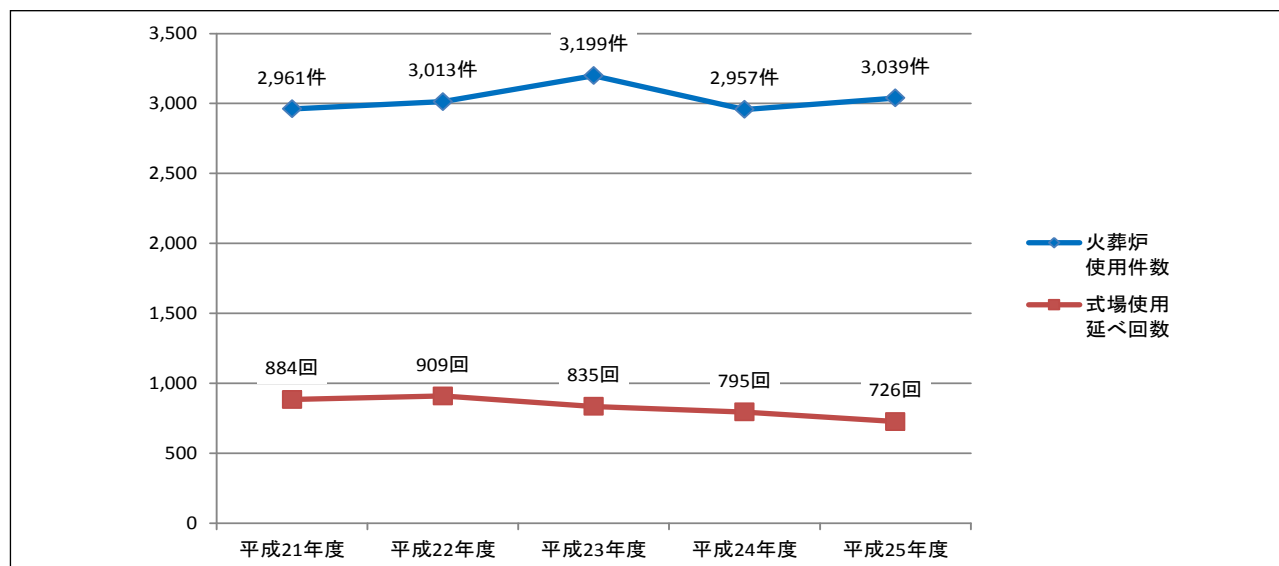
図表 施設使用状況



■ 市川市斎場

市川市斎場の施設使用状況は、火葬炉使用件数が約 3,000 件／年で推移しています。式場使用延べ回数は、平成 22 年度の 909 回／年より平成 25 年度の 726 回／年と、毎年漸減しています。

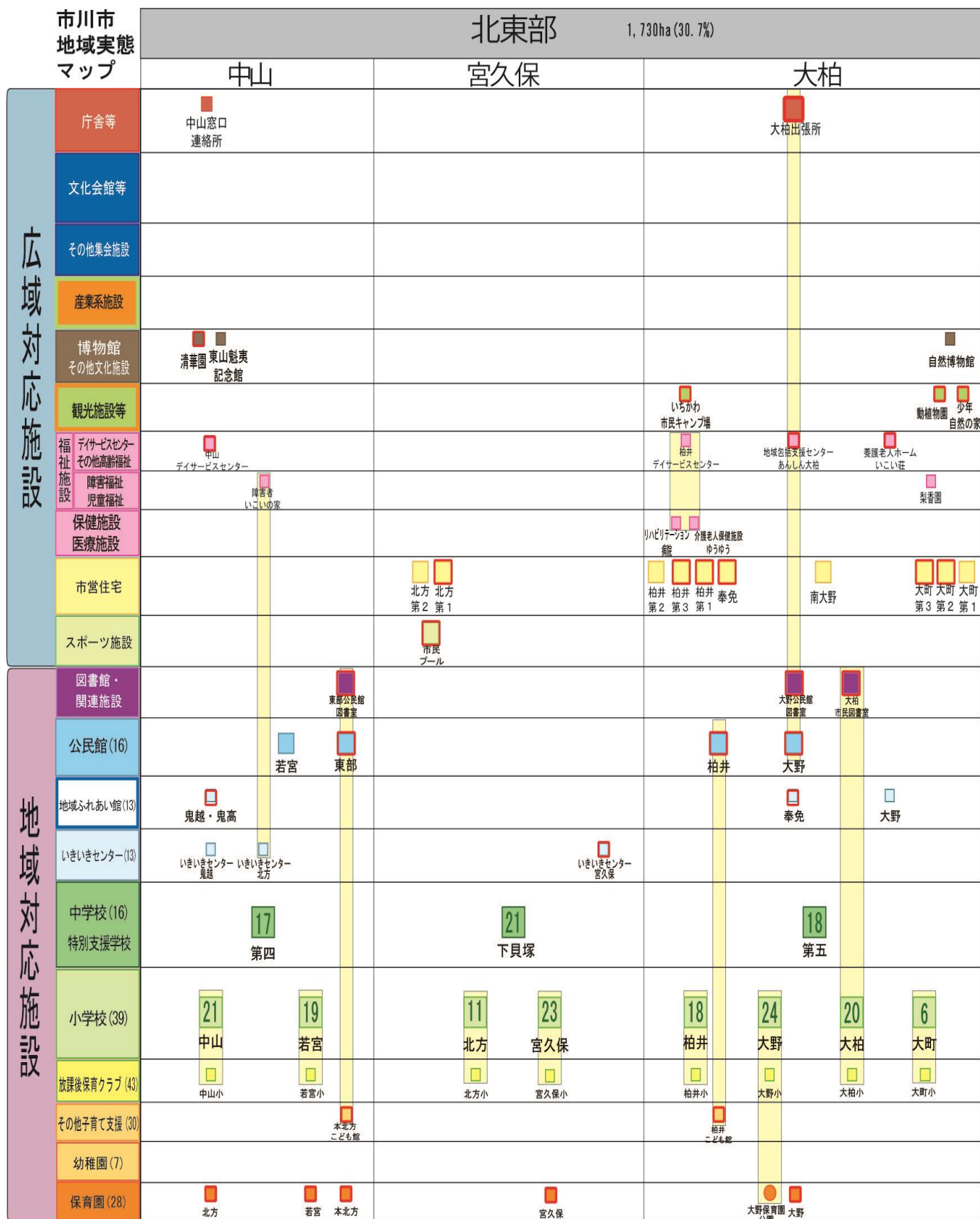
図表 施設使用状況



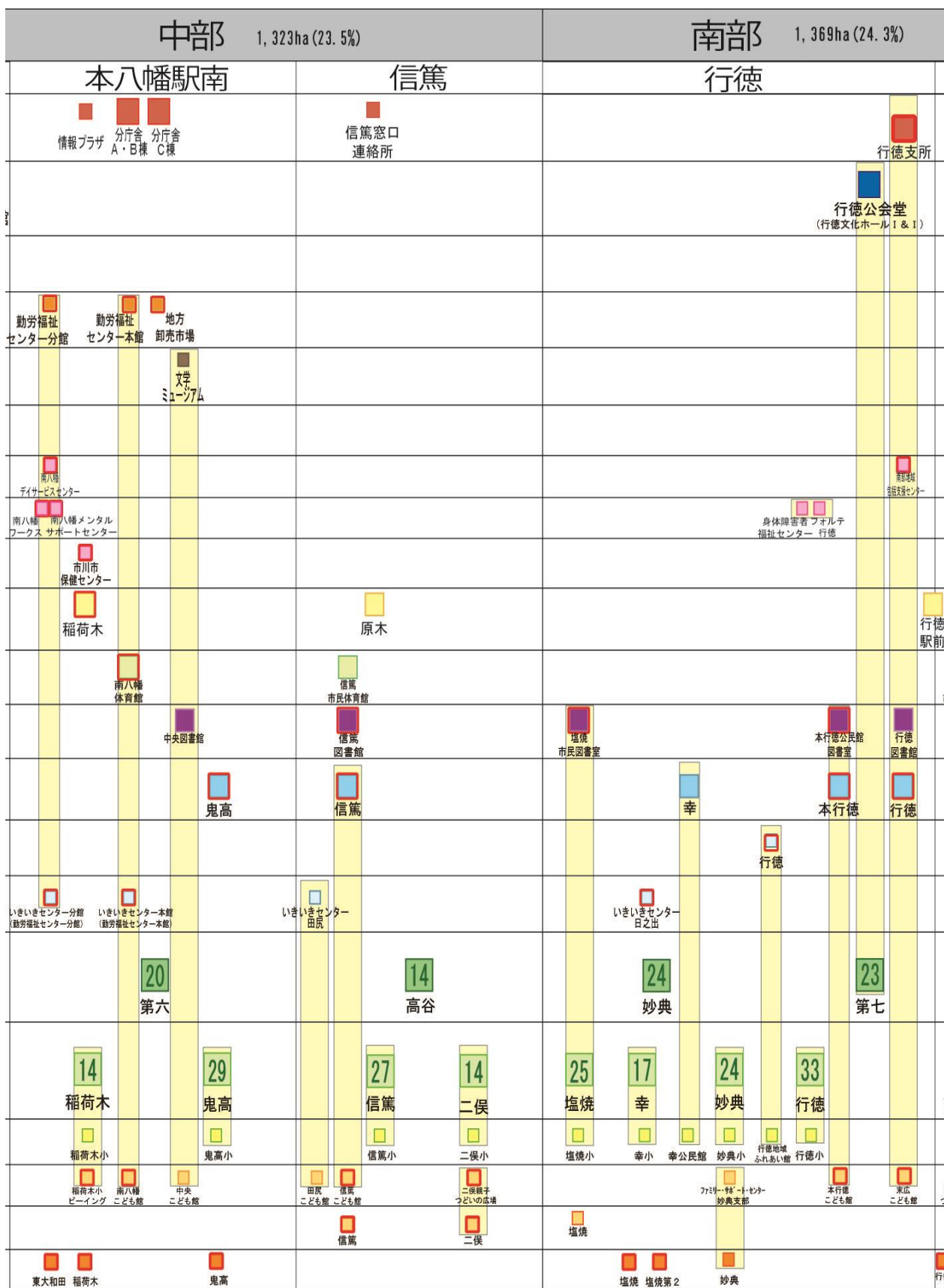
3) まとめ

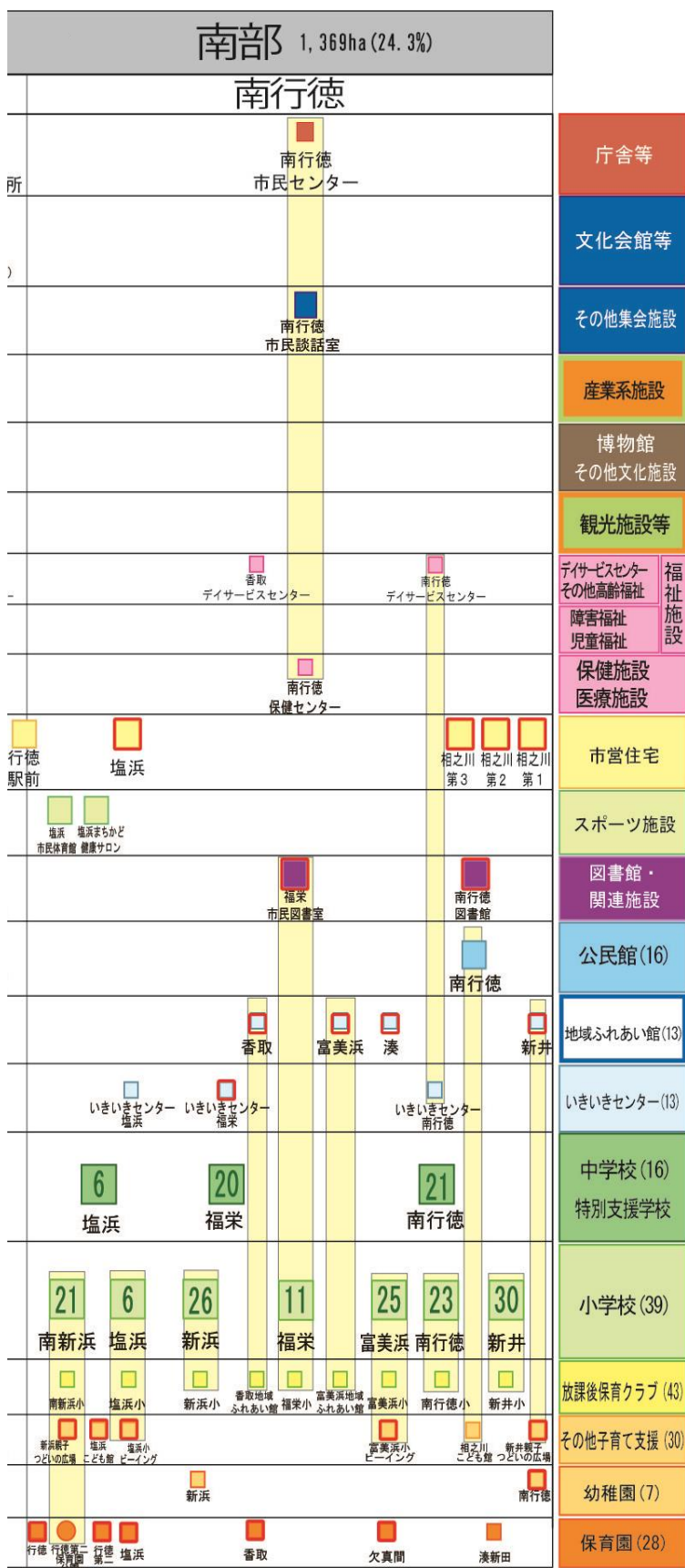
- ・ 2 施設とも築 30 年以上経過しています。効率的な老朽化対策が必要です。

主な公共施設の配置状況（地域実態マップ）



北西部 1,217ha (21.6%)				北西部	中部
八幡	曾谷	国分・国府台	市川	市川駅南	
<p>アクス本八幡 本庁舎 八幡分庁舎 ターミナルビル 八幡線</p> <p>(建替え中) 市民会館</p> <p>八幡市民談話室</p> <p>水木洋子邸</p> <p>中部地域包括支援センター</p> <p>八幡東菅野</p>	<p>市民会館 (建替え中)</p> <p>八幡市民談話室</p> <p>曾谷公民館 図書室</p> <p>稲越市民図書室</p> <p>曾谷公民館 図書室</p> <p>稲越市民図書室</p> <p>東国分</p> <p>富貴島 八幡 菅野 百合台 曾谷 稲越 国分</p> <p>富貴島小 八幡小 菅野小 百合台小 曾谷小 稲越小 国分小</p> <p>八幡小 ビーイング 八幡線子 ついの広場 曾谷小 こども館 ビーイング</p> <p>曾谷</p>	<p>国分窓口連絡所</p> <p>考古学博物館 歴史博物館</p> <p>芳澤ガーデンギャラリー 郭沫若記念館</p> <p>木内ギャラリー</p> <p>国分台 デイサービスセンター</p> <p>明松園 チャレンジ園分 松香園</p> <p>市川市 スポーツセンター</p> <p>西部公民館 図書室</p> <p>中国分</p> <p>中国分こども館</p> <p>中国分</p>	<p>男女共同参画センター</p> <p>いちかわ観光・物産案内所</p> <p>アイ・リンクタウン 展望施設</p> <p>いちかわ</p> <p>国府台 デイサービスセンター</p> <p>大洲 デイサービスセンター</p> <p>こども発達センター</p> <p>障害者地域生活支援センター</p> <p>急病診療所 休日急病等歯科診療所</p> <p>平田</p> <p>市川市 スポーツセンター</p> <p>男女共同参画センター 情報資料室</p> <p>市川公民館 図書室</p> <p>市川</p> <p>いきいきセンター 市川</p> <p>須和田の丘 支援学校</p> <p>真間</p> <p>市川小 市川小 ビーイング</p> <p>市川</p>	<p>市川駅行政サービスセンター</p> <p>文化会館</p> <p>ジョブ・サポート いちかわ</p> <p>アイ・リンクタウン 展望施設</p> <p>地域包括支援センター あんしん市川駅前</p> <p>大洲 デイサービスセンター</p> <p>こども発達センター</p> <p>障害者地域生活支援センター</p> <p>急病診療所 休日急病等歯科診療所</p> <p>平田</p> <p>市川駅南公民館 図書室</p> <p>市川</p> <p>いきいきセンター 大洲</p> <p>大洲</p> <p>大洲 宮田 平田 鶴指 大和田</p> <p>大洲小 宮田小 平田小 鶴指小 大和田小</p> <p>大洲 こども館</p> <p>大洲</p> <p>市川南 大洲 新田 新田第2 大和田</p>	





第4章 公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する 基本的な考え方

第4章 公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な考え方

公共施設の老朽化対策は、本市のみならず、多くの自治体で喫緊の課題となっています。

本市では、依然として厳しい財政状況に加え、人口減少等により、公共施設に求められるニーズも今後ますます変化することが予想されることから、長期的な視点で施設の更新や長寿命化を計画的に行い、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の適正な管理により、良質な市民サービス水準を確保していくための公共施設マネジメント業務の一環として、平成25年度から公共施設情報の一元化に取り組み、平成26年度に本「公共施設白書」の作成を行ってきました。

平成26年4月には、市政戦略会議からも「公の施設の経営効率化」の答申の中で、「本市の最重要課題の一つとして公共施設マネジメントに取り組むべきである」旨の答申がなされ、また、国からは、平成25年に策定した「インフラ長寿命化基本計画」を上位計画として、地方に対して、平成26年4月22日付けの総務大臣通知「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」の中で、地方における行動計画としての位置付けで、いわゆる箱物といわれる公共施設に加え、道路・橋りょう、下水道などのインフラ系や、清掃工場などのプラント系も含めた「公共施設等総合管理計画」を平成28年度まで策定するように要請されました。

1. 計画策定の必要性

本市では、これまで、公共施設の管理については、基本的に施設を管理する部署ごとにおこなっていたので、下水道や橋りょうなど、個別の長期計画はありましたが、市政戦略会議から、行政経営全般を見渡した総合的な視点に基づく「公共施設への評価の指針や手法」が存在しないため、評価スキームの整備については喫緊の課題である旨のご指摘をいただいているように、全ての公共施設を網羅した計画が無いことから、平成26年度中に作成する本「公共施設白書」の内容を基礎データとして、平成27年度にはいわゆる箱物といわれる公共施設についての保全計画を策定していく予定でしたが、国からの要請もあり、インフラ、プラント系も含めた公共施設全体の計画を策定することで、国土強靱化やまちづくりの視点も加味した実効性の高い公共施設の管理を実現していきたいと考えています。

従いまして、計画では、施設に係るライフサイクルコストのマネジメントなど、長期的な視点からの取り組みに係る基本的な方向性を定め、その検討に際しては、将来的な人口推計や年齢構成の変化、あるいは財政的な見通しなども十分に勘案する必要があります。

一方で、公共施設等総合管理計画は、その後策定する個別の施設管理計画の基本方針の部分を担当のものであるため、更新や長寿命化の対象となる施設の状況を判断しながら、柔軟な対応を可能とするため、社会状況等の変化に応じてフレキシブルに見直すことのできる計画とすることが必要です。

また、計画の期間については、総務省の指針では、少なくとも10年以上であることとされていることから、財政的な試算や人口推計等はできるだけ長期的に行いながら、10年以上の計画を策定し、必要に応じて適宜見直ししていくことが重要と考えます。

2. 全庁的な取り組み体制の構築及び情報管理・共有方策

公共施設の総合的かつ計画的な管理を実現するためには、全庁的な視点から意思決定を行い、施策や事業を進める権限と責任を適切な組織に付与しなければなりません。

現行の個々の所管部署による管理体制の問題点を見直し、全庁的な取り組みを可能とする組織体制を検討する必要がありますが、90万㎡を超える施設の維持管理体制を限られた人材等の行政資源で構築するためには、適切なアウトソーシングの活用なども含め、営繕や維持管理部門以外の職員も積極的に施設の運営に関わっていける仕組みづくりなど、先進自治体や海外の状況、技術革新の動向等にも注視しながら、常に最善の組織を模索していかねばならないと考えます。

マネジメントの前提となる情報やデータの一元化・共有化については、喫緊の課題として早急に取り組む必要があったため、これまで施設ごとに各所管部署が管理していた情報について、平成25年度より、保全情報システムによる情報収集を開始したところです。また、本市では、公会計の取り組みとして、既に固定資産台帳を整備しており、将来的には、現在、財務システム上で管理している公有財産台帳の内容も合わせて、資産に係る情報を全庁的に共有できるシステムに再編していく必要があるものと考えます。

3. 現状や課題に関する基本認識

我が国では、昭和30年代からの高度経済成長期において、急激な人口増加を背景に、多くの公共施設が整備されてきました。これらの公共施設は、老朽化が進み、今後集中して必要となる施設の維持・改修などにかかる多額の費用確保が全国的な自治体共通の課題となっています。

本市も高度経済成長期に、首都圏の良好なベッドタウンとして急速に発展してきた経緯もあり、昭和40年代後半から50年代後半をピークに、学校をはじめとする多くの公共施設が集中的に建設されてきました。

第1章、2章で把握したように、平成25年度末現在、延べ床面積92.8万㎡の公共施設を保有しており、これは市民一人当たり約2㎡となっています。全国平均の3.4㎡と比較すれば決して多くはありませんが、その6割以上が築30年以上経過しており、老朽化が進行しているのが現状です。

これらの施設が近い将来、一斉に大規模修繕や建て替えなどの時期を迎えることとなるため、多額の更新費用が見込まれています。

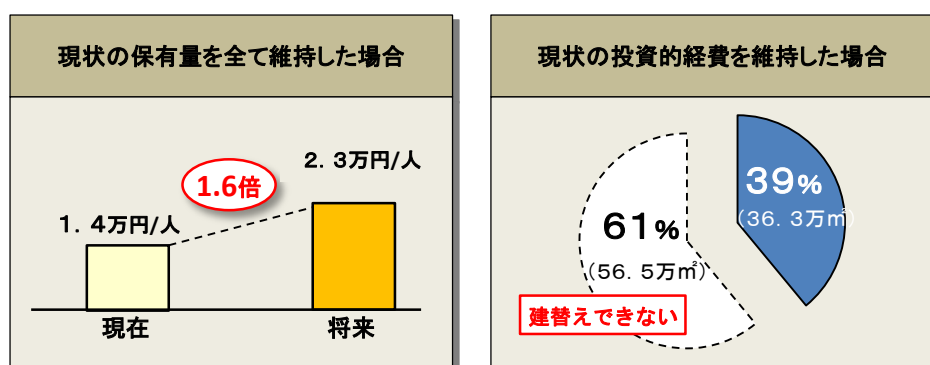
現状の保有量を全て維持した場合は、市民1人当たりの更新費用負担額が1.6倍（約1万円）増加することになります。また、現状の平均的な更新費用で整備を続けた場合には、保有施設92.8万㎡のうち約60%（56.5万㎡）の更新ができないこととなります。

また、市民サービスの観点からは、人口減少や少子高齢化により、公共施設に求められるニーズ変化への対応が必要となっていますし、依然厳しい財政状況の中で、コストの問題は、建設、維持

管理、解体という施設のライフサイクル全体を通して考えていかなければならない課題となっています。

建物、サービス、コストという観点から既存の公共施設等の課題を整理しましたが、本市には、新庁舎の建設をはじめとする、東京外郭環状道路の整備に併せた都市計画道路や下水道の整備、市民会館の建設など、計画的に進捗を図るべき新規施設の建設事業も多くあります。

公共施設に係る課題は、本市行政全体の問題であり、将来的な市の行政サービスのあり方レベルから市民とともに考えていく必要がある重要なものと認識しています。



4. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

(1) 点検・診断等の実施方針

点検・診断等は、建築物の機能や性能を適切に保つために、建築物や設備機器の異常・劣化等の状態を調査することであり、不具合が大きなトラブルにつながる前に必要に応じた対応措置を行い、施設を適正に維持管理していくための重要な作業のひとつであることから、法令に定められた点検はもとより、日常的に施設の不具合等に気を配り、早期発見に努めるとともに記録として残しておくことが重要です。

今後は、施設管理者が継続的に実態把握し記録できる仕組みを検討するなど、計画の推進体制につながる具体的な取組みが必要となります。

(2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針

前述した適切な点検や診断の実施により、対症療法的な修繕ではなく、予防保全による維持管理を可能とすることに加え、環境負荷への低減等ライフサイクルコスト全体に留意することが重要です。そのために、躯体の健全性を確認し、良好な建物は長期に使用するため、特に重要な部位（屋根・屋上・外壁）は点検・診断に基づき早期の劣化対策を実施するなど、施設別に、より具体的な実施方針を検討する必要があります。

また、更新時には、本市の豊富なPFI事業の実績を踏まえ、民間の活力やノウハウを積極的に導入すべきと考えます。※1

※1 PFI 事業の導入事例

市川市立第七中学校校舎・給食室・公会堂整備等並びに保育所整備 PFI 事業

- ・ 老朽化した中学校校舎と給食室の建て替えに際して、公会堂、保育園といった地域ニーズの高い施設を併設した複合施設を整備し、維持管理を行う事業
- ・ また、本複合施設は、別のPFI事業として実施されるケアハウス、デイサービスセンターも同じ建物の中に整備され、2つのPFI事業で構成されている。
- ・ 本施設は、延床面積約 23,700m²（既存校舎含む）、地上 5 階、地下 1 階の鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）、平成 15 年 9 月の本体工事着工を経て平成 16 年 9 月から施設の供用を開始している。
- ・ 事業者選定には 3 つの民間事業者グループからの参加があり、最終的に約 26%ものVFM（事業費の削減）が達成された。これに加えて、施設整備費の事業期間での分割支払（割賦払）により、巨額の初期投資が不要となり市財政支出の平準化のメリットもあった。



行徳文化ホール（I & I）



第七中学校



公会堂

（写真：市川市 H.P.、概要：PFI 事業導入の手引きより）

（3）安全確保の実施方針

公共施設は、行政サービスを不特定多数の人に提供する場であり、災害発生時等には、避難施設としても利用されるなど、施設の安全性は特に重要です。既存の施設については、前述した適切な点検や診断の実施により、早期に危険部位を解消するなど、計画的な安全確保に向けた仕組みづくりが必要です。

また、新規の建設に際しては、地震や火災、水害などに強く、防災機能の確保を図るとともに、子ども、高齢者、障がい者など様々な人の利用も念頭に置いたユニバーサルデザインに配慮した施設を目指すべきと考えます。

（4）耐震化の実施方針

本市では、市川市市有建築物耐震化整備プログラムが平成 25 年度末で完了していますが、学校施設の天井等の落下防止対策を推進するなど、引き続き安全確保に努めてまいります。また、地震はいつ、どこで、どのくらいの規模で発生するかが予測できないため、ハード的な耐震化のみならず、日ごろの訓練などソフト的な部分での補完が重要となります。

（5）長寿命化の実施方針

予防保全の実施により、自ずと施設の長寿命化は図れますが、一方で、建設当時公共施設に求め

られていたニーズが変化してきていることも事実です。全ての施設を単に長寿命化するのではなく、その施設を利用して提供されているサービスが将来にわたって必要なものであるのか、その規模は変化していないかなど、サービス面からも十分に検証する必要があります。

そのため、劣化状況と施設利用度等から保全優先順位を設定し、更新コストの平準化につなげていかねければなりません。また、併せて、目標耐用年数に応じた改修の整備水準を設定する等、財政的な制約との全庁的な調整も必要となります。

また、現時点においてある程度の機能を保持している施設でないと、ライフサイクルコストの点で長寿命化を図るメリットが見出せないことから、施設の躯体の状況やサービスの転換の可能性、あるいは、異なる用途への転用など、一定期間（概ね60年以上）の活用を基準に様々な観点から検討する必要があります。※2

<p>※2 用途転用の事例 地域再生計画の活用による公共施設の転用（平成17年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域再生計画の名称 男女共同参画の推進による市民交流活動とにぎわい活性化計画 ・ 適用される主な支援措置 公共施設の転用に伴う地方債繰上償還免除 ・ 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容 市川市では、平成3年11月に複合施設である「西消防署、女性センター」を開設した。当施設は、地上7階建てで1階～3階まで及び7階が西消防署、4階～6階が女性センター（男女共同参画センター）であった。7階部分については、消防局研修ホールとして、専ら消防職員が音楽隊などの練習に使用していたが、平成16年に市内の近隣に新設の練習等に使用できる施設が開設された。このため、7階部分の消防局の利用が少なくなり、施設の有効利用という観点から4階～6階を占有する男女共同センターを拡大し、同センターの研修ホールとして広く市民に貸し出しを行なうことができるよう転用するもの。

（6）統合や廃止の実施方針

公共施設の中には、設置目的は異なっても機能をみると類似している施設やサービスがあり、それが利用率の低下などにつながっている場合があります。将来的な人口減少を視野に入れば、施設の整理・統合や複合化等により、施設の機能を維持しながら、施設の総量を縮減していくことも適正な維持管理の手法のひとつです。複合化等による施設の再編にあたっては、地域特性によって公共施設に求められるニーズも異なることから、地域・エリア単位での検討も必要となります。

また、複合施設における維持管理の一元化などにより、効率的な施設運営を図るとともに、統合や廃止によって生じた余剰地については適切に処分していくことも重要です。

平成27年1月に文部科学省より公表された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」には、学校統合の適否を検討する上では、保護者の声を重視しつつ、地域住民や学校支

援組織と教育上の課題やまちづくりを含めた将来ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ながら進めるべきである旨が示されています。

また、本市の市政戦略会議からも公の施設の経営効率化についての答申の中で、「市川らしさ」や「市川市の特徴」を十分に加味した施設評価の重要性が求められています。

施設の統合や廃止については、市全体で課題を共有し、コストや効率性だけでなく様々な方向から検討するための仕組みづくりが必要と考えます。

(7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

これまで、施設の所管部署ごとに維持管理業務を行っていたことから、営繕部門を持つ部署とそれ以外の部署では、点検や修繕に関して全庁的に均一のレベルで行えていないのが現状でした。

点検や修繕履歴の蓄積や分析など、施設情報の一元管理と共有化はもちろんのこと、維持管理時における環境負荷の低減なども含め、施設全体のライフサイクルコストの削減は、職員全員で担うという意識の下、多岐にわたる施設管理に関するマネジメント手法について、民間のノウハウも積極的に活用しながら、全職員に必要な応じたスキルアップを図る必要があると考えます。

5. フォローアップの実施方針

総合管理計画は、公共施設という半世紀以上にわたってサービスを提供する建築物に係る長期的な計画であり、革新的な技術の進歩や、社会・経済状況の変化、あるいは予期できない災害等、様々な要因によってその進捗が左右されるものであり、状況の変化に対し、迅速に評価判断し、フレキシブルに対応していく必要があります。また、関連する他の施策や部署との調整も必須となるため、計画期間に対するロードマップ等を作成し、行政だけでなく市民や議会に対して分かりやすい進捗管理を行う必要があります。

計画見直しの際は、広く市民・議会に対し情報を開示し、前計画の評価と見直しに至った経緯を明らかにし、市民とともに計画を推進していくことが重要と考えます。

■用語集

力行	稼働率	施設の利用率合いを示す指標。 保有部屋数と時間区分から各施設の年間利用可能コマ数を算出し、年間利用可能コマ数と1年間の利用件数より求める。
	行政財産	市が行政サービスを行うことを目的として保有している財産（土地・建物）。
サ行	自主財源	地方公共団体が自主的に収入することができる財源。 具体的には、市税・使用料・手数料・財産収入など。
	指定管理者制度	従来、自治体や外郭団体に制限されていた一部の公共施設の管理運営に、株式会社やNPOといった民間事業者も参入できる制度。 市ではスポーツ施設、観光施設等の運営に導入している。
夕行	大規模改修	経年劣化に伴う修繕と建築当初の機能・性能を上回る機能向上を伴う改修工事。
	耐震基準	建物等の構造物が最低限度の耐震能力を示す基準。 現行の耐震基準（新耐震基準）は1981年に改正された基準。
	投資的経費	その支出の効果が資本の形成のためのものであり、将来に残る施設等を整備するための経費。普通建設事業費など。
八行	扶助費	社会保障制度の一環として、現金や物品などで支給される費用。 生活保護法・児童福祉法・老人福祉法などの法令に基づくもののほか、乳幼児医療の公費負担など市の施策として行うものも含まれる。
	普通建設事業費	道路、橋りょうなどの公共土木施設や、学校、文化施設などの公共施設などの新設や改良に要する経費で、投資的な事業費をいう。
	普通財産	行政財産以外の財産。 特定の行政サービスを行っていない土地・建物。

市川市公共施設白書

発行日 平成 27 年 3 月

企画・編集 市川市財政部管財課

公共施設マネジメント担当室

発行者 市川市

〒272-8501

千葉県市川市八幡 1 丁目 1 番 1 号

T E L 047-334-1111 (代表)
